

Printia ≈Laser

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-5340

ページプリンタ

取扱説明書

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Netscape、Netscape Navigatorは、米国Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ESC/P、ESC/Pageは、セイコーエプソン(株)の登録商標です。

VP-1000、LP-8000Sは、セイコーエプソン(株)の商標です。

PC-9800シリーズ、PC-9801シリーズ、PC-9821シリーズは、日本電気(株)の商標です。

IBM PS/55シリーズ、PS/Vシリーズは、米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

IntranetWare、NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。

AdobeおよびAcrobatは、アドビシステムズ社の商標です。

True Type フォントは、米国アップルコンピュータ社の登録商標もしくは商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

VCCI適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースターープログラムについて



この装置は、国際エネルギースターープログラムの基準に適合しております。

国際エネルギースターープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。

対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

レーザ規格について

この装置は、危険なレーザ光を出さない「クラス 1」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-5340をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

XL-5340は最大17ページ／分（A4サイズ）の高速印刷が可能なページプリンタです。

本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。

本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2001年6月

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

- Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server Windows 2000
- Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0、Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 Windows NT4.0
- Microsoft® Windows® Millennium Edition Windows Me
- Microsoft® Windows® 98 Windows 98
- Microsoft® Windows® 95 Windows 95
- Microsoft® Internet Explorer Internet Explorer
- Netscape® Communicator Netscape
- Adobe® Acrobat® Reader Acrobat Reader

警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本機定格電源は100V、9Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。

電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管(引火や爆発の危険があります。)
- ・電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- ・水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。

! 警告



風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

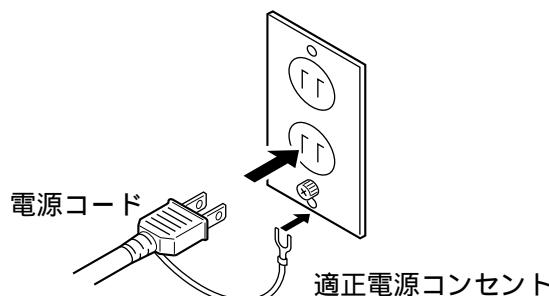
感電・火災の原因となります。



電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ずいずれかに取り付けてください。アース接続できない場合は、ハードウェア修理相談センター（299ページ参照）にご連絡ください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを650mm 以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。



近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。



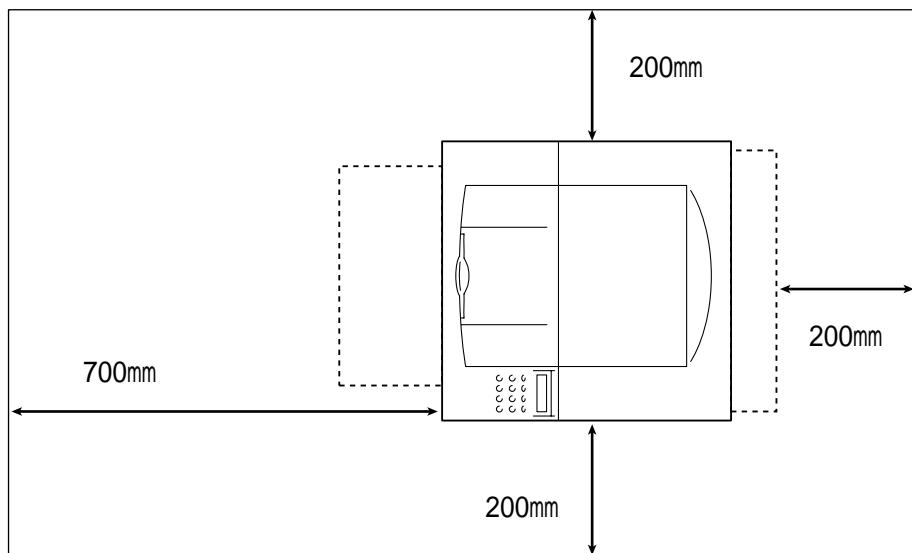
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から200mm以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な500mm以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。



注意



XL-5340は重さ約36kg（フルオプション、消耗品を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

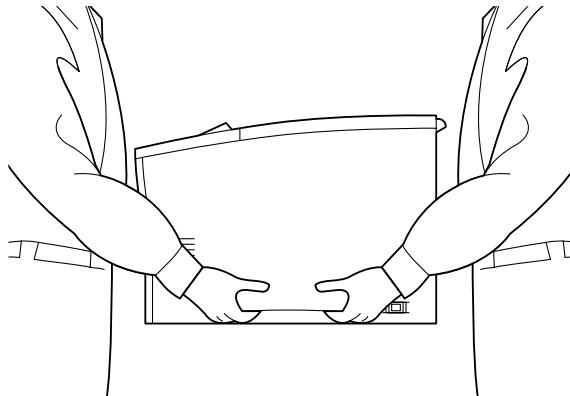
プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。



プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約17.4kgあります。プリンタを動かす場合は必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下によりけがの原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理はハードウェア修理相談センター（299ページ参照）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

故障の修理は、ハードウェア修理相談センター（299ページ参照）にご連絡ください。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はハードウェア修理相談センター（299ページ参照）にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



警告



電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、ハードウェア修理相談センター（299ページ参照）に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（299ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（299ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまつた用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、ハードウェア修理相談センター（299ページ参照）にご連絡ください。

つまつた用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまつた用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



注意



1 カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかりと差し込まれていますか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありますか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- ・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。
- ・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はハードウェア修理相談センター（299ページ参照）までご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。
指を挟み、けがをする原因となることがあります。

プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意



警告



プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。



トナーは目や口に入らないように注意してください。

プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

本書の構成

本書は、プリンタを設置し、印刷できるようにするまでを説明する「セットアップ編」と、プリンタをご使用中に必要となる内容を詳しく説明する「運用編」から成ります。

「セットアップ編」と「運用編」には、次の内容が記載されています。

【セットアップ編】

目 次	内 容
第1章 お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第2章 プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順について説明します。
第3章 外部との接続	プリンタをパソコンまたはLANに接続する方法や、ケーブル類の接続について説明します。
第4章 ネットワークプリンタの設定	プリンタをネットワークプリンタとして設定する方法について説明します。
第5章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの作成	ネットワークソフトウェアのインストール方法およびネットワークポートの作成、設定変更について説明します。
第6章 プリンタドライバのインストール	パソコンにプリンタドライバをインストールする手順について説明します。
第7章 プリンタ共有の設定	サーバを経由して複数のパソコンからプリンタを使えるようにする方法について説明します。

【運用編】

目 次	内 容
第8章 用紙について	プリンタで使用できる用紙に関する説明と、用紙のセットのしかたについて説明します。
第9章 オプションについて	オプションの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
第10章 日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることがらについて説明します
第11章 オペレータパネルの操作	オペレータパネルの見かたと操作について説明します。
第12章 プリンタドライバの設定	パソコンにインストールしたプリンタドライバの設定方法について説明します。
第13章 添付ソフトウェア(CD-ROM)について	本プリンタに添付されているソフトウェア(CD-ROM)について説明します。
第14章 こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
付 錄	プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

 **お願い** 本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。

操作する前に必ずお読みください。

 **ガイド** 本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。

必要に応じてお読みください。

 **参照** 本書内で参照していただきたい参照先を示します。

 **参照** 本プリンタ添付のCD-ROMに収められているソフトウェアマニュアル内の参照先を示します。

目 次

はじめに	i
本文中の略語について	i
警告表示マークについて	i
安全上のご注意	ii
プリンタ設置および移動時のご注意	ii
プリンタ使用時のご注意	vi
プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意	x
本書の構成	xi
本書の表記	xiii

セットアップ編

第1章 お使いになる前に	3
製品の確認（梱包されている製品）	4
CD-ROM の内容	5
各部の名称と機能	6
第2章 プリンタの設置	9
設置上のお願い	10
プリンタの寸法	11
設置手順	12
梱包品の確認	12
緩衝具の取り外し	12
プロセスカートリッジの取り付け	13
電源を入れる	15
給紙カセットに用紙をセットする	18
動作の確認	23
設定の一覧を印刷する	23
電源を切る	24

第3章 外部との接続	25
インストールの手順と設定の概要	26
パソコンとのローカル接続	28
接続のしかた	29
LAN ケーブルの接続	30
接続のしかた	30
LAN に接続するときの注意事項	31
パソコンと LAN の両方に接続するときの注意事項	32
第4章 ネットワークプリンタの設定	33
ネットワークプリンタの準備	34
電源を入れる	34
設定の一覧を印刷する	34
IP アドレスの設定方法	36
設定方法の種類	36
DHCP によるアドレス自動取得	37
オペレータパネルによる設定 (LAN セットアップモード)	39
ネットワークソフトウェアによる設定	42
プリンタの URL 設定 (IPP のみ)	54
第5章 ネットワークソフトウェアのインストールと ネットワークポートの追加	57
ネットワークソフトウェアのインストール	58
新規インストール	59
コンポーネントの追加、削除	72
ポートの追加	76
LAN ポートの追加	77
IPP ポートの追加	80
プリンタの接続方法を変更するとき (印刷先ポートの追加と変更)	84
Windows 95/98/Me のとき	84
Windows 2000/NT4.0 のとき	86
LPR 印刷の設定	88
Windows 2000/NT4.0 のとき	88
NetWare5 のとき	92

第6章 プリンタドライバのインストール 95

プリンタドライバのインストール	96
準 備	96
インストールの手順	96

第7章 プリンタ共有の設定 101

Windows 95/98/Me のとき	102
サーバ側の設定	102
クライアント側の設定	104
Windows 2000 のとき	105
サーバ側の設定	105
クライアント側の設定	108
Windows NT4.0 のとき	111
サーバ側の設定	111
クライアント側の設定	113

運 用 編**第8章 用紙について** 117

使用できる用紙	118
使用できない用紙	120
用紙の保管上のご注意	122
用紙のセット	123
給紙トレイに用紙をセットする	123
オプションの給紙カセット(A4・500枚)に 用紙をセットする	126
排紙トレイのセット	129

第9章 オプションについて 131

オプション品のご紹介	132
オプション取り付け上のご注意	136
プリンタ RAM モジュールの取り付けかた	136
プリンタ RAM モジュールを取り付ける	137
プリンタ RAM モジュールを取り外す	139

両面ユニットの取り付けかた	140
両面ユニットを取り付ける	140
両面ユニットを取り外す	143
拡張給紙ユニットの取り付けかた	145
拡張給紙ユニットを取り付ける	146
拡張給紙ユニットを取り外す	149
第 10 章 日常のメンテナンス	151
サプライ用品のご紹介	152
プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項	153
プロセスカートリッジの交換	153
プロセスカートリッジの取り扱いと保管	157
プリンタの清掃	158
プリンタ外部の清掃	158
プリンタ内部の清掃	159
プリンタを長期間使用しないとき	161
プリンタを移動するとき	162
近くに移動する	162
梱包して運搬する	165
第 11 章 オペレータパネルの操作	167
オペレータパネルの見かた	168
液晶ディスプレイの表示内容	169
オペレータパネルを操作する	171
オンライン状態とオフライン状態	171
セットアップの操作	175
基本的な操作	175
セットアップの項目一覧	178
印刷の中止 (プリンタのリセット)	186
未印刷データの強制印刷	187

第 12 章 プリンタドライバの設定	189
設定画面について	190
便利な印刷機能	202
拡大 / 縮小印刷	202
複数ページ割り付け印刷	204
複数部数 / 部単位印刷	208
両面印刷	209
新しいドライバに置き換えるとき (プリンタドライバの削除)	212
第 13 章 添付ソフトウェア (CD-ROM) について	215
Printianavi インストーラ	216
Printianavi の機能概要	218
Printia XL ドライバ	218
ネットワークソフトウェア	219
ソフトウェアマニュアルについて	220
Acrobat Reader のインストール	220
ソフトウェアマニュアルの使い方	221
Acrobat Reader の便利な機能	222
第 14 章 こんなときには	223
紙づまりになったとき	224
紙づまりの取り除きかた	226
故障かなと思ったとき	232
印刷品質が低下したとき	234
メッセージ一覧	239
オペレータパネルのエラーメッセージ	239
エミュレーションモードの使いかた	244
Printia XL ドライバで印刷する	244
エミュレーションモードで印刷する	245
コマンドでエミュレーションモードを切り替える	245
エミュレーションモードを使う上での留意事項	247

ソフトウェアに関するトラブルシューティング	248
セットアップ時のトラブルシューティング	248
運用時のトラブルシューティング	252
ソフトウェアに関する留意事項	262
他の Windows OS から Windows 2000 へ	
アップグレードする場合	262
Windows 2000 環境で使用時の留意事項	263
旧バージョン・レベルとの混在運用について	265
付 錄	267
プリンタの仕様	268
基本仕様	268
インターフェース仕様	270
用紙関係	271
セットアップ項目の補足	273
コマンド(機能コード)一覧	278
ESC/P モードコマンド一覧表	278
ESC/Page モードコマンド一覧表	280
キャラクタコード一覧	283
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	283
ESC/Page モードキャラクタコード一覧表	284
JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	288
JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	291
JIS 漢字コードについてのご注意	294
ネットワーク用語の解説	295
プリンタドライバの入手方法	298
アフターサービスについて	299
修理装置の返却準備 ~お客様へ~	300
索 引	301

セットアップ編



第1章

お使いになる前に



この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

製品の確認（梱包されている製品）	4
CD-ROM の内容	5
各部の名称と機能	6

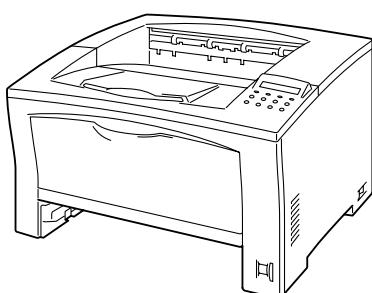
製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

プリンタは、必ず二人以上で持ち運んでください。

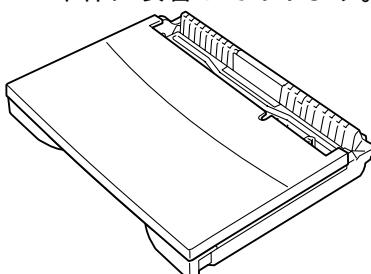
梱包箱

1. プリンタ本体

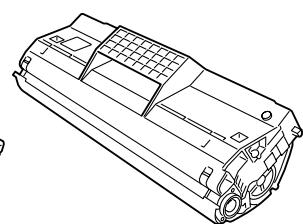


2. 紙力セット
(A3ユニバーサル)

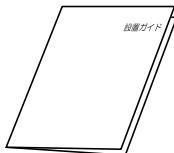
本体に装着してあります。



3. プロセスカートリッジ



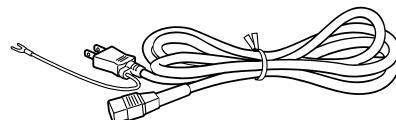
4. 設置ガイド



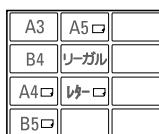
5. 保証書



6. 電源コード

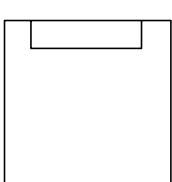


7. 用紙サイズラベル
(プリンタ本体に貼付)



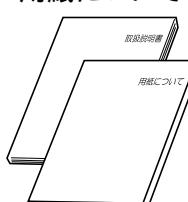
ドキュメントパック

8. CD-ROM



9. 取扱説明書(本書)、10. 修理窓口ラベル

用紙について



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル)は添付されていません。

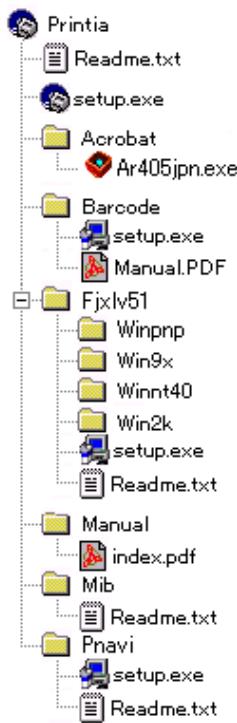
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。(「プリンタケーブルについて」(135ページ)参照)

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

CD-ROM の内容

本プリンタには、「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM が同梱されています。この中に収められているおもなファイルは、次のとおりです。



はじめにお読みください

Printianaviインストーラ

Acrobat Reader 4.05J用フォルダ

- Acrobat Reader 4.05Jインストーラ

かんたんバーコードLite用フォルダ

- かんたんバーコードLiteインストーラ
- かんたんバーコードLiteソフトウェアマニュアル(PDF形式)

Printia XLドライバディスク V5.1用フォルダ

- Windows 2000用プリンタドライバ(プラグアンドプレイ用)
- Windows 95/98/Me用プリンタドライバ
- Windows NT4.0用プリンタドライバ
- Windows 2000用プリンタドライバ
- Printia XLドライバインストーラ
- 説明ファイル

ソフトウェアマニュアル用フォルダ

- ソフトウェアマニュアル (PDF形式)

SNMP/MIB定義ファイル用フォルダ

- 説明ファイル

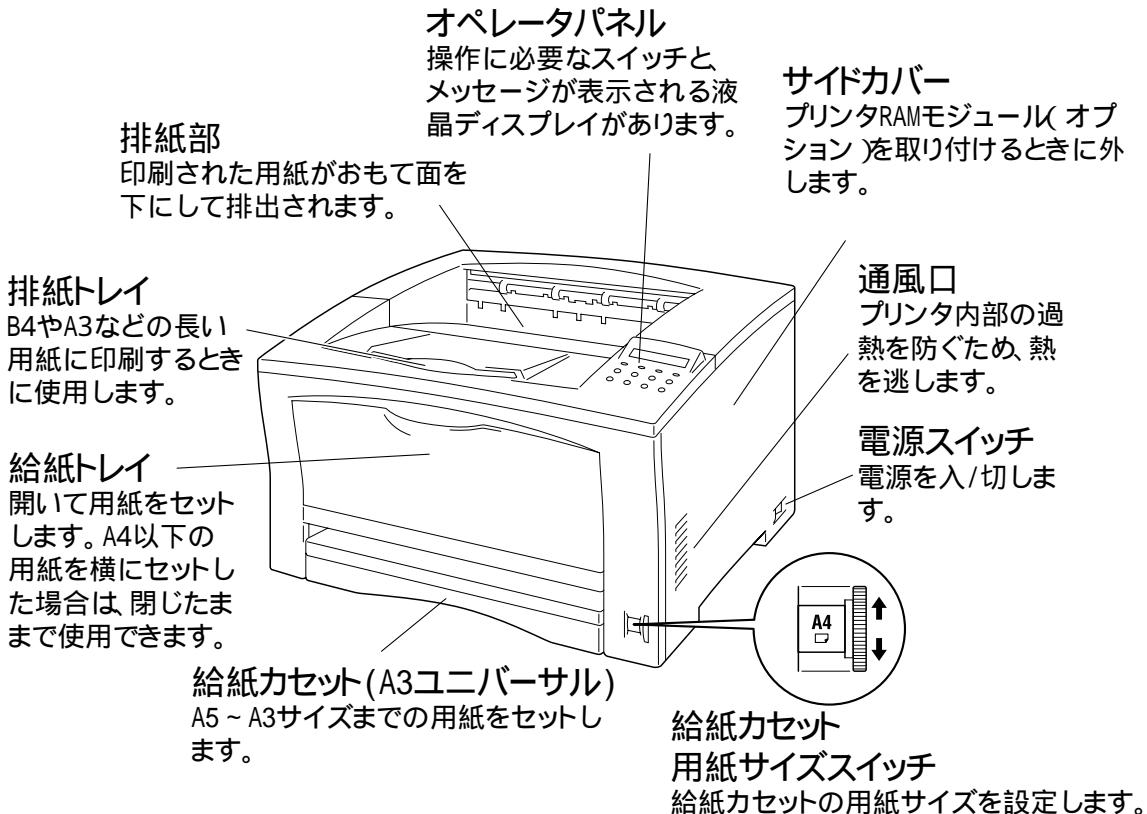
Printianaviネットワークソフトウェア用フォルダ

- Printianaviネットワークソフトウェアインストーラ
- 説明ファイル

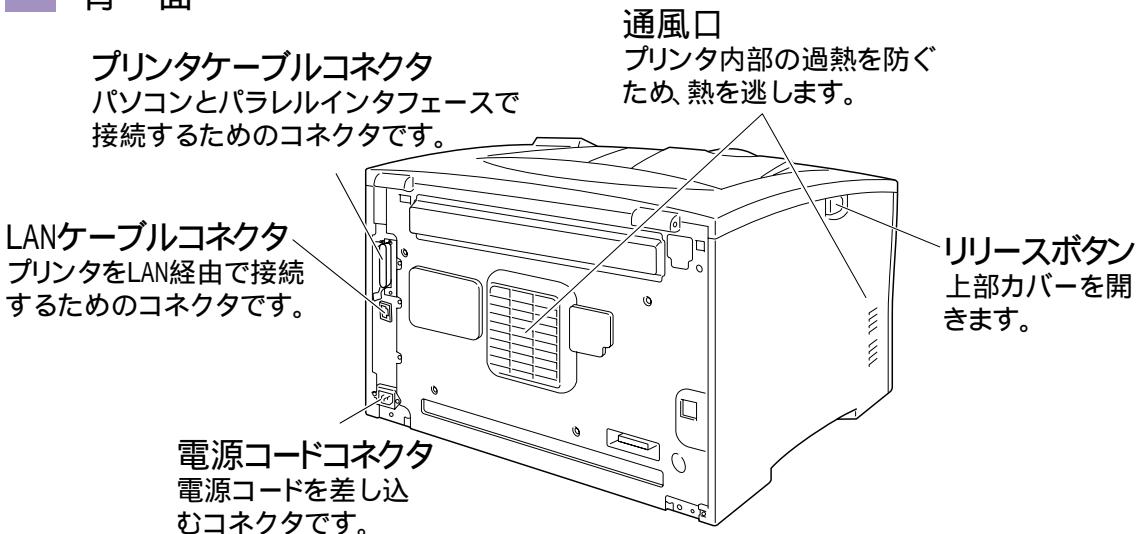
各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

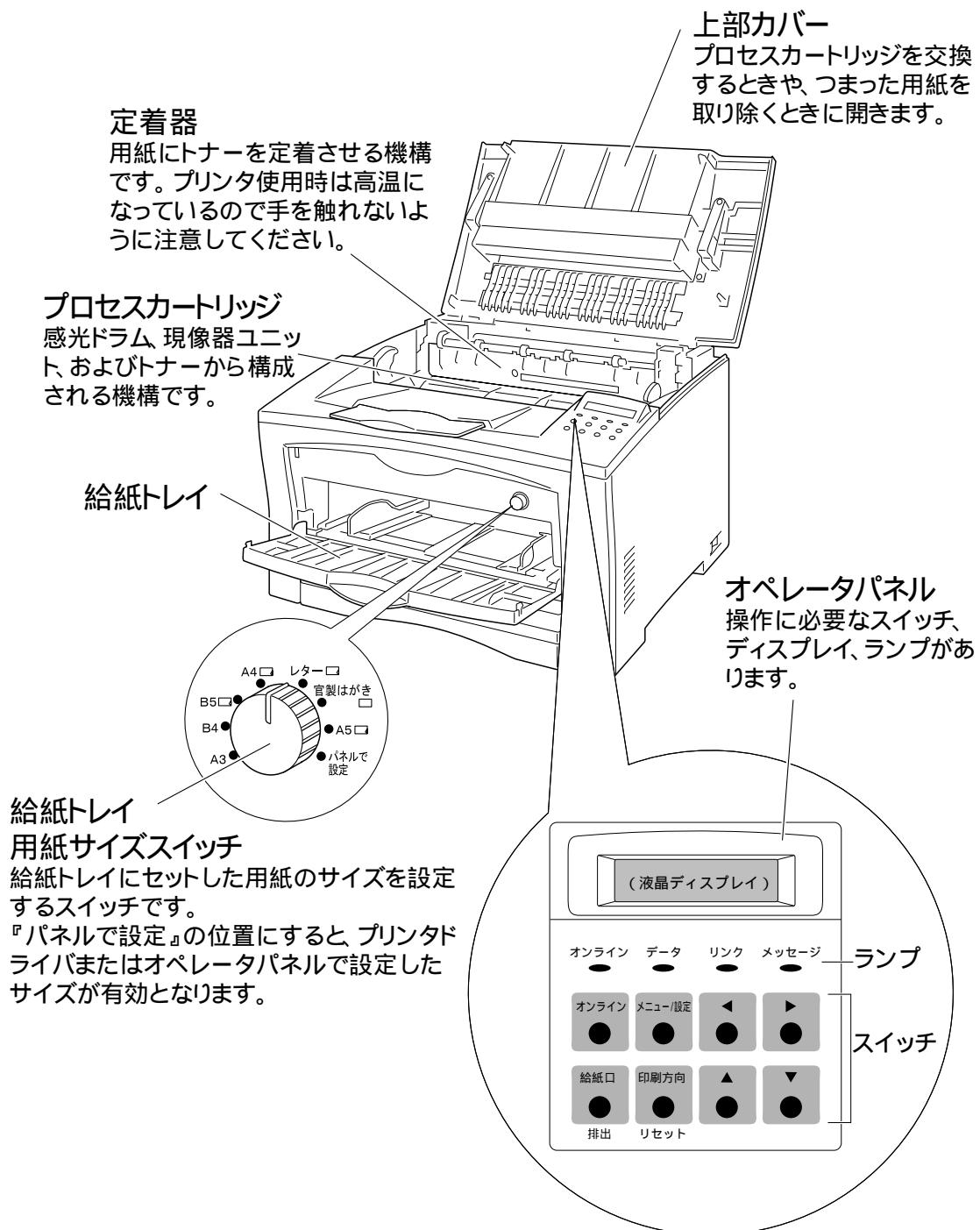
前 面



背 面



内 部



第2章

プリンタの設置



この章では、プリンタを設置し、プリンタ単体で正しく動作することを確認するまでの手順を、順を追って説明します。

設置上のお願い	10
プリンタの寸法	11
設置手順	12
梱包品の確認	12
緩衝具の取り外し	12
プロセスカートリッジの取り付け	13
電源を入れる	15
給紙カセットに用紙をセットする	18
動作の確認	23
設定の一覧を印刷する	23
電源を切る	24

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

温度:10 ~ 32 湿度:15 ~ 85%RH (結露がないこと)

温度32 のときは湿度70%RH以下、湿度が85%RHのときは温度28以下でご使用ください。

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

サーバ接続などによりプリンタの24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策(耐震対策、煙探知機、温度センサーなど)が施された場所に設置してください。

また、防災管理者(警備員、管理人など)が建物内に待機していることも必要です。

プリンタを前後左右に5°以上傾けないでください。

トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・プリンタとラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・プリンタとラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・プリンタとラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

お願い

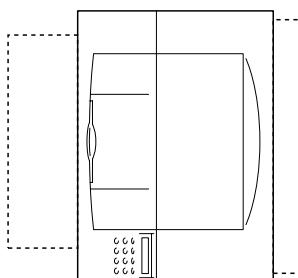
- 超音波加湿器をご使用のお客様へ -

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

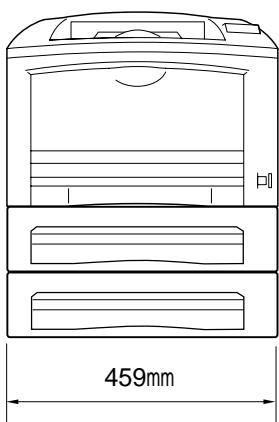
プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

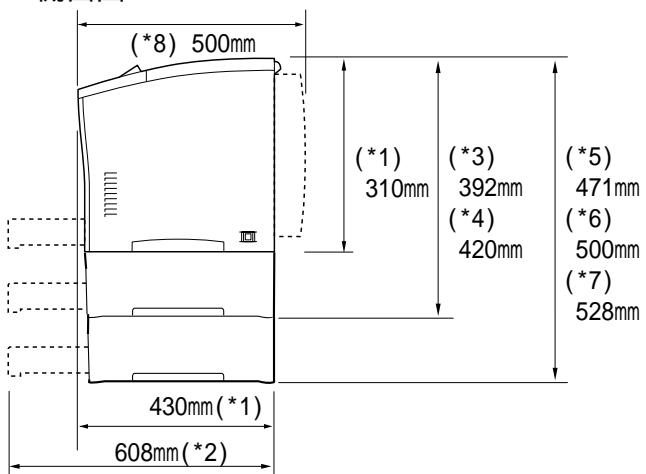
< 上面図 >



< 正面図 >



< 側面図 >



*1: 標準構成時

*2: 紙給紙ユニット延長時

*3: 拡張紙給紙ユニット -A を 1 段搭載時

*4: 拡張紙給紙ユニット -B を 1 段搭載時

*5: 拡張紙給紙ユニット -A を 2 段搭載時

*6: 拡張紙給紙ユニット -A と 拡張紙給紙ユニット -B を搭載時

*7: 拡張紙給紙ユニット -B を 2 段搭載時

*8: 両面ユニット搭載時



火災 プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。(「安全上のご注意」(ii ページ)参照)

けが 設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

設置手順

プリンタは、次の手順で設置してください。

● **ガイド** 本プリンタのオプションには、「プリンタ RAM モジュール」「両面ユニット」「拡張給紙ユニット」があります。

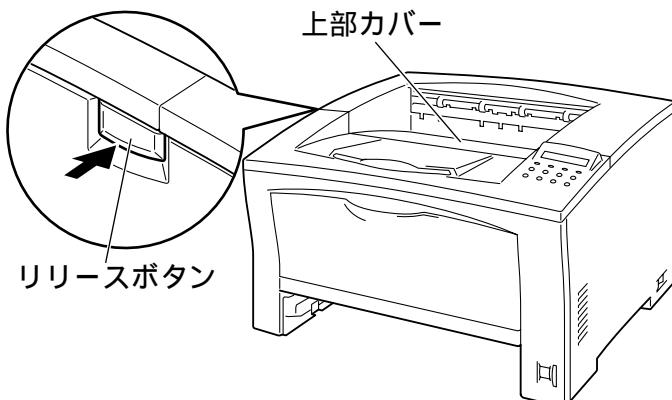
 **参考** オプションの取り付けについては、「第9章 オプションについて」(131ページ) 参照

梱包品の確認

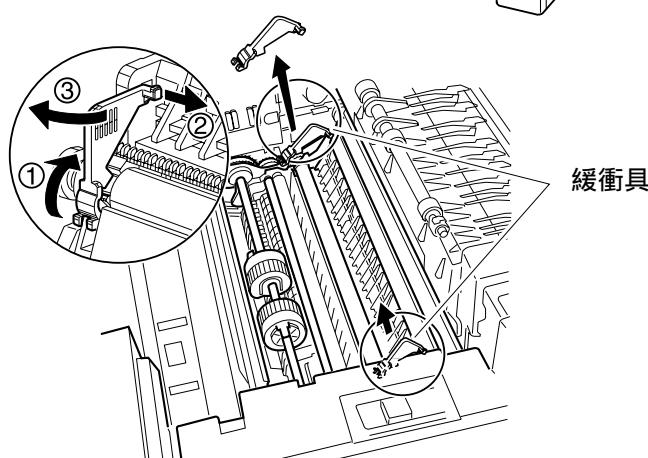
製品がすべて揃っていることを確認してください。

梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」(4ページ)に記載してあります。

緩衝具の取り外し



1 リリースボタンを押して、上部カバーを開ける



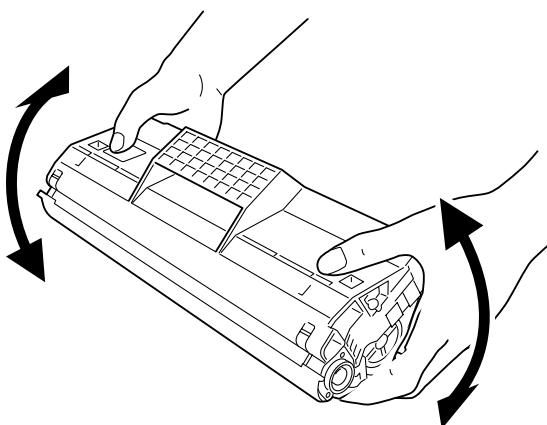
2 緩衝具と段ボールを取り外す

オレンジ色の緩衝具(2ヶ所)を上に引き上げ()、内側にずらしてから()引き抜きます()。次に、紙送りローラを保護する段ボールを取り外します。

▼ プロセスカートリッジの取り付け

プロセスカートリッジの取り付けは、プリンタの上部カバーを開き、次の手順で行います。

 **参考** プロセスカートリッジの交換、および使用上の注意事項については、「プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項」(153ページ)参照

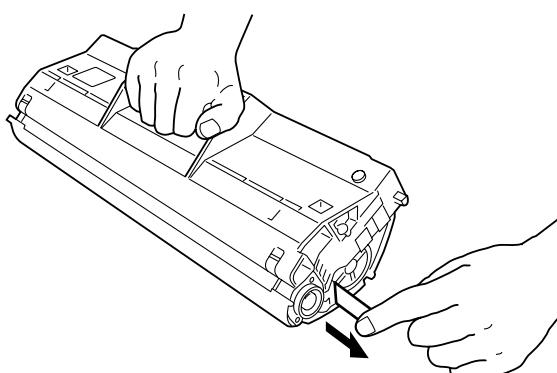


1 トナーを均一にするため、プロセスカートリッジを振る

図のように7~8回振ります。トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。

▶ お願い

感光体(ドラム)の表面には、絶対に手を触れないでください。



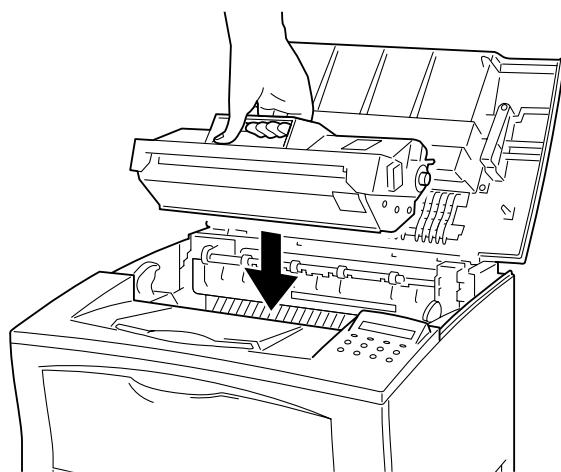
2 トナーシールを引き抜く
プロセスカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールをゆっくり水平に引き抜きます。

▶ お願い

トナーシールを抜くときには、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でトナーシールが切れてしまうことがあります。

トナーシールは、引き抜くと全長約66cmです。

トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。



3 プロセスカートリッジを挿入する

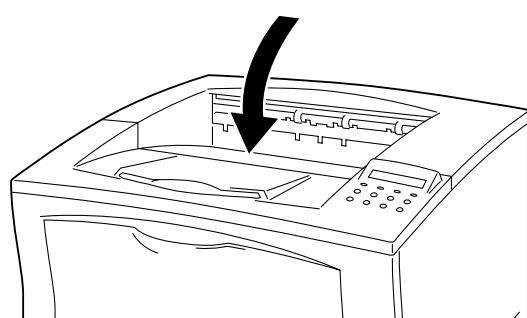
プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プロセスカートリッジの両側にある突起をプリンタ内部の溝に合わせます。

お願い

- ・プリンタ内部の部品には手を触れないでください。
- ・プロセスカートリッジ挿入時は、カートリッジがプリンタ内部に当たらないように静かに入れてください。

4 プロセスカートリッジを確実にセットする

プロセスカートリッジを奥まで押し込み、確実にセットされたことを確認します。



5 上部カバーを確実にロックする

上部カバーを元に戻し、カバー中央を押して確実にロックします。

お願い

- 上部カバーが確実にロックされたことを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

▼ 電源を入れる

電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

電源コードの接続

次の手順で、電源コードを接続します。

本プリンタの電圧定格値は、AC100Vです。

上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

⚠ 警告

感電 電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「**」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。**

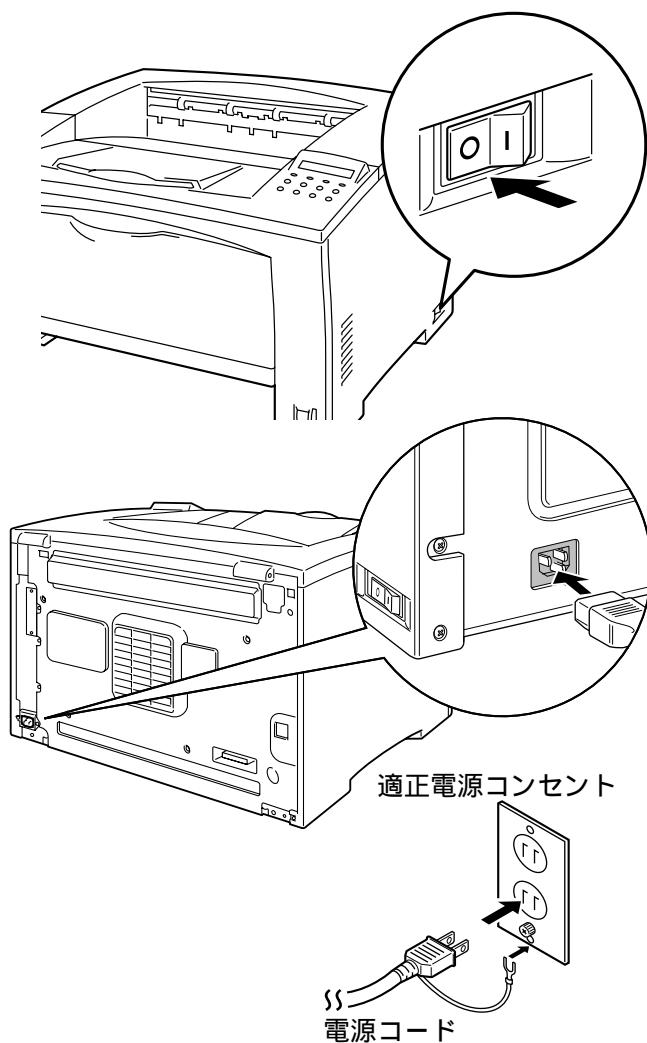
火災 電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。

感電 危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（火災や爆発の危険があります）
- ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになってい る場合はアースの役目を果たしません）

感電 プリンタや他の機器の上にプリンタをのせないでください。

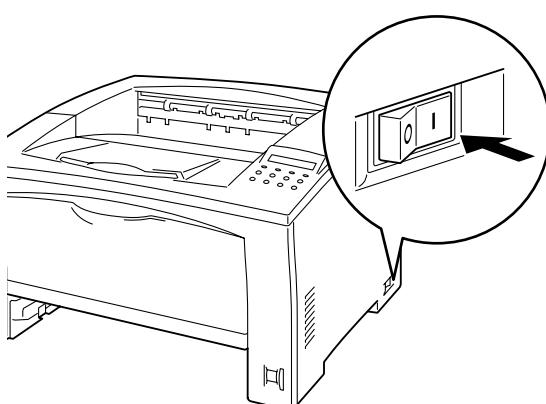
電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因となります。



1 スイッチがオフ('0'側)
であることを確認する
電源スイッチが「0」側に倒れ
ていることを確認します。

2 電源コードを接続する
電源コードをプリンタ背面にあ
るコネクタに差し込みます。

■ 電源スイッチをオンにする



電源スイッチを「I」側に倒し
て電源を入れます。

■ プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認

電源を入れると、オペレータパネルの「オンライン」「データ」「リンク」「メッセージ」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

ショキシンタンチュウ

初期診断中を示します。

メモリ ヨウリョウ

X L - 5 3 4 0 x x M B

メモリの総容量を示します。

ファーム ロード チュウ

× × × × × × × × × × × ×

ファームロード中を示します。

下段にMACアドレスを表示します。

初期化動作およびファームロード動作に約60秒程度かかりますので、そのままお待ちください。

カセット ナシ

カセット ヲ イレテ クタ サイ



電源を入れても、液晶ディスプレイや「オンライン」ランプが点灯しないときは、「オペレータパネルのエラーメッセージ」(239ページ) 参照

▼ 紙給装置に用紙をセットする

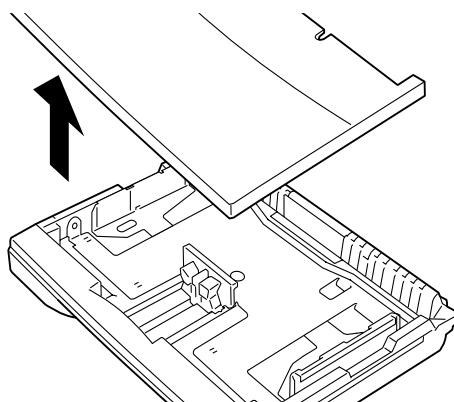
ここでは、用紙を紙給装置にセットする手順について説明します。

お願い

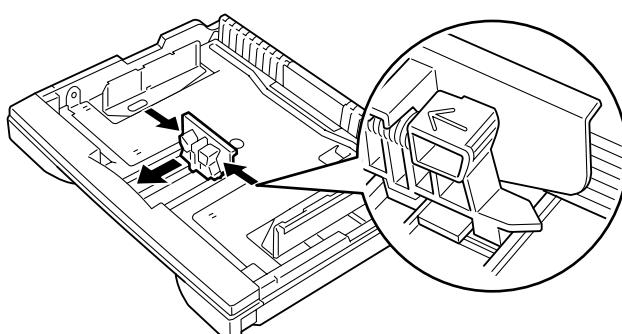
官製はがき、厚紙(重量90g/m² ~ 135g/m²)、OHPフィルム、ラベル紙、不定形用紙は、紙給装置からは印刷できません。紙トレイから印刷してください。

ガイド

- ・拡張紙給装置ユニット(オプション)が装着されている場合は、紙給装置を、本体、拡張紙給装置ユニットのどちらにもセットできます。
- ・異なるサイズの用紙を、同時に1つの紙給装置にセットすることはできません。

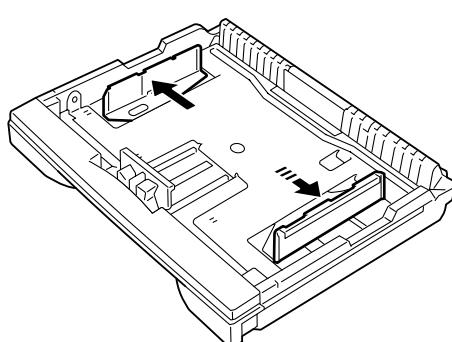


1 紙給装置のフタを開ける



2 縦ガイドクリップを外側にずらす

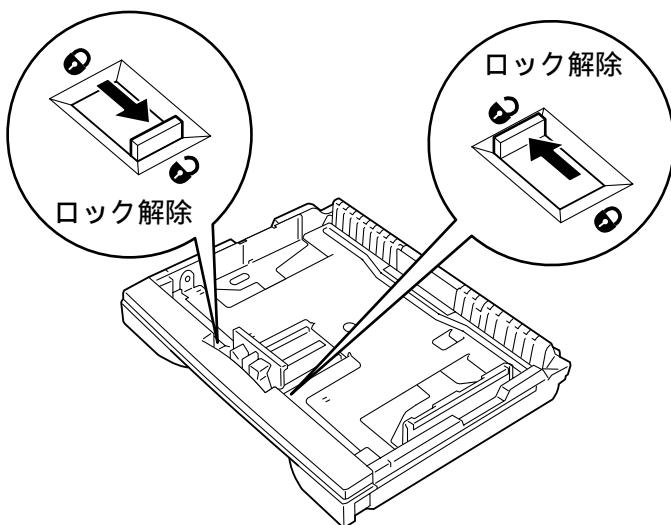
縦ガイドクリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら、外側にずらします。



3 横ガイドクリップを外側にずらす

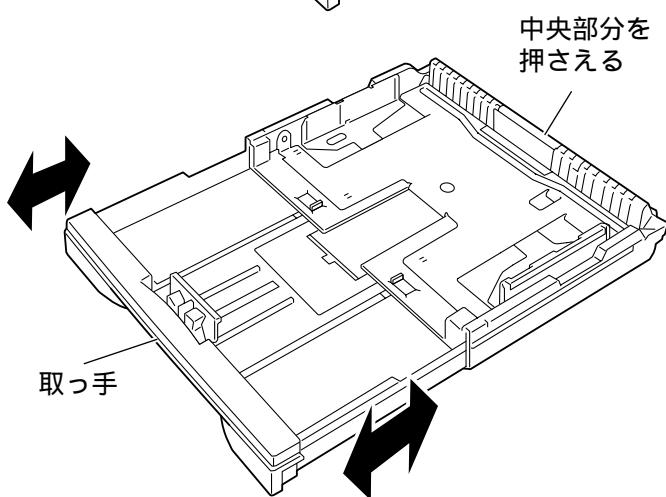
横ガイドクリップを指でつまみながら、外側にずらします。

A4の用紙で印刷する場合は、手順5に進んでください。



4 A4以外の用紙サイズに合わせて給紙カセットのサイズを変更する

- 1 紙給紙カセットの左右の突起部を内側に動かしてロックを解除する

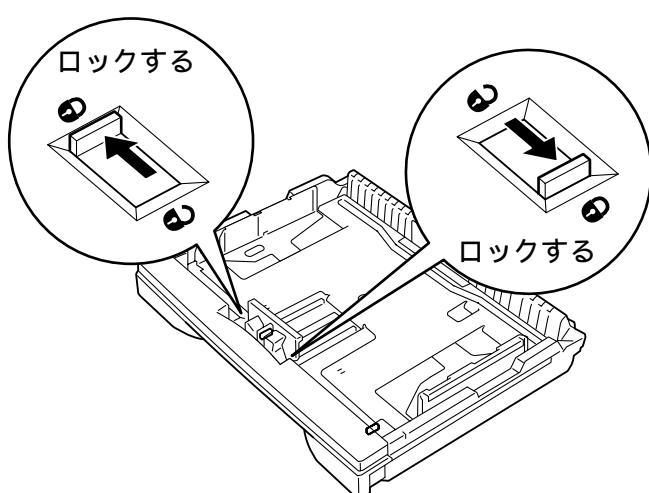


2 紙給紙カセットの長さを用紙サイズに合わせる

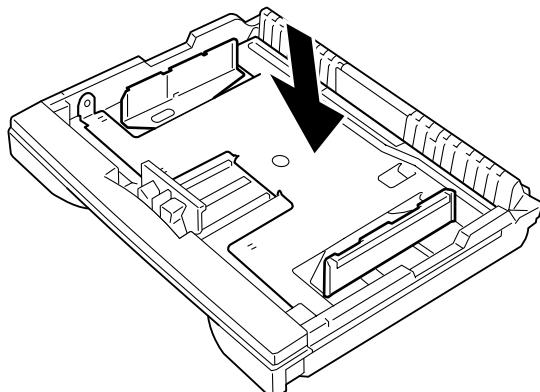
給紙カセット奥側の中央部分を押さえ、取っ手を引いて長さを調節してください。

・B4、A3、リーガルサイズの用紙をセットするときは、給紙カセットを最大の長さに引き伸ばします。

・A5からレターまでの短いサイズの用紙をセットするときは、給紙カセットを最小に縮めて使用します。

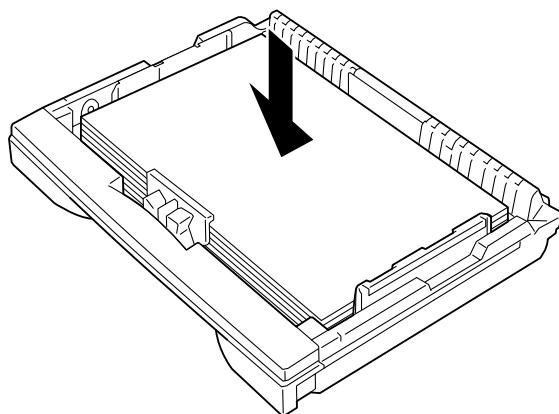


3 紙給紙カセットの左右の突起部を外側に動かしてロックする



5 紙給紙カセットの中の金属板をロックする

紙給紙カセットの中の金属板が上がっている場合は、手で下げて、上に浮き上がらないようにロックします。



6 用紙をセットする

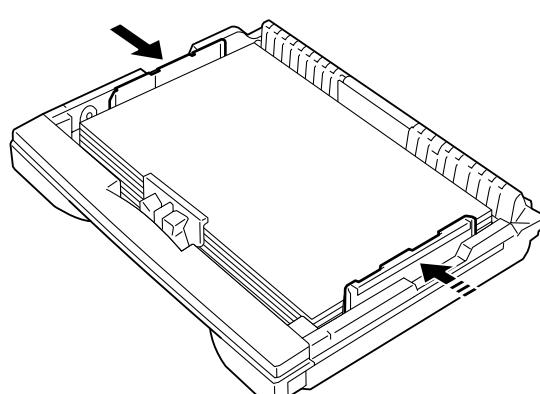
用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、カセットの中央に入れます。

お願い

- ・折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。
- ・横ガイドのラベルの線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。
- ・用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。
- ・A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。
- ・A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。
- ・一度セットしたら、用紙はつぎ足さないでください。二重送りの原因になります。

ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約250枚(64g/m²の場合)です。

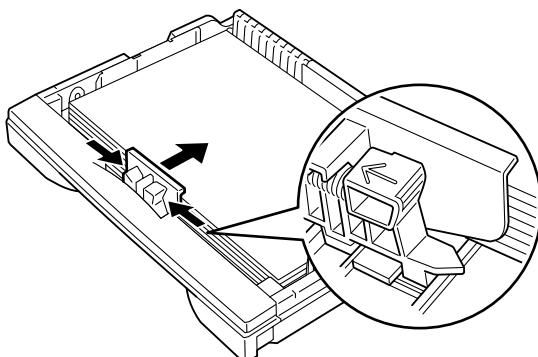


7 横ガイドクリップを用紙の幅に合わせ、用紙の端を揃える

横ガイドクリップを指で押しながらずらし、用紙の幅に合わせます。

お願い

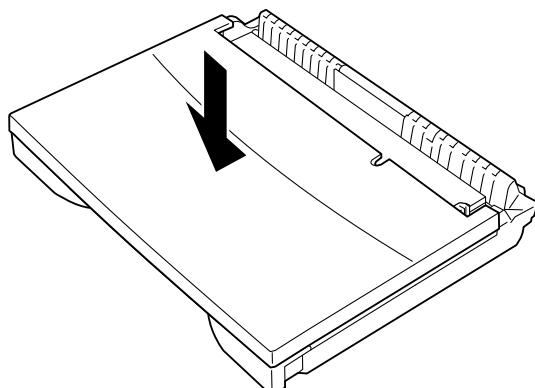
用紙が左右のツメの下にあることを確認してください。



8 用紙の端をそろえ、縦ガイドクリップを用紙サイズ目盛りに合わせる

▶お願い

- 用紙の端は縦ガイドクリップのツメの下に入れてください。
- 縦ガイドクリップのストップバーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。



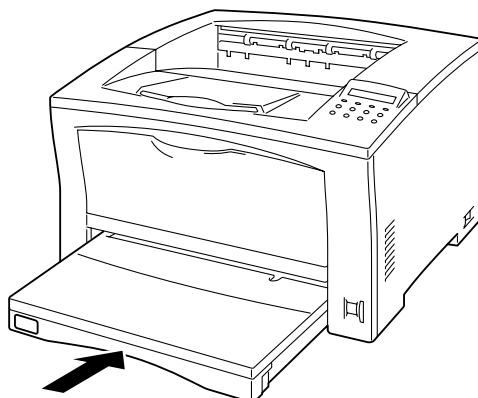
9 紙給料セットのフタを閉める

▶お願い

- ほこりの付着を防ぐため、フタは必ず閉めてください。



●ガイド 必要に応じ、プリンタに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。

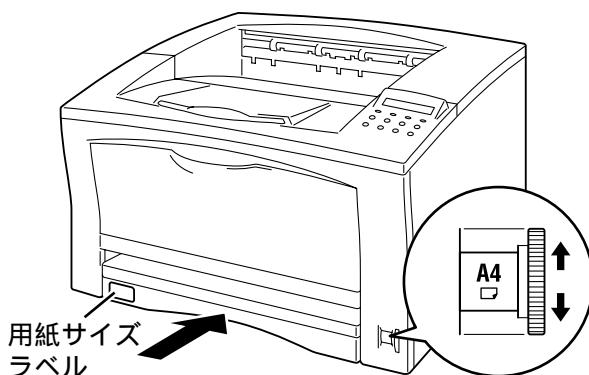


10 紙給紙カセットをプリンタに押し込む

紙給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかりと押し込まれていることを確認してください。

▶ お願い

- ・セットされていない紙給紙カセットがあると、『カセットナシ』と表示されます。必ずすべての紙給紙カセットをセットしてください。
- ・紙給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。



11 用紙サイズを設定する

紙給紙カセットの用紙サイズスイッチを、設定した用紙のサイズと向きに合わせます。

ガイド

印刷中は、用紙サイズスイッチを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。用紙の向きは、用紙を縦長にセットしたときが「縦」、用紙を横長にセットしたときが「横」です。図はA4横にセットした例です。

□がついているサイズは、用紙を横長にセットしてください。

動作の確認

プリンタを設置したら、プリンタが正しく動作するかを、プリンタ単体で確認します。

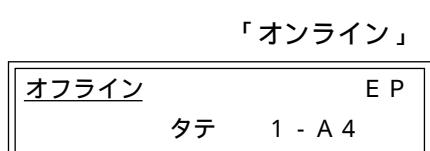
▼ 設定の一覧を印刷する

次の操作で設定の一覧を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。



- 1 オンライン状態であることを確認する

オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」メッセージが表示されていることを確認します。

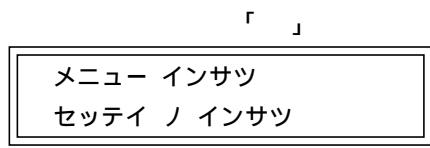


- 2 プリンタをオフライン状態にする

「オンライン」スイッチを押して、プリンタをオフライン状態にします。



- 3 「メニュー / 設定」スイッチを押し、セットアップモードにする



- 4 「▼」スイッチを1回押す

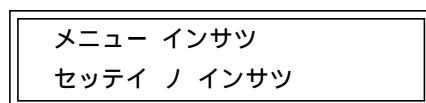
「メニュー / 設定」
印刷開始

- 5 「メニュー / 設定」スイッチを押す

設定の一覧の印刷が開始されます。

6 印刷状態を確認する

印刷終了



正常に印刷されないときは、「こんなときには」(223ページ)を参照してください。

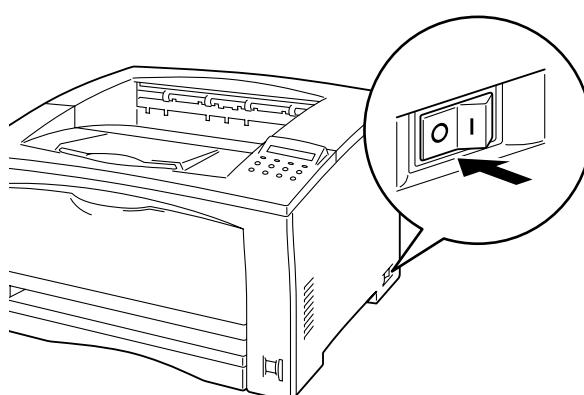
「オンライン」を
2回押す



7 「オンライン」スイッチ を2回押して、オンライン 状態に戻す

印刷が終わったら、「オンライン」スイッチを2回押して、印刷を行う前の状態に戻します。

電源を切る



電源を切るときは、電源スイッチをオフ(''側)に倒します。

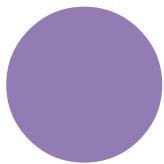
電源が切斷されると、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、「紙づまりになったとき」(224ページ)を参照して、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

第3章

外部との接続



この章では、プリンタをパソコンまたはLANに接続する方法について説明します。

インストールの手順と設定の概要	26
パソコンとのローカル接続	28
接続のしかた	29
LAN ケーブルの接続	30
接続のしかた	30
LAN に接続するときの注意事項	31
パソコンと LAN の両方に接続するときの注意事項 ..	32

インストールの手順と設定の概要

プリンタの設置が終わったら、パソコンまたはLANと接続し、印刷するために必要な設定を行います。

プリンタの接続・運用形態によって手順が異なりますので、次の図を参考し、必要な設定を行ってください。

設定は①プリンタ②サーバまたはパソコン(管理者)③クライアントまたはパソコンの順に行ってください。



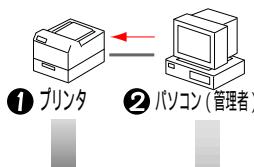
接続・運用形態は、お使いの環境にあわせて以下を目安に選択してください。

- ・プリンタケーブルで接続 1台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用にIPアドレスを使いたくない場合
- ・LANケーブルで接続 プリンタの設置場所が自由、データの転送速度が高速、またインターネットを利用して印刷する場合

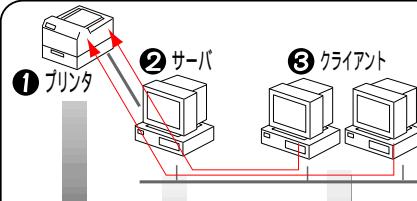
サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。

▶ プリンタケーブルで接続するとき

1台のパソコンからのみ印刷



サーバ経由で印刷



参照 「第3章 外部との接続」
パソコンとのローカル接続 28ページ

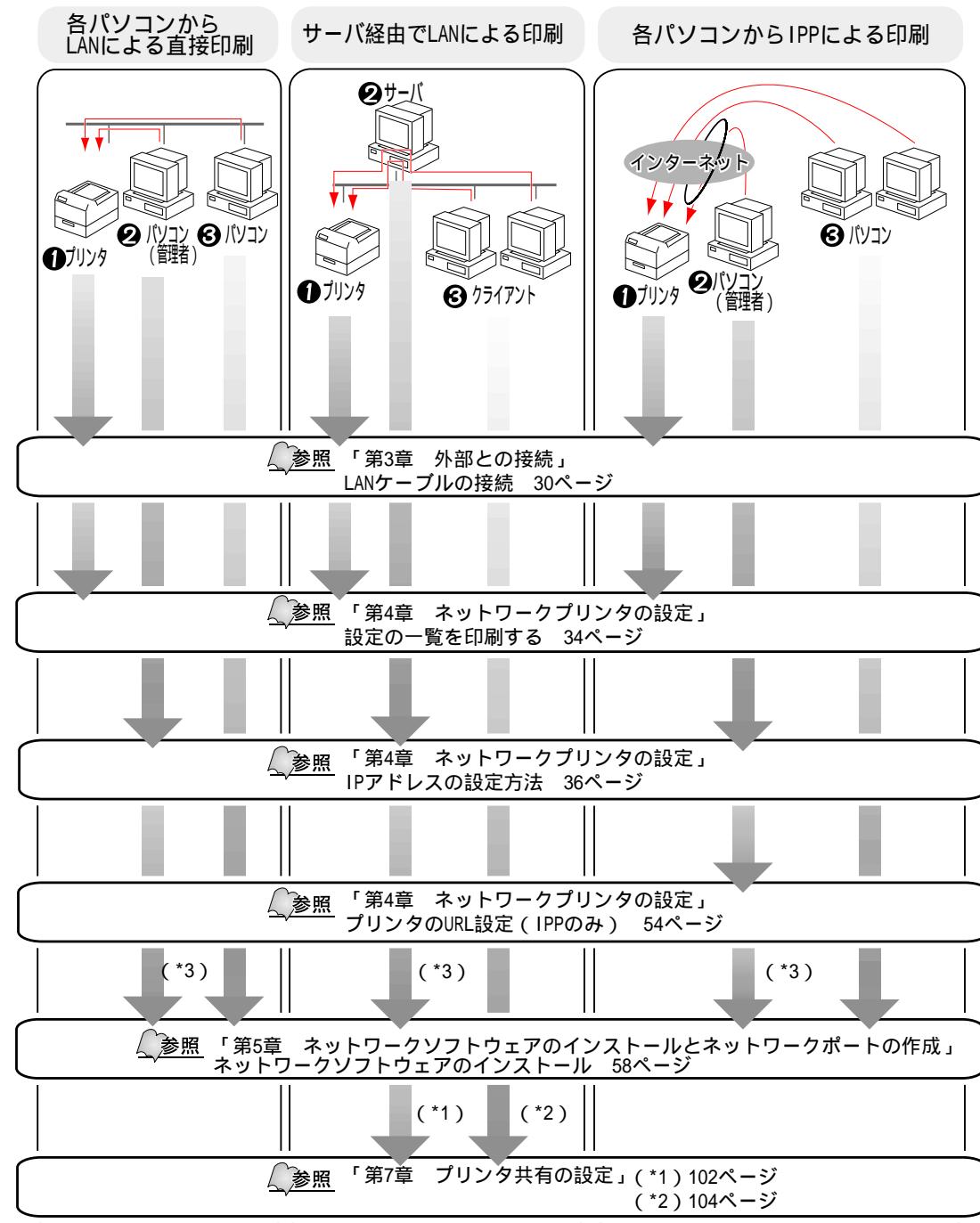
参照 「第6章 プリンタドライバのインストール」
プリンタドライバのインストール 96ページ

参照 「第7章 プリンタ共有の設定」(*1) 102ページ
(*2) 104ページ

*1 OSによりサーバ側の共有設定方法が異なります
Windows 95/98/Meのとき 102ページ
Windows 2000のとき 105ページ
Windows NT4.0のとき 111ページ

*2 OSによりクライアント側の共有設定方法が異なります
Windows 95/98/Meのとき 104ページ
Windows 2000のとき 108ページ
Windows NT4.0のとき 114ページ

▶ LANケーブルで接続するとき



*3 IPアドレスをネットワークソフトウェアによって設定した場合は、この手順は不要です。
IPPについての詳細は、「ネットワーク用語の解説」(295ページ)を参照してください。

パソコンとのローカル接続

本プリンタは、セントロニクス準拠のパラレルインターフェースを標準装備しています。パラレルインターフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

⚠️ 警告

感電 プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠️ 注意

故障 ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

▶ お願い

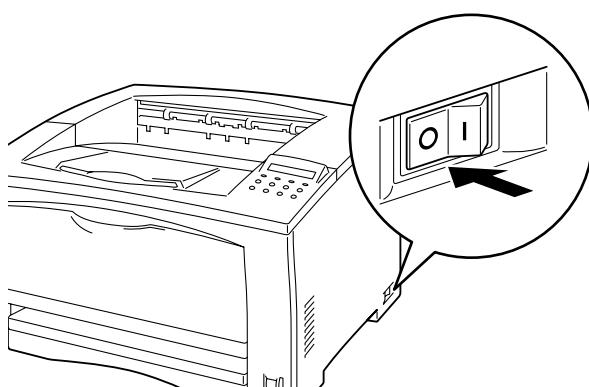
- ・プリンタケーブルについては、次の制約があります。
 - ・パソコンとプリンタの接続には、シールドされたプリンタケーブルをお使いください。
 - ・ケーブルの長さは、1.5メートル以下のものをお使いください。
- ・本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。



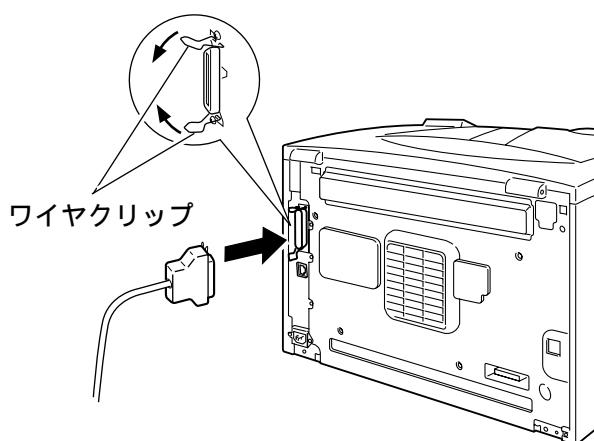
「プリンタケーブルについて」(135ページ)参照

▼接続のしかた

プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



- 1 プリンタとパソコンの電源の切断を確認する
電源スイッチが「I」側に倒れている状態です。



- 2 プリンタケーブルを接続する

プリンタケーブルをプリンタ背面にあるプリンタケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。
パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

パソコンとの接続が終わりましたら、プリンタドライバをCD-ROMからインストールしてください。

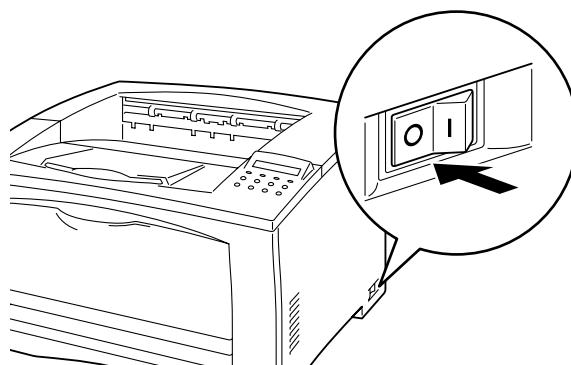
 参照 「第6章 プリンタドライバのインストール」(95ページ)参照

LAN ケーブルの接続

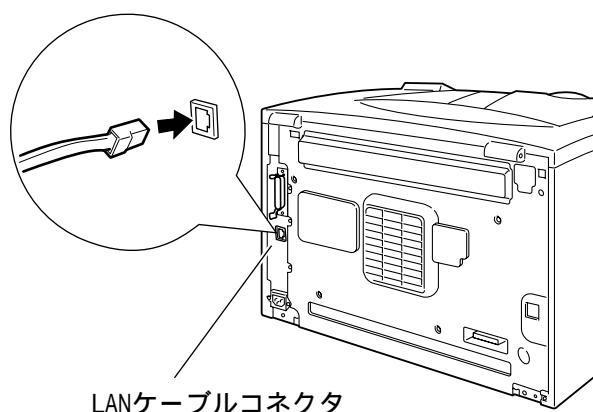
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、XL-5340 とハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。

100BASE-TX対応のハブユニットに接続して100Mbpsでご使用になる場合には、必ずカテゴリー5のツイストペアケーブルをご使用ください。

▼ 接続のしかた



1 プリンタの電源の切断を確認する
電源スイッチが「I」側に倒れている状態です。



2 LAN ケーブルを接続する
LANケーブルを、プリンタ背面にある LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

LAN ケーブルの接続が終わりましたら、設定の一覧を印刷をしてください。

 [「設定の一覧を印刷する」\(34 ページ\) 参照](#)

▼ LAN に接続するときの注意事項

LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニットまたはプリンタ側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。

本プリンタの Ethernet タイプは、「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、セットアップの「LAN設定」にある「Ethernet タイプ」で変更します。(セットアップについては、「セットアップの操作」(175 ページ)参照)

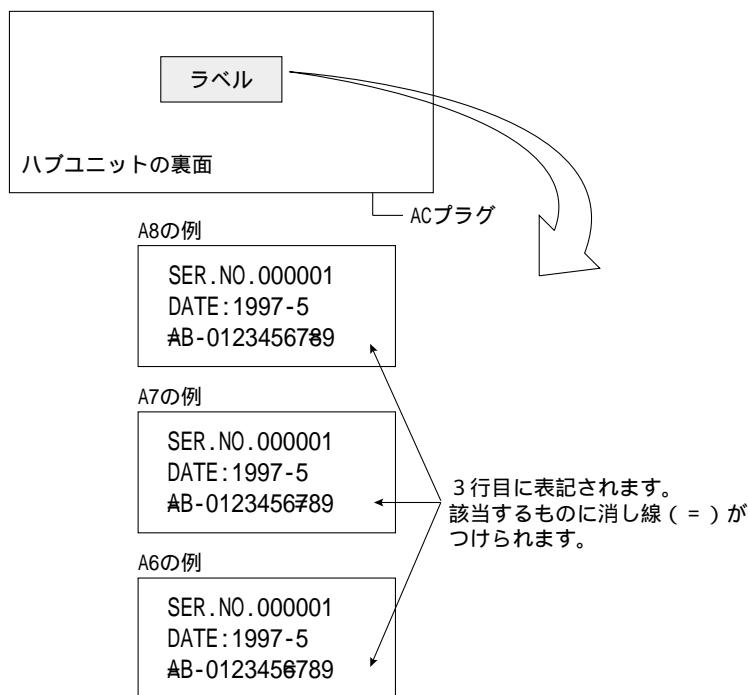
ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。

- ・ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
- ・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、ハードウェア修理相談センター(299 ページ参照)にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。

ラベルの位置…ハブユニットの裏面の次に示す場所にあります。



▼ パソコンと LAN の両方に接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう1台のパソコンをパラレルポートに接続することができます。

パラレルポートと LAN ポートの両方にプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- ・片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。2つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷ラー」などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- ・Printianavi を利用している場合、一方のパソコンから印刷中のときは、もう一方のパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
一方のパソコンからの印刷が終了すると、もう一方のパソコンからの印刷を自動的に再開します。
- ・Printianavi および Printianavi ネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンから LAN 経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
- ・片方のポートで未印刷データがある場合、もう一方のポートには切り替わりません。

► お願い

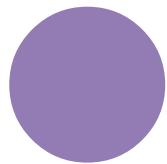
パラレルポートから印刷している間は、プリンタから LAN ケーブルを抜き差ししないでください。



ポートの切り替え時間は、「セットアップの操作」の「補助機能設定」の「ポート切替時間」(183 ページ) 参照

第4章

ネットワークプリンタの設定



この章では、プリンタをネットワークプリンタとして設定するために管理者が行う操作について説明します。

ネットワークプリンタの準備	34
電源を入れる	34
設定の一覧を印刷する	34
IP アドレスの設定方法	36
設定方法の種類	36
DHCP によるアドレス自動取得	37
オペレータパネルによる設定 (LAN セットアップモード)	39
ネットワークソフトウェアによる設定	42
プリンタの URL 設定 (IPP のみ)	54

ネットワークプリンタの準備

ここでは、本プリンタをネットワークプリンタとして設定する前に必要な準備について説明します。

電源を入れる

電源スイッチを「|」側に倒して、プリンタの電源を入れます。

設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、ネットワークプリンタとして設定するために必要な情報を印刷します。

オンライン状態

「オンライン」

オフライン	E P
タテ 1 - A 4	

「メニュー／設定」

セットアップ。
▶メニュー インサツ

「」

メニュー インサツ
セッティ ノ インサツ

「メニュー／設定」

セッティ ノ インサツ
インサツチュウ

印刷終了

メニュー インサツ
セッティ ノ インサツ

1 プリンタをオフライン状態にする

「オンライン」スイッチを押して、プリンタをオフライン状態にします。

2 「メニュー／設定」スイッチを押し、セットアップモードにする

3 「」スイッチを押す

4 「メニュー／設定」スイッチを押す

設定の一覧が印刷されます。

- 5 「オンライン」スイッチ
を2回押して、オンライン状態に戻す



引き続き、「IP アドレスの設定方法」(36 ページ) に進んでください。

IP アドレスの設定方法

ここでは、本プリンタに IP アドレスを設定する方法について説明します。

▼ 設定方法の種類

本プリンタに IP アドレスを設定する方法には、次の3つがあります。
ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

- ▶ **DHCP によるアドレス自動取得 (37 ページ)**
プリンタの電源投入時に DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得します。DHCP サーバのある環境では、最も簡単な方法です。
- ▶ **オペレータパネルによる設定 (LAN セットアップモード) (39 ページ)**
プリンタのオペレータパネルから直接操作を行います。
プリンタ単体で設定することができます。
- ▶ **ネットワークソフトウェアによる設定 (42 ページ)**
添付のCD-ROMに収められているネットワークソフトウェアを使用して、IP アドレスを設定します。

▼ DHCPによるアドレス自動取得

ここでは、DHCPによってIPアドレスを自動的に取得する方法について説明します。

■ 準 備

IPアドレスを取得する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内 容
設定の一覧	プリンタの設定情報の一覧です。オペレータパネルの操作で印刷しておきます。(「ネットワークプリンタの準備」(34ページ)を参照)
IPアドレス	プリンタに設定するIPアドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	DHCPサーバとプリンタを、ネットワーク上に接続してください。

■ 設定方法

- 1 設定の一覧を確認し、必要ならばプリンタ側の設定を行う次の設定になっているか確認します。

項 目	設定値
ネットワーク基本情報	TCP/IP設定 = 有効
TCP/IP設定	DHCP自動取得 = 設定



工場出荷時の初期値は上記の設定になっていますので、通常、設定は不要です。設定が必要な場合は、「オペレータパネルによる設定」(39ページ)を参照してください。

2 DHCP サーバの設定を行う

DHCP マネージャを開いて [スコープ] の [作成] を選択し、次の項目を設定してください。

- ・開始アドレス
- ・終了アドレス
- ・サブネットマスク
- ・リース期間(無期限を推奨)

設定が終わったら、[スコープ] をアクティブにします。

割り当てる IP アドレスを固定したいときは、続けて [スコープ] の [予約の追加] を選択し、次の項目を設定します。

- ・IP アドレス 設定したい IP アドレス
- ・一意の ID MAC アドレス(設定の一覧のネットワーク基本情報に印刷されています。半角英数字12文字で入力してください。)
- ・クライアント名 ... 任意の名前

設定が終わったら、[追加] を選択して終了します。

3 プリンタの電源を再投入する

プリンタがネットワークに接続されていることを確認し、電源を入れなおしてください。

以上で、DHCP によるアドレスの自動取得は終了です。

以降の操作は、接続運用形態にあわせて進んでください。



LANによる印刷を行いたいとき

「ネットワークソフトウェアのインストール」(58ページ)参照



IPPによる印刷を行いたいとき

「プリンタの URL 設定 (IPPのみ)」(54ページ)参照



LPR印刷を行いたいとき (Windows 2000/NT4.0、NetWare5)

「LPR印刷の設定」(88ページ)参照

▼ オペレータパネルによる設定

(LAN セットアップモード)

ここでは、プリンタのオペレータパネルでIPアドレスを設定する方法について説明します。

■ 準 備

プリンタのオペレータパネルでIPアドレスを設定をする前に、次のことを確認してください。

確認事項	内 容
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。

■ 設定方法

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチを「|」側に倒し、プリンタの電源を入れ、「オンライン」表示にします。

2 プリンタを「LAN セットアップモード」にする

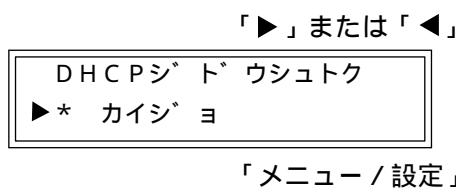
オペレータパネルで「メニュー／設定」スイッチを押して LAN セットアップモードへ移行します。

オンライン状態	「メニュー／設定」
TCP / IP セッティ	「DHCPジドウシユトク」
▶DHCPジドウシユトク	

「メニュー／設定」スイッチを押して「DHCPジドウシユトク」と表示し、「」スイッチを押します。

「▼」

3 DHCP自動取得を設定／解除する



「▶」または「◀」スイッチを押して設定したい値を表示します。「メニュー / 設定」スイッチを押すと「*」が表示され、値が設定されます。初期設定は「*セッティ」です。

IPアドレスの設定方法によって次のように設定してください。

設定値	IPアドレスの設定方法
カイジヨ	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレータパネルから設定するとき 「*カイジヨ」にしないとオペレータパネルにIPアドレスを設定する画面は表示されません。
セッティ	<ul style="list-style-type: none"> ・DHCPによる自動取得のとき ・IPアドレス設定ユーティリティを使うとき

「▲」



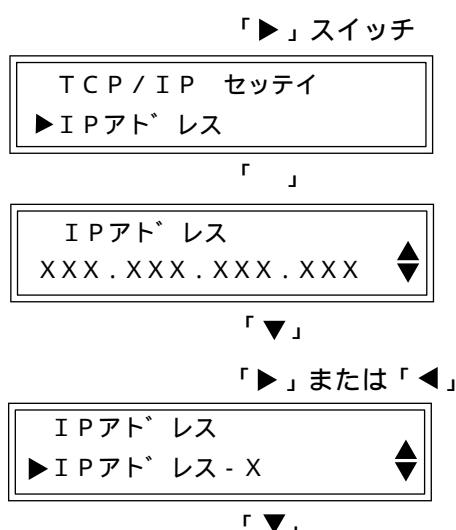
「▶」スイッチを押して手順2の表示に戻します。

「カイジヨ」に設定したとき 手順4に進んでください。

「セッティ」に設定したとき 手順5(41ページ)に進んでください。

4 IPアドレスを設定する

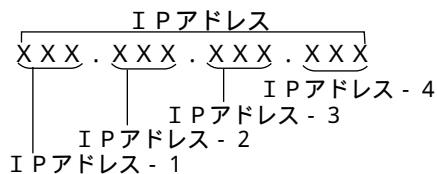
(手順3で「カイジヨ」に設定したとき)



「▶」スイッチを押して「IPアドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。

現在の設定を確認して「」スイッチを押します。

「▶」または「◀」スイッチを押してIPアドレスを変更するブロック(IPアドレス1～4)を選択して「」スイッチを押します。



「▶」または「◀」

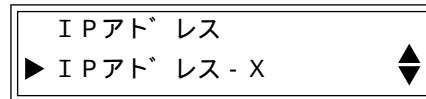


「メニュー / 設定」

「▶」または「◀」スイッチを押して値を設定し、「メニュー / 設定」スイッチを押します。

「▶」(「◀」)スイッチを押し続けると最大値(最小値)で止まり、再度「▶」(「◀」)を押すと最小値(最大値)を表示します。

「▲」



「▲」スイッチを押して の表示に戻します。

ブロックごとに ~ の操作を繰り返します。

「▲」



「▲」スイッチを押して の表示に戻し、設定値を確認します。

サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して手順 の表示に戻した後「▶」「◀」スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で ~ の操作を行ってください。

5 設定を終了する

設定が終わったら「オンライン」スイッチを押します。

プリンタの初期化が行われ、設定値が反映されます。

以降の操作は、接続運用形態にあわせて進んでください。



LANによる印刷を行いたいとき

「ネットワークソフトウェアのインストール」(58ページ)参照



IPPによる印刷を行いたいとき

「プリンタのURL設定(IPPのみ)」(54ページ)参照



LPR印刷を行いたいとき(Windows 2000/NT4.0、NetWare5)

「LPR印刷の設定」(88ページ)参照

▼ ネットワークソフトウェアによる設定

ここでは、添付のCD-ROMに収められているネットワークソフトウェアを使用して、プリンタにIPアドレスを設定し、同時にサーバまたは管理者のパソコンに必要なソフトウェアをインストールする手順について説明します。

■ 準 備

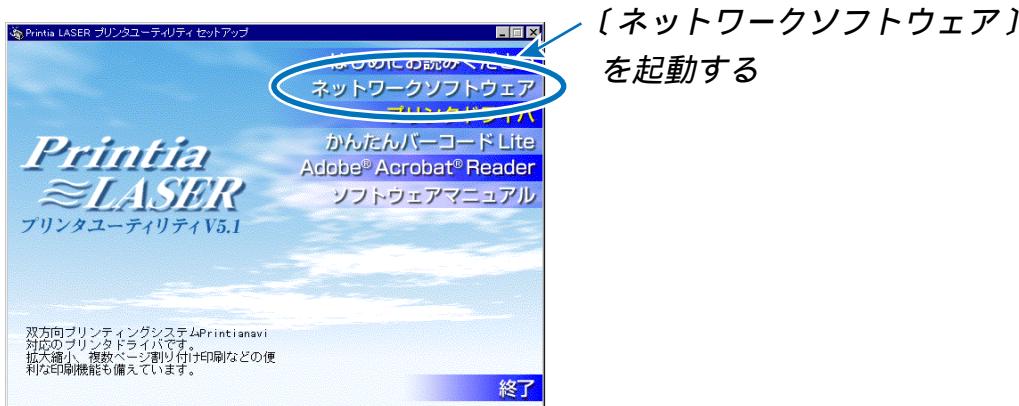
IPアドレスを設定する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内容
設定の一覧	プリンタのネットワークに関する設定情報の一覧です。オペレータパネルの操作で印刷しておきます。(「ネットワークプリンタの準備」(34ページ)を参照)
IPアドレス	プリンタに設定するIPアドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	プリンタをネットワーク上に接続してください。

■ インストール

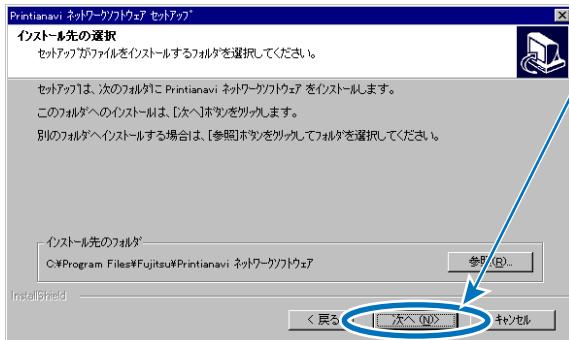
プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

- 1 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、ネットワークソフトウェアを起動する



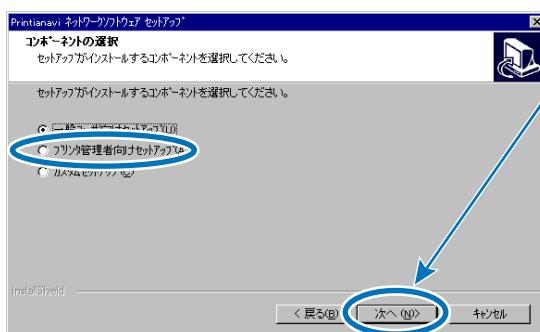
上図のような画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROMの直下のSetup.exe(CD-ROMドライブがD:のときは「D:\Setup.exe」)を実行して表示させてください。

2 [次へ] をクリックし、インストール先の選択画面にてインストール先を選択する



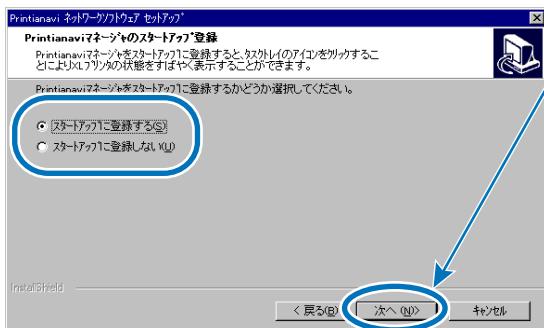
Printianavi ネットワークソフトウェアのインストール先を選択し、[次へ]をクリックする

3 セットアップタイプを選択する



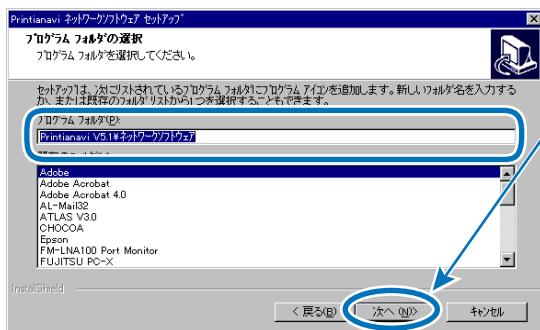
「プリンタ管理者向けセットアップ」を選択し、[次へ]をクリックする

4 スタートアップに登録する

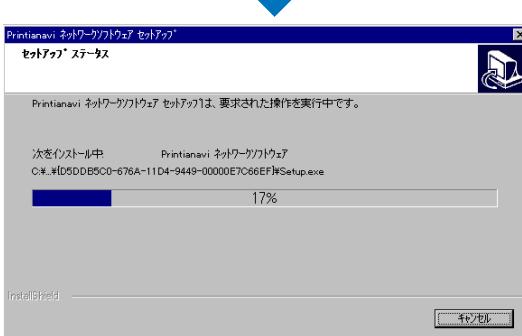


Printianavi マネージャをスタートアップに登録するか選択し、[次へ]をクリックする
スタートアップに登録しておくと Windows 起動時に Printianavi マネージャが最小化された状態で起動されます。

5 プログラムフォルダを指定する



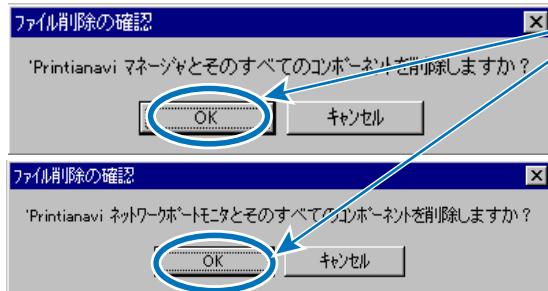
プログラムフォルダを指定し、[次へ]をクリックする
ここで指定した名前がスタートメニューに追加されます。
初期設定は「Printianavi V5.1¥ネットワークソフトウェア」です。



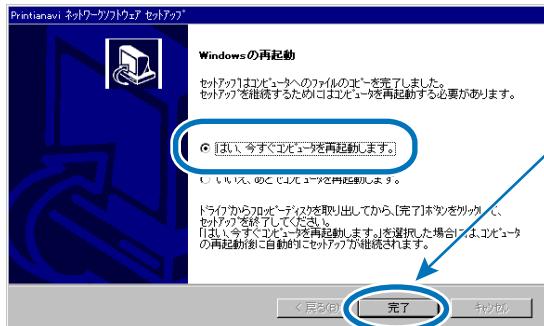
ファイルのコピーが開始されます。
[キャンセル]をクリックするとインストールは中断されます。

Printianavi V3.1以前と置き換える場合は手順 6 へ、新規インストールの場合は手順 7 (46 ページ) へ進んでください。

6 旧バージョンを削除する(Printianavi V3.1以前と置き換える場合)



左の画面が出たら、[OK]をクリックして先へ進みます



「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックする



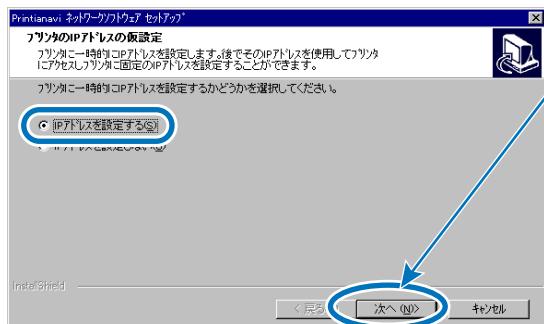
「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択すると Windows を再起動後、手順 7 の操作から自動的に再開されます。()

「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」を選択するとインストールは終了します。

なお、再起動を行わない場合の動作保証はされませんのでプリンタ使用前に必ず再起動してください。

() Windows 再起動後プリンタの IP アドレスの仮設定画面が他の画面の後ろにかくれている場合があります。このような場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア」をクリックしてください。

7 IPアドレス仮設定プログラムを起動する



「IPアドレスを設定する」を選択し、[次へ]をクリックする

IPアドレス設定ユーティリティが起動されます。

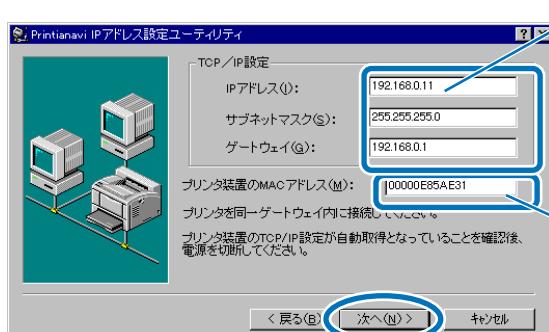
8 プリンタの電源を切り、[次へ]をクリックする



電源スイッチを「」側に倒して、プリンタの電源を切り、[次へ]をクリックする

 **ガイド** プリンタのTCP/IP設定がDHCP自動取得になっていることを確認してから電源を切ってください。

9 IPアドレスを入力し[次へ]をクリックする



IPアドレスを入力する

半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。IPアドレス以外は省略できます。

MACアドレスを入力する

半角英数字12文字(間に「:」を入れない)で入力します。

MACアドレスは「設定の一覧」を参照してください。

10 プリンタの電源を入れる



電源スイッチを「/」側に倒して、プリンタの電源を入れる

「ステータス」欄の表示が「受付け中」から「通信中」に変わります。

4

11 [完了] をクリックする



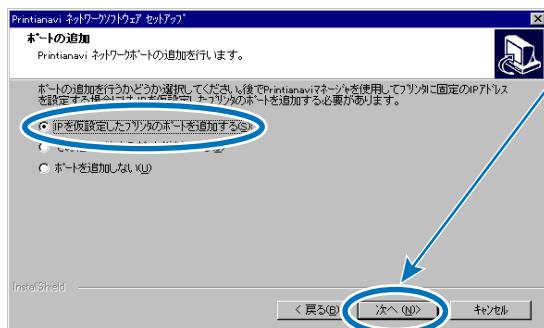
[完了] をクリックする

▶お願い

この後の手順でIPアドレスを固定するまでは電源を切らないでください。仮設定のまま電源を切るとIPアドレスが消えてしまいます。

セットアップ編

12 ポートを追加する



「IPを仮設定したプリンタのポートを追加する」を選択し、[次へ]をクリックする
Printianavi ネットワークポートモニタが起動します。
ポートの設定を行った後手順13の処理へ進みます。

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。



LANによる印刷を行いたいとき

「LANポートの追加」(77ページ)参照



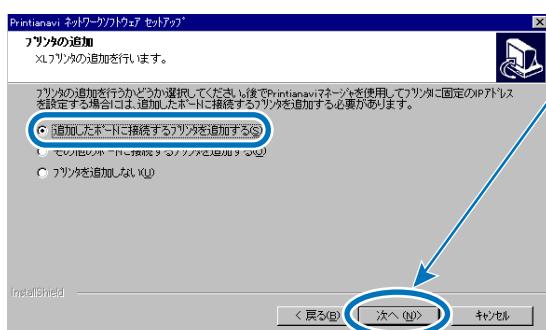
IPPによる印刷を行いたいとき

「IPPポートの追加」(80ページ)参照



LPR印刷を行う場合は、ここでポートの追加は不要です。
「ポートを追加しない」を選択し、手順14に進んでください。

13 プリンタの追加処理を行う



「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、[次へ]をクリックする
プリンタドライバのインストールを行います。

「第6章 プリンタドライバのインストール」の手順3(97ページ)へ進んでください。

「プリンタを追加しない」を選択し、[次へ]をクリックすると手順14の画面へ進みます。

14 完了処理を行う



いずれかを選択して〔完了〕をクリックする
以降の操作は、それぞれのページに進んでください。

4



IP アドレスの設定方法は、以下の条件を参考に選んでください。

「Web ブラウザを起動してプリンタに IP アドレスを設定する」

- ・IPP による印刷を行う場合
- ・プリンタドライバを追加していない場合
- ・Web ブラウザ (Internet Explorer 4.0、Netscape 4.0 以上) がインストールされている場合

「Printianavi マネージャを起動してプリンタに IP アドレスを設定する」

- ・Web ブラウザがインストールされていない場合
- ・プリンタドライバの追加を行っている場合



「Web ブラウザを起動してプリンタに IP アドレスを設定する」を選択した場合

「Web ブラウザによる設定」(52 ページ) 参照



「Printianavi マネージャを起動してプリンタに IP アドレスを設定する」を選択した場合()

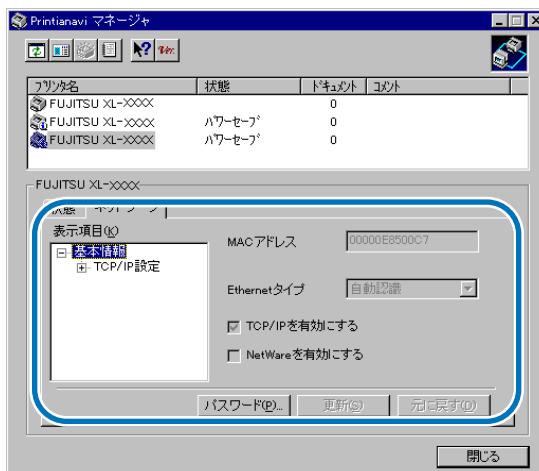
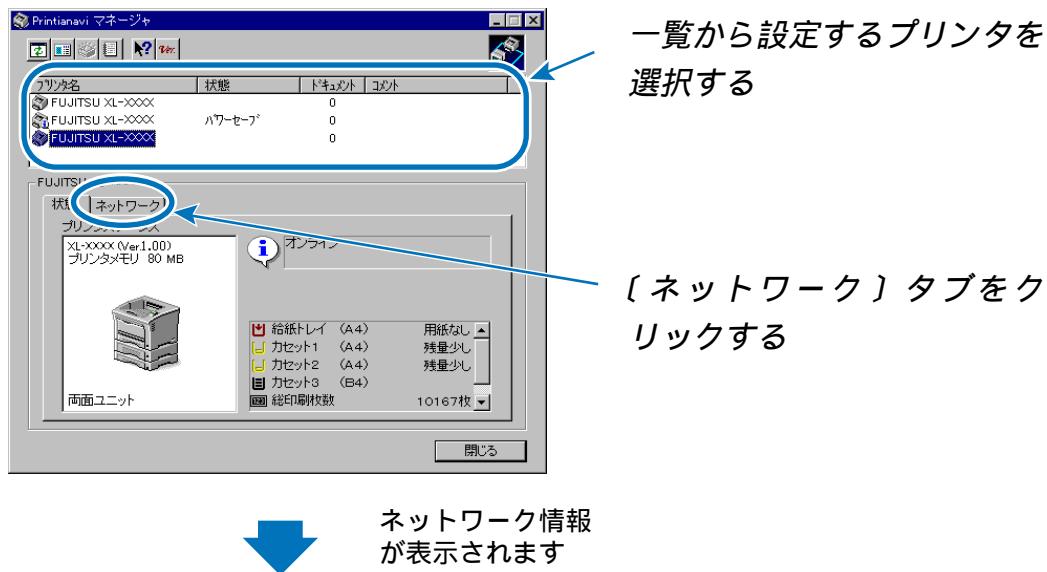
「Printianavi マネージャによる設定」(50 ページ) 参照

- ()IP アドレス設定画面が他の画面の後ろにかくれている場合があります。このような場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア」をクリックしてください。

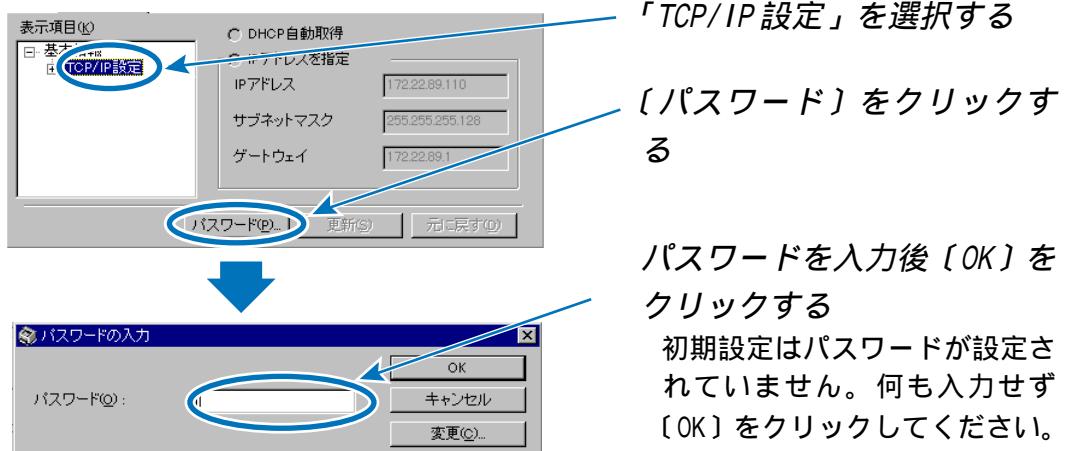
▶ Printianavi マネージャによる設定

「ネットワークソフトウェアによる設定」の手順14(49ページ)で「Printianavi マネージャを起動してプリンタに IP アドレスを設定する」を選択したときは、Printianavi マネージャが起動します。
次の手順で設定を行ってください。

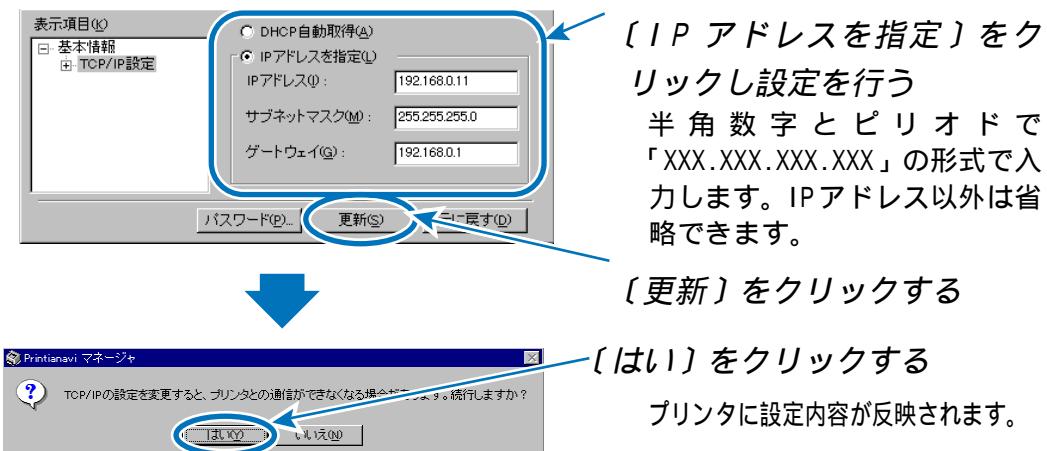
1 設定を行うプリンタのネットワーク情報を表示させる



2 TCP/IP設定を選択し、パスワードを入力する



3 IPアドレスを入力し〔更新〕をクリックする



Printianaviマネージャがもつ機能の詳細については、添付のCD-ROMのソフトウェアマニュアル「第3章 Printianaviマネージャ」参照

以降の操作は接続、運用形態に合わせてそれぞれ進んでください。



LANによる直接印刷を行いたいとき
各パソコンで「ネットワークソフトウェアのインストール」(58ページ)にて設定を行ってください。



サーバ経由でLANによる印刷を行いたいとき
「プリンタの共有の設定」でサーバ側の設定(Windows 95/98/Meは(102ページ)、Windows 2000は(105ページ)、Windows NT4.0は(111ページ))を行ってください。



IPPによる印刷を行いたいとき

「プリンタのURL設定(IPPのみ)」(54ページ)を行ってください。



LPR印刷を行いたいとき(Windows 2000/NT4.0、NetWare5)
「LPR印刷の設定」(88ページ)参照

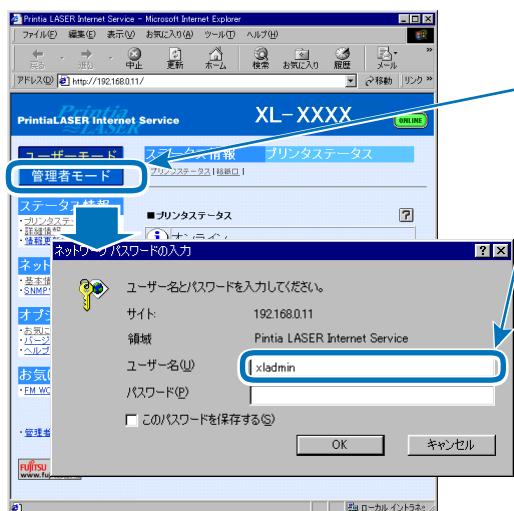
▷ Web ブラウザによる設定

「ネットワークソフトウェアによる設定」の手順14(49ページ)で「Web ブラウザを起動してプリンタに固定のIPアドレスを設定する」を選択したときは、お使いの Web ブラウザが起動し、Printia LASER Internet Service の画面が表示されます。

次の手順で設定を行ってください。

1 管理者モードに切り替える

画面の例は Internet Explorer です。



「管理者モード」をクリックする

ユーザー名に「xadmin」と入力後、[OK] をクリックする

初期設定ではパスワードが設定されていません。パスワードには何も入力しないで [OK] をクリックしてください。

ユーザー名は、常に「xadmin」固定です。

2 TCP/IPの設定画面を表示し、IPアドレスを確定する



[ネットワーク情報]の[基本情報]をクリックする

「DHCP自動取得」の「解除」をクリックする

一時的に割り当てたIPアドレスを確定するには、「DHCP自動取得」を「解除」に設定します。

IPPによる印刷を行う場合は同時にプリンタのURLの設定を行うことをおすすめします。

 参照 「プリンタのURL設定(IPPのみ)」の手順3 (56ページ) 参照

[設定]をクリックする

[OK]をクリックする

プリンタに設定内容が反映され、リセットされます。

プリンタのリセット後、「プリンタの設定は更新されました」と表示されたら、設定は終了です。

 参照 Printia LASER Internet Serviceの詳細については、ヘルプまたは添付CD-ROMのソフトウェアマニュアル「第4章 Printia LASER Internet Service」参照

以降の操作は接続、運用形態に合わせてそれぞれ進んでください。

 参照 LANによる直接印刷を行いたいとき

各パソコンで「ネットワークソフトウェアのインストール」(58ページ)にて設定を行ってください。

 参照 サーバ経由でLANによる印刷を行いたいとき

「プリンタの共有の設定」でサーバ側の設定(Windows 95/98/Meは(102ページ)、Windows 2000は(105ページ)、Windows NT4.0は(111ページ))を行ってください。

 参照 IPPによる印刷を行いたいとき

「プリンタのURL設定(IPPのみ)」(54ページ)を行ってください。

 参照 LPR印刷を行いたいとき(Windows 2000/NT4.0、NetWare5)

「LPR印刷の設定」(88ページ) 参照

プリンタのURL設定(IPPのみ)

インターネットに接続されたプリンタに直接印刷を行うには、IPPを使用します。

ここでは、IPP印刷を行うときに必要なプリンタのURLの設定について説明します。

■ 準 備

設定の前に、次のことを確認してください。

確認事項	内 容
Web ブラウザ	プリンタの URL の設定や確認に使用します。 あらかじめ Netscape 4.0 以上、または Internet Explorer 4.0 以上の製品版 Web ブラウザをインストールしておいてください。
プリンタのIPアドレス設定	プリンタに IP アドレスを設定しておきます。 設定方法については、「IP アドレスの設定方法」(36 ページ) を参照してください。
プリンタの URL	IPP ポートの印刷先に指定するプリンタの URL です。 プリンタの URL は、次のどちらかの書式で指定します。(日本語 / 英数字を含め半角 63 文字または全角 31 文字以内) なお、プリンタの URL に含まれる IPP プリンタ名には、任意の名前を指定してください。 (初期値は「IPP」です。) <ul style="list-style-type: none">DNS サーバにプリンタのホスト名を登録してあるとき 書式 :「プリンタのホスト名 + ドメイン名」 + 「/」 + 「IPP プリンタ名」 例 : x1prn.xxx.fujitsu.com/x1prn1 (プリンタのホスト名 + ドメイン名が x1prn.xxx.fujitsu.com、IPP プリンタ名が x1prn1 のとき)DNS サーバにプリンタのホスト名を登録していないとき 書式 :「プリンタ IP アドレス」 + 「/」 + 「IPP プリンタ名」 例 : 192.168.0.11/x1prn1 (プリンタの IP アドレスが 192.168.0.11、IPP プリンタ名が x1prn1 のとき)

1 Web ブラウザを起動し、Printia LASER Internet Service を表示する

Web ブラウザを起動し、次のどちらかの方法で Printia LASER Internet Service の URL を指定します。

- ・ DNS サーバで登録した名前を指定する場合

「http://」の後に、DNS サーバで設定したプリンタのホスト名 + ドメイン名を指定します。

例 : http://xlprn.xxx.fujitsu.com

(ホスト名 : xlprn、ドメイン名 : xxx.fujitsu.comの場合)

- ・ IP アドレスで指定する場合

「http://」の後に、直接プリンタのIP アドレスを指定します。

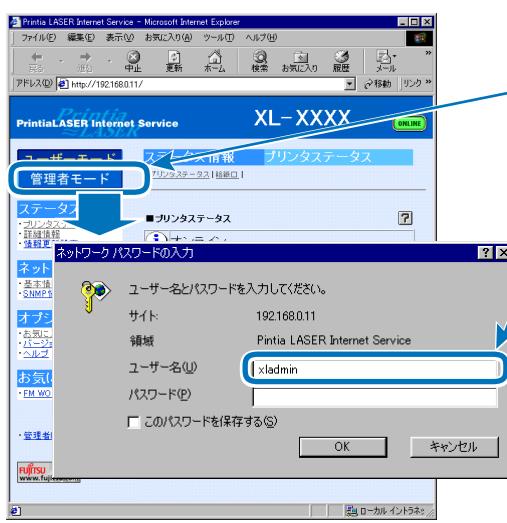
例 : http://192.168.0.11

(プリンタのIP アドレスが192.168.0.11の場合)

指定した URL でプリンタに正しく接続されると、Printia LASER Internet Service の画面が表示されます。

2 管理者モードに切り替える

画面の例は Internet Explorer です。



「管理者モード」をクリックする

ユーザー名に「xladmin」と入力後、[OK]をクリックする
初期設定ではパスワードが設定されていません。パスワードには何も入力しないで [OK] をクリックしてください。

ユーザー名は、「xladmin」固定です。

3 TCP/IPの設定画面を表示し、プリンタのURLを設定する



〔ネットワーク情報〕の〔基本情報〕をクリックする

「プリンタのURL」を設定する

設定したプリンタのURLは、ポートの設定で使用するため、控えておくことをおすすめします。

〔設定〕をクリックする

プリンタに設定内容が反映され、リセットされます。

プリンタのリセット後、「プリンタの設定は更新されました」と表示されたら、設定は終了です。



- IPP プリンタ名には、半角空白および次の文字は使えません。
; / ? : @ & = + \$, { } | ¥ ^ [] ' # % "
- [アドレス取込み] ボタンをクリックすると、Web ブラウザで表示されているアドレスを「プリンタの URL」に反映することができます。(管理者モードのみ)
IPP プリンタ名が指定されていない場合は、初期値の「ipp」を IPP プリンタ名として付加します。



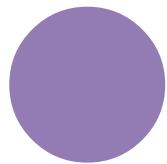
Printia LASER Internet Service の詳細については、ヘルプまたは添付CD-ROMのソフトウェアマニュアル「第4章 Printia LASER Internet Service」参照

以降の操作はそれぞれの場合に応じて進んでください。

- IP アドレスをネットワークソフトウェアで設定し、ポートの追加とプリンタドライバのインストールを行った場合
 「ネットワークソフトウェアのインストール」(58ページ)の各クライアント(パソコン)で一般ユーザ向けの設定を行ってください。
- 上記以外の場合
 引き続き「ネットワークソフトウェアのインストール」(58ページ)でプリンタ管理者向けの設定を行ってください。

第5章

ネットワークソフトウェアの インストールとネットワークポートの追加



この章では、ネットワークソフトウェアのインストール方法とネットワークポートの追加および設定変更について説明します。

本章の中では、ネットワークソフトウェアを本ソフトウェアと表記します。

ネットワークソフトウェアのインストール ...	58
新規インストール	59
コンポーネントの追加、削除	72
ポートの追加	76
LAN ポートの追加	77
IPP ポートの追加	80
プリンタの接続方法を変更するとき	
(印刷先ポートの追加と変更)	84
Windows 95/98/Me のとき	84
Windows 2000/NT4.0 のとき	86
LPR 印刷の設定	88
Windows 2000/NT4.0 のとき	88
NetWare5 のとき	92

ネットワークソフトウェアのインストール

本ソフトウェアは LAN の設定、IPP 設定、および管理機能に必要なモジュールとプリンタドライバを、一括してインストールするアプリケーションです。

本ソフトウェアは以下のときに使用します。

- ・ LAN (TCP/IP) に直接接続して印刷する場合
- ・ IPP での印刷を行う場合
- ・ サーバ上にある複数のプリンタをパソコンから管理 (プリントサーバ運用) する場合

ネットワークソフトウェアは以下の3つで構成されています。運用形態、環境に合わせて選択してください。

セットアップタイプ	設定環境	インストールされるもの
一般ユーザ向け	クライアント側の設定	<ul style="list-style-type: none">・ Printianavi ネットワークポートモニタ (*1)・ Printianavi マネージャプリント状態表示機能 (*2)・ ポートの追加・ プリンタドライバ
プリンタ管理者向け	サーバ側の設定	<ul style="list-style-type: none">・ Printianavi ネットワークポートモニタ・ Printianavi マネージャプリント状態表示機能 (*2)+ プリンタ管理機能 (*3)・ IP 設定ユーティリティ (*4)・ ポートの追加・ プリンタドライバ
カスタム	個別の機能 (管理者機能・ポート作成) の設定 (すべて選択制)	<ul style="list-style-type: none">・ Printianavi ネットワークポートモニタ・ Printianavi マネージャプリント状態表示機能・ Printianavi マネージャプリント管理機能・ IP 設定ユーティリティ・ ポートの追加・ プリンタドライバ

* 1 : LAN(TCP/IP) や IPP で接続した XL プリンタに対し、印刷先のポートを作成するのに必要なソフトウェアです。

* 2 : プリンタの状態を表示する機能です。

* 3 : ネットワークに関する設定を行う機能です。

* 4 : IP アドレスを設定していないプリンタを、 LAN(TCP/IP) や IPP に接続したとき、一時的に (電源を切るまでの間) IP アドレスを割り当てます。

▼ 新規インストール

■ 準 備

ここでは、管理機能について必要なモジュールとプリンタドライバを一括してインストールする方法を説明します。

あらかじめ IP アドレスを設定しておいてください。

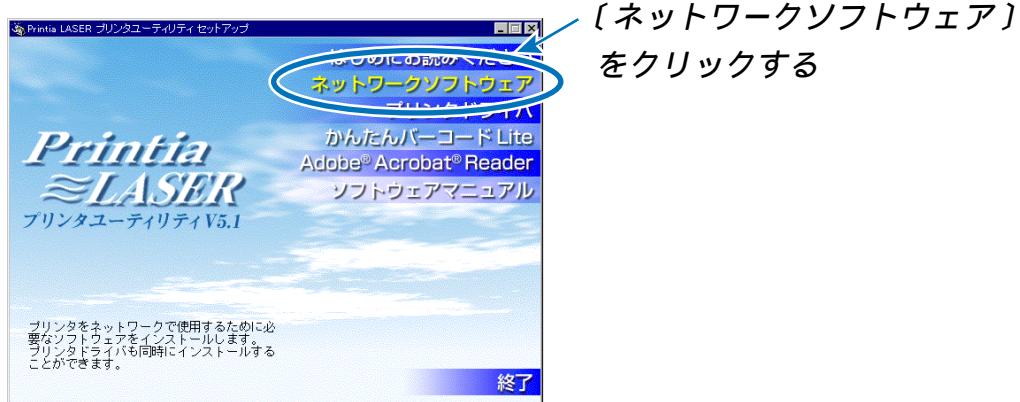
 参照 IP アドレスの設定方法は、「第4章 ネットワークプリンタの設定」(33 ページ) 参照

 インストールするには本プリンタに添付の CD-ROM が必要です。

■ インストール

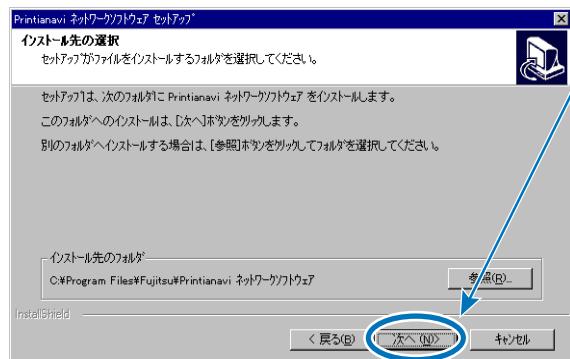
プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

- 1 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、ネットワークソフトウェアを起動する



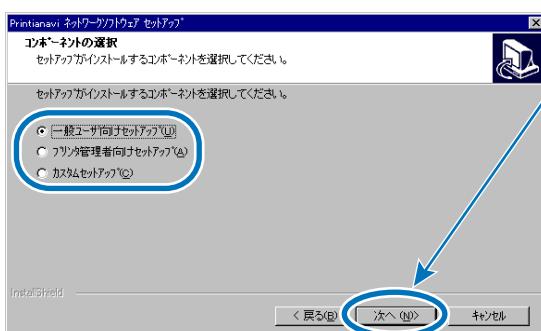
上図のような画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の直下の Setup.exe (CD-ROM ドライブが D: のときは「D:\Setup.exe」) を実行して表示させてください。

2 [次へ] をクリックし、インストール先の選択画面でインストール先を選択する



Printianavi ネットワークソ
フトウェアのインストール先を
選択し、[次へ] をクリックし
ます。

3 セットアップタイプを選択する



セットアップタイプを選択
し、[次へ] をクリックする
それぞれの説明の項目へ進んで
ください。

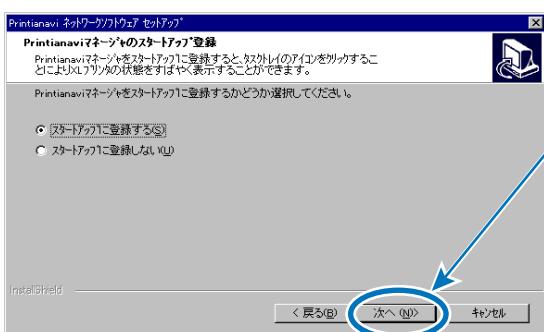
一般ユーザ向け 61 ページ
プリンタ管理者向け

カスタム 64 ページ

カスタム 68 ページ

一般ユーザ向け

1 スタートアップに登録する

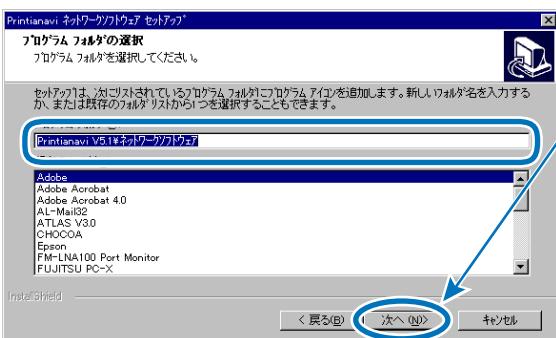


Printianavi マネージャをスタートアップに登録するかどうかを選択し、[次へ] をクリックする

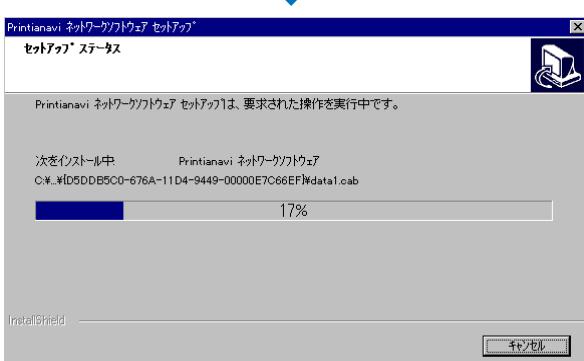
スタートアップに登録しておくと Windows 起動時に Printianavi マネージャが最小化された状態で起動されます。

5

2 プログラムフォルダを指定する



プログラム フォルダを指定し、[次へ] をクリックする
ここで指定した名前がスタートメニューに追加されます。
初期設定は「Printianavi V3.1 ネットワークソフトウェア」です。



ファイルのコピーが開始されます。

[キャンセル]をクリックするとインストールは中断されます。

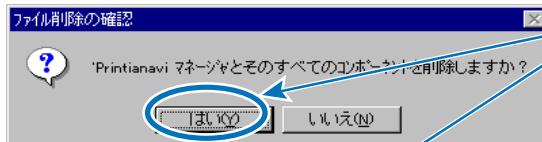


Printianavi V3.1 以前と置き換える場合は、ファイルのコピーが終了すると Windows の再起動を要求する画面が表示されます。

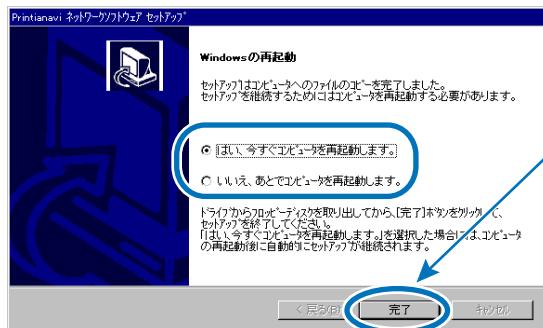
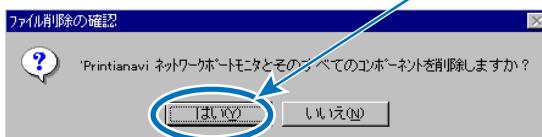
以降の操作はそれぞれの手順へ進んでください。

- Printianavi V3.1 以前と置き換えた場合 手順3 (62 ページ)
- 新規インストールの場合 手順4 (62 ページ)

3 旧バージョンを削除する (Printianavi V3.1以前と置き換える場合)



左の画面が出たら、〔はい〕をクリックして先へ進む



「はい、今すぐコンピュータを再起動します」、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」のいずれかを選択し、〔完了〕をクリックする



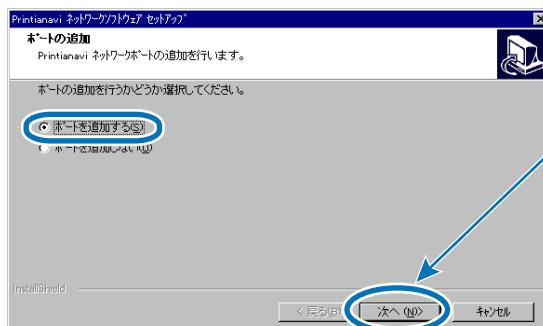
「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択すると Windows を再起動後、手順 4 の処理から自動的に再開されます。()

「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールは終了します。

なお、再起動を行わない場合の動作保証はされませんので、プリンタを使用する前に必ず再起動してください。

() Windows 再起動後ポートの追加画面が他の画面の後ろにかくれている場合があります。そのような場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア」をクリックしてください。

4 ポートを追加する



「ポートを追加する」を選択して〔次へ〕をクリックする
Printianavi ネットワークポートモニタが起動します。

ポートの追加処理を行った後、手順 5 の画面へ進みます。

「ポートの追加を行わない」を選択して〔次へ〕をクリックするとポートは追加されず手順 5 の画面へ進みます。

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

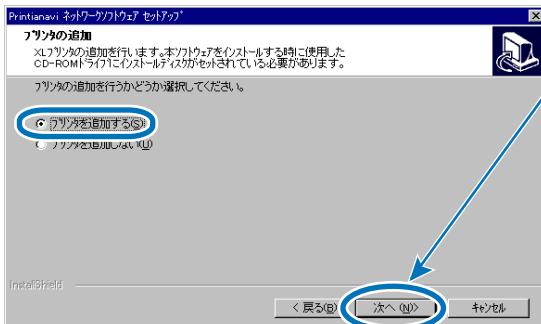
 **参考** LANによる印刷を行いたいとき

「LANポートの追加」(77ページ)参照

 **参考** IPPによる印刷を行いたいとき

「IPPポートの追加」(80ページ)参照

5 プリンタを追加する

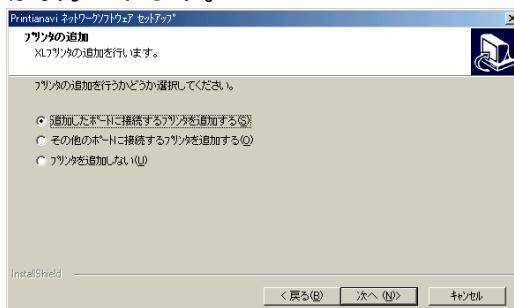


「プリンタを追加する」を選択し「次へ」をクリックする
プリンタの追加(プリンタドライバのインストール)を行います。
「第6章 プリンタドライバのインストール」の手順3(97ページ)へ進んでください。

「プリンタの追加を行わない」
を選択し「次へ」をクリックすると手順6の画面へ進みます。



手順4で「ポートを追加する」を選択した場合、下記の画面
が表示されます。



6 完了処理を行う



〔完了〕をクリックする
インストールを完了します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

 **参考** プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき

「第12章 プリンタドライバの設定」(189ページ)参照

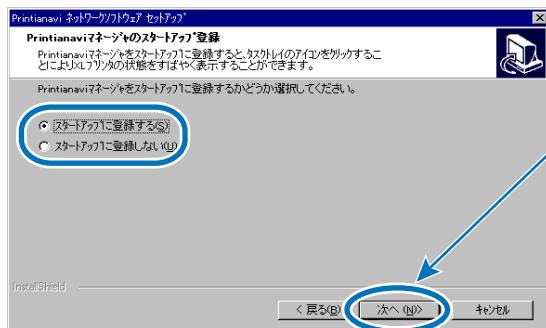
 **参考**

インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき

「第14章 こんなときには」(223ページ)参照

プリント管理者向け

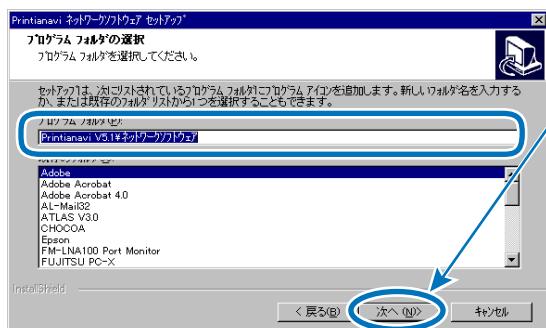
1 スタートアップに登録する



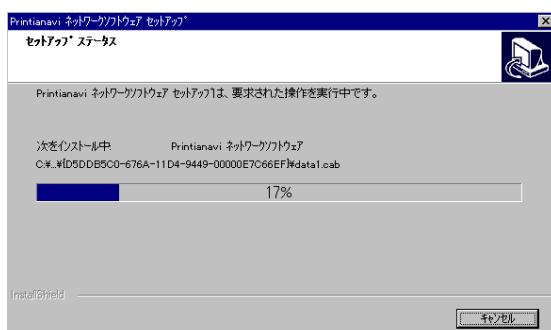
Printianavi マネージャをスタートアップに登録するかどうかを選択し、[次へ]をクリックする

スタートアップに登録しておくと Windows 起動時に Printianavi マネージャが最小化された状態で起動されます。

2 プログラムフォルダを指定する



プログラムフォルダを指定し、[次へ]をクリックする
ここで指定した名前がスタートメニューに追加されます。
初期設定は「Printianavi V5.1ネットワークソフトウェア」です。



ファイルのコピーが開始されます。

[キャンセル]をクリックするとインストールは中断されます。

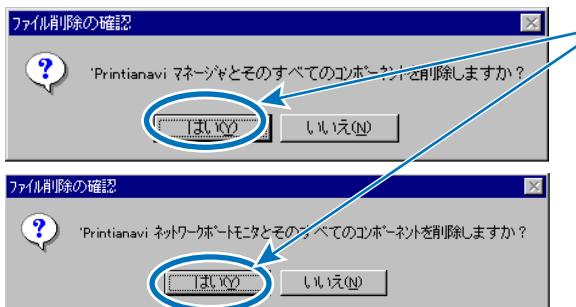


Printianavi V3.1以前と置き換える場合は、ファイルのコピーが終了すると Windows の再起動を要求する画面が表示されます。

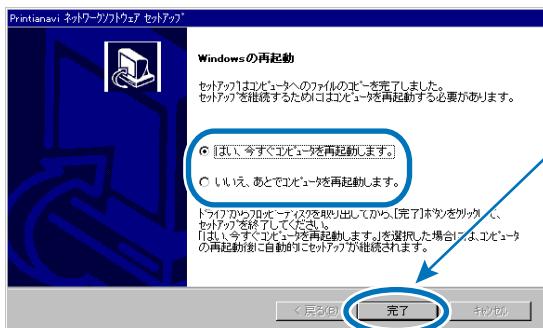
以降の操作はそれぞれの手順へ進んでください。

- Printianavi V3.1以前と置き換えた場合 ... 手順3 (65ページ)
- 新規インストールの場合 手順4 (66ページ)

3 旧バージョンを削除する (Printianavi V3.1以前と置き換える場合)



左の画面が出たら、〔はい〕をクリックして先へ進みます



「はい、今すぐコンピュータを再起動します」、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」のいずれかを選択し、〔完了〕をクリックする



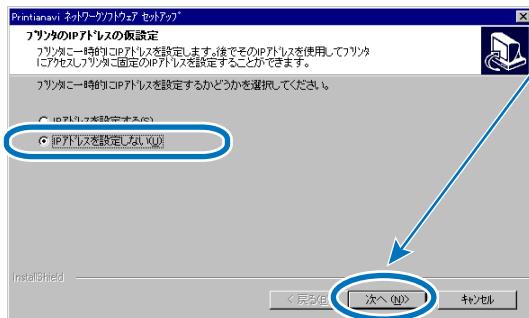
「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択すると Windows を再起動後、手順 4 の操作から自動的に再開されます。()

「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールは終了します。

なお、再起動を行わない場合の動作保証はされませんので、プリンタを使用する前に必ず再起動してください。

() Windows 再起動後プリンタの IP アドレスの仮設定画面が他の画面の後ろにかくれている場合があります。そのような場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア」をクリックしてください。

4 「IP アドレスを設定しない」を選択する



「IP アドレスを設定しない」を選択し、[次へ]をクリックする



あらかじめ IP アドレスを設定していない場合は、ここで「IP アドレスを設定する」を選択し、IP アドレスの設定を行うことができます。



IP アドレスを設定する場合、「第4章 ネットワークプリンタの設定」の「ネットワークソフトウェアによる設定」の手順 7 ~ 11 (46 ページ) 参照

5 ポートを追加する



「ポートを追加する」を選択して [次へ] をクリックする
Printanavi ネットワークポートモニタが起動します。
ポートの追加処理を行った後、手順 6 の画面へ進みます。

「ポートを追加しない」を選択して [次へ] をクリックするとポートは追加されず手順 6 の画面へ進みます。

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

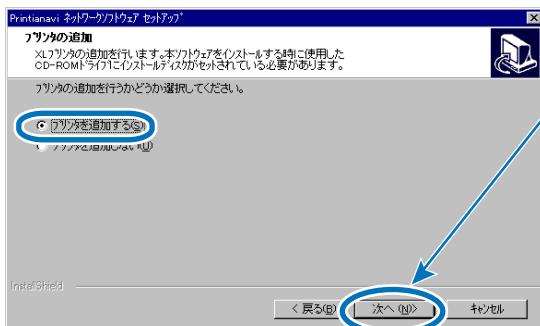


LAN による印刷を行いたいとき
「LAN ポートの追加」(77 ページ) 参照



IPP による印刷を行いたいとき
「IPP ポートの追加」(80 ページ) 参照

6 プリンタを追加する

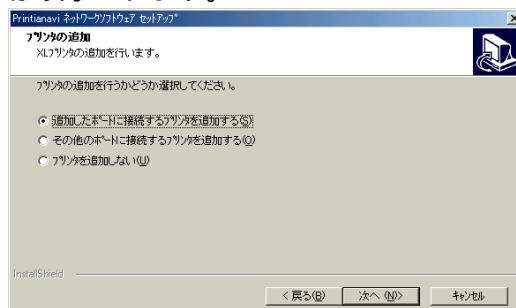


「プリンタを追加する」を選択し〔次へ〕をクリックする
プリンタの追加(プリンタドライバのインストール)を行います。
「プリンタドライバのインストール」の手順3(97ページ)へ
進んでください。

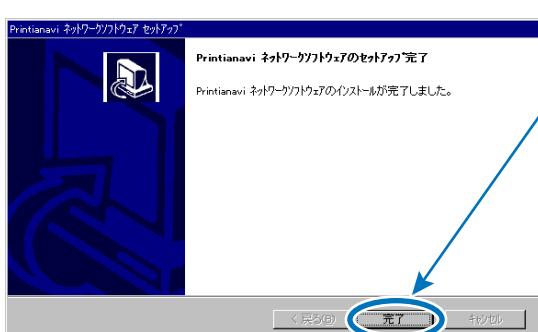
「プリンタを追加しない」を選択し〔次へ〕をクリックす
ると、手順7の画面へ進みま
す。



手順5で「ポートを追加する」を選択した場合、下記の画面
が表示されます。



7 完了処理を行う



〔完了〕をクリックする
インストールが完了します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。



このプリンタを他のパソコンと共有したいとき

「第7章 プリンタ共有の設定」(101ページ)参照



プリンタドライバの機能を使つていろいろな印刷行いたいとき

「第12章 プリンタドライバの設定」(189ページ)参照



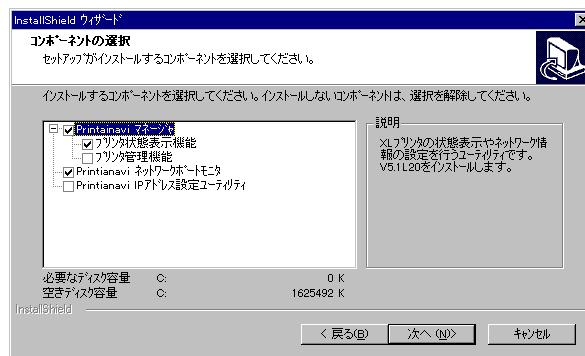
インストールやテスト印刷がうまくいかないとき

「第14章 こんなときには」(223ページ)参照

■ カスタム

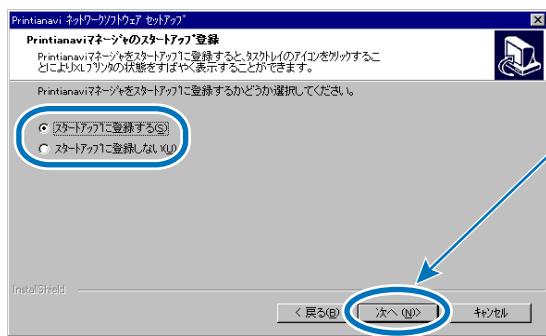
ユーザがインストールしたいコンポーネントを選べるモードです。

1 インストールしたいコンポーネントにチェックを付け 〔次へ〕をクリックする



「ガイド」 「プリンタ管理機能」にチェックを付けると「プリンタ状態表示機能」も同時にチェックされます。

2 スタートアップに登録する

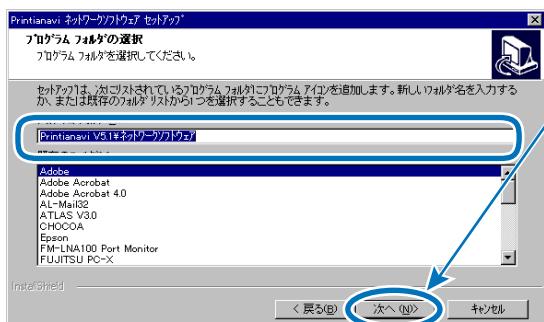


Printianavi マネージャをスタートアップに登録するかどうかを選択し、〔次へ〕をクリックする

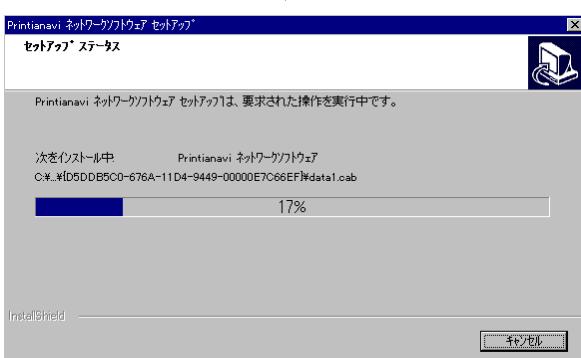
スタートアップに登録しておくと Windows 起動時に Printianavi マネージャが最小化された状態で起動されます。

この画面は「Printianavi マネージャ」をチェックした場合に表示されます。

3 プログラムフォルダを指定する



プログラムフォルダを指定し、[次へ]をクリックする
ここで指定した名前がスタートメニューに追加されます。
初期設定は「Printianavi V5.1ネットワークソフトウェア」です。



ファイルのコピーが開始されます。

[キャンセル]をクリックすると
インストールは中断されます。

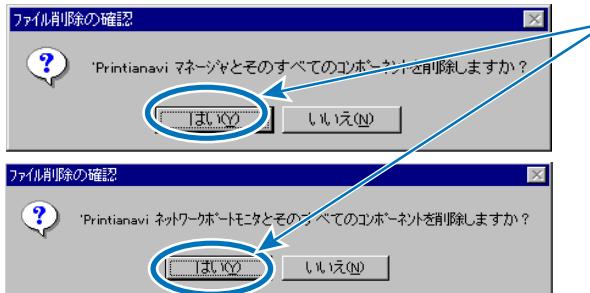


Printianavi V3.1以前と置き換える場合は、ファイルのコピーが終了するとWindowsの再起動を要求する画面が表示されます。

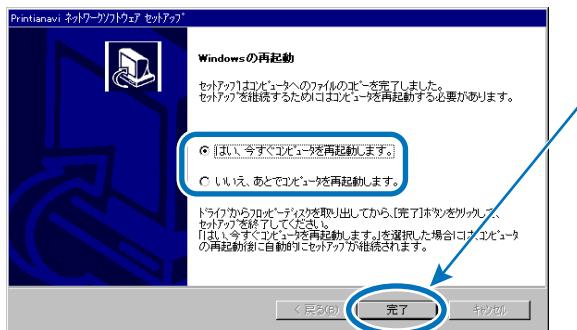
以降の操作はそれぞれの手順へ進んでください。

- ・Printianavi V3.1以前と置き換えた場合 ... 手順4(70ページ)
- ・新規インストールの場合 手順5(70ページ)

4 旧バージョンを削除する (Printianavi V3.1以前と置き換える場合)



左の画面が出たら、[はい]をクリックして先へ進みます



「はい、今すぐコンピュータを再起動します」、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」のいずれかを選択し、[完了]をクリックする



「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択するとWindowsを再起動後、手順5の操作から自動的に再開されます。

()

「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールは終了します。

なお、再起動を行わない場合の動作保証はされませんので、プリンタを使用する前に必ず再起動してください。

()Windows再起動後、設定画面が他の画面の後ろにかくれている場合があります。そのような場合は、タスクバーに表示されている「Printianaviネットワークソフトウェア」をクリックしてください。

5 インストールする

インストールしたいコンポーネントを選択し、必要なネットワークソフトウェアをインストールします。

「インストールしたいコンポーネントの選択」によってこの先の処理画面は変わります。選択に合わせた手順へ進んでください。



「Printianaviマネージャ(プリンタ状態表示機能)」

「一般ユーザ向け」処理へ (61ページ)

(処理の中でポートの追加画面は飛ばされます)



「Printianavi マネージャ (プリンタ管理機能)」
「プリンタ管理者向け」処理へ (64 ページ)
(IP 設定ユーティリティとポート追加画面は飛ばさ
れます)



「Printianavi ネットワークポートモニタ」
「一般ユーザ向け」の手順 2 の処理へ (61 ページ)



「Printianavi IP 設定ユーティリティ」のみの選択
「プリンタ管理者向け」の手順 4 へ (66 ページ)
(処理中のポートの追加画面は飛ばされます)



Printianavi ネットワークポートモニタを選
択すると、ポートの追加およびプリンタの追
加処理画面が表示されます。選択していない
場合は、各々の選択処理画面の中でのポート
の追加画面が飛ばされて処理が進みます。

▼ コンポーネントの追加、削除

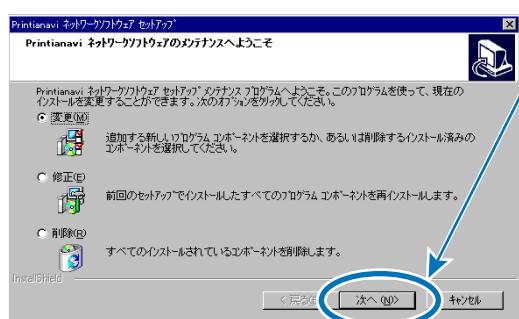
一度インストールしたネットワークソフトウェアのコンポーネントのインストール内容を変更したり、再セットアップをする場合、本ソフトウェアを起動すると変更、修正、削除選択画面が表示されます。本ソフトウェアを起動するには、〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔ネットワークソフトウェア〕〔セットアップ〕の順に選択します。



この機能はプリンタドライバの削除は行いません。



参考 プリンタドライバの削除については、「新しいドライバに置き換えるとき(プリンタドライバの削除)」(212ページ)参照



1 目的に合わせて選択し
〔次へ〕をクリックする

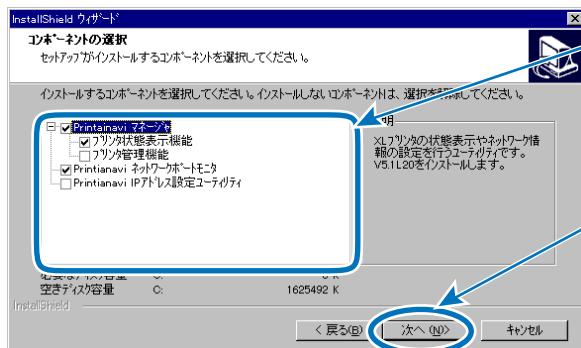
変更 コンポーネントの追加、インストール済みのコンポーネントの削除をしたい場合

修正 現在インストールされているすべてのコンポーネントを再インストールしたい場合

削除 インストールしたすべてのコンポーネントを削除したい場合

■ 変更を選択した場合

コンポーネントを追加するまたはインストールされているコンポーネントを削除します。



必要なコンポーネントを選択し、削除したいコンポーネントはチェックをはずす

〔次へ〕をクリックする

画面の指示に従って進めてください。

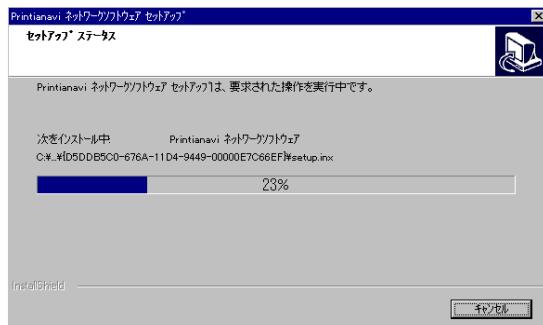
 参照 「新規インストール」の「カスタム」(68ページ) 参照



〔完了〕をクリックする

■ 修正を選択した場合

現在インストールされているすべてのコンポーネントを再インストールします。



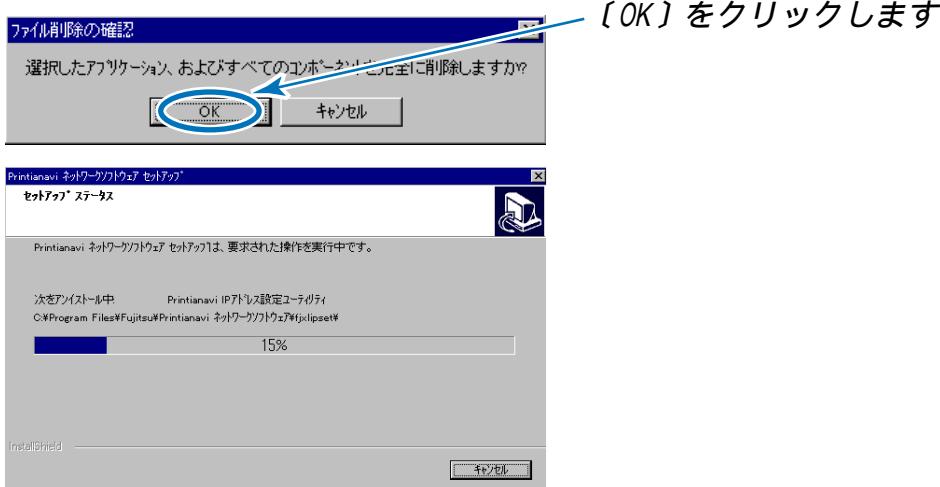
再インストールが終了すると次の画面が表示されます。

〔完了〕をクリックする



■ 削除を選択した場合

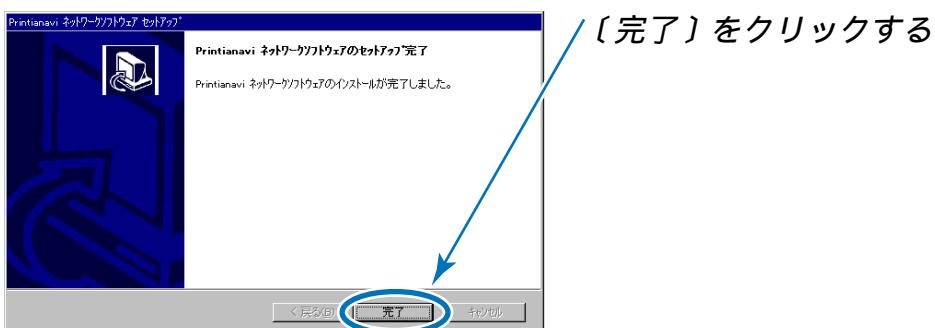
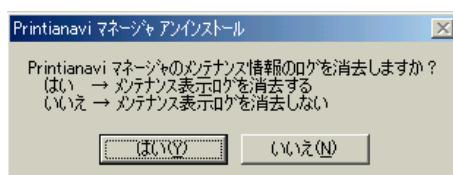
現在インストールされているすべてのコンポーネントを削除します。



すべてのコンポーネントを削除すると次の画面が表示されます。



Printianaviマネージャをご使用の際にメンテナンス情報のログを保存していた場合は、下記のメッセージが表示されます。メンテナンス情報のログを消去したい場合は、「はい」をクリックしてください。



削除を行うと、スタートメニューの登録も削除されます。



以下の場合は、中断を示す画面が表示されます。

- ・プリンタポートにネットワークポートを設定している。
- ・Printianavi マネージャが起動している。

この場合は、他のポートに設定し直す、またはPrintianavi マネージャを終了させて〔再試行〕をクリックすると、削除が再試行されます。

ポートの追加

ここではネットワークポートの追加方法について説明します。

ネットワークポートには、LAN (TCP/IP) に直接接続して印刷する「LANポート」とインターネットに接続されたプリンタに印刷する「IPPポート」があります。

まず、下記の方法でポートの追加方法を選択してください。

▶ プリンタのプロパティから印刷先ポートを追加する場合

OSによってポートの追加画面までの操作が異なります。操作については「プリンタの接続方法を変更するとき」を参照してください。

 [Windows 95/98/Me のとき 84 ページ](#)

 [Windows 2000/NT4.0 のとき 86 ページ](#)

▶ Printianavi ネットワークポート管理から印刷先ポートを追加する場合

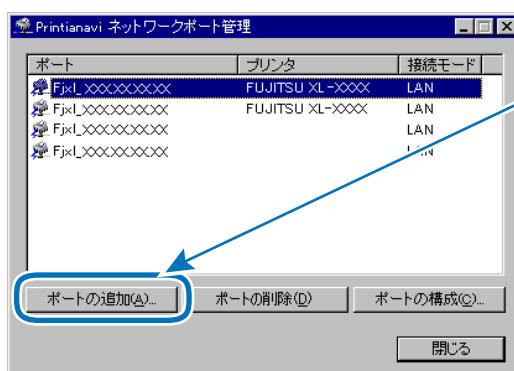
1 Windows を起動する

Windows 2000/NT4.0 の場合は、管理者権限でログオンします。

2 Printianavi ネットワークポート管理を起動し、ポートの追加画面を表示する

[スタート] から [プログラム] [Printianavi V5.1] [ネットワークソフトウェア] [Printianavi ネットワークポート管理] の順に選択します。

「Printianavi ネットワークポート管理」が起動したら、[ポートの追加] をクリックします。



〔ポートの追加〕をクリックする

 [LAN \(TCP/IP\) に接続して印刷するとき](#)

「LAN ポートの追加」処理へ (77 ページ)

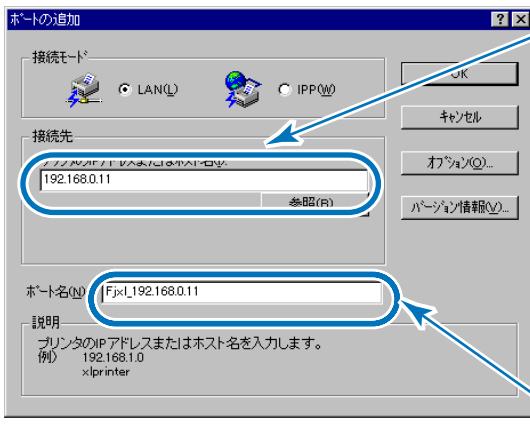
 [インターネットに接続されたプリンタに印刷するとき](#)

「IPP ポートの追加」処理へ (80 ページ)

▼ LAN ポートの追加

LAN (TCP/IP) に直接接続して印刷を行うときの設定について説明します。

1 接続先、ポート名を設定し [OK] をクリックする



IPアドレスまたはホスト名を
入力する

IPアドレスは半角数字とピリオ
ドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形
式で指定します。(各XXXは0~255
の範囲の半角数字)

ホスト名はネットワーク上で定
義されているプリンタのホスト
名を指定します。(最大255バ
イト文字)

ポート名を入力する

システムに登録する任意のポー
ト名を日本語 / 半角英数字を含
め、63バイト文字または全角31
文字以内で指定します。



- ポート名を指定しなかった場合は、IPアドレスまたはホ
スト名入力域の設定情報の先頭に「Fjx1_」を付加したも
のをポート名として自動生成します。
- IPアドレスを設定するときに「参照」をクリックすると、
ネットワーク上に接続されているXLプリンタ装置を「
プリンタの一覧」に表示することができます。
設定したいIPアドレスを選択して「接続先」に反映す
ることができます。



IPアドレスを選択し
て[OK]をクリックす
る

- ・プリンタとの通信に必要な情報を設定する必要がある場合は〔オプション〕をクリックし、必要箇所を入力してください。



ポート番号 プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。

通常は、標準値の 9313 のままにします。

変更する場合は、プリンタ側の設定（ポート番号 1）と同じ値にしてください。

プリンタタイムアウト監視時間 プリンタからの応答を待ち合わせる時間

を 60 ~ 7200 秒の範囲で設定します。

標準値は 300 秒です。

標準に戻す この画面の設定値を標準値に戻します。

標準値は以下のとおりです。

- ・ポート番号 : 9313
- ・プリンタタイムアウト監視時間 : 300 秒
- ・プリンタの IP アドレス変更を自動認識する : チェックあり

プリンタの IP チェックを付けると、プリンタとの通信

アドレス変更を自動認識する異常を検出した場合にはネットワークに接続されたXLプリンタを検索し、XLプリンタのIPアドレスが変更された場合には

変更後のIPアドレスを自動認識し、プリンタとの通信を続行します。

プリンタ検索範囲 ネットワークに接続されたXLプリンタの検索範囲を指定する画面を表示します。



Printianavi ネットワークポートモニタについては、添付 CD-ROM のソフトウェアマニュアル「第2章 Printianavi ネットワークポートモニタ」参照

● **ガイド**

・「ネットワークソフトウェアによる設定」より「IPを仮設定したプリンタのポートを追加する」を行った場合、「ネットワークソフトウェアによる設定」の手順13(48ページ)に設定するLANポートは、「LANポートの追加」の手順1(77ページ)で設定したLANポートを指定し、プリンタドライバをインストールします。

・「ネットワークソフトウェアのインストール」より「ポートの追加」を行った場合は、プリンタの追加処理画面にて「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、「LANポートの追加」の手順1(77ページ)で設定したLANポートを指定してプリンタドライバをインストールします。

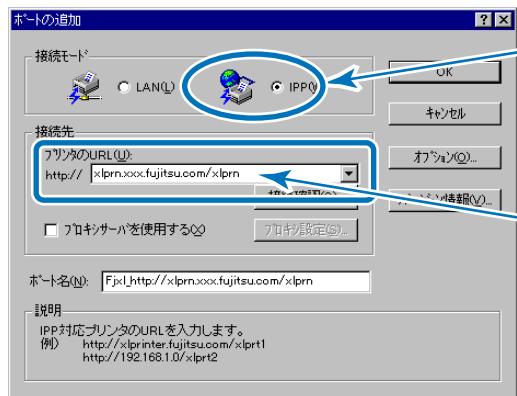
- ・「一般ユーザ向け」をインストールしている場合は(63ページ)の手順5へ進んでください。
- ・「プリンタ管理者向け」をインストールしている場合は(67ページ)の手順6へ進んでください。

● **参考**

プリンタドライバのインストールについては「第6章
プリンタドライバのインストール」(95ページ)参照

IPP ポートの追加

1 IPP ポートの設定を行う



「IPP」を選択する

「接続先」の表示が切り替わります。

「プリンタのURL」を入力する

 参照 「プリンタの URL の設定 (IPPのみ)」(54ページ) 参照



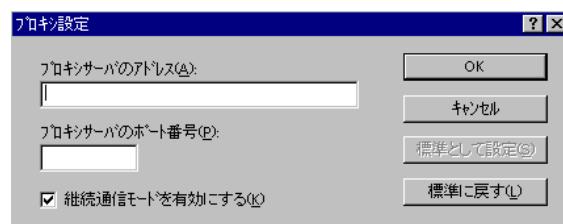
プリンタの URL は、次の方法で確認することができます。(プリンタに設定済みの場合のみ)

- ・Printia LASER Internet Service の [ネットワーク設定] [基本情報] を参照する。
- ・「ネットワークプリンタの準備」(34 ページ) で印刷した設定情報 (設定の印刷) を参照する。

必要に応じて次の設定を行います。

- ・プロキシサーバの設定

プリンタとの接続にプロキシサーバを使用する場合は、「プロキシサーバを使用する」にチェックを付け、[プロキシ設定] をクリックします。[プロキシ設定] ダイアログボックスで、プロキシサーバの設定を行ってください。



プロキシサーバのアドレス ... プロキシサーバの IP アドレス、またはネットワーク上のホスト名を入力します。

プロキシサーバのポート番号 ... プロキシサーバのポート番号を入力します。

継続通信モードを有効にする プロキシサーバによっては、継続通信モードにすると正しく印刷できない場合があります。プリンタの接続確認はできているが、印刷時に通信エラーとなったり、印刷データがプリンタに通信されないなど印刷がうまく行かない場合は、チェックを外すと正常に印刷できる場合があります。

標準として設定 現在入力されている設定値を標準にする場合、クリックします。

標準に戻す [標準として設定] に設定した値に戻します。標準値が設定されていない場合は、空欄に戻します。

・ポート名の変更

「ポート名」には、初期値として「Fjxl_http://」 + 「プリンタのURL」が設定されます。

必要に応じて変更してください。（日本語/英数を含め半角63文字または全角31文字以内）



- ・バックスラッシュ、円記号(¥)、カンマ(,)記号が含まれるものおよび先頭が半角空白である文字列をポート名として指定することはできません。
- ・Windows 95/98/Meの場合、すでに作成したポート名が含まれる文字列（「Fjxl_ipp1」があるとき、「Fjxl_ipp」や「Fjxl_ipp11」など）をポート名として指定することはできません。

・オプション

[オプション] をクリックすると、[オプション] ダイアログボックスが表示されます。



プリンタタイムアウト監視時間 プリンタ装置からの応答を待ち合わせる監視時間を、60 ~ 7200秒の範囲で設定します。ここで指定した時間プリンタから何も応答がないときは、ネットワークが切断されているとみなし、エラーを通知します。

ガイド

- ・「ネットワークソフトウェアによる設定」より「IPを仮設定したプリンタのポートを追加する」を行った場合、「ネットワークソフトウェアによる設定」の手順13(48ページ)に設定するIPPポートは、「IPPポートの追加」の手順1(80ページ)で設定したIPPポートを指定し、プリンタドライバをインストールしてください。
- ・「ネットワークソフトウェアのインストール」(58ページ)より「ポートの追加」を行った場合は、プリンタの追加処理画面にて「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、「IPPポートの追加」の手順1(80ページ)で設定したIPPポートを指定してプリンタドライバをインストールします。
- ・「一般ユーザ向け」をインストールしている場合は(63ページ)の手順5へ進んでください。
- ・「プリンタ管理者向け」をインストールしている場合は(67ページ)の手順6へ進んでください。

参照

プリンタドライバのインストールについては「第6章
プリンタドライバのインストール」(95ページ)参照

接続の確認

ポートの追加またはポートの設定画面では、IPPポートの接続を確認することができます。

ガイド

あらかじめプリンタをネットワークに接続し、電源を入れておいてください。

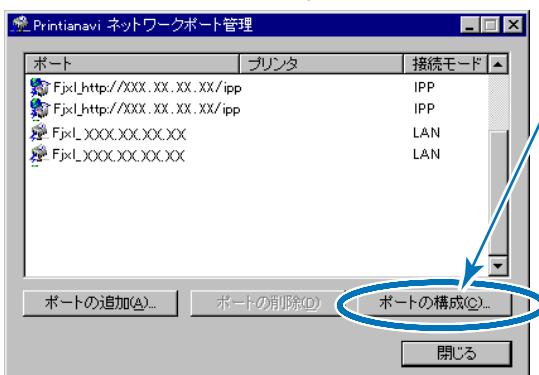
ポートの追加画面終了後に確認を行うには、ポートの設定画面を次の手順で表示してください。

1 Windowsを起動する

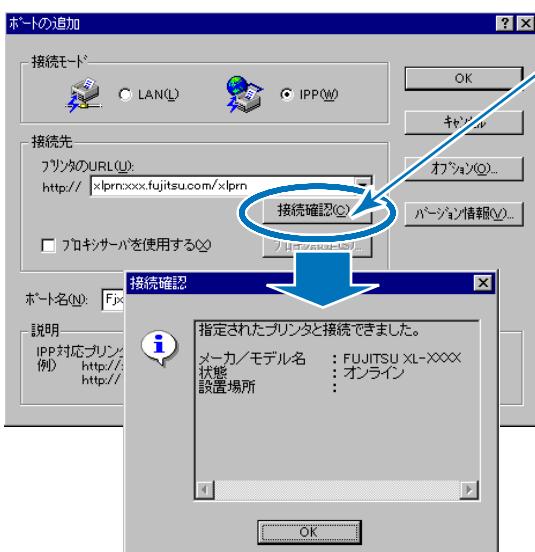
Windows 2000/NT4.0の場合は、管理者権限でログオンします。

2 [スタート]から[プログラム][Printianavi V5.1][ネットワークソフトウェア][Printianaviネットワークポート管理]の順に選択する

3 確認を行うポートを選択し、[ポートの構成]をクリックする



4 接続の確認をする



[接続確認]をクリックすると、
プリンタと正常に接続されると、「指定されたプリンタと接続できました」と表示されます。

確認が終わったら、[OK]をクリックします。

ガイド

接続の確認で指定されたプリンタと接続できない場合は、次の点を確認してください。

- ・指定したプリンタのURLが間違っていませんか
- ・プロキシサーバの設定が間違っていませんか
- ・プリンタの電源が投入されていますか

お願い

IPPでの印刷を行う場合は、次の点にご注意ください。

- ・プリンタドライバは、XL-5340用のものをご使用ください。他の機種用のプリンタドライバから印刷することはできません。
- ・XLシリーズ以外のIPP対応プリンタで接続確認が行える場合でも印刷は保証されません。

Printianavi ネットワークポートモニタでのIPP印刷は、XLシリーズのIPP対応プリンタへ印刷するときのみご使用ください。

プリンタの接続方法を変更するとき (印刷先ポートの追加と変更)

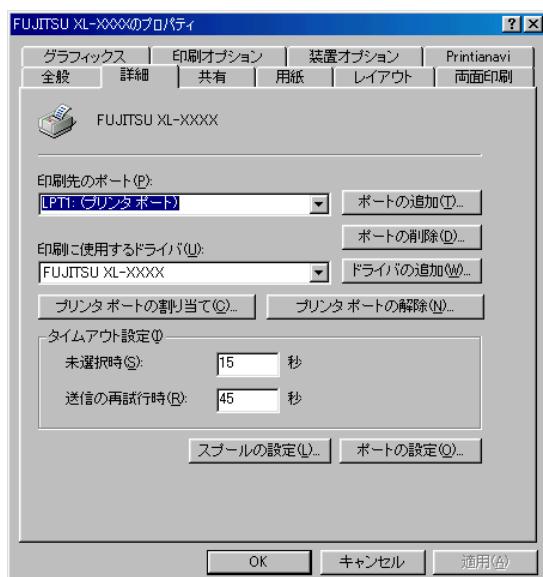
プリンタの接続方法を変更するときは、印刷先ポートの設定を変更する必要があります。また、プリンタがLAN (TCP/IP) に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

▼ Windows 95/98/Me のとき

パソコンのOSがWindows 95/98/Meのときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

■ 設定方法

1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



2 [ファイル]メニューから[プロパティ]を選択し、[詳細]タブをクリックする

3 「印刷先のポート」のをクリックして、一覧を表示する

変更するポートが一覧にある場合は、選択して[OK]をクリックしてください。

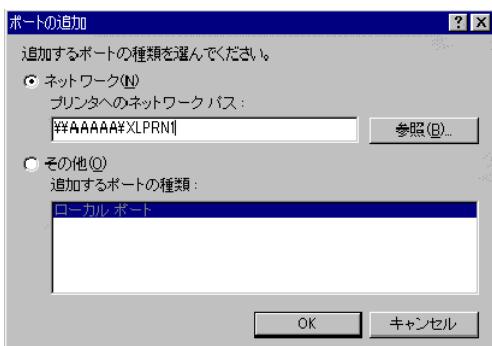
変更するポートが一覧にない場合は、手順4に進みポートの追加を行ってください。

4 [ポートの追加] をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法(印刷方法)によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



「ネットワーク」を選択後、[参照]をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力して[OK]をクリックします。

入力形式は「\\サーバのネットワークコンピュータ名\\プリンタの共有名」です。



NetWareで印刷する場合の入力形式は、「\\ファイルサーバ名\\プリントキュー」です。

LAN/IPP接続プリンタに印刷するとき



1 「その他」を選択後、「追加するポートの種類」で「Printianavi Network Port」を選択して[OK]をクリックする



「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianaviネットワークポートモニタをインストールしてください。

 [「ネットワークソフトウェアのインストール」\(58ページ\) 参照](#)

2 目的に合わせて接続先とポート名を入力し、終わったら[OK]をクリックする

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。



LANによる印刷を行いたいとき

[「LANポートの追加」\(77ページ\) 参照](#)



IPPによる印刷を行いたいとき

[「IPPポートの追加」\(80ページ\) 参照](#)

▼ Windows 2000/NT4.0 のとき

パソコンのOSがWindows 2000/NT4.0のときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

■ 設定方法

管理者権限でログオンし、次の操作をします。

画面はWindows 2000の場合です。

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする



- 2 [ファイル]メニューから[プロパティ]を選択し、[ポート]タブをクリックする

- 3 「印刷するポート」の一覧から、変更する印刷ポートを選択する

変更するポートが一覧にある場合は、ポートの横をチェックして[OK]をクリックしてください。

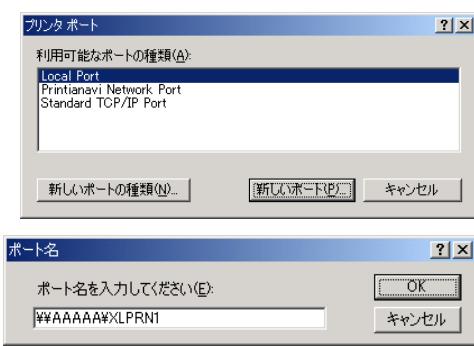
変更するポートが、一覧にない場合は、手順4に進み[ポートの追加]を行ってください。

4 [ポートの追加] をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



1 「利用可能なポートの種類」（Windows NT4.0は「利用可能なプリンタポート」）から「Local Port」を選択して[新しいポート]をクリックする

2 ネットワークパスを入力して[OK]をクリックする
入力形式は「¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。



NetWareで印刷する場合の入力形式は、「¥ファイルサーバ名¥プリントキュー名」です。

LAN/IPP 接続プリンタに印刷するとき



1 「利用可能なポートの種類」（Windows NT4.0は「利用可能なプリンタポート」）から「Printianavi Network Port」を選択して[新しいポート]をクリックする



「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモニタをインストールしてください。



「ネットワークソフトウェアのインストール」
(58 ページ) 参照

2 目的に合わせて接続先とポート名を入力し、終わったら[OK]をクリックする

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。



「LANによる印刷を行いたいとき」

「LAN ポートの追加」(77 ページ) 参照



「IPPによる印刷を行いたいとき」

「IPP ポートの追加」(80 ページ) 参照

LPR 印刷の設定

ここでは、Windows 2000/NT4.0 や NetWare 環境からの LPR 印刷の設定について説明します。



Printianavi機能はご使用になれませんので、あらかじめご了承ください。



Windows 2000/NT4.0 のとき

■ 準 備

▶ プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。



設定方法については、「IP アドレスの設定方法」(36 ページ) 参照

▶ サービスの組み込み

● Windows 2000 のとき

「UNIX用印刷サービス」と「簡易TCP/IPサービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1 [オプションネットワークコンポーネント] ウィザードを表示する

[スタート] から [設定] [ネットワークとダイヤルアップ接続] の順に選択し、[ネットワークとダイヤルアップ接続] フォルダの [詳細設定] メニューから [オプションネットワークコンポーネント] を選択します。

2 「UNIX用印刷サービス」が組み込まれているか確認する

[そのほかのネットワークファイルと印刷サービス] を選択し、[詳細] をクリックして「UNIX用印刷サービス」が組み込まれているか(チェックボックスがチェックされているか)確認します。

組み込まれていないときは、チェックして [OK] をクリックします。すでに組み込まれているときは、[キャンセル] をクリックします。

3 「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか確認する
〔ネットワークサービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか(チェックボックスがチェックされているか)確認します。

組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

以降は、〔次へ〕をクリックして画面の指示に従って、操作をしてください。

● Windows NT4.0のとき

「Microsoft TCP/IP印刷サービス」と「簡易TCP/IPサービス」を組み込んであることが必要です。次の手順で確認と組み込みを行います。

1 〔ネットワーク〕画面を表示する

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。

2 「Microsoft TCP/IP印刷」と「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれていることを確認する

〔サービス〕タブをクリックして表示される「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP印刷」と「簡易TCP/IPサービス」が表示されることを確認します。表示されない場合は、組み込んでください。

手 順

- 1 Windows 2000/NT4.0を起動し、管理者権限でログオンする
- 2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、プリンタドライバをインストールする



〔プリンタドライバ〕をクリックする

プリンタドライバのインストール画面が表示されます。
インストールするプリンタを選択後、プリンタの設定で、ポート名は「LPT1:」を選択してください。

以降は画面の指示に従ってインストールします。

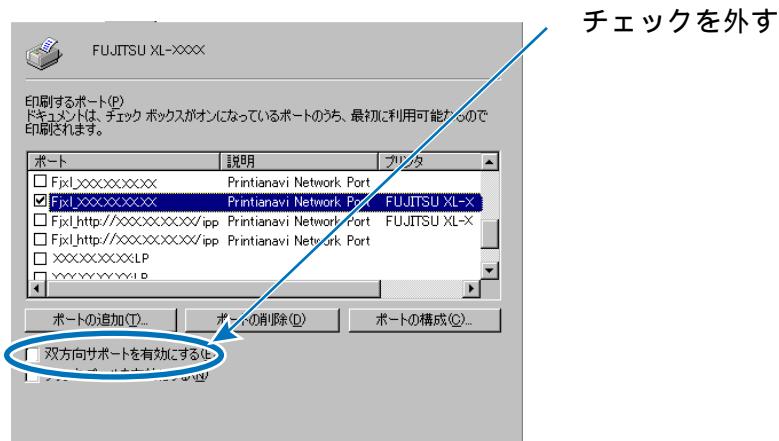


ポートの設定は、プリンタドライバをインストールした後に行ってください。

3 プリンタのポートの設定を変更する

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、LPR印刷を行う
プリンタを選択します。
- 2 [ファイル]メニューで[プロパティ]を選択し、プリンタのプロパ
ティを表示します。
- 3 [ポート]タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」の
チェックをはずします。

画面の例はWindows 2000の場合です。



- 4 [ポートの追加]ボタンをクリックし、[プリンタポート]ダイアログ
ボックスから、「LPR Port」を選択して[新しいポート]ボタンをク
リックします。



[LPR互換プリンタの追加]ダイアログボックスが表示されます。
次の内容を入力し、[OK]をクリックします。

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状
態にしておいてください。

LPR 互換プリンタの追加画面



IP アドレスを入力する
プリンタの IP アドレスを半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「LP」と入力する



「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」(Windows NT4.0は「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」)には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN カード XL-LN100 やプリンタ LAN アダプタ FM-LNA100/110 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

4 印刷データのスプール方法を変更する

・Windows 2000 のとき

プリンタのプロパティから「詳細設定」タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

・Windows NT4.0 のとき

プリンタのプロパティから「スケジュール」タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

設定が終わったら「OK」をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。

以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

▼ NetWare5 のとき

本プリンタは、Novell NetWare5のNDPSを使用してTCP/IP環境でのLPR印刷が可能です。

ここでは、本プリンタをNovell NetWare5のNDPSで使用する場合のNDPSプリンタの作成手順(管理者のみ)について説明します。NDPSに関する詳細な情報につきましては、Novell NetWare5のマニュアルを参照してください。なお、本設定での印刷では、Printianaviの機能はご使用になれませんのでご了承ください。

■ 準 備

▷ プリンタのIPアドレス設定

プリンタにIPアドレスを設定しておきます。設定したIPアドレスは固定にしてください。



設定方法については、「IPアドレスの設定方法」(36ページ)参照

▷ NDPSのセットアップ

あらかじめ、NDPSをサーバにセットアップしておいてください。セットアップ方法については、Novell NetWare5のマニュアルを参照してください。

■ 手 順

NDPSマネージャの作成を行ってから、NDPSプリンタの作成を行います。

▷ NDPSマネージャの作成

1 NetWareアドミニストレータを起動する

¥¥共有フォルダ名¥SYS¥PUBLIC¥WIN32¥NWADMN32.EXEを実行してください。

2 [オブジェクト]から[作成]をクリックする

3 [NDPS Manager]をクリックし[OK]をクリックする

4 NDPSマネージャ名、常駐先サーバ、データベースボリューム を設定する

- NDPSマネージャ名 適当な名前を入力します。
常駐先サーバ 右の〔参照〕をクリックし、適当な
サーバを選択します。
データベースボリューム 右の〔参照〕をクリックし、適当な
ボリュームを選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

▷ NDPS プリンタの作成

- 1 [オブジェクト] から [作成] をクリックする
2 [NDPS Printer] をクリックし、[OK] をクリックする
3 NDPSプリンタ名、プリンタエージェントのソースを設定する
NDPSプリンタ名 適当な名前を入力します。
プリンタエージェントのソース ... 「新規プリンタエージェントを作成
する」を選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

4 NDPS マネージャ名とゲートウェイタイプを設定する

- NDPSマネージャ名 右の〔参照〕をクリックし、先ほど
作成した NDPS マネージャを選択し
ます。
ゲートウェイタイプ 「Novell プリンタゲートウェイ」を
クリックします。

設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

5 NDPS マネージャをロードする

「NDPS マネージャがロードされていません。ロードしますか？」という
意味の警告が表示されます。ここでは〔OK〕をクリックし NDPS マネ
ージャをロードしてください。

6 プリンタタイプは「なし」、ポートハンドラタイプは「Novell ポートハンドラ」を選択し、〔OK〕をクリックする

7 接続タイプ、ホストアドレス、プリンタ名を設定する

接続タイプ 「リモート(IP上でLPR)」を選択します。
ホストアドレス 本プリンタの IP アドレスを入力します。
プリンタ名 「LP」と入力します。

設定が終わったら、[完了] をクリックしてください。

8 [プリンタドライバの選択] 画面で、接続したプリンタを選択する

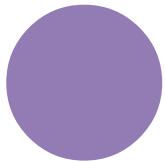
一覧にない場合は「なし」を選択してください。(プローカーのリソース管理サービスを使用して、プリンタドライバを追加することができます。 詳細は Novell のマニュアルを参照してください。)

プリンタの選択が終わったら、[続行] をクリックし、[OK] をクリックしてください。

以上で、作成した NDPS プリンタを出力先に指定して印刷ができます。

第6章

プリンタドライバの インストール



この章では、パソコンにプリンタドライバ（Printia XL ドライバ）をインストールする手順について説明します。

プリンタドライバのインストール	96
準備	96
インストールの手順	96

プリンタドライバのインストール

ここではプリンタドライバのインストール方法を説明します。

● ガイド

- ・ネットワークソフトウェアすでにプリンタドライバをインストールしている場合は、この処理を行う必要はありません。
- ・プリンタドライバをインストールすると、同時に Printianavi 印刷ログビューアもインストールされます。

○ 参照

印刷ログ機能の詳細については、添付CD-ROMのソフトウェアマニュアル「第1章 Printianavi の設定」の「印刷ログ機能」参照

▼ 準 備

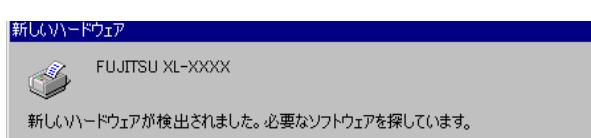
プリンタドライバのインストールには、本プリンタに添付のCD-ROMが必要です

▼ インストールの手順

ここでは、CD-ROMからプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

プリンタドライバのインストールは次の手順で行います。

テスト印刷を行う場合は、プリンタの電源を入れておきます。



1 Windows を起動する

プリンタケーブルで接続している場合は Windows 起動後、Plug&Play によって左のような画面が表示されることがあります。このときは[キャンセル]をクリックしてください。

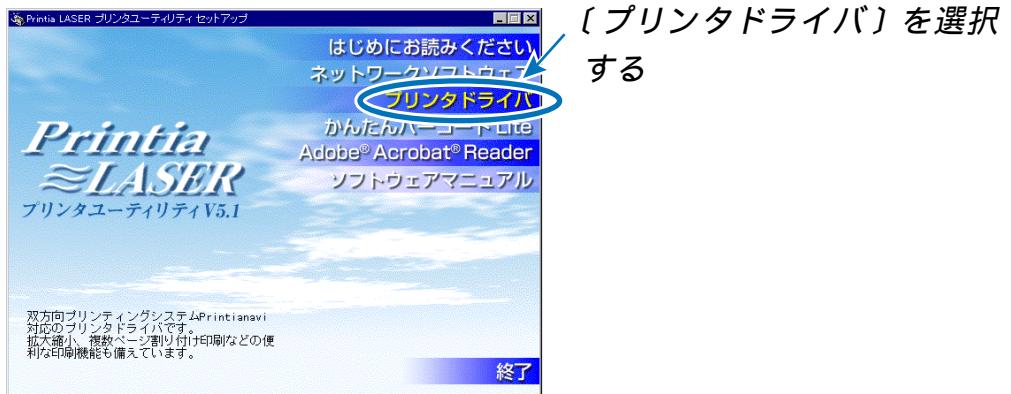


● ガイド

OSがWindows 2000/NT4.0の場合は管理者権限でログオンしてください。

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

インストーラ画面が表示されます。



3 「FUJITSU XL-5340」ドライバを選択する

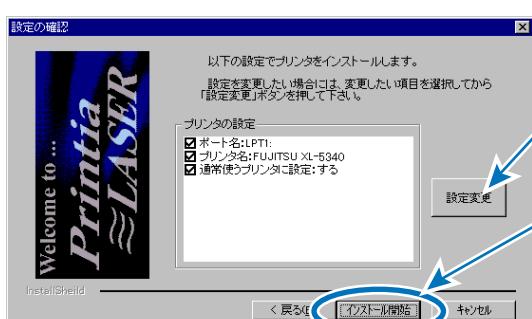
〔次へ〕をクリックする



● **ガイド** 複数の機種を一度にインストールすることはできません。
複数の機種をインストールしたい場合は、インストールする
ドライバごとに手順3～手順5の操作を行ってください。

4 プリンタの設定を行う

設定を変更する場合は、〔設定変更〕をクリックする
次ページへ進みます。



インストールを開始する場合は〔インストール開始〕をク
リックする
手順5(99ページ)の操作へ進み
ます。

各設定についての画面の説明をします。

ポート名設定画面



使用するポートを選択し、

〔次へ〕をクリックする

プリンタケーブルで接続したいとき

プリンタポート（通常LPT1）
選択

LAN(TCP/IP)およびIPP接続したいとき

Printianavi Network Port
(Fjxlpm1など)選択

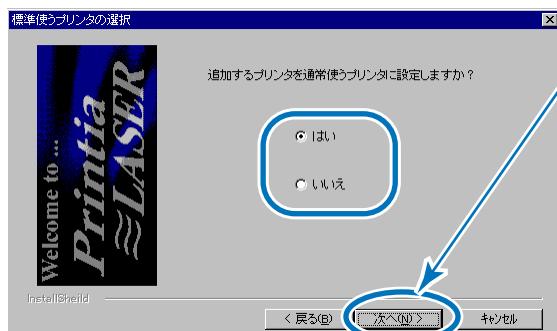
プリンタ名設定画面



プリンタ名を指定し〔次へ〕

をクリックする

通常使うプリンタに設定画面

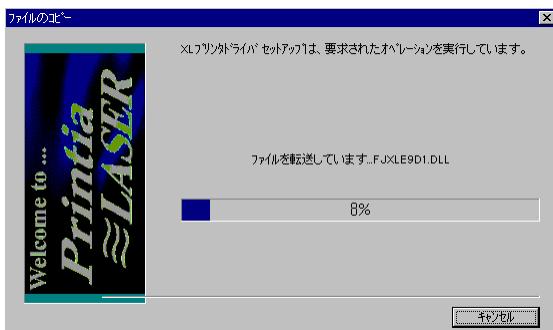


通常使うプリンタに設定する
かどうか選択し〔次へ〕をク
リックする

他にインストールされている
プリンタがない場合は、自動
的に通常使うプリンタに設定
されます。

選択した設定の変更がすべて終了してから〔次へ〕をクリックする
と、手順4の画面に戻り、〔インストール開始〕をクリックします。

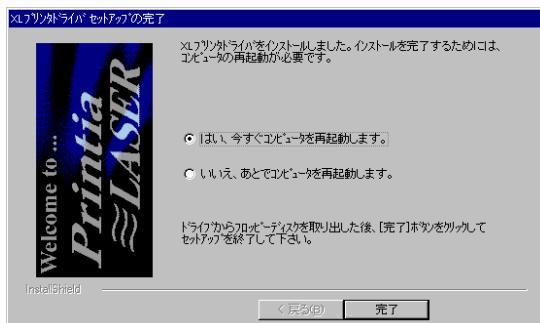
5 [完了] をクリックし、Windows を再起動する



ファイルのコピーが開始されます。



インストール終了



Windows を再起動するとインストールが完了します。

6

ネットワークソフトウェアからプリンタドライバをインストールしている場合は、「Printianavi ネットワークソフトウェアセットアップ」の Windows 再起動画面が表示されます。

- 「第5章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの作成」よりインストールしている場合は「完了処理」を行ってください。
- 「第4章 ネットワークの設定」よりインストールしている場合は（49 ページ）の手順 14 へ進んでください。

以降は必要に応じて各章を参照してください。



このプリンタを他のパソコンと共有するとき

「第7章 プリンタ共有の設定」(101 ページ) 参照



プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき

「第12章 プリンタドライバの設定」(189 ページ) 参照

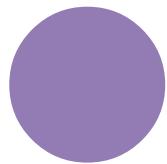


インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき

「第14章 こんなときには」(223 ページ) 参照

第7章

プリンタ共有の設定



この章では、プリンタドライバをインストールしたパソコン（サーバ）から印刷可能なプリンタを、他のパソコン（クライアント）からもサーバ経由で印刷するために必要な設定について説明します。

Windows 95/98/Me のとき	102
サーバ側の設定	102
クライアント側の設定	104
Windows 2000 のとき	105
サーバ側の設定	105
クライアント側の設定	108
Windows NT4.0 のとき	111
サーバ側の設定	111
クライアント側の設定	113

Windows 95/98/Me のとき

ここでは、OS が Windows 95/98/Me のパソコンで共有プリンタを使用するために必要な設定について説明します。

▼ サーバ側の設定

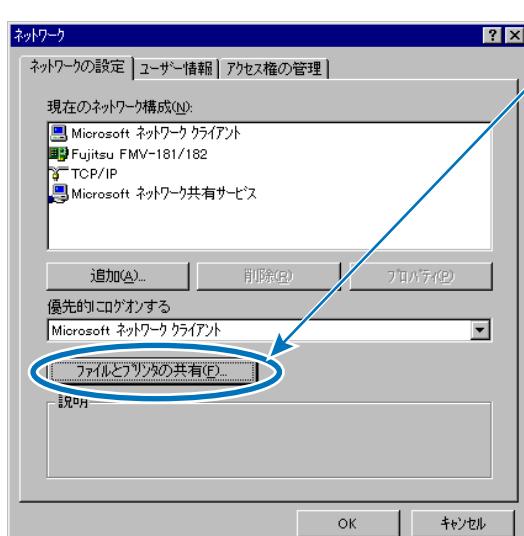
サーバ側で必要な設定について説明します。

■ 準 備

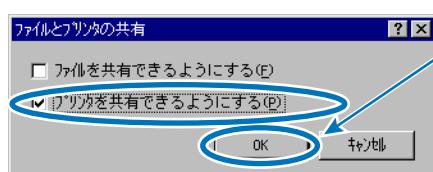
ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

1 [ネットワーク] プロパティを開く

[スタート] から [設定] [コントロールパネル] の順に選択し、[ネットワーク] をダブルクリックします。



2 [ファイルとプリンタの共有] をクリックする



3 「プリンタを共有できるようにする」を選択し、[OK] をクリックする

4 [ネットワーク] プロパティの [OK] をクリックして閉じ、OS を再起動する

■ 設 定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、共有するプリンタをクリックする。
- 2 [ファイル]メニューから[共有]を選択する
- 3 「共有する」を選択し、共有名を入力する
必要ならコメント、パスワードを入力してください。



共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

コメント プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。

パスワード 他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。

パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、[OK]をクリックしてください。

▼ クライアント側の設定

Windows 95/98/Me のクライアントから共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows 95/98/Me のクライアントから Windows 95/98/Me/2000/NT4.0 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

■ 準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ Windows 95/98/Me/2000/NT4.0 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ... Windows 95/98/Me が動作するパソコンです。

■ 設 定

1 エクスプローラを起動する

[スタート] から [プログラム]([エクスプローラ])(Windows Me は [スタート] から [プログラム]([アクセサリ])(エクスプローラ))の順に選択します。

2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

[ネットワーク コンピュータ](Windows Me は [マイネットワーク])をダブルクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、[プリンタ] フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows 2000 のとき

ここでは、OS が Windows 2000 のパソコンで共有プリンタを使用するために必要な設定について説明します。



サーバ側の設定

サーバ側で必要な設定について説明します。

- 1 Windows 2000 を起動し、管理者権限でログオンする
- 2 [スタート] から [設定] → [プリンタ] の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
- 3 [ファイル] メニューから [共有] を選択する
- 4 「共有する」を選択し、共有名を入力する

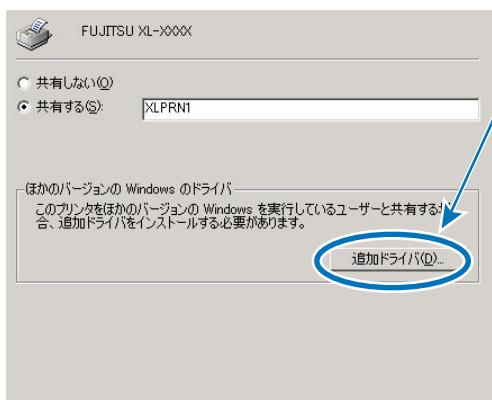


共有名 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。

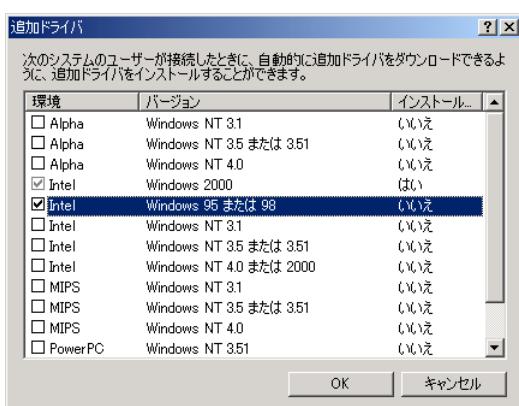
ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0の場合は、引き続き手順5以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。
(画面はWindows 95/98/Meの追加ドライバをインストールする場合)

● **ガイド** 追加ドライバをインストールしないときは、[OK]をクリックして設定を終了します。

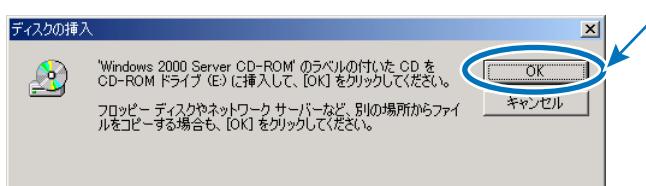


5 「追加ドライバ」をクリックする



6 「追加ドライバ」リストからクライアントのOSをチェックし、[OK]をクリックする

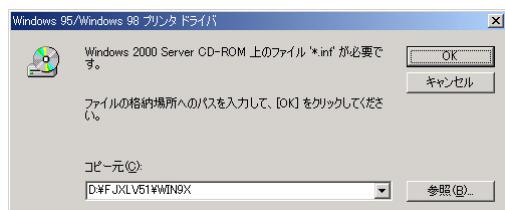
(画面はクライアントがWindows 95/98/Me用のとき)



7 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、[OK]をクリックする

● **ガイド** CD-ROMをセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、[終了]を選択して画面を閉じてください。

8 「コピー元」にクライアントのOS用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または[参照]をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、[開く]をクリックする
入力が終わったら[OK]をクリックします。

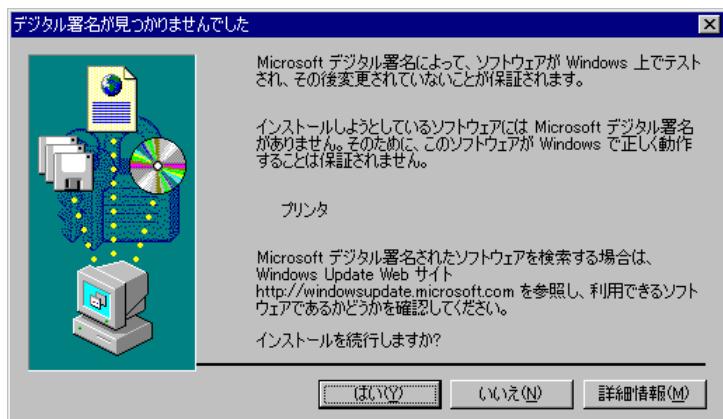


プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。
(CD-ROM ドライブが D:の場合)

クライアントのOS	フォルダ名
Windows 95/98/Me	D:\FJXLV51\WIN9X
Windows NT4.0	D:\FJXLV51\WINNT40

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示されたときは「はい」を選択してください。



▼ クライアント側の設定

クライアント側で必要な設定について説明します。

■ ネットワークインストール

Windows 2000のクライアントからWindows 2000のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。



お願い
サーバがWindows 2000以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ポート変更による方法」(109ページ)でインストールしてください。

▷ 準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ Windows 2000が動作するパソコンです。

あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ... Windows 2000が動作するパソコンです。

▷ 設 定

1 エクスプローラを起動する

[スタート]から[プログラム][アクセサリ][エクスプローラ]の順に選択します。

2 サーバを検索し、利用可能な共有プリンタを表示する

[マイネットワーク]の[ネットワーク全体]を表示します。

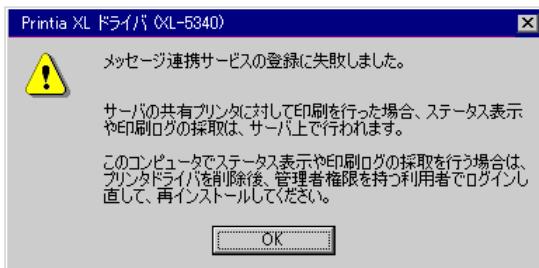
[コンピュータの検索]をクリックし、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索します。検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

● ガイド

管理者権限以外でネットワークインストールを行った場合、インストール後に以下のダイアログが表示される場合があります。



この場合は、管理者権限を持つユーザでログオンし、CD-ROM またはネットワークインストールからドライバのインストールを行ってください。

ポート変更による方法

Windows 2000 のクライアントからサーバが Windows 2000 以外の共有プリンタを使用する場合は、ローカルのプリンタポートを仮に指定して CD-ROM からプリンタドライバのインストールを行ってください。その後、ポートを変更して共有プリンタに接続します。

▷ 準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ Windows 95/98/Me/NT4.0 が動作するパソコンです。

あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ... Windows 2000 が動作するパソコンです。

▷ 設 定

1 プリンタドライバをインストールする

 プリンタドライバのインストールについては、「第6章 プリンタドライバのインストール」(95 ページ) 参照

インストール中に印刷先ポートの指定、およびテスト印刷を行うかどうかを尋ねられます。印刷先ポートは仮のポート（ローカルポート：LPT1 など）を、テスト印刷は「いいえ」（テスト印刷をしない）を選択します。

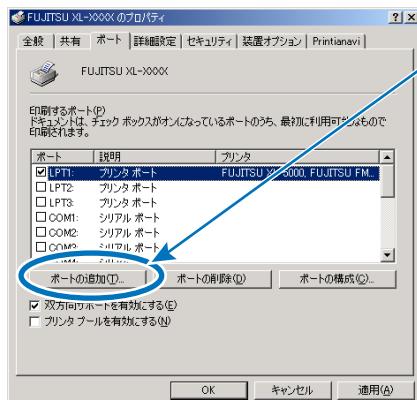
▷ お願い

手順 2 を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷ができません。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。

2 印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更する

1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順で選択し、設定を行うプリンタを選択する

2 [ファイル]メニューで[プロパティ]を選択し、[ポート]タブをクリックする



3 [ポートの追加]をクリックする



4 「Local Port」を選択し、[新しいポート]をクリックする



5 [ポート名]ダイアログに共有プリンタのネットワークパス（「¥¥ サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」）を入力する

入力が終わったら、[OK]をクリックして設定を終了します。

Windows NT4.0 のとき

ここでは、OSがWindows NT4.0のパソコンで共有プリンタを使用するために必要な設定について説明します。

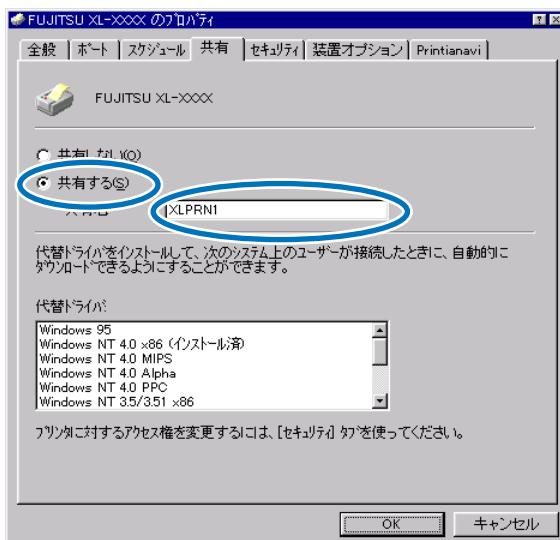
▼ サーバ側の設定

サーバ側で必要な設定について説明します。

■ 設 定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

- 1 Windows NT4.0 を起動し、管理者権限でログオンする
- 2 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
- 3 [ファイル]メニューから[共有]を選択する
- 4 「共有する」を選択し、共有名を入力する



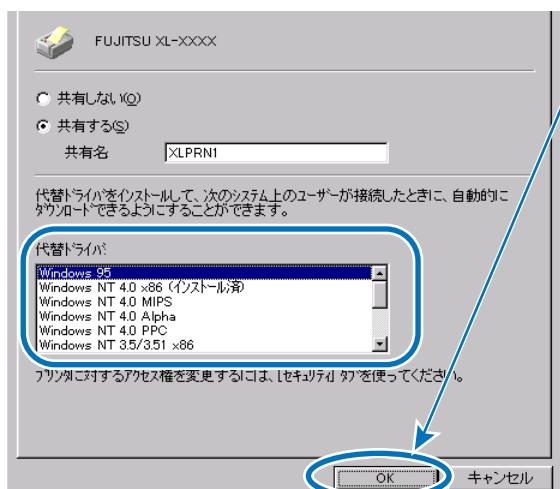
共有名 ... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Meのパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 95/98/Meの場合は、引き続き手順5以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。



代替ドライバをインストールしないときは、[OK]をクリックして設定を終了します。



5

「代替ドライバ」リストからクライアントのOSを選択し、[OK]をクリックする



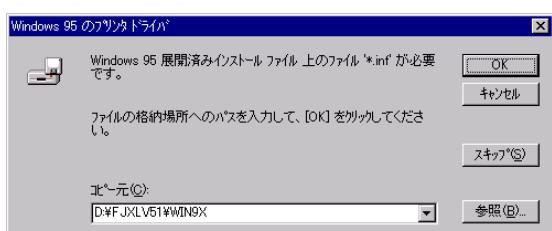
Windows 98/Meの代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

6

添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、[OK]をクリックする



CD-ROMをセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動したときは、[終了]を選択して画面を閉じてください。



7 「コピー元」に「D:¥FJXLV51¥WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥FJXLV51¥WIN9X」を選択する(CD-ROM ドライブがD:のとき)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

▼ クライアント側の設定

Windows NT4.0のクライアントから共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows NT4.0のクライアントからWindows 2000/NT4.0のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行えます。

■ ガイド

サーバがWindows 95/98/Meの場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールはCD-ROMから行う必要があります。

■ 準 備

クライアント側の設定には、本プリンタに添付のCD-ROMが必要です。(サーバがWindows 95/98/Meのとき)

また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ Windows 95/98/Me/2000/NT4.0が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ... Windows NT4.0が動作するパソコンです。

■ 設 定

1 エクスプローラを起動する

[スタート]から[プログラム][Windows NT エクスプローラ]の順に選択します。

2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

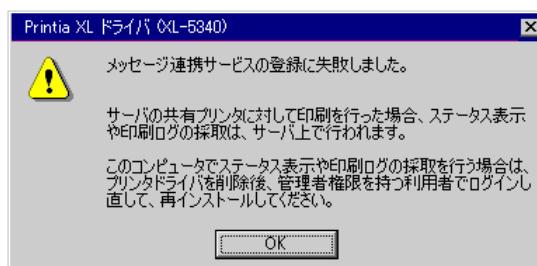
[ネットワークコンピュータ]をクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から、共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。



管理者権限以外でネットワークインストールを行った場合インストール後に以下のダイアログが表示される場合があります。



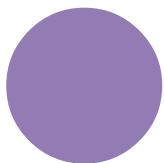
この場合は、管理者権限を持つユーザでログオンし、CD-ROMまたはネットワークインストールからドライバのインストールを行ってください。

運用編



第8章

用紙について



本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

使用できる用紙	118
使用できない用紙	120
用紙の保管上のご注意	122
用紙のセット	123
給紙トレイに用紙をセットする	123
オプションの給紙カセット(A4・500枚)に 用紙をセットする	126
排紙トレイのセット	129

使用できる用紙

本プリンタで使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

■ 紙方法と用紙のサイズ

給紙方法	タイプ	サイズ	質量	積載可能枚数
給紙	普通紙	A3タテ		
カセット	(再生紙)	B4タテ A4ヨコ B5ヨコ A5ヨコ	60 ~ 90g/m ²	約250枚 (質量64g/m ² の用紙の場合)
		リーガルタテ レターヨコ		
給紙トレイ	普通紙 (再生紙)	100 × 148 ~ 297 × 420mm	60 ~ 135g/m ²	約200枚 (質量64g/m ² の用紙の場合)
官製はがき	ハガキヨコ		190g/m ²	約75枚
OHPフィルム	A4ヨコ			約75枚
ラベル紙	A4ヨコ	60 ~ 135g/m ²		約75枚

▶お願い

- 用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でめし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
- はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- 官製はがき、厚紙(質量90g/m² ~ 135g/m²)、OHPフィルム、ラベル紙、不定形用紙は、給紙カセットからは印刷できません。給紙トレイから印刷してください。
- 不定形用紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、必ず「ユーザ定義サイズ」に合わせてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。

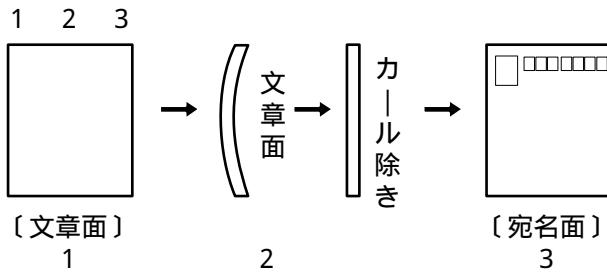
■ 普通紙

本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙の詳細は、「サプライ用品のご紹介」(152ページ)を参照してください。

官製はがき

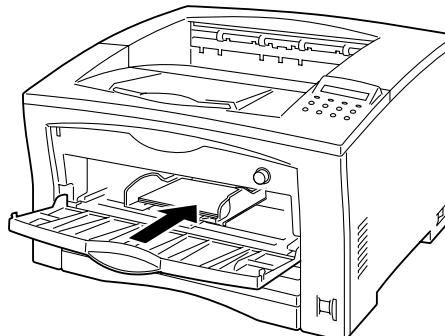
はがきに印刷するときは、文章面 宛名面の順に印刷してください。

宛名面 文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2mm以内の反りになるように修正してから印刷してください。



官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

- ・印刷面を上にしてセットしてください。
- ・給紙トレイに横長方向にセットしてください。



- ・ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

OHPフィルム

定着時の熱（約190℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約190℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

お買い

OHPフィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本プリンタに適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

使用できない用紙

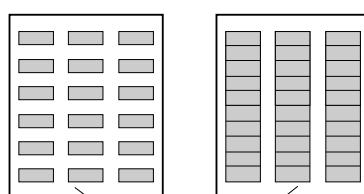
以下の用紙は本プリンタでは使用できません。

■ 本プリンタで使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

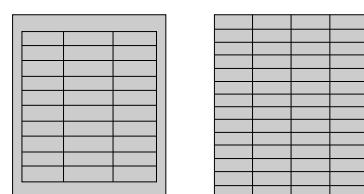
- ・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- ・湿っている用紙や、濡れている用紙
- ・一度印刷された用紙
- ・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- ・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・カールしている用紙
- ・静電気で密着している用紙
- ・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- ・表面を加工、または特殊なコーティングをおこなった用紙（感熱紙、カーボン紙など）
- ・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- ・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190°の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- ・190°の熱で溶けたり、変質する用紙
- ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ざら紙や纖維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・裁断部のバリが大きい用紙
- ・紙粉の多い用紙
- ・カラーページプリンタ用のOHPフィルム
- ・台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

× 使用できません



つるつるした台紙面

使用できます



全面ラベル紙

■ 両面印刷で使用できない用紙

以下の用紙は両面印刷では使用できません。

官製はがき、厚紙（重量 90g/m² ~ 135g/m²）、OHP フィルム、ラベル紙、
不定形用紙

■ 給紙力セットで使用できない用紙

以下の用紙は給紙力セットでは使用できません。

官製はがき、厚紙（重量 90g/m² ~ 135g/m²）、OHP フィルム、ラベル紙、
不定形用紙

▶ お願い

不定形用紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、必ず「ユーザ定義サイズ」に合わせてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

用紙は次のような場所に保管してください。

- ・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- ・平らなパレットの上
- ・温度 20 ℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

- ・床の上に直接置く
- ・直射日光の当たる場所
- ・外壁の内側の近く
- ・段差や、曲がりのある場所
- ・静電気が発生するところ
- ・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
- ・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

- ・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- ・長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む



長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

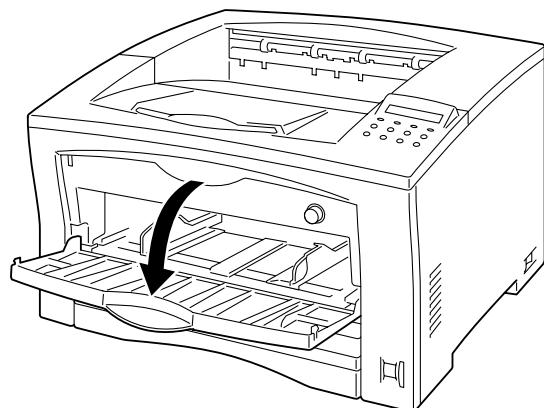
用紙のセット

給紙トレイと給紙カセット(A4-500枚)に用紙をセットする手順について説明します。

 参照 紙力カセット(A3ユニバーサル・250枚)に用紙をセットする手順については、「紙力カセットに用紙をセットする」(18ページ)参照

▼ 紙トレイに用紙をセットする

紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。
次の手順に従って、紙トレイに用紙を入れます。



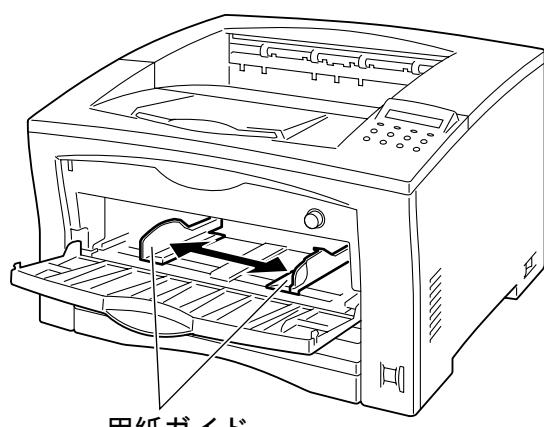
1 紙トレイを開ける

プリンタ前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、紙トレイを開けます。

▶ お願い

紙トレイは約80°の角度に開きます。紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。

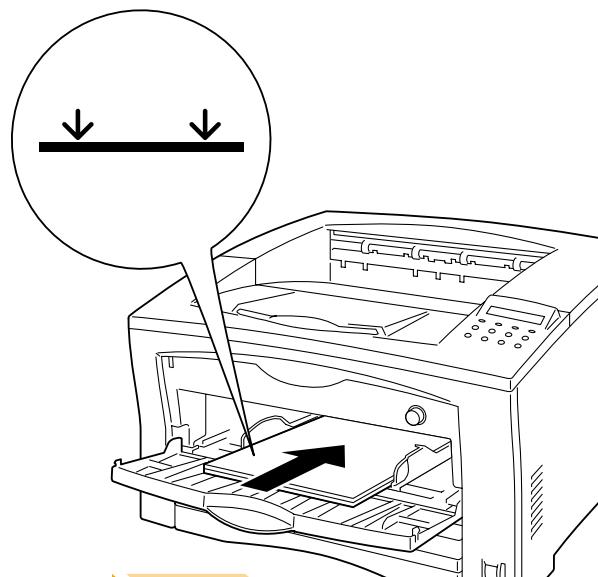
破損の原因となります。



2 用紙ガイドを、使用する用紙サイズに合わせて動かす

3 用紙を入れる

用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

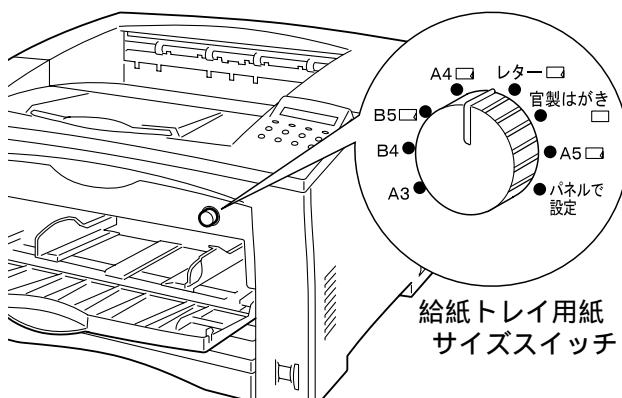


▶お願い

- ・折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。
- ・A4、B5、A5、レターサイズの用紙とハガキは、横長にセットしてください。
- ・印刷方向については、「用紙関係」(271ページ)を参照してください。
- ・用紙ガイドのラベルにある線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。

●ガイド!

給紙トレイに収容できる枚数は、約200枚(64g/m²の場合)です。



4 用紙サイズを設定する

給紙トレイにセットした用紙のサイズを、給紙トレイ用紙サイズスイッチで設定します。

ガイド

- ・「パネルで設定」の位置にすると、プリンタドライバまたはオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。
- ・A4 横の長さ以下のサイズの用紙をセットした場合は、給紙トレイを閉じて印刷することができます。

お願い

印刷中は、給紙トレイ用紙サイズスイッチを操作しないでください。プリンタが誤作動する場合があります。

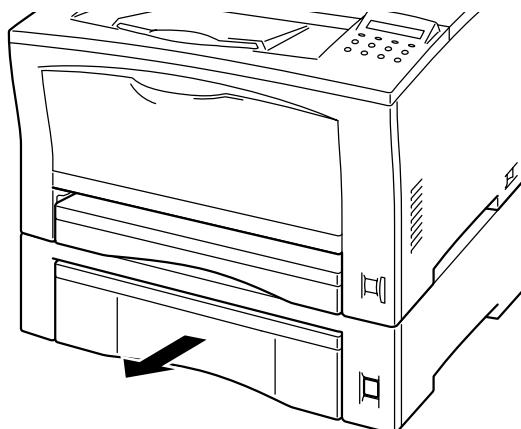
▼ オプションの給紙カセット(A4・500枚)に用紙をセットする

給紙カセット(A4・500枚)は、オプションの拡張給紙ユニット-Bにセットするカセットです。

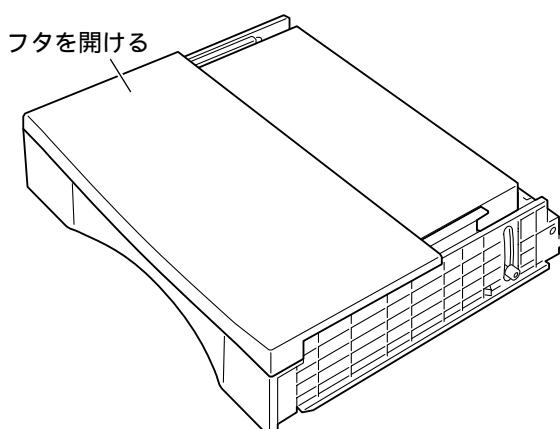
ここでは、給紙カセット(A4・500枚)に用紙をセットする手順について説明します。



給紙カセット(A3ユニバーサル・250枚)に用紙をセットする手順については、「給紙カセットに用紙をセットする」(18ページ)参照



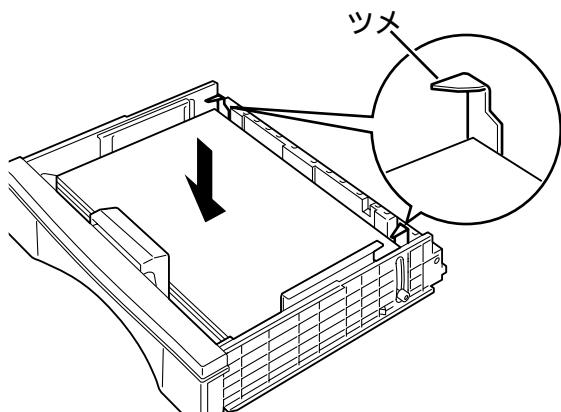
1 給紙カセットをプリンタから抜く



2 給紙カセットを平らな場所に置き、フタを開ける

3 用紙をセットする

用紙の四隅を揃え、印刷したい面を上にして、左右のツメの下に差し込むようにセットします。



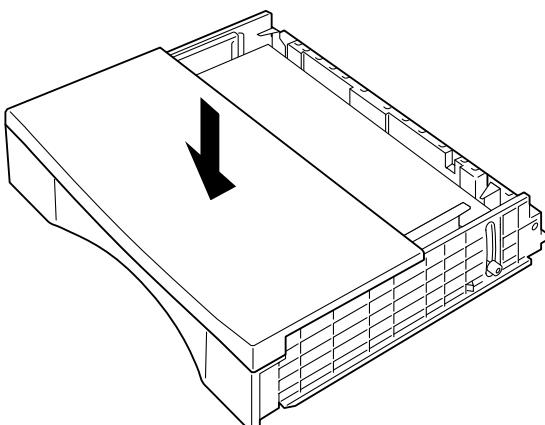
▶お願い

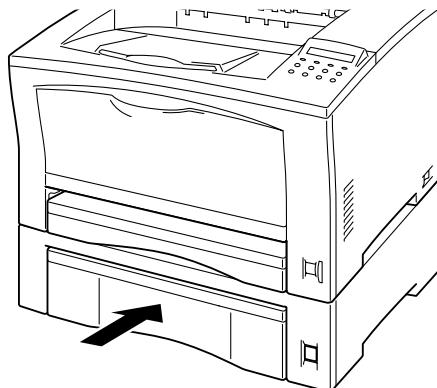
- ・折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。
- ・A4 サイズの用紙は「用紙関係」(271 ページ) を参照して、横長にセットしてください。
- ・最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。用紙の高さで 54mm 以下です。
- ・用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。

●ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約 500 枚 (64g/m² の場合) です。

4 用紙の端をそろえ、給紙カセットのフタを閉める





5 紙給紙カセットをプリンタに押し込む

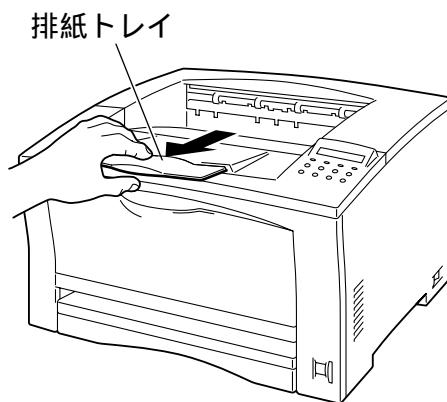
紙給紙カセットを突き当たるまで押し込みます。奥までしっかりと押し込まれていることを確認してください。

▶ お願い

- ・セットされていない紙給紙カセットがあると、『カセットナシ』と表示されます。必ずすべての紙給紙カセットをセットしてください。
- ・紙給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

排紙トレイのセット

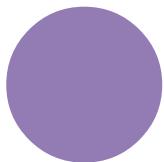
排紙トレイをセットする手順について説明します。



- 1 B4以上の用紙を排紙する場合は、排紙トレイを引き出す

第9章

オプションについて



本プリンタのオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニットと拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

オプション品のご紹介	132
オプション取り付け上のご注意	136
プリンタ RAM モジュールの取り付けかた	136
プリンタ RAM モジュールを取り付ける	137
プリンタ RAM モジュールを取り外す	139
両面ユニットの取り付けかた	140
両面ユニットを取り付ける	140
両面ユニットを取り外す	143
拡張給紙ユニットの取り付けかた	145
拡張給紙ユニットを取り付ける	146
拡張給紙ユニットを取り外す	149

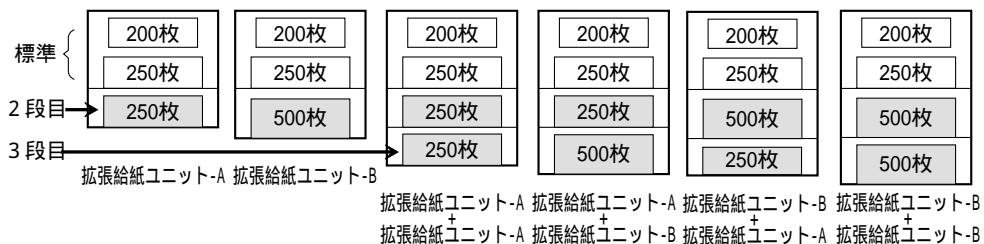
オプション品のご紹介

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

■ 拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット-A	XL-EF25M1	2段目、3段目の給紙ユニットとして使用できます。(注1) (A3ユニバーサル、250枚給紙力セット添付)
拡張給紙ユニット-B	XL-EF50M1	2段目、3段目の給紙ユニットとして使用できます。 (A4、500枚給紙力セット添付)

形態



■ 両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPM1	両面印刷用のユニットです。

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、A3、A4横、A5横、B4、B5横、リーガル、レター横サイズの用紙を両面印刷できるようになります。

■ プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -64MB	XL-EM64M5	RAM を 64MB 搭載したメモリモジュールです。

用途

ピットマップメモリの容量増加により、印刷速度の向上が図れます。また、部単位印刷が可能になります。

搭載されている RAM の容量と解像度によって印刷できる用紙サイズが異なります。これらの関係を以下の表に示します。

片面

	16MB (オプションなし) 300dpi	80MB (オプション: 64MB) 300dpi	80MB (オプション: 64MB) 600dpi
A3			
B4			
Legal			
Letter			
A4			
B5			
A5			
はがき			
ユーザ定義サイズ			
：印刷保証			

両面

	16MB (オプションなし) 300dpi	80MB (オプション: 64MB) 300dpi	80MB (オプション: 64MB) 600dpi
A3			
B4			
Legal			
Letter			
A4			
B5			
A5			
はがき			
ユーザ定義サイズ			
：印刷保証	：印刷可能	：印刷不可	

両面印刷時にドライバの設定で「プロテクトモードで印刷する」をチェックしている場合、Legal、B4、A3の用紙を選択するとメモリ不足で印刷不可となります。

■ プリンタ LAN アダプタ

本プリンタ内蔵のプリンタ LAN ポートは 100BASE-TX/10BASE-T に対応し、プロトコルとして TCP/IP をサポートしています。

IPX/SPX プロトコルでは次のプリンタ LAN アダプタをご使用ください。

品名	型名	内容
プリンタ LAN アダプタ	FM-LNA110	100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN アダプタです。 NetWare 3.1xJ、IntranetWare、 NetWare 5 に対応しています。

■ プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

▶ お願い

- ・本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。
- ・長さが1.5メートル以下のシールドされたプリンタケーブルをお使いください。

別売りケーブルは以下のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL712
PRIMERGY GRANPOWER 5000 シリーズ	FMS-CBL711
FM-Server シリーズ	

【NEC】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
PC-9821 シリーズ(ハーフピッチ 36Pin)	XL-CBL981(*1)
PC-9801 シリーズ(ハーフピッチ 36Pin)	

*1: XL-CBL981 はプリンタインターフェースとして 36 ピンハーフピッチコネクタを持つ PC-9800 シリーズに対応しています。36 ピンハーフピッチ以外のコネクタを持つ PC-9800 シリーズは、NEC 製の専用ケーブルをご使用ください。

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

【USB ケーブル】

本プリンタをパソコンのUSBインターフェースに接続して使用するためのケーブルです。USB からパラレルインターフェースの変換を行います。

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	FMV-CBL721	USB に対応し、Windows 95 OSR2.5 以降または Windows 98/Me/2000 が動作するパソコンに接続可能です。

Printianavi には対応していません。

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠️ 警告

感 電 オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
当社推奨品以外を接続すると、火災や感電または故障の原因となります。

⚠️ 注意

け が オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または故障の原因となることがあります。

▶ お願い

オプションの取り付け、取り外しを行った際は、設定の一覧を印刷し、システム情報が正しく変更されていることを確認してください。

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

⚠️ 警告

感 電 プリンタ RAM モジュールを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「」側に倒れていることを確認してください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

▶ お願い

静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

- ・本プリンタに取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- ・モジュールに触れる前に、金属製のもの(ロッカーノ)に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- ・モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

▼ プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

1 電源の切断を確認する

電源が切れていることを確認します。(電源スイッチが「」側に倒れている状態です。)

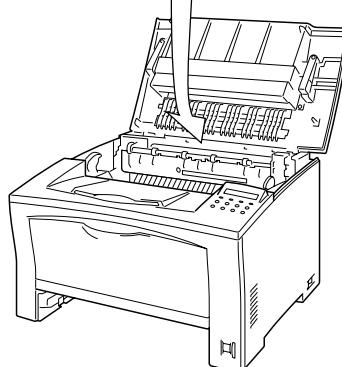


2 リリースボタンを押して、上部カバーを開く



やけど プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

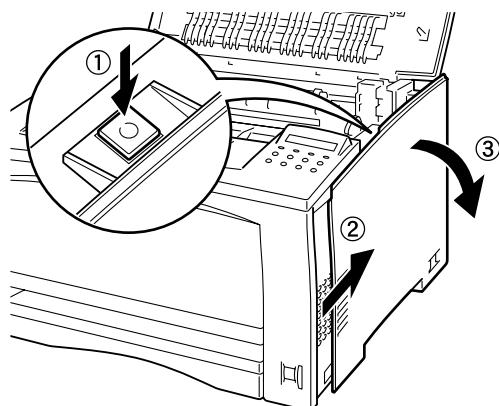
警告ラベル



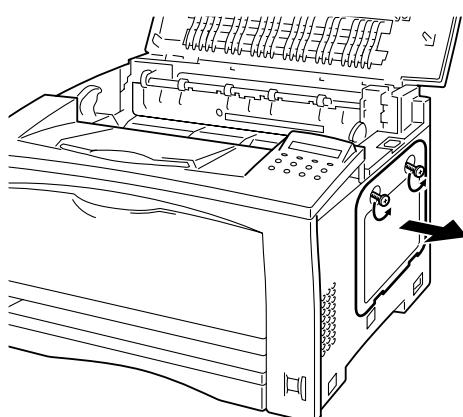
けが 上部カバーを開くとき、カバーとプリンタに手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触ると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。



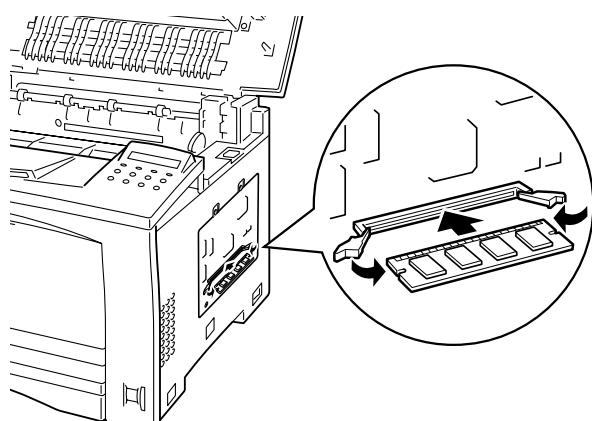
プリンタ内部の部品には手を触れないでください。



3 オプションカバーを外す
プリンタの右側面のオプションカバーを外します。オプションカバーは、図のように上面の四角いボタンを押しながら背面にずらし、外側に倒すようにして外します。



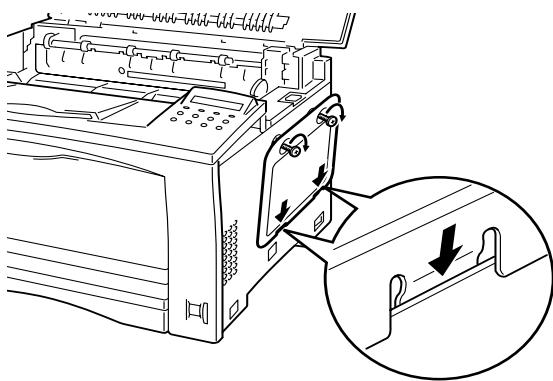
4 パネルを外す
パネルのネジ 2 か所をドライバーを使って外し、パネルを外します。



5 プリンタRAMモジュールを取り付ける
プリンタRAMモジュールの向きに注意しコネクタのミゾに合わせてゆっくりと差し込みます。左右のレバーが閉じるまで押し込みます。

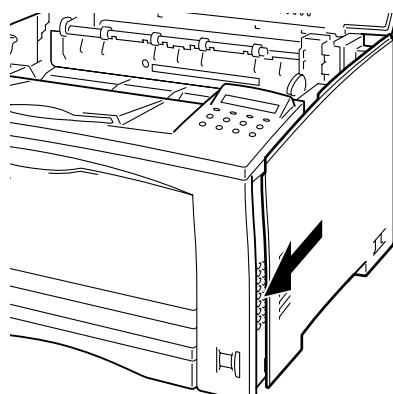


プリンタRAMモジュールの基板は壊れやすいので、ていねいに取り扱ってください。



6 パネルを取り付ける

パネル下部の突起部を、プリンタの内側に入れてから、ネジ(2本)で固定します。



7 オプションカバーを取り付ける

オプションカバーは、下側のツメをプリンタ本体の穴に差し込んでからプリンタ本体に沿って前側にスライドさせます。

8 上部カバーを閉じる

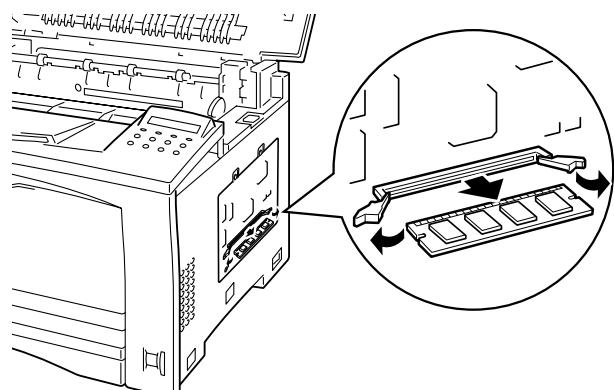
上部カバーの中央を押して確実にロックします。



メモリを増設したときは、電源の投入を行い、オペレータパネルの液晶ディスプレイ上に表示される「メモリ ヨウリヨウ」でメモリの総容量を確認します。

▼ プリンタ RAM モジュールを取り外す

プリンタ RAM モジュールの左右をとめているレバーを指で開き、プリンタ RAM モジュールを手前に引き抜きます。オプションカバーの外しかたや取り付けかたは、「プリンタ RAM モジュールを取り付ける」(137 ページ) を参照してください。



両面ユニットの取り付けかた

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズの用紙を両面印刷できるようになります。

A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター 横

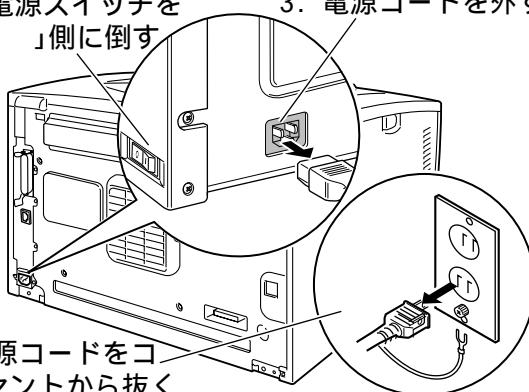
⚠️ 警告

感電 両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「**▲**」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

1. 電源スイッチを「**▲**」側に倒す



2. 電源コードをコンセントから抜く

3. 電源コードを外す

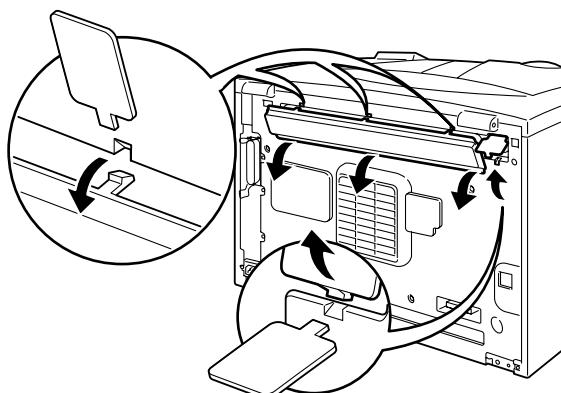
1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「**▲**」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

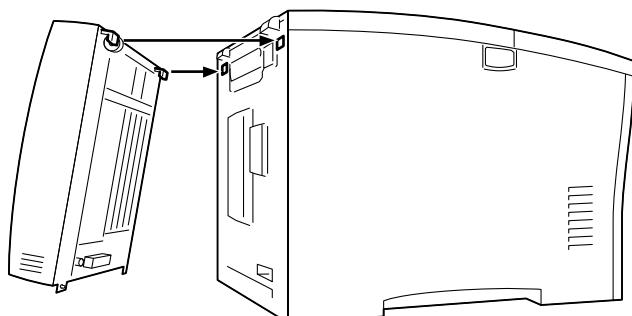
プリンタケーブル、および LAN ケーブルを外します。

2 プリンタ背面のカバーを取り外す

両面ユニットに添付されている工具を差し込んで、プリンタ背面にある2か所のカバーを取り外します。

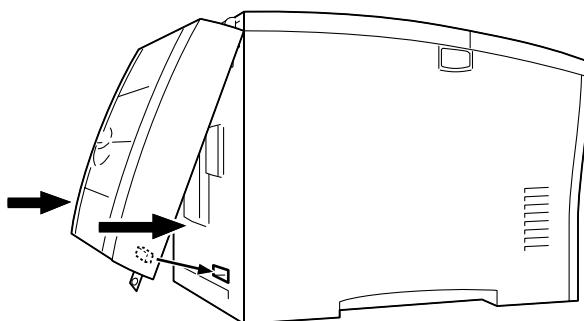


3 両面ユニットの左右の突起部をプリンタ背面の穴に差し込む



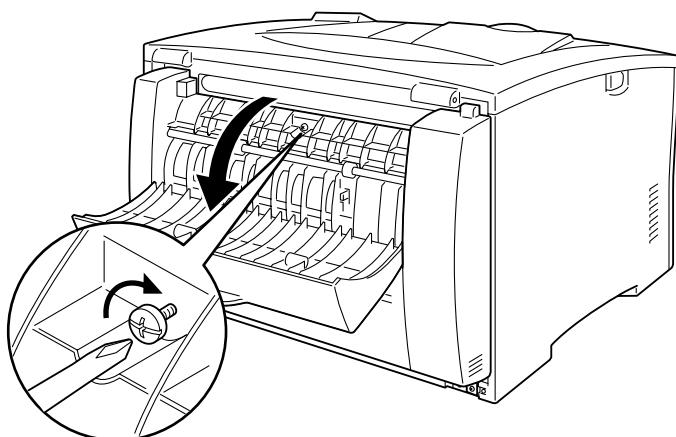
4 両面ユニットを固定する

両面ユニットの左右を持ち、前方へ押しながらプリンタに固定します。両面ユニットのコネクタをプリンタのコネクタに差し込んでください。

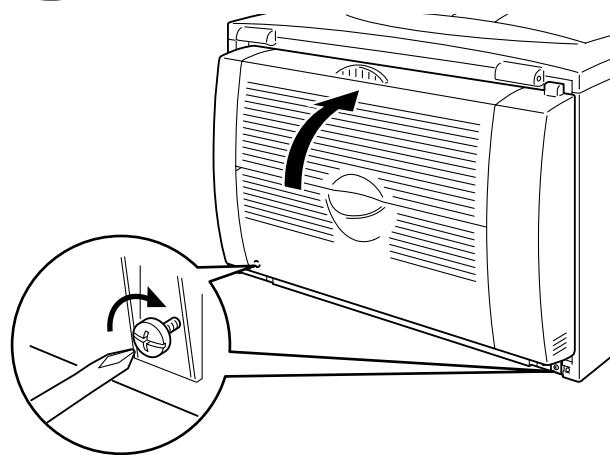


お願い

両面ユニットが確実に取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、動作不良や紙づまりなどの原因となります。



5 両面ユニットの上カバーを開き、中央部を付属のネジで固定する

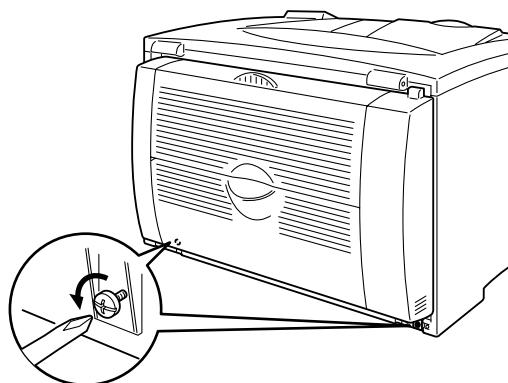


6 両面ユニットの上カバーを閉じ、下部を付属のネジで固定する

両面ユニット下部の左右 2 か所のネジをしめます。

▼ 両面ユニットを取り外す

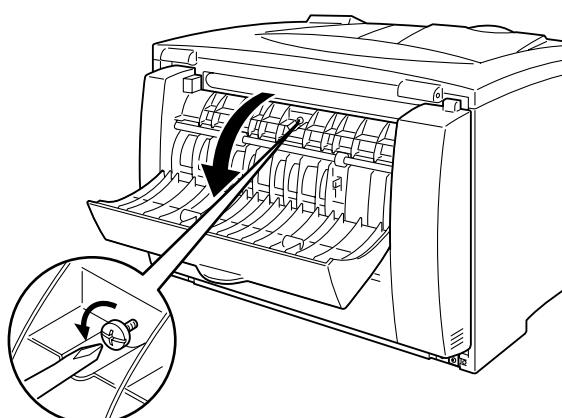
両面ユニットは、次の手順で取り外します。



- 1 プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外し、両面ユニット下部の左右2か所のネジをゆるめる

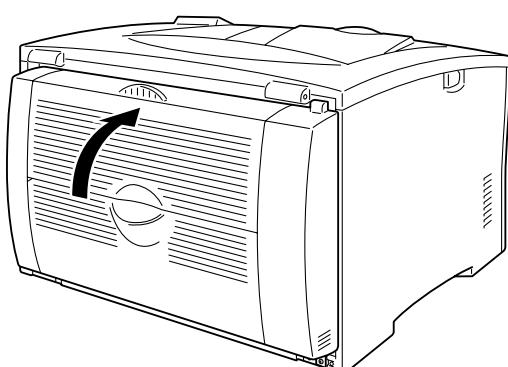
両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、プリンタの電源を切り、電源コード、プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。

次に両面ユニット下部の左右2か所のネジをゆるめます。

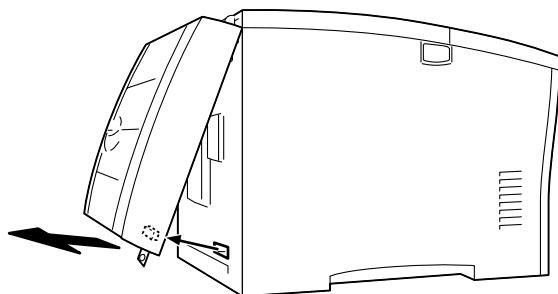


- 2 両面ユニット中央部のネジをゆるめる

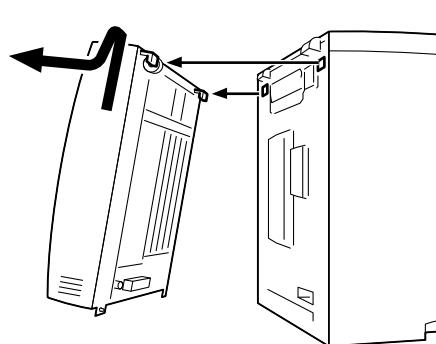
両面ユニットのカバーを開き、中央部にあるネジをゆるめます。



- 3 両面ユニットの上カバーを閉じる

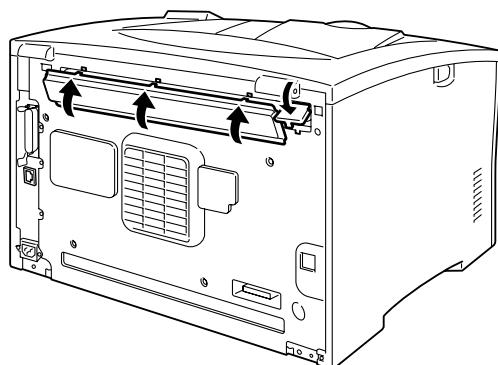


4 両面ユニットの下部をプリントから引き抜く



5 両面ユニットをプリンタから外す

両面ユニットを持ち上げるようにして、左右の突起部をプリンタ背面の穴から外します。



6 プリンタ背面にカバーをつける

両面ユニットを取り付けるときに外したプリンタ背面のカバーを、カチッと音がするまで押し込みます。

拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタに取り付けることができる拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニット-A (A3ユニバーサル・250枚)、拡張給紙ユニット-B (A4・500枚) があります。

拡張給紙ユニット-A、拡張給紙ユニット-Bは、上段下段のどちらにでも取り付けることができます。

取り付けられる拡張給紙ユニットの数は、プリンタにより異なります。「オプション品のご紹介」(132ページ)で取り付け可能な形態を確認してください。

次ページ以降の説明では、拡張給紙ユニット-Aを例にしていますが、拡張給紙ユニット-Bの場合も同じです。

△警告

感電 拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

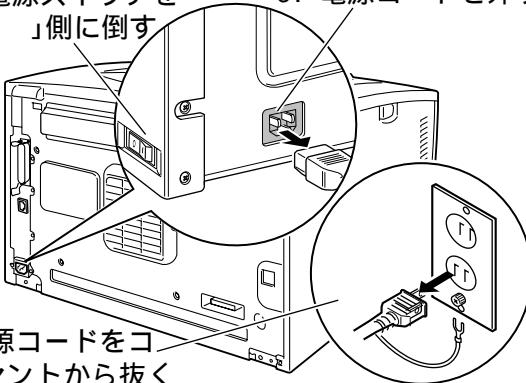
△注意

けが

- ・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
- ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- ・本プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約17.4kgあります。プリンタを動かす場合は、必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面(操作パネル側)および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

▼ 拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

1. 電源スイッチを「**」**側に倒す
 2. 電源コードをコンセントから抜く
 3. 電源コードを外す
- 
- 1 プリンタの電源を切る
プリンタの電源スイッチを「**」」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。
プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。**
 - 2 給紙カセットを取り外し、給紙トレイと排紙トレイを閉じる
排紙トレイを閉じる
給紙トレイを閉じる
給紙カセットを取り外す
 - 3 拡張給紙ユニットを設置場所に置き、拡張給紙ユニット - A の保護用の段ボールをとり、フィードローラの灰色のゴム面が上になっていることを確認する
フィードローラ

フィードローラの灰色のゴム面が上になっていない場合は、ローラを手で回してゴム面を上にしてください。

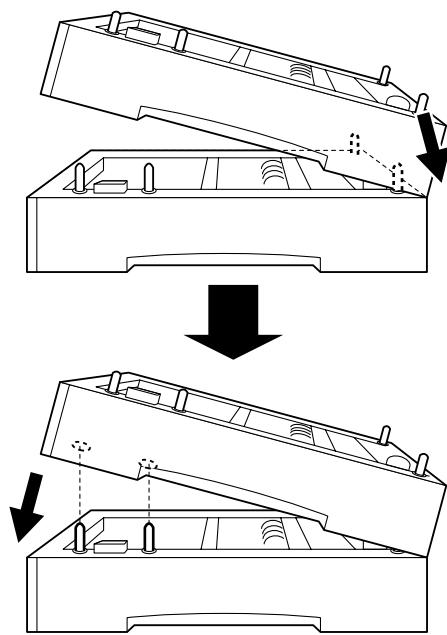
拡張給紙ユニット - B には保護用の段ボールは付いていません。

拡張給紙ユニット - A、または拡張給紙ユニット - B を 1 つだけ取り付けるときは 6 に進みます。

お願い

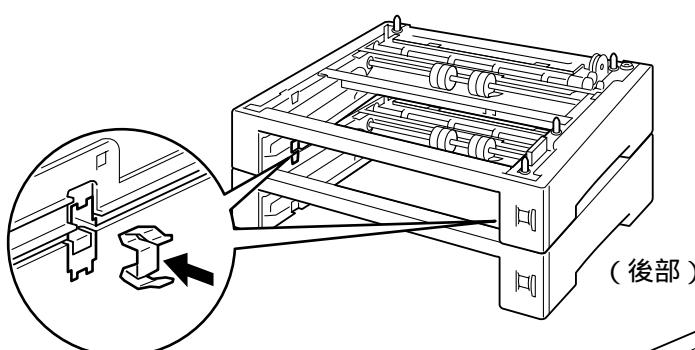
フィードローラの灰色のゴム面が上になっていない状態では、給紙カセットをセットできません。

4 拡張給紙ユニットを2段取り付けるときは、2段目(下段)のガイドピンと、1段目(上段)の底面にある穴を合わせて重ねる

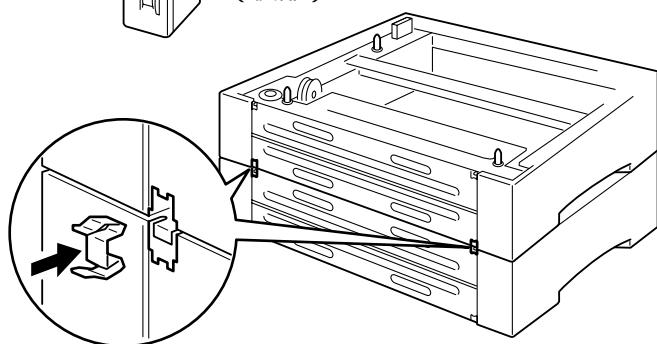


(前部)

5 拡張給紙ユニットの前後4か所の差し込み部に、付属の固定クリップを押し込む

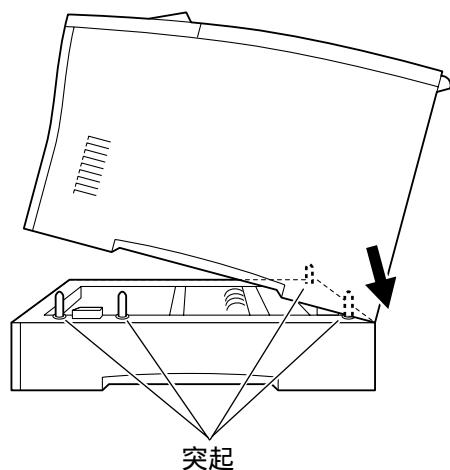


(後部)



▶ お願い

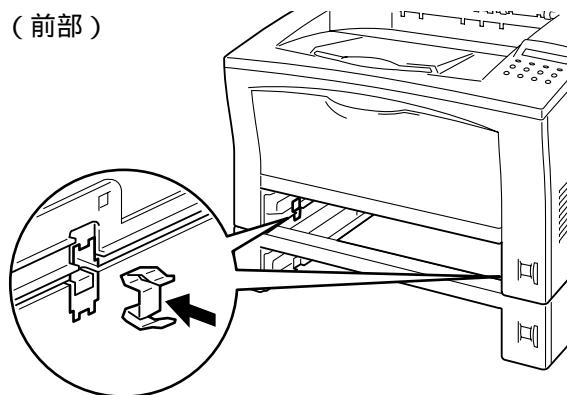
- ・給紙ユニットは、前後の向きに注意して、図のように置いてください。また、前後の取り付け作業ができるくらいのスペース(それぞれ約50cm)を確保してください。
- ・給紙ユニットのプリント板はこわれやすいので、手を触れないでください。



6 プリンタを拡張給紙ユニットにのせる

プリンタの左右の取っ手を持って持ち上げ、プリンタの後部の角と拡張給紙ユニットの角を合わせ、後ろから順にガイドピンが入るようにゆっくりおろします。

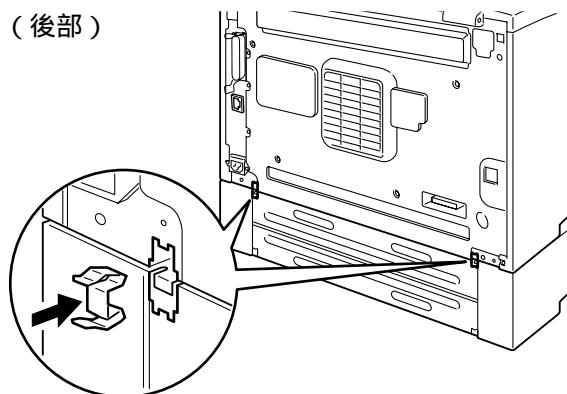
(前部)



7 クリップで固定する

プリンタ本体の前後 4 か所の差し込み部に付属の固定クリップを押し込み、拡張給紙ユニットを固定します。

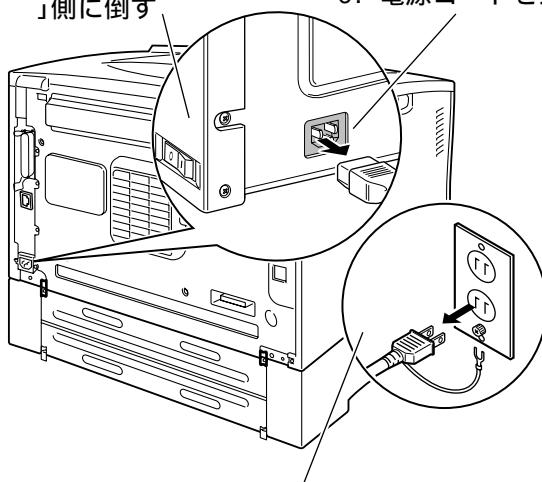
(後部)



▼ 拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

1. 電源スイッチを「」側に倒す



2. 電源コードをコンセントから抜く

3. 電源コードを外す

1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

プリンタケーブル、およびLANケーブルを取り外します。

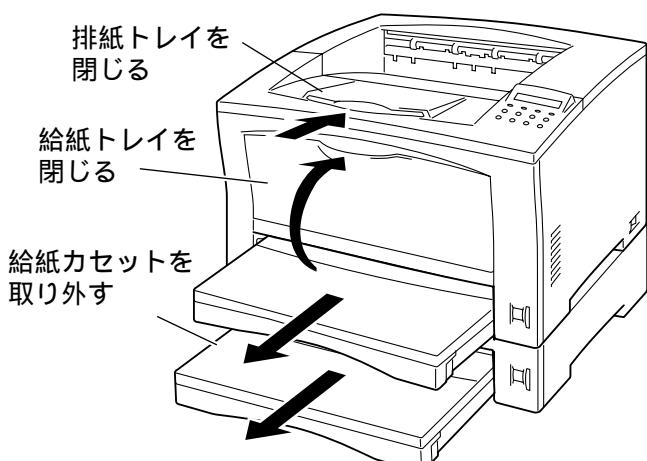
排紙トレイを閉じる

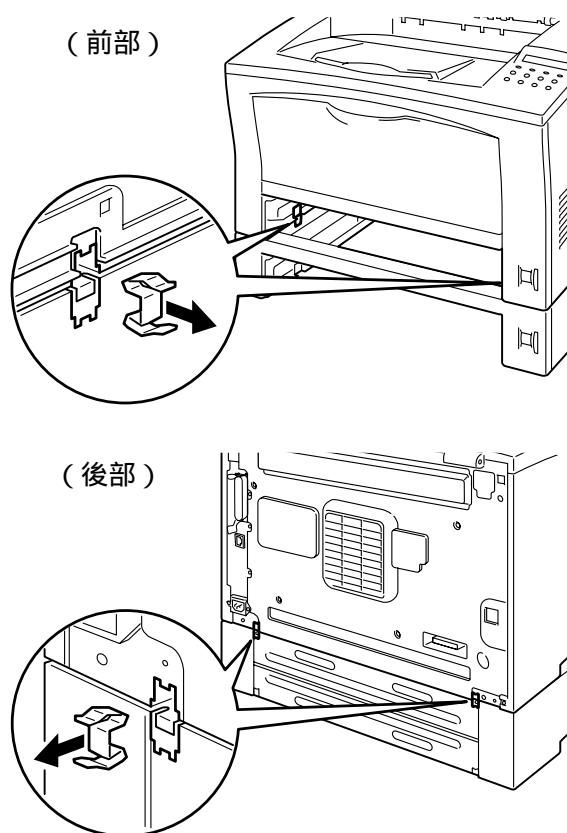
給紙トレイを閉じる

給紙カセットを取り外す

2

すべての給紙カセットを取り外し、給紙トレイと排紙トレイを閉じる

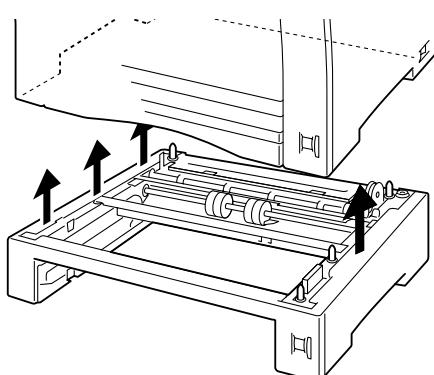




3 プリンタの前後4か所の固定クリップを外す

お願い

取り外した拡張給紙ユニットと付属の固定クリップを、破損または紛失することのないように保管してください。



4 プリンタをまっすぐに持ち上げる

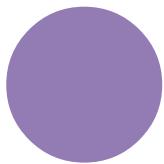
取り付けてあった拡張給紙ユニットを、他の人に押さえてもらいます。プリンタの両側の取っ手を両手でしっかりと持ち、プリンタをまっすぐに持ち上げます。プリンタは必ず2人で持ち上げてください。

お願い

まっすぐに持ち上げてください。無理に取り外すと、接続用ピンなどの接続部分を損傷することがあります。

第10章

日常のメンテナンス



この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

サプライ用品のご紹介	152
プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項	153
プロセスカートリッジの交換	153
プロセスカートリッジの取り扱いと保管	157
プリンタの清掃	158
プリンタ外部の清掃	158
プリンタ内部の清掃	159
プリンタを長期間使用しないとき	161
プリンタを移動するとき	162
近くに移動する	162
梱包して運搬する	165

サプライ用品のご紹介

■ サプライ用品の一覧

サプライ用品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商品名	商品番号	備考
普通紙推奨用紙		
A3 サイズ	0411650	500枚×3冊で1ケース
B4 サイズ	0411620	
A4 サイズ(Y)	0411612	500枚×5冊で1ケース
B5 サイズ(Y)	0411645	
A5 サイズ(Y)	0411635	
プロセスカートリッジ	LB311A	0884110 A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約6,000枚です(印刷の内容により、多少の差があります)。
プロセスカートリッジ	LB311B	0884120 A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約10,000枚です(印刷の内容により、多少の差があります)。
LB311 紙給紙カセット (A3 ユニバーサル)	0884310	A3～A5サイズで250枚 本体およびXL-EF25M1添付のカセットと同一です。
LB311 紙給紙カセット (500枚)A4	0884320	A4サイズで500枚 拡張紙給紙ユニット-B(XL-EF50M1)専用です。
レーザプリンタ置台	0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法 600(W)×610(D)×440(H)mm

プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項

プロセスカートリッジの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

▼ プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ 1 本あたりの目安として、LB311A の場合 A4 サイズの用紙で約 6000 枚、LB311B の場合 A4 サイズの用紙で約 10000 枚の印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この表示がでたら、156 ページ以降の手順でプロセスカートリッジを取り外し、「プロセスカートリッジの取り付け」(13 ページ)にしたがって、新しいプロセスカートリッジと交換します。



破 裂 プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのプロセスカートリッジは、無償回収サービスをご利用ください。(「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」(156 ページ))

誤 飲・トナー トナーは目や口に入らないように注意してください。プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

- ・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
- 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

け が 上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。

上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

運

用

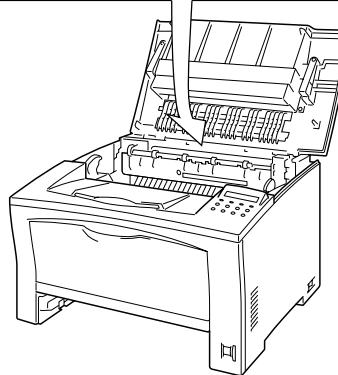
編

10

⚠ 注意

やけど プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

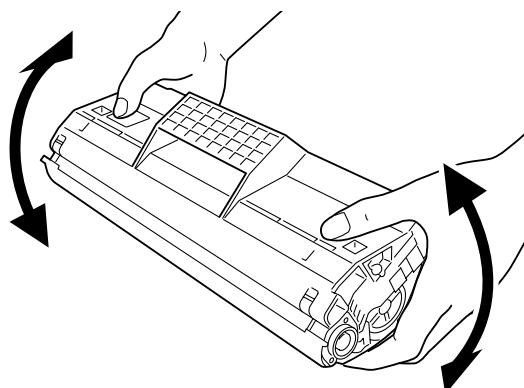


▶ お願い

- ・プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。
- ・直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも5分以上は放置しないでください。
- ・ドラム保護シャッターは絶対に開けないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
- ・常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。

● ガイド

- ・プロセスカートリッジの保管期限は約2年間です。お買い上げ後は2年以内にご使用ください。
- ・プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
交換の前にプロセスカートリッジを矢印のようになるべく7～8回振り、トナーの状態を均一にして、再度印刷してください。



- ・プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
- ・縦のカスレや部分的なカスレがある場合
プロセスカートリッジを上記のように取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき
- ・不鮮明な印刷状態が発生した場合
適切な用紙に変えて印刷しても改善されないとき

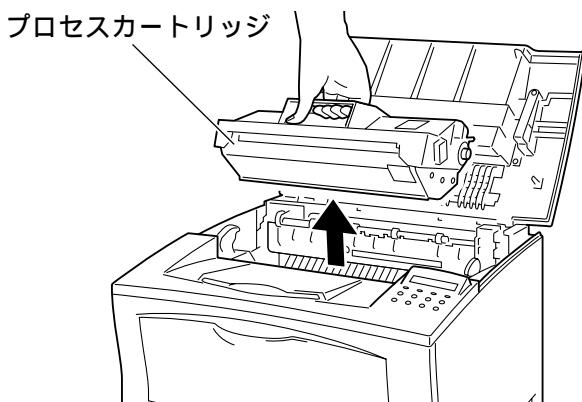
次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。



プリンタ内部の部品には手を触れないでください。

1 プリンタの上部カバーを開く

上部カバーの開け方は、12ページを参照してください。



2 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる



- トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、弊社の回収サービスをご利用ください。

「プロセスカートリッジの取り付け」(13ページ)にしたがって、新しいプロセスカートリッジを取り付けます。

■ 使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。

下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル : 0120-30-0693

平日 8:40 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:30
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)



プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- ・直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。
- ・室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを5分以上放置しないでください。
- ・プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- ・寒いところから暖かいところに移動した場合は、1時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- ・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれことがあります。
- ・ドラムシャッターにより、プロセスカートリッジ内の感光体(ドラム)が光にあたらないように保護されています。ドラムシャッターは絶対に開けないでください。
- ・感光体(ドラム)表面には絶対に手を触れないでください。



保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- ・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- ・直射日光を避け、以下の環境で保管してください。

温度範囲 0 ~ 35 、 湿度範囲 15 ~ 80%RH

(ただし、結露のないこと)

- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・CRT画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- ・幼児の手の届かないところに保管してください。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約1か月に1回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠ 注意

やけど プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

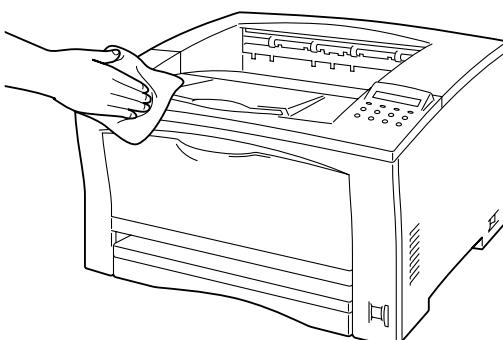
感 電 電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

▶ お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。

- ・プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10分位たって内部の温度が下がってから作業してください。
- ・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。
- ・油をさす必要はありません。注油はしないでください。

▼ プリンタ外部の清掃



カバーの表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。その後、柔らかい乾いた布で拭きます。

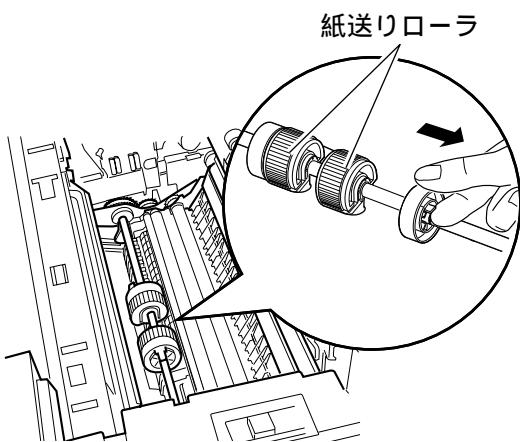
▼ プリンタ内部の清掃

紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

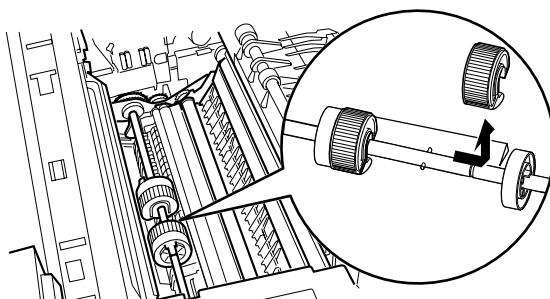
- ・紙片が残っていれば取り除きます。
- ・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

■ 紙送りローラの清掃

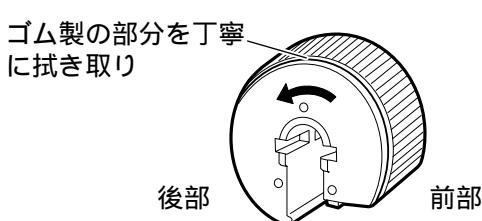
年賀はがきやかもめーるなど、絵入り官製はがきに印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。プロセスカートリッジを取り出し、紙送りローラ（半月状のゴムローラ（2個））を清掃してください。



- 1 紙送りローラの外側にあるプラスチックのローラのツメを、軸の溝から外しながら外側にずらす
左側のローラは左へ、右側のローラは右へずらします。



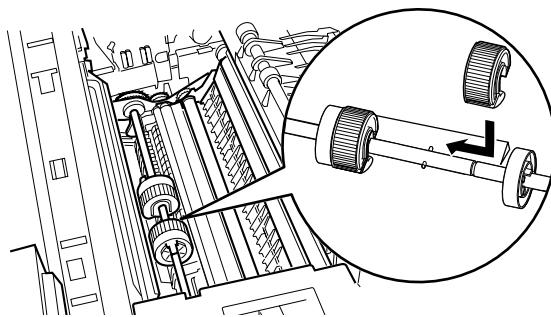
- 2 紙送りローラを外側にずらして、垂直に取り外す



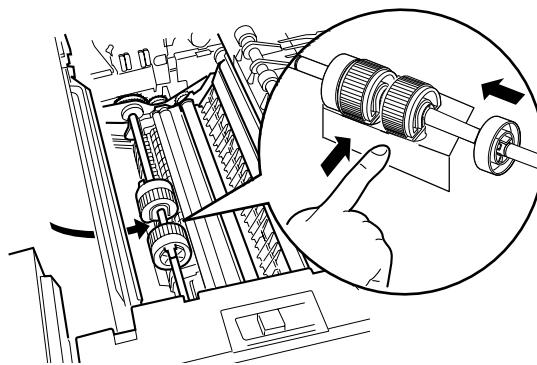
- 3 水でぬらして硬く絞った柔らかい布で、紙送りローラのゴムの部分をていねいに拭く

▶ お願い

水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。



4 紙送りローラの矢印を手前に向けて軸にはめ、軸上の突起と紙送りローラの溝をあわせ内側にずらす



5 紙トレイの給紙口から手を入れ、軸の後ろにあるプレートを押しながら、外側のローラ（プラスチック）を、内側にずらして紙送りローラを固定する

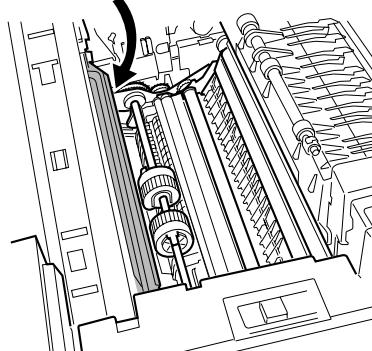
左側の紙送りローラも同じ手順で清掃してください。

● **ガイド** 外側のローラのツメが、軸の溝にはまっていることを確認してください。

シールドガラスの清掃

シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかすれることがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してください。

金属板の下にある「シールドガラス」を清掃してください。

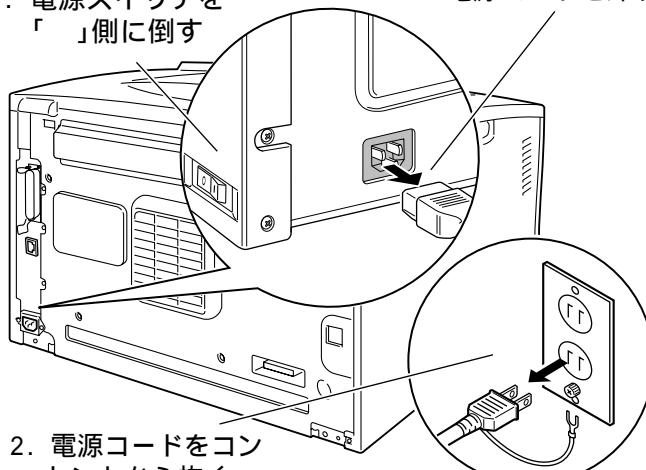


シールドガラスを乾いた布でていねいに拭く

プリンタを長期間使用しないとき

1週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

1. 電源スイッチを「**」**側に倒す



2. 電源コードをコンセントから抜く

3. 電源コードを外す

- 1** 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

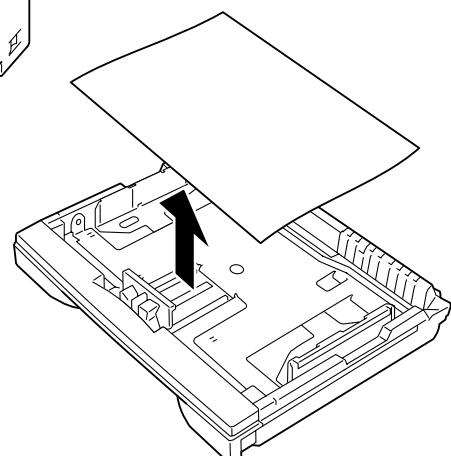
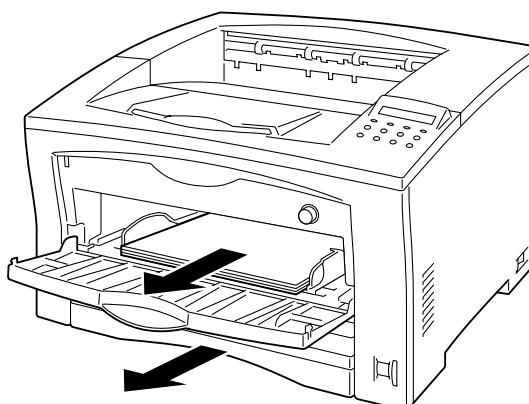
プリンタの電源スイッチを「**」**側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは「オペレータパネルのエラーメッセージ」(239ページ)を参照し、処置をしてから電源を切ってください。

- 2** 用紙を取り出す

給紙トレイおよび給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。



用紙の保管については、「第8章 用紙について」(117ページ)参照

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠ 注意

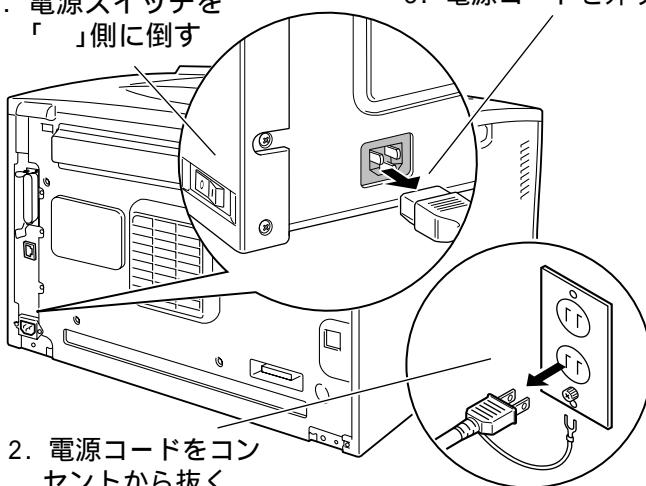
本プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約17.4kgあります。プリンタを動かす場合は、必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面(操作パネル側)および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

● ガイド ●

拡張給紙ユニット(オプション)を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

近くに移動する

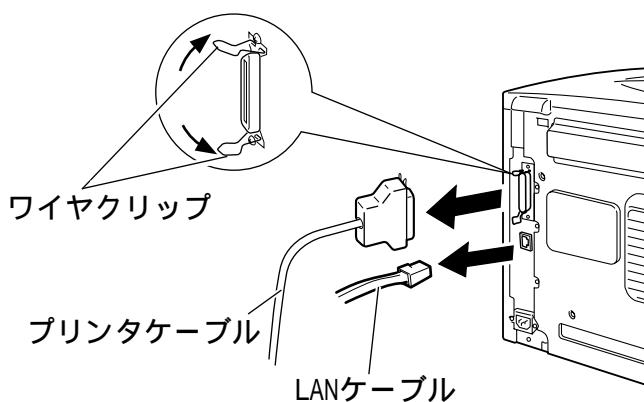
プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

1. 電源スイッチを「」側に倒す
 2. 電源コードをコンセントから抜く
 3. 電源コードを外す
- 

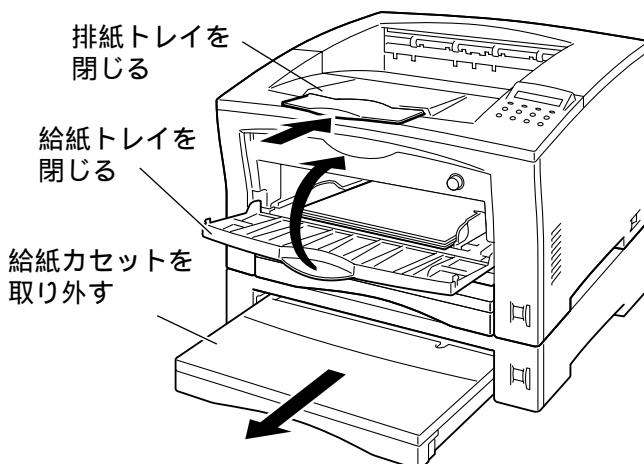
1. 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す
- プリンタの電源スイッチを「」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

► お願い

エラーメッセージが表示されているときは「オペレータパネルのエラーメッセージ」(239ページ)を参照し、処置をしてから電源を切ってください。

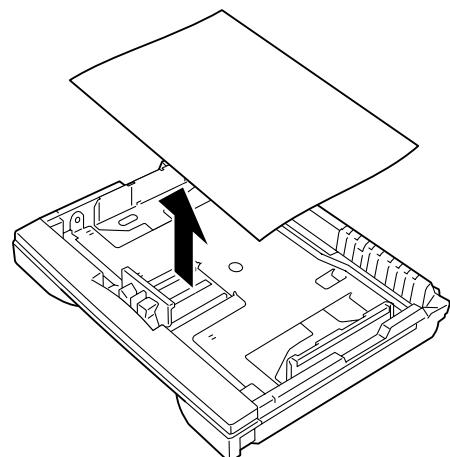


2 プリンタケーブルを抜く
パラレルインタフェースコネクタからプリンタケーブルを外します。また、LANケーブルが接続されている場合、LANケーブルを外します。



3 用紙を取り出す

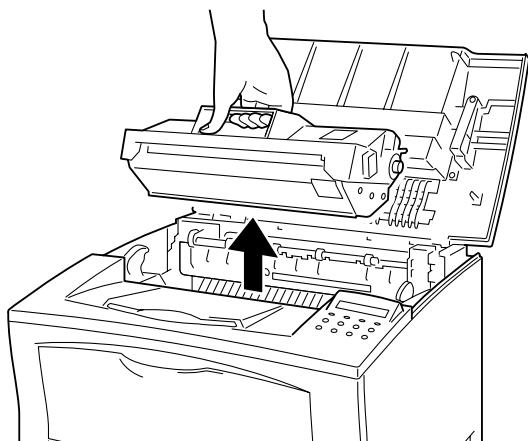
用紙を給紙トレイまたは給紙カセットから取り出し、紙などに包みます。給紙トレイと排紙トレイは閉じます。



用紙の保管については、「第8章 用紙について」(117ページ)参照

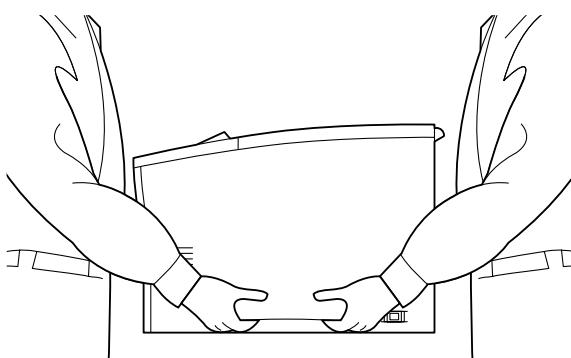


用紙が入っている給紙カセットは重いので、「給紙カセットに用紙をセットする」(18ページ)を参照して、注意してプリンタから抜いてください。



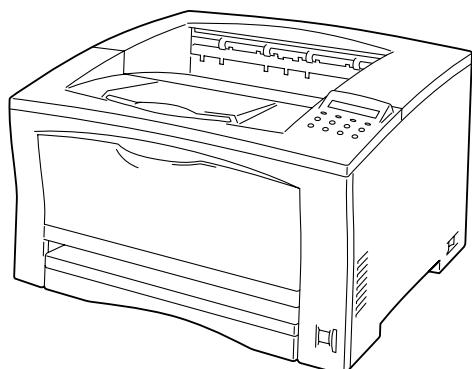
▶ お願い

- ・プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。
- ・取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ・取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないように、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。



4 プロセスカートリッジを取り外す

「プロセスカートリッジの交換」(153ページ)を参照して、プリンタ内部からプロセスカートリッジを取り外し、上部カバーを閉めます。



5 プリンタを移動する

給紙カセットを抜いた状態で、プリンタを2人以上で持ち、静かに移動します。

6 適切な場所に、プリンタを設置し直す

参考

設置し直すときの手順については「設置手順」(12ページ)参照

▼ 梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

1 付属品を取り外す

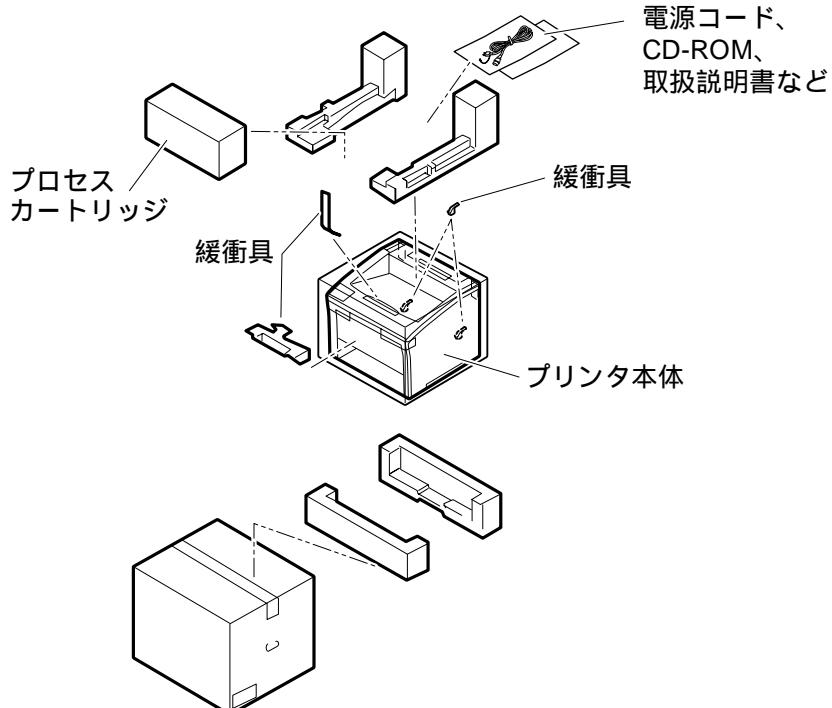
「近くに移動する」の手順1～4(162ページ)に従って、付属品を取り外します。

2 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。

精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。また、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」(157ページ)も合わせて参照してください。

- ・梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
- ・プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。



第11章

オペレータパネルの操作



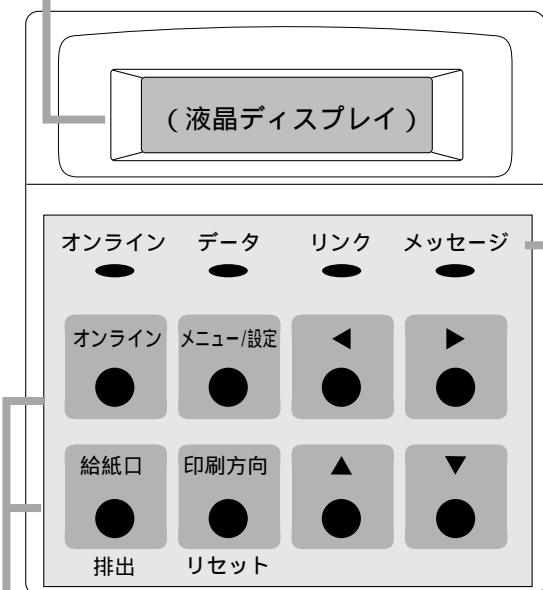
この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネルの見かた	168
液晶ディスプレイの表示内容	169
オペレータパネルを操作する	171
オンライン状態とオフライン状態	171
セットアップの操作	175
基本的な操作	175
セットアップの項目一覧	178
印刷の中止（プリンタのリセット）	186
未印刷データの強制印刷	187

オペレータパネルの見かた

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

液晶ディスプレイ
プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。
(1行16文字の2段に表示されます。)



オンラインスイッチ
オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。設定の操作を終了する場合にも使用します。

メニュー(設定)スイッチ
各種設定の操作を開始する場合に使用します。
また、設定メニューから選択した値を有効にする場合にも使用します。

◀▶ スイッチ
設定メニューの選択や、設定値の選択で使用します。

オンラインランプ(緑色)
プリンタがオンライン状態かオフライン状態かを知らせます。
点灯：オンライン状態
消灯：オフライン状態

データランプ(緑色)
プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。
点灯：データが残っている
点滅：データをパソコンから受信中
消灯：データがない

リンクランプ(緑色)
ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。
点灯：ネットワークと接続されている
消灯：ネットワークと接続されていない

メッセージランプ(オレンジ色)
印刷できない状態にあることを知らせます。
点灯：エラーが発生し、印刷できない状態
消灯：印刷できる状態

排出(給紙口)スイッチ
オンライン状態のときは、給紙口を切り替えます。

オフライン状態のときは、プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

リセット(印刷方向)スイッチ
オンライン状態では、印刷方向を切り替えます。
オフライン状態では、プリンタ内に残っている未印刷データを消去します。

 参照 「設定」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチについては
「セットアップの操作」(175ページ) 参照

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、障害が発生したときの内容などを表示するものです。1行16文字で2段に表示されます。

障害が発生すると「メッセージ」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

 「オペレータパネルのエラーメッセージ」(239ページ) 参照

電源投入時の表示内容

プリンタの電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

 電源投入時に液晶ディスプレイに表示される内容については
「プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認」(17ページ) 参照

オンライン状態(印刷できる状態)時の表示内容

1段目の表示内容

インターフェース状態

オンライン / オフラインを表示します。

オンライン : オンライン状態

オンライン1 : オンライン状態
(プリンタケーブル経由で
データを受信して処理中)

オンライン2 : オンライン状態
(LAN経由でデータを受信
して処理中)

オフライン : オフライン状態

両面印刷の設定

両面ユニット装着時、両面印刷
モードの設定状態を表示します。

表示なし : 片面印刷

D : 両面印刷

プリンタの状態

レディ状態 / パワーセーブ状態などを表示します。

表示なし : レディ状態(印刷可能な状態)

セーブ : パワーセーブ状態(データ受信で
ウォームアップを開始)

ウェイト : ウォームアップ状態, クールダウン
状態

動作モードの設定

プリンタの動作モード(エミュレーション設
定)を表示します。

Printia XLドライバからの印刷では、動作
モードを自動で切り替えます。

E P : ESC/Pモード

E G : ESC/Pageモード

表示なし : Printia XLドライバの印刷動作中
MW : Printia XLドライバを使用した部
単位印刷時のメモリ書き込み中

MR : Printia XLドライバを使用した部
単位印刷時のメモリ読み出し中

オンライン
トナー
70タテ
D
セーブ
1 - A 4

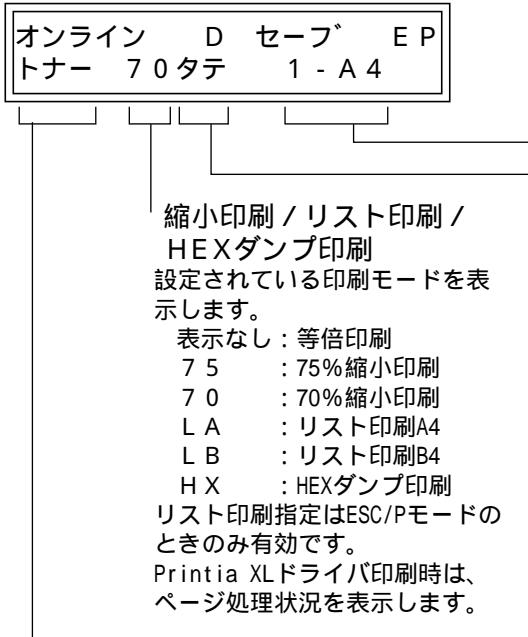
ESC/Pモード時の表示例

オンライン1
ウェイト
▷▷▷▷▷ 1 - A 4

Printia XLドライバ使用時の表示例

2段目の表示内容

ESC/Pモード時の表示例



消耗品 / 寿命部品交換

トナーの残量が少なくなったときや、寿命
部品の交換時期が近づくと表示します。

表示なし : 正常

トナー : トナーが残り少ない状態

ホシュ : 寿命部品の交換時期が近づい
た状態 (269ページ) 参照

Printia XL ドライバ使用時の表示例



給紙口 / 用紙サイズ

設定されている給紙口と用紙サイズを表示します。

給紙口	用紙サイズ
1 : 給紙カセット1	A3 : A3用紙
2 : 給紙カセット2	A4 : A4用紙
3 : 給紙カセット3	A5 : A5用紙
M : 給紙トレイ (手差し)	B4 : B4用紙 B5 : B5用紙 LGL : リーガル用紙 LTR : レター用紙 ハガキ : 官製はがき

給紙トレイ用紙サイズスイッチで用紙サイズを指定
して、給紙口が給紙トレイのときは「M*A4」の
ように「*」が表示されます。

印刷方向

設定されている印刷方向を表示します。

タテ : 縦方向印刷

ヨコ : 横方向印刷

タテヨ : 余白付き縦方向印刷

ヨコヨ : 余白付き横方向印刷

余白付き指定はESC/Pモードのときのみ有効です。

Printia XL ドライバ印刷時は、ページ処理状況を表
示します。



Printia XL ドライバ印刷時の縮小印刷、印刷方向、給紙口、
用紙サイズ、両面印刷設定は、パソコン (Printia XL ドライ
バ) で設定した内容に従います。

オペレータパネルを操作する

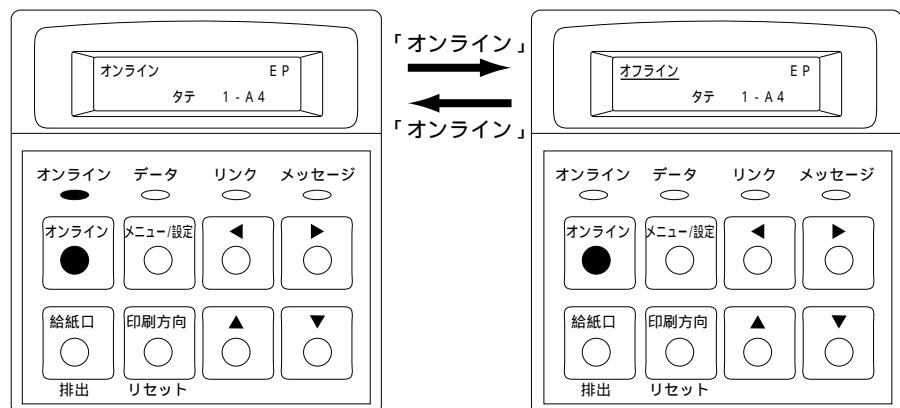
プリンタの設定を変更したり、設定の一覧を印刷したり、また印刷を中止してプリンタをリセットするときは、オペレータパネルを操作します。

▼ オンライン状態とオフライン状態

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。

■ オンライン状態とオフライン状態を切り替える

オペレータパネルを操作するときは、通常、プリンタをオフライン状態にします。オペレータパネルを操作した後は、プリンタはオフライン状態です。このときは、オンライン状態に切り替えて印刷できる状態にします。



印刷中に「オンライン」スイッチを押すと、液晶ディスプレイに『ハイ
シュツ シヨリチュウ』と表示され、印刷後にオフライン状態に切り
替わります。

オフライン状態になると「オンライン」ランプが消灯し、パソコンから
の印刷データは受信しません。

■ オフライン状態で有効なスイッチ

スイッチ	状 態
オンライン	オンライン状態に切り替えます。
メニュー / 設定	セットアップの操作を開始します。  「セットアップの操作」(175 ページ) 参照
排出 (給紙口)	プリンタ内に残っている未印刷のデータを強制的に印刷します。  「未印刷データの強制印刷」(187 ページ) 参照
リセット (印刷方向)	プリンタをリセットします。 印刷の途中 (データランプ点灯中) にオフライン状態に切り替えてリセットすると、印刷を中止します。  「印刷の中止 (プリンタのリセット)」(186 ページ) 参照

上記以外のスイッチは、セットアップの操作中を除き、無効です。

オンライン状態で有効なスイッチ

スイッチ	状 態
オンライン	オンライン状態に切り替えます。
メニュー / 設定	LAN セットアップモードに入ります。  「オペレータパネルによる設定 (LAN セットアップモード)」(39 ページ) 参照
排紙 (給紙口)	オンライン設定により、「給紙口」の選択を一時的に変更できます。 スイッチを押すごとに「給紙口」が次の順に切り替わります。 「1」(給紙カセット1) 「2」(給紙カセット2) 「3」(給紙カセット3) 「M」(給紙トレイ)  「オンライン設定」(174 ページ) 参照
リセット (印刷方向)	オンライン設定により「印刷方向」の選択を一時的に変更できます。 スイッチを押すごとに「印刷方向」が次の順に切り替わります。 「タテ」(縦方向印刷) 「タテヨ」(余白付き縦方向印刷) 「ヨコ」(横方向印刷) 「ヨコヨ」(余白付き横方向印刷)  「オンライン設定」(174 ページ) 参照

上記以外のスイッチは無効です。



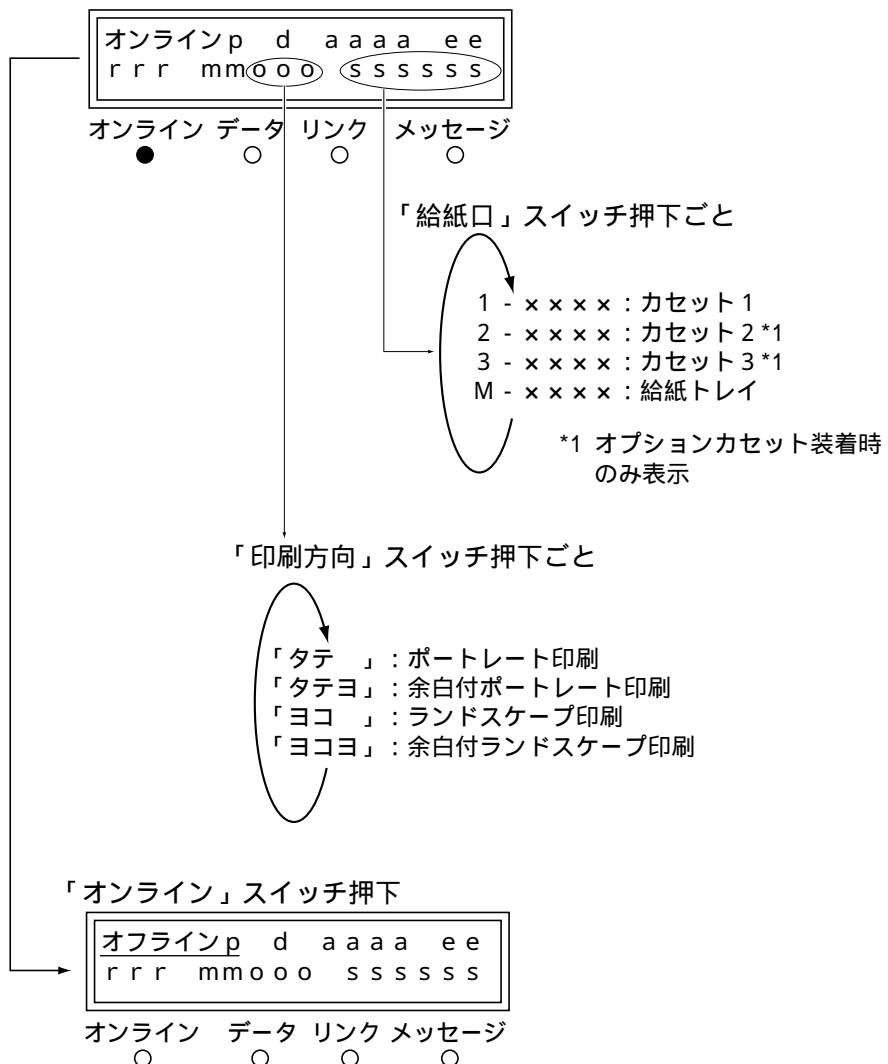
「LAN セットアップモード」および「オンライン設定」は次の場合は無効です。

- ・未印刷データがあるとき
- ・HEX ダンプ印刷設定中
- ・Printia XL ドライバで印刷中 (ドライバの設定が優先されます)

オンライン設定

オンライン状態のときに給紙口や印刷方向を一時的に切り替えることができます。

スイッチを押すごとに、「給紙口」と「印刷方向」は次のように切り替わります。



オンライン設定中にデータを受信した場合は、p が受信のポート番号となりデータランプが点灯します。

d	: 印刷状態	a a a a : プリンタ状態
e e	: エミュレーションモード	r r r : 消耗品警告
mm	: 縮小印刷	o o o : 印刷方向
s s s s s s	: 給紙口 / 用紙サイズ	p : 受信ポート

セットアップの操作

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、セットアップモードで行います。

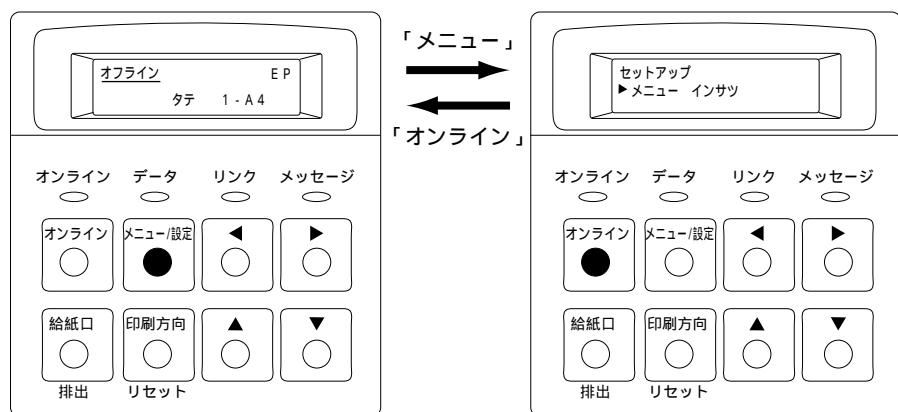
 **参考** セットアップモードで設定できる項目（レベルおよび設定値）については
「セットアップの項目一覧」(178 ページ) 参照

▼ 基本的な操作

セットアップモードに入るときは、プリンタをオフライン状態に切り替えて、「メニュー／設定」スイッチを押します。印刷の途中（データランプ点灯中）は、セットアップモードに入ることはできません。

セットアップモードを終了させるには、「オンライン」スイッチを押します。

再度、「オンライン」スイッチを押すと、印刷できる状態（オンライン状態）になります。



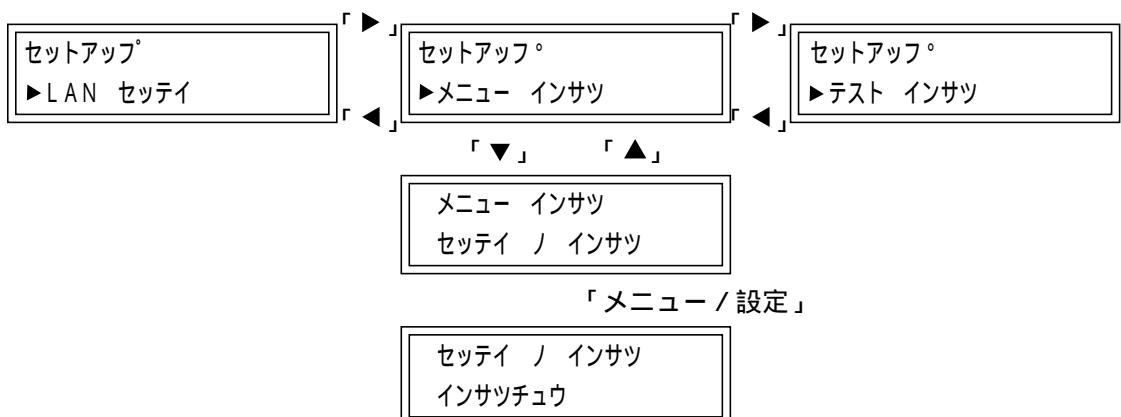
セットアップモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示させ、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

セットアップモードでは、次のスイッチを使用します。

「▶」または「◀」スイッチ … 同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。

「▼」または「▲」スイッチ … 下のレベルまたは上のレベルに移動します。

「メニュー／設定」スイッチ … 表示された値に設定するときや、メニュー印刷、テスト印刷を行うときに押します。



●ガイド

- ・セットアップモードで設定した値は、一部を除いて「一時的な設定」です。このため、プリンタの電源を切ると設定前の値に戻ってしまいます。設定した内容を記憶させるためには、「登録」で「設定登録」を行ってください。
- ・「LAN設定」内の設定値を変更すると、「オンライン」スイッチでセットアップモードを終了した際に、プリンタをリセット（初期化）します。
- ・「HEXダンプ印刷」を設定すると、HEXダンプ印刷モードで印刷できる状態（オンライン状態）に移行します。HEXダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを2回押します。
- ・Ethernetのタイプを設定した場合、いったん電源を切断し、再び投入してください。
- ・Printia XL ドライバからの印刷では、ドライバの設定に従います。

- ・縮小印刷について
 - ・ESC/Page モードでは、縮小印刷の「リストインサツ A4 (LA)」「リストインサツ B4 (LB)」は表示されません。
 - ・縮小印刷の表示が「LA」「LB」のときは、コマンドで ESC/Page モードへ移行できません。
- ・コピー枚数（印刷部数）の設定では、印刷データ内の部数指定コマンドが優先します。
- ・給紙トレイ用紙サイズスイッチを「パネルで設定」にした場合のみ、給紙トレイサイズで指定した値が有効になります。
- ・両面印刷は、はがき、不定形用紙では無効となります。

▼ セットアップの項目一覧

セットアップモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値および範囲の値の前の「*」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

 参照 各項目の設定方法については
「セットアップの操作」(175 ページ) 参照

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能〔範囲〕
メニュー印刷 (*1)	設定の印刷				現在のプリンタの設定内容を印刷する。
テスト印刷	ESC/P印刷 (*1)				ESC/Pモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	ESC/Page印刷 (*1)				ESC/Pageモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	アウトライン文字印刷 (*1)				アウトライン文字(ANK/漢字)でテスト印刷する。
	その他連続印刷 (*2)			H印刷 黒ベタ印刷 白紙印刷 格子印刷 1 格子印刷 2	「H」を連続して印刷する。 印刷可能領域をすべて黒で塗りつぶして連続で印刷する。 白紙のまま連続で印刷する。 格子を600dpiで連続で印刷する。 格子を300dpiで連続で印刷する。
エミュレーション設定				* ESC/P	プリンタをESC/Pモードで動作させる。
				ESC/Page	プリンタをESC/Pageモードで動作させる。

* 1: はがき、A5 より小さい不定形用紙には印刷できません。

* 2: リセットスイッチを押すと連続印刷が終了します。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能〔範囲〕
印刷設定	印刷方向			* 縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。
				縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷する。
				横	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。
				横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。横余白設定で設定した余白を付けて印刷する。
	給紙口			* カセット1	1段目の給紙カセットから給紙する。
				カセット2	2段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。
				カセット3	3段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。
				給紙トレイ	給紙トレイから給紙する。
	縮小印刷			* 100%	縮小せずに印刷する。
				75%	75%に縮小して印刷する。
				70%	70%に縮小して印刷する。
				リスト印刷A4	ストックフォーム用の印刷データを75%に縮小してA4用紙に横方向で印刷する。
				リスト印刷B4	ストックフォーム用の印刷データをB4用紙に横方向で印刷する。
給紙トレイサイズ				* A4	A4サイズに設定する。
				B5	B5サイズに設定する。
				A5	A5サイズに設定する。
				リーガル	リーガルサイズに設定する。
				レター	レターサイズに設定する。
				ハガキ	はがきサイズに設定する。
				不定形	不定形用紙に設定する。このときの用紙サイズは、『不定形サイズ』で設定する。
				A3	A3サイズに設定する。
				B4	B4サイズに設定する。

* 3: 拡張給紙ユニット(オプション)を取り付けているとき表示します。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能(範囲)
印刷設定	不定形サイズ	不定形縦		× × × mm	不定形用紙の縦の長さを指定する。[148 ~ * 420mm]
		不定形横		× × × mm	不定形用紙の横の長さを指定する。[100 ~ * 297mm]
	コピー枚数			× × 枚	印刷する部数を設定する。[*1 ~ 99枚]
	両面印刷 (*4)			* 解除	両面印刷を行わない。 (片面印刷)
				設定	両面印刷を行う。
	綴じしろ方向			* 長辺綴じ	長辺側を綴じしろとする。
				短辺綴じ	短辺側を綴じしろとする。
	綴じしろ モード			* 左/上綴じ	左側、または上側を綴じる。
				右/下綴じ	右側、または下側を綴じる。
	綴じしろ量	表		× × mm	表面の綴じしろ量を設定する。 [*0 ~ 30mm]
		裏(*5)		× × mm	裏面の綴じしろ量を設定する。 [*0 ~ 30mm]
EPモード設定	文字コード			* カタカナ	カタカナコード表(283ページ)を使用する。
				グラフィック	拡張グラフィックコード表(283ページ)を使用する。
	給紙位置 (*6)			* 8.5mm	印刷開始位置を用紙の上辺から8.5mmに設定する。
				22mm	印刷開始位置を用紙の上辺から22mmに設定する。
	右マージン位置			* 用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定する。右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域の右端まで。
				136行	用紙サイズに関係なく136行(13.6インチ)に設定する。用紙幅が136行に満たない場合、印刷領域を越えた部分は印刷されない。

* 4 : オプションの両面ユニットを搭載しているときのみ表示されます。

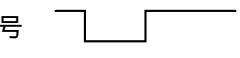
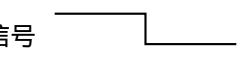
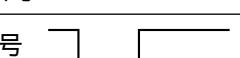
* 5 : 両面ユニットを装着していない場合は表しか表示されません。

* 6 : 給紙位置が余白の最小値となります。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能〔範囲〕
EPモード設定	ANK文字			* ローマン	ANK文字の書体をローマンにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				サンセリフ	ANK文字の書体をサンセリフにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	漢字書体			* 明朝	漢字の書体を明朝体にする。 亜々娃阿哀愛挨始逢葵茜稚悪握渥
				ゴシック	漢字の書体をゴシック体にする。 亜々娃阿哀愛挨始逢葵茜稚悪握渥
	CRコード			* CRのみ	CR動作(復帰のみ)を行う。
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	縦余白設定	縦上端余白		× × . × mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。 [* 紙給位置(*7) ~ 50.0mm]
		縦左端余白		× × . × mm	縦印刷のときの左側余白を設定する。[* 5.0 ~ 50.0mm]
	横余白設定	横上端余白		× × . × mm	横印刷のときの上端余白を設定する。 [* 紙給位置(*7) ~ 50.0mm]
		横左端余白		× × . × mm	横印刷のときの左側余白を設定する。[* 5.0 ~ 50.0mm]
	印字位置調整	縦印字位置		× × . × mm	印刷時の縦印字位置を設定する。[-30mm ~ 30mm] 初期値0mm
		横印字位置		× × . × mm	印刷時の横印字位置を設定する。[-30mm ~ 30mm] 初期値0mm
EGモード設定	復帰改行			* 設定	自動復帰改行動作を行う。
				解除	自動復帰改行動作を行わない。
	改ページ			* 設定	自動的に改ページする。
				解除	自動的に改ページしない。
	CRコード			* CRのみ	CR動作(復帰)のみを行う。
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	LFコード			* CR&LF	LF動作(改ページ)とCR動作(復帰)を行う。
				LFのみ	LF動作(改行)のみを行う。
	FFコード			* CR&FF	FF動作(改ページ)とCR動作(復帰)を行う。
				FFのみ	FF動作(改ページ)のみを行う。

* 7 : 紙給位置が余白の最小値となります。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能〔範囲〕
EGモード設定	エラーコード			* 無視	未定義文字を無視する。
				スペース	未定義文字をスペース(空白)に置き換える。
	イメージパターン			* 標準	イメージデータを補正しない。
				補正	イメージデータを補正する。
	メモリオーバー解除			* しない	何かスイッチが押されるまで待機する。
				する	何かスイッチが押されるか、メッセージを3秒間表示した後、印刷処理を続行する。
	給紙トレイ番号			* 3	LP8000互換仕様を設定する。
				4	LP8500互換仕様を設定する。
				5	拡張仕様1(4段力セッタサポート機用)を設定する。
	印字位置調整	縦印字位置		× × . × mm	印刷時の縦印字位置を設定する。 [-30mm ~ 30mm] 初期値0mm
		横印字位置		× × . × mm	印刷時の横印字位置を設定する。 [-30mm ~ 30mm] 初期値0mm
環境設定	スムージング			* 設定	印刷結果を滑らかにする。
				解除	印刷結果を滑らかにしない。
	トナーセーブ			* 解除	トナーを節約しない。
				設定	トナーを節約する。
	自動給紙			* 設定	給紙口の自動選択を行う。
				解除	給紙口の自動選択を行わない。
	ブザー			* 設定	ブザーを鳴らす。
				解除	ブザーを鳴らさない。
	タッチ音			* 設定	タッチ音を鳴らす。
				解除	タッチ音を鳴らさない。
	データなし印刷			* 解除	印刷しない。ただし、オーバレイ登録中はデータがないときでも印刷する。
				設定	印刷する。(白紙印刷)
	タイマー監視印刷			* 解除	タイマー監視印刷を行わない。
				30秒	監視時間を30秒にする。
				10秒	監視時間を10秒にする。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能〔範囲〕
環境設定	給紙トレイ印刷 (*8)			* コマンド優先	コマンドで指定した用紙サイズで印刷する
				設定優先	オペレータパネルで指定した用紙サイズで印刷する。
	メモリ不足解除			* しない	メモリ不足が発生した場合、メッセージを表示したままスイッチ操作を待つ。
				する	メモリ不足が発生した場合、スイッチ操作または3秒間のメッセージ表示後、処理を続行する。
補助機能設定	パワーセーブ時間			* 1分	1分
				15分	15分
				30分	30分
				60分	60分
	ポート切替時間			* ×××秒	他のポートに切り替えるまでの時間を設定する。[*30~3600秒] (10秒単位)
				×××秒	他のポートに切り替えるまでの時間を設定する。[*30~3600秒] (10秒単位)
	トナーセーブ補正			* 設定	補正する。
				解除	補正しない。
	HEXダンプ印刷			設定	ヘキサダンプ形式で印刷する。
				解除	ヘキサダンプ形式で印刷しない。
	パラレルポート設定	双方向モード		* 設定	双方向インターフェースを有効にする。
				解除	双方向インターフェースを無効にする。
	ACKタイミング			* 高速	パルス幅を短い値に設定する。
				標準	パルス幅を標準の値に設定する。
	ビジーディレイ		* A-B	ACK信号	
				BUSY信号	
			A-B-A	ACK信号	
				BUSY信号	
	INIT受信		B-A	ACK信号	
				BUSY信号	
	INIT受信		* 有効	INIT受信を有効にする。	
				無効	INIT受信を無効にする。

* 8: 給紙トレイ用紙サイズスイッチを「パネルで設定」にしたときに有効です。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能〔範囲〕
登録				設定呼び出し	プリンタの設定内容を読み出す。
				設定初期化	プリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻す。
				設定登録	セットアップによって設定した内容をプリンタに記憶させる。電源を切っても、設定内容は保持される。
保守モード	印刷枚数			XXXXXページ	
	メモリ容量			XXMB	
	ROM版数			Ver XX.XX	
	エンジンROM版数			Ver X.XX	
	エンジンステータス			STATUS XX=XX	
	NVコード			XX=XX	
	カートリッジステータス			XX=XX	
	装置ステータス			XX=XXXXXXXX	
	LANステータス			a.bbbb.cccc.dd	
	主走査方向位置			XX.Xmm	
	副走査方向位置			XX.Xmm	
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチX-X		* OFF	
				ON	
LAN設定	プロトコル	TCP/IP		* 有効	TCP/IPを有効にする。
				無効	TCP/IPを無効にする。
	Ethernetタイプ(*9)			* 自動	自動検出して動作する。
				100Mbps Full	100Mbps(Full)で動作する。
			100Mbps Half	100Mbps(Half)で動作する。	
				10Mbps	10Mbpsで動作する。
	TCP/IP設定	DHCP自動取得		* 設定	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得する。
				解除	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得しない。
		IPアドレス(*10)	IPアドレス XXX.XXX.XXX.XXX	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。

* 9: Ethernetのタイプを設定した場合、いったん電源を切断し、再び投入してください。

* 10: 「DHCP自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機能〔範囲〕
LAN設定	TCP/IP設定	サブネットマスク (*11)	サブネットマスク XXX.XXX.XXX.XXX	サブネットマスク-1	左端のブロックのサブネットマスクを設定する。
				サブネットマスク-2	左から2番目のブロックのサブネットマスクを設定する。
				サブネットマスク-3	左から3番目のブロックのサブネットマスクを設定する。
				サブネットマスク-4	左から4番目のブロックのサブネットマスクを設定する。
		ゲートウェイ (*11)	ゲートウェイ XXX.XXX.XXX.XXX	ゲートウェイ-1	左端のブロックのゲートウェイを設定する。
				ゲートウェイ-2	左から2番目のブロックのゲートウェイを設定する。
				ゲートウェイ-3	左から3番目のブロックのゲートウェイを設定する。
				ゲートウェイ-4	左から4番目のブロックのゲートウェイを設定する。
		ポート番号1		* 9313	印刷を受け付けるときに使用するポート番号を設定する(1~65535)
		ポート番号2		* 9313	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定する(1~65535)
		MACアドレス		XXXXXXXXXXXX	
		LAN初期化		設定	LAN設定の内容を工場出荷時の初期値に戻す

* 11:「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

印刷の中止（プリンタのリセット）

印刷開始後（データランプ点滅または点灯）に印刷を中止したいときは、プリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作を行います。

プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら（データランプ点滅）印刷ジョブを削除します。

Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。Printianavi を使用しているときは、パソコン上のPrintianavi メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

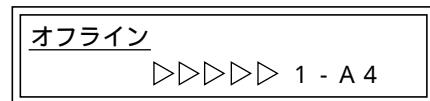


「オンライン」

印刷中に「オンライン」スイッチを押します。



印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。



「リセット」



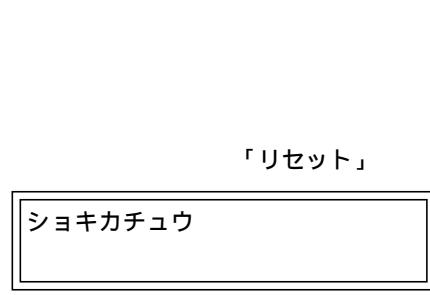
「リセット」スイッチを押します。

確認のメッセージが表示されます。

このとき「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

再度「リセット」スイッチを押すと、プリンタを初期化します。

受信データがあると、データランプが点滅します。



初期化が終了すると、オフライン状態に戻ります。

未印刷データの強制印刷

プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

Printia XL ドライバから印刷したときや、未印刷データがないとき（データランプ消灯）は、強制印刷できません。

本プリンタは、パソコンから1ページ分のデータを受信したとき、または排出（改頁）コマンドを受信したときに、初めて印刷を実行します。したがって、データを受信しても1ページに満たない状態や排出（改頁）コマンドを受信していない状態では、データがプリンタ内に残っています。

未印刷データを強制的に印刷するときは、オフライン状態に切り替えてから、次の操作を行います。



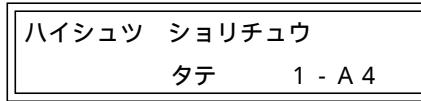
「オンライン」

データランプが点灯した状態のときに、「オンライン」スイッチを押します。



「排出」

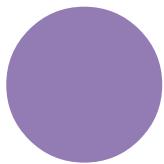
「排出」スイッチを押します。



強制印刷を中断したい場合には、用紙を排出中にもう一度「排出」スイッチを押します。強制印刷を中断し、印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になります。

第12章

プリンタドライバの設定



この章では、プリンタドライバ(Printia XL ドライバ)の設定項目および設定方法について説明します。

設定画面について	190
便利な印刷機能	202
拡大 / 縮小印刷	202
複数ページ割り付け印刷	204
複数部数 / 部単位印刷	208
両面印刷	209
新しいドライバに置き換えるとき (プリンタドライバの削除)	212

設定画面について

ここでは、プリンタドライバの設定画面の表示方法と設定方法を、OSごとに説明します。

■ アプリケーションからの印刷設定

アプリケーションソフトから印刷を行うときに、用紙サイズや解像度など、印刷に関する設定を行う画面について説明します。

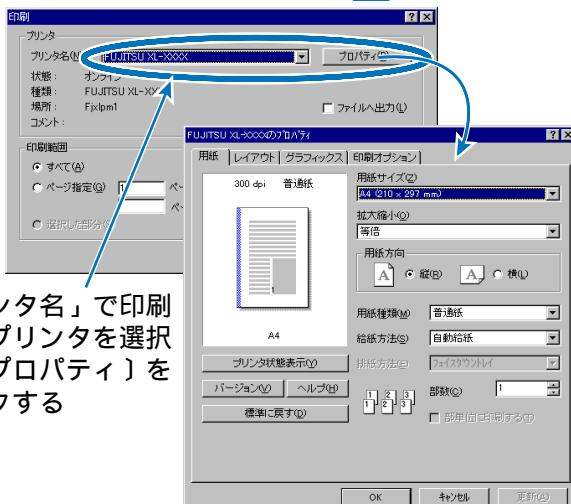
▷ 設定画面の表示方法

設定画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択する

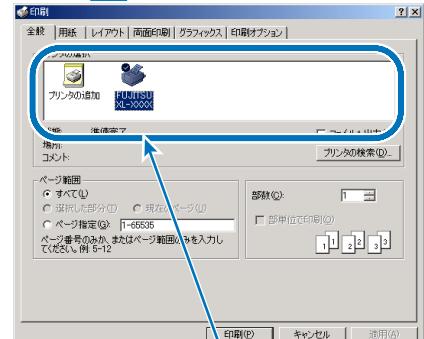


Windows 95/98/Me/NT4.0のとき



「プリンタ名」で印刷を行うプリンタを選択し、〔プロパティ〕をクリックする

Windows 2000のとき



「プリンタの選択」で印刷を行うプリンタを選択する
選択したプリンタによって後ろのタブが切り替わります。

▷ 設定方法

前ページの操作により、次の画面が表示されます。

設定を変更する手順を以下に示します。

画面は Windows 95/98/Me の場合です。



1 設定を変更するダイアログのタブをクリックする

 参照 各ダイアログで設定できる内容については「ダイアログ一覧」(195ページ) 参照

2 設定を変更する

[標準に戻す]のあるダイアログでは、このボタンをクリックすると、表示中のダイアログの設定値を初期値に戻します。

3 変更した値を保存またはキャンセルする

[OK] 設定保存後に画面を終了

[適用] 画面を開いたまま設定を保存

[キャンセル] .. 設定を保存せずに画面を終了

■ 装置に関する設定 / 印刷に関する既定値の設定

OSが提供する設定や装置のオプション情報の設定、Printianaviに関する設定を行う画面です。

また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値(アプリケーションソフトから印刷設定を行わない場合に使用する設定値)も設定できます。

▷ お願い

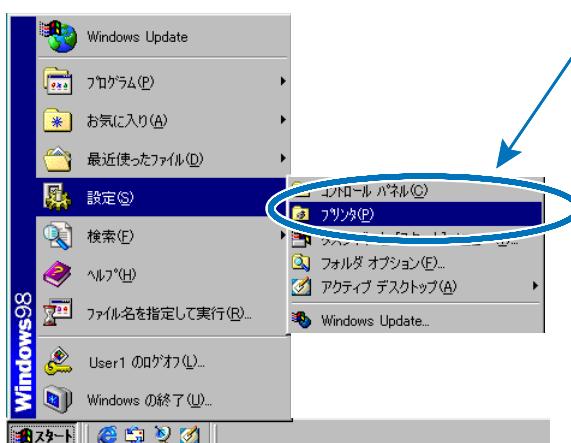
Windows 2000/NT4.0 では、一般ユーザはこの設定を変更できません。設定するときは、管理者グループのメンバーでログオンしてください。

▷ 設定画面の表示方法

装置に関する設定、および印刷に関する既定値の設定を行う画面は、次の手順で表示します。

OSによって選択するメニューが異なりますので、ご注意ください。

1、2の画面はWindows 98の場合です。



1 [スタート]から[設定]
[プリンタ]の順に選択
する



2 設定を行うプリンタを
クリックする

3 設定画面を表示する

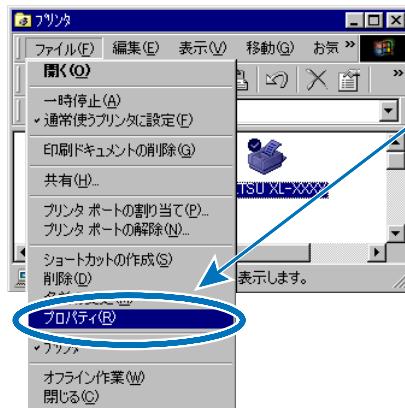
装置に関する設定、および印刷に関する既定値の設定を行う画面は、OSによって次のように異なります。

OS	装置に関する設定	印刷に関する既定値の設定
Windows 95/98/Me	プリンタのプロパティ	プリンタのプロパティ
Windows 2000	プリンタのプロパティ	印刷設定
Windows NT4.0	プリンタのプロパティ	ドキュメントの既定値

設定を行う項目に合わせて、画面を表示してください。

「プリンタのプロパティ」の表示

画面はWindows 98の場合です。

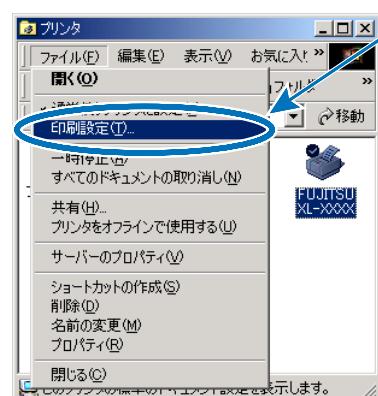


〔ファイル〕メニューの〔プロパティ〕を選択する

表示される画面は、OSによって異なります。

「印刷設定」(Windows 2000) / 「ドキュメントの既定値」(Windows NT4.0)の表示

画面はWindows 2000の場合です。



〔ファイル〕メニューから、
Windows 2000のときは〔印刷設定〕を、Windows NT4.0のときは〔ドキュメントの既定値〕を選択する

▷ 設定方法

画面はWindows 98のプリンタのプロパティです。



1 設定を変更するダイアログのタブをクリックする

 参照 各ダイアログで設定できる内容については「ダイアログ一覧」(195ページ) 参照

2 設定を変更する

〔標準に戻す〕ボタンがあるダイアログでは、このボタンをクリックすると、表示中のダイアログの設定値を初期値に戻します。

3 変更した値を保存またはキャンセルする

〔OK〕 設定保存後に画面を終了

〔キャンセル〕.. 設定を保存せず画面を終了

〔適用〕 画面を開いたまま設定を保存

■ ダイアログ一覧

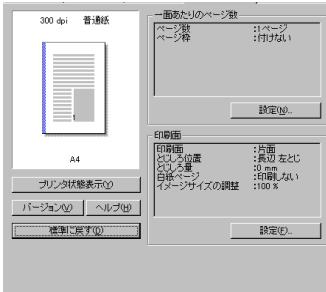
プリンタドライバの設定を変更するためのダイアログの一覧を示します。

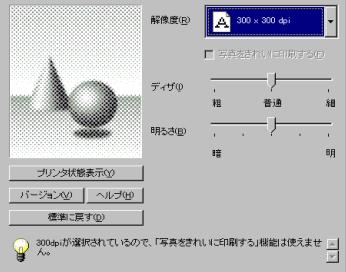
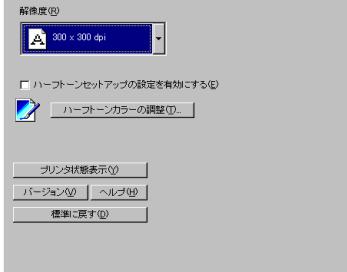
▷ 印刷に関する設定

アプリケーションからの設定画面で表示されるダイアログです。

Windows 95/98/Me ではプリンタのプロパティ、Windows 2000 では印刷設定、Windows NT4.0 ではドキュメントの既定値でも表示されます。

参照 詳細は、プリンタドライバのヘルプ参照

画 面	説 明
<p>[用紙]</p> 	<p>用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や給紙／排紙、部数印刷に関する設定を行います。</p> <p> 「拡大／縮小印刷」(202 ページ)  「複数部数／部単位印刷」(208 ページ)</p>
<p>[レイアウト]</p> 	<p>1枚の用紙に対するページの配置を設定します。</p> <p> 「複数ページ割り付け印刷」(204 ページ) 参照  「両面印刷」(209 ページ) 参照</p>

画面	説明
<p>[グラフィックス]</p> <p>Windows 95/98/Me のとき</p> 	<p>Windows 2000/NT4.0 のとき</p>  <p>解像度 やディザパターンなど を設定します。</p> <p><u>参照</u> 詳細についてはヘルプ を参照してください。</p>

[印刷オプション]

Windows 95/98/Me のとき	Windows 2000/NT4.0 のとき
<p>□ プロテクトモードで印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>□ トナーを貯める<input type="checkbox"/></p> <p>☑ スムージングする<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>□ 印刷イメージを180°回転して印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>□ パソコンのメモリを読み込んで印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>□ EMFでスプールする<input type="checkbox"/></p> <p>□ 文字を縮小して印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>□ 文字をイメージとして印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>☑ 定形用紙のサイズをチェックする<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>プリント状態表示<input type="button"/> 印刷位置の微調整<input type="button"/></p> <p>バージョン<input type="button"/> ヘルプ<input type="button"/></p> <p>標準に戻す<input type="button"/></p>	<p>□ プロテクトモードで印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>□ トナーを貯める<input type="checkbox"/></p> <p>☑ スムージングする<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>□ 印刷イメージを180°回転して印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>□ パソコンのメモリを読み込んで印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>□ EMFでスプールする<input type="checkbox"/></p> <p>□ 太字を強調する<input type="checkbox"/></p> <p>□ 文字を縮小して印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>□ 文字をイメージとして印刷する<input type="checkbox"/></p> <p>☑ 定形用紙のサイズをチェックする<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>プリント状態表示<input type="button"/> 印刷位置の微調整<input type="button"/></p> <p>バージョン<input type="button"/> ヘルプ<input type="button"/></p> <p>標準に戻す<input type="button"/></p>

以下の印刷に関するオプション設定を行います。

- 1) トナーセーブ、スプールに関する設定
- 2) スムージング
- 3) プロテクトモード印刷

参照 詳細についてはヘルプ を参照してください。



プロテクトモードとは、プリンタに1ページ分のメモリを確保して印刷するかどうか設定する機能です。

「プロテクトモードで印刷する」にチェックを付けると、印刷データの用紙サイズと解像度から算出したメモリが確保できない場合は、印刷前にメモリ不足エラーとなります。

チェックを外すと用紙サイズと解像度が大きくても実際のデータ量が少ない場合は印刷を行いますが、途中でメモリが不足したときは、その時点でメモリ不足エラーとなります。

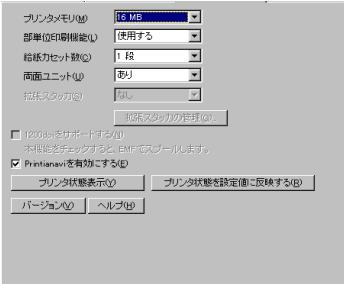
▷ 装置に関する設定

〔プリンタ〕フォルダのメニューから表示する画面です。

・Printia XL ドライバ固有のダイアログ

プリンタのプロパティで表示されるPrintia XL ドライバ固有のダイアログです。

参照 詳細は、プリンタドライバのヘルプ参照

画面	説明
<p>〔装置オプション〕</p> <p>Windows 95/98/Me のとき</p>  <p>Windows 2000/NT4.0 のとき</p> 	<p>オプションの装着状態や、Printianavi を有効にするかどうかの設定を行います。</p> <p><u>参照</u> 詳細についてはヘルプを参照してください。</p>

〔Printianavi〕



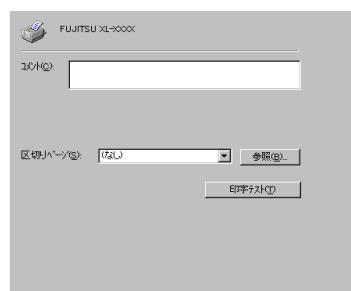
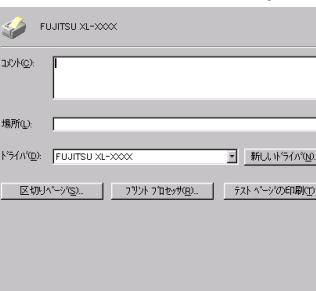
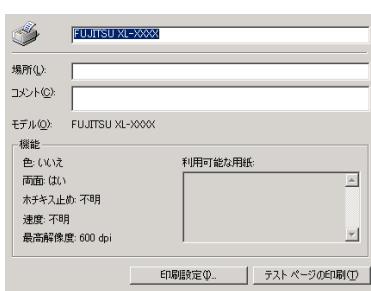
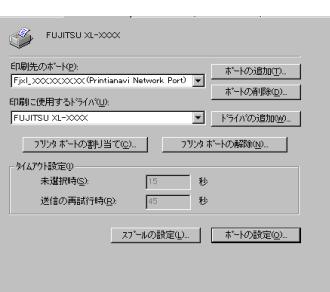
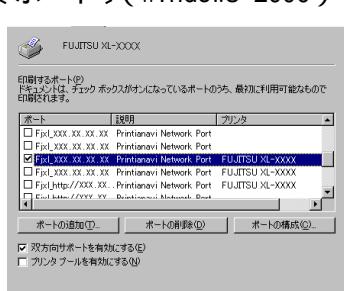
エラーメッセージの表示方法や印刷完了時のメッセージ通知などのPrintianaviに関する設定を行います。

オプションには印刷のログを取る機能があります。

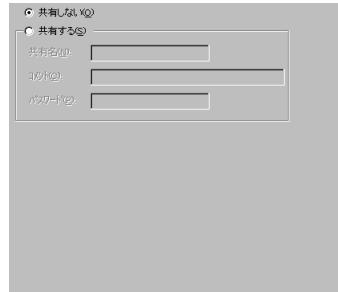
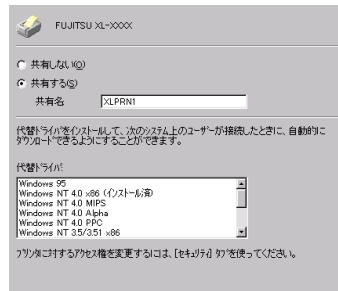
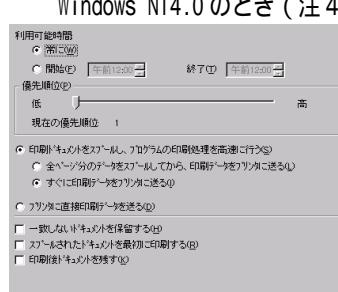
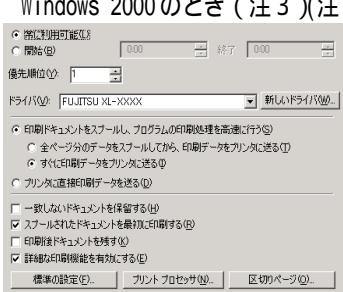
・OS が提供する共通のダイアログ

プリンタのプロパティで表示される OS 提供のダイアログです。

詳細については、Windows のヘルプ、マニュアル等を参照してください。

画 面	説 明
[全般](Windows 95 は [情報])	
Windows 98/Me のとき 	Windows 95 のとき 
Windows NT4.0 のとき (注1)	
	Windows 2000 のとき 
[詳細](Windows 95/98/Me)	
	印刷先のポートに関する設定を行います。  参照 「プリンタの接続方法を変更するとき(印刷先ポートの追加と変更)」(84ページ)
[ポート](Windows NT4.0) [ポート](Windows 2000)	
	

注 1 : 本プリンタでは、Windows NT4.0 の区切りページ印刷はサポートしていません。

画面	説明
[共有] Windows 95/98/Me のとき（注 2） 	プリンタの共有に関する設定を行います。
Windows NT4.0 のとき 	Windows 2000 のとき 
[スケジュール] Windows NT4.0 のとき（注 4） 	[詳細設定] Windows 2000 のとき（注 3）（注 4） 
[セキュリティ] Windows NT4.0 のとき 	プリンタのセキュリティに関する設定を行います。 通常お使いになる際はこの設定の変更は必要ありません。 詳細についてはWindows 2000/NT4.0 のマニュアル・ヘルプなどを参照してください。

注 2 : Windows 95/98/Me では、ネットワークの設定でプリンタを共有に設定したときのみ表示されます。

注 3 : 本プリンタでは、Windows 2000 の区切りページ印刷はサポートしていません。

注 4 : 本プリンタでは「一致しないドキュメントを保留する」設定は無効です。

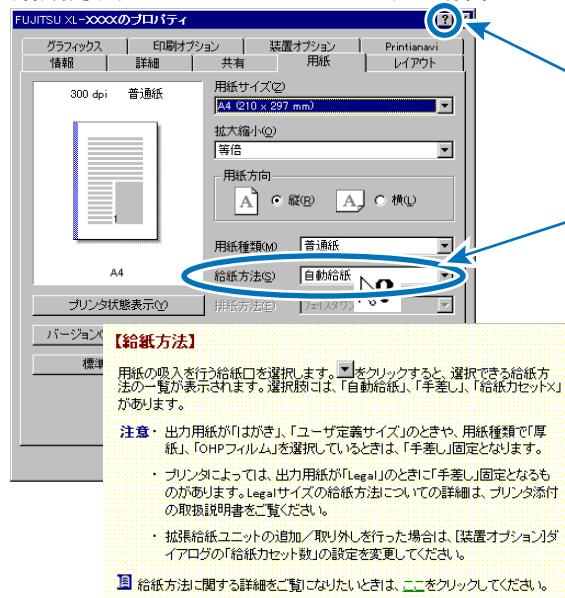
ガイド

各画面の機能 / 使い方についての詳細を調べる手段としてヘルプ機能があります。ヘルプ機能には以下の2通りの使い方があります。

- ・[?]ボタンをクリックして見る方法
- ・各画面にある[ヘルプ]ボタンをクリックして見る方法
- ・[?]ボタンをクリックしてヘルプを見る場合

ダイアログボックスの右上にある[?]をクリックするとカーソルの形が $\nabla?$ に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。

(例) 紙給方法についてのヘルプを見る場合



クリックする

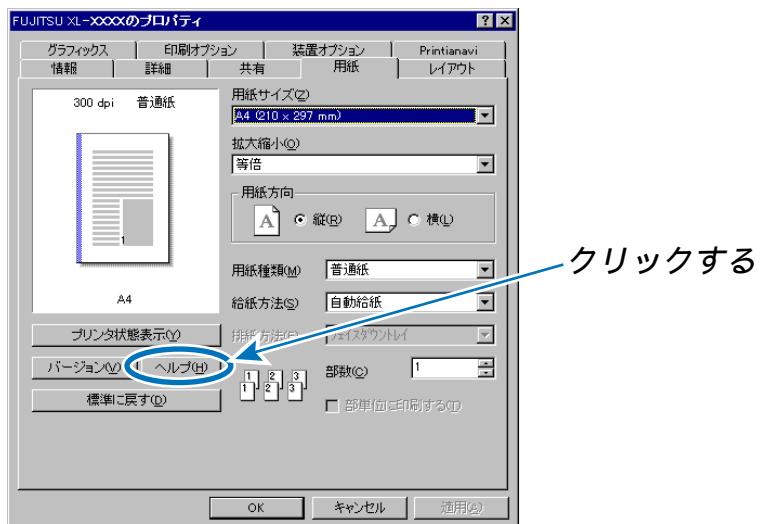
カーソルを持つ
てきてクリック
する

- 各画面にある〔ヘルプ〕ボタンをクリックして見る方法

〔ヘルプ〕ボタンがあるダイアログは以下のとおりです。

- 〔用紙〕ダイアログ
- 〔レイアウト〕ダイアログ
- 〔グラフィックス〕ダイアログ
- 〔印刷オプション〕ダイアログ
- 〔装置オプション〕ダイアログ
- 〔Printianavi〕ダイアログ

(例) 〔用紙〕ダイアログのヘルプを見る場合



利用方法についてはヘルプの〔目次〕の「ヘルプの使い方」を参照してください。

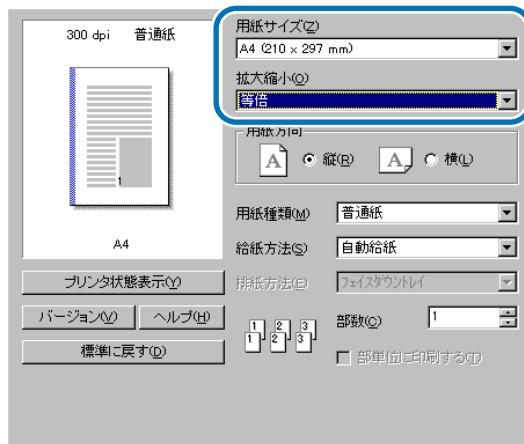
便利な印刷機能

ここでは、本プリンタドライバで行える便利な印刷機能の設定について説明します。

▼ 拡大 / 縮小印刷

アプリケーションで作成したデータ(文書)を拡大または縮小して印刷します。

〔用紙〕ダイアログ



▶ 用紙サイズ

拡大 / 縮小する前の、用紙サイズを指定します。



ガイド アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常、アプリケーション側の設定値が優先されます。

▶ 拡大縮小

拡大 / 縮小した後に、実際に印刷される用紙サイズを指定します。

等倍 拡大 / 縮小印刷は行いません。

に拡大縮小 用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大 / 縮小率を自動的に設定し、出力する用紙サイズを に固定します。



拡大縮小の設定を行うと、[用紙]ダイアログの左上に用紙サイズと出力用紙サイズの関係が表示されます。

例えば、「B4 A4」と表示されているときは、B4の用紙に収まるように作成した文書を、A4の用紙に収まるように縮小印刷することを示します。

プリンタの給紙口に出力用紙として指定したサイズの用紙が入っていることを確認してから印刷してください。



実際に出力する用紙サイズを変更せずに、印刷イメージだけを50%～150%の範囲で拡大／縮小することができます。

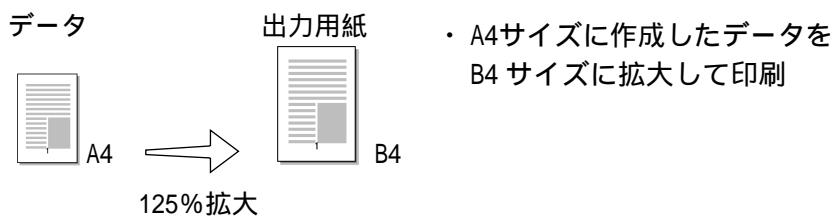


参照 「イメージサイズの調整」(211ページ) 参照

■ 拡大／縮小印刷の設定例

▶ データを決まった用紙サイズに印刷する

例1：拡大印刷の時

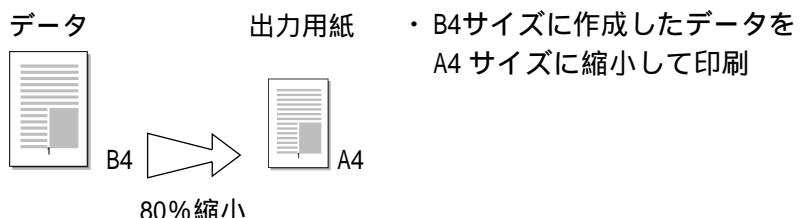


このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ 「A4 (210 × 297mm)」を選択します。

拡大縮小 「B4に拡大縮小」を選択します。

例2：縮小印刷の時



このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ 「B4(257 × 364mm)」を選択します。

拡大縮小 「A4に拡大縮小」を選択します。

運

用

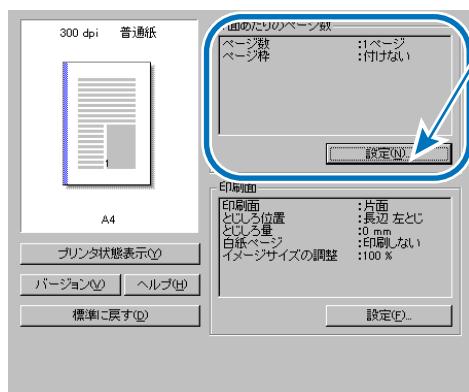
編

12

▼ 複数ページ割り付け印刷

用紙の一面に複数のページを配置して印刷するには一面あたりのページ数設定機能を使います。

〔レイアウト〕ダイアログ



1 [設定] ボタンをクリックする



ページ数 1ページ～16ページの中から1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

ページ配置 1枚の用紙に複数ページを配置するときの配置のしかたを指定します。

ページ枠を付ける 通常の1ページに相当する部分に枠を付けるかどうかを設定します。ページ枠を付ける場合は、チェックします。

 ガイド

- ・ユーザ定義サイズの用紙には、複数ページ割り付け印刷できません。
- ・アプリケーションによっては、「複数ページ割り付け印刷」や「拡大／縮小印刷」を使用して印刷結果を拡大／縮小した場合、まれに期待どおりに印刷されないことがあります。
- ・解像度の違いによって「複数ページ割り付け印刷」で印刷されるページの位置が異なる(ページ間の余白が異なる)場合があります。
- ・アプリケーションによっては、独自でページレイアウト機能を持っている場合があります。このようなアプリケーションで印刷するときには、アプリケーションのページレイアウト機能か、プリンタドライバの複数ページ割り付け機能かのどちらかを使用してください。両方の機能を使用してページレイアウトを行うと、二重にレイアウトされてしまいます。

運

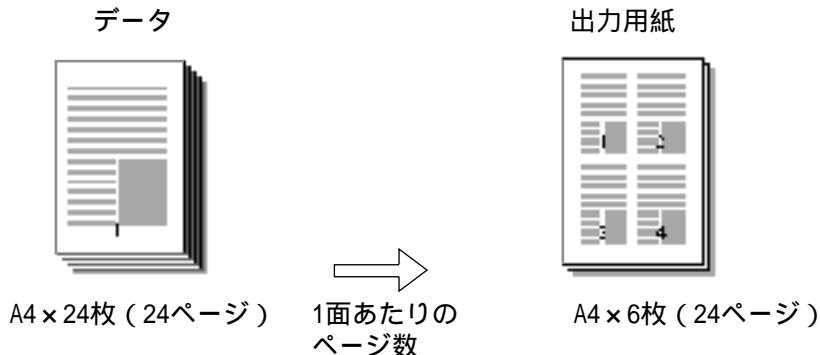
用

編

12

■ 複数ページ割り付け印刷の設定例

▷ 作成したデータと出力する用紙のサイズが同じとき 例：



A4 サイズに収まるように作成した 24 ページのデータを、A4 サイズの用紙 1 枚に 4 ページ分ずつ、合計 6 枚に収まるよう縮小し、左上 右上 左下 右下 の配置で印刷

このようなときは、次の設定をします。

〔レイアウト〕ダイアログの〔1面あたりのページ数の詳細設定〕

ページ数 「4ページ」を選択します。

ページ配置 「右下」を選択します。

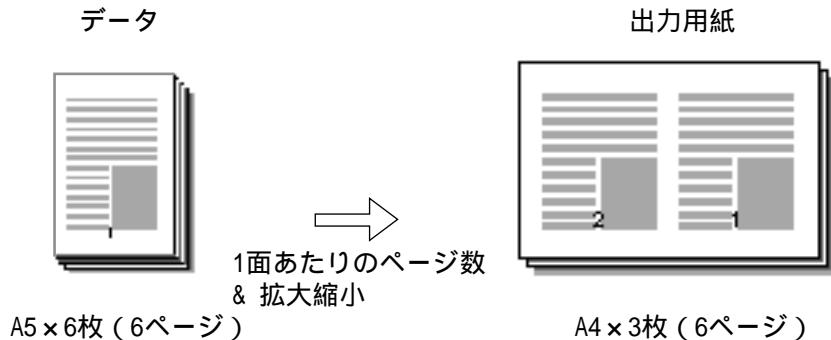
ページ枠を付ける 1 ページ分に相当する部分に枠を付ける場合は、チェックします。

〔用紙〕ダイアログ

用紙サイズ 「A4」を選択します。

拡大縮小 「等倍」を選択します。

▷ 作成したデータと出力する用紙のサイズが違うとき
例：



A5サイズに収まるように作成した6ページのデータを、A4サイズの用紙1枚に2ページ分ずつ、合計3枚に収まるように、右 左の配置で印刷
このようなときは、次の設定をします。

[レイアウト] ダイアログの [1面あたりのページ数の詳細設定]
ページ数 「2ページ」を選択します。
ページ配置 「右 左」を選択します。
ページ枠を付ける 1ページ分に相当する部分に枠を付ける場合は、チェックします。

[用紙] ダイアログ

用紙サイズ 「A5」を選択します。
拡大縮小 「A4」を選択します。

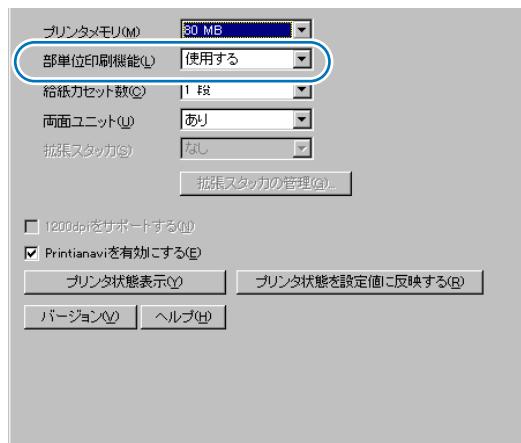
▼ 複数部数 / 部単位印刷

1回の印刷で同じ文書を2部以上印刷したいときは、複数部数印刷を、さらにそれらを部単位に出力させるとときは部単位印刷を行います。

なお、部単位印刷を行う際にOSがWindows 95/98/Meの場合は、64MBのメモリの増設が必要となります。

画面の例はWindows 95/98/Meの場合です。

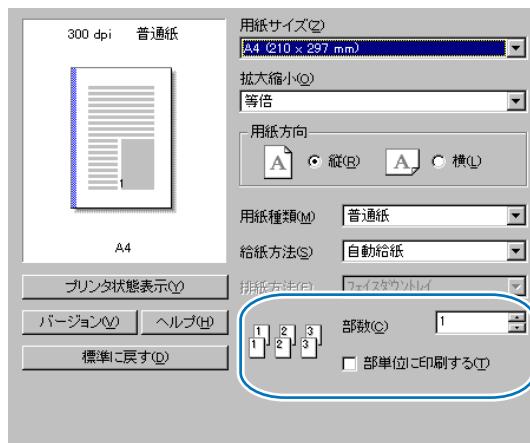
〔装置オプション〕ダイアログ



▷ 部単位印刷機能

部単位印刷を行う場合は、「使用する」に設定します。

〔用紙〕ダイアログ



▷ 部数

印刷する部数を、1 ~ 999部の範囲で指定します。

▷ 部単位に印刷する

部単位で印刷する場合にチェックします。

参照 詳細は「部単位印刷」のヘルプを参照してください。

▼ 両面印刷

両面印刷を行うには、次の設定を行います。



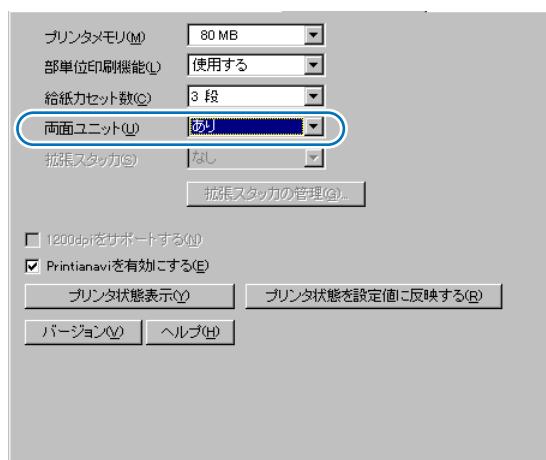
・次の用紙には、両面印刷できません。

はがき、不定形用紙(「ユーザ定義サイズ」)、厚紙、OHP フィルム

・両面印刷を行うには、両面ユニット(オプション)の装着が必要です。

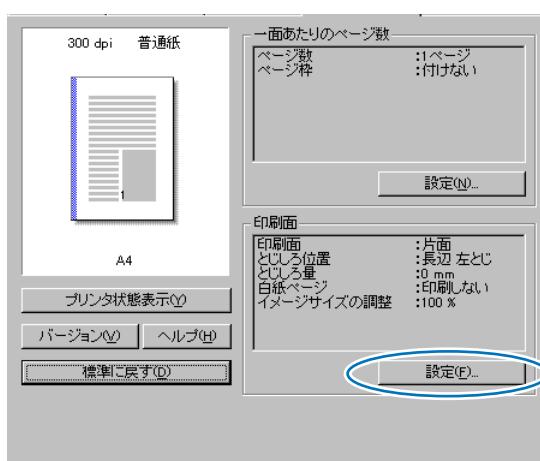
■ 設定手順

画面の例は Windows 95/98/Me の場合です。



1 [装置オプション] ダイアログで「両面ユニット」を「あり」に設定する

両面印刷の設定が行えるようになります



2 [レイアウト] ダイアログで「印刷面」の[設定]ボタンをクリックする



3 [印刷面の詳細設定] ダイアログボックスで両面印刷に関する設定を行う

▶ 片面 / 両面印刷

片面印刷か、両面印刷かを設定します。また、両面印刷の場合はとじしろ位置を設定します。

片面 片面印刷をします。

両面 両面印刷をします。

▶ とじしろ位置

とじしろ位置を設定します。

長辺左とじ / 長辺右とじ / 用紙の長い辺でとじるように両面印刷します。

とじしろ位置は、用紙方向が縦のときは左か右、横のときは上か下を選択します。

短辺上とじ / 短辺下とじ / 用紙の短い辺でとじるように両面印刷します。

とじしろ位置は、用紙方向が縦のときは上か下、横のときは左か右を選択します。

▶ とじしろ量

とじしろ量を、0 ~ 30mmの範囲で設定します。両面印刷の場合は、用紙の裏と表をそれぞれ設定します。

▷ 白紙ページの印刷

印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷（出力）するかどうかを設定します。

白紙のページを印刷するときは、チェックします。

片面、両面それぞれの場合について設定できます。

• ガイド

- ・[レイアウト] ダイアログの[一面あたりのページ数の詳細設定] ダイアログで「ページ枠を付ける」をチェックした場合は、この設定は無効です。
- ・[印刷オプション] ダイアログでも設定できます。

▷ イメージサイズの調整

実際に出力する用紙サイズを変更せずに、50% ~ 150% の範囲で印刷イメージだけの拡大 / 縮小率を設定します。

印刷結果が用紙にうまくおさまっていないときの調整用として設定することもできます。

新しいドライバに置き換えるとき (プリンタドライバの削除)

他のWindowsで本プリンタを使用していて、プリンタドライバを削除せずにWindowsをアップグレードしたときや、バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

Windows 2000/NT4.0の場合は、管理者権限でログオンしてください。
画面はWindows 2000の場合です。

● **ガイド** Printianavi印刷ログビューアの表示対象となるプリンタドライバをすべて削除すると、Printianavi印刷ログビューアも同時に削除されます。

- 1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択し、削除するプリンタをクリックする
- 2 [ファイル]メニューから[削除]を選択する



- 3 [はい]をクリックする

● **ガイド** 通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。「XXXX」が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
- ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

- 4 Windows 95/98/Me/NT4.0の場合：Windowsを再起動する
Windows 2000の場合：手順5～11を行う

Windows 95/98/Me/NT4.0の場合は、Windowsを再起動すればプリンタドライバの削除は終了です。新しいドライバをインストールしてください。

Windows 2000の場合は、引き続き手順5～11までの操作を行います。

5 [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]を選択し、[ドライバ]タブをクリックする

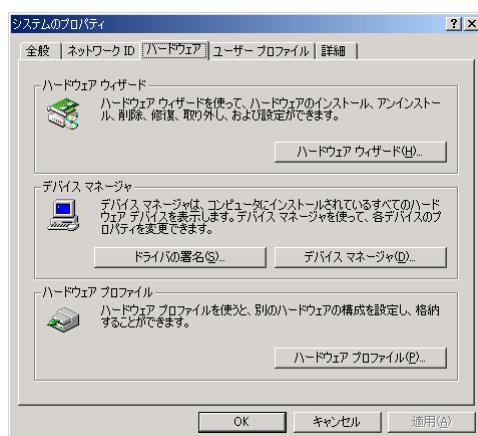


6 「インストールされたプリンタドライバ」リストから、手順2で削除したプリンタ名を選択し、[削除]をクリックする

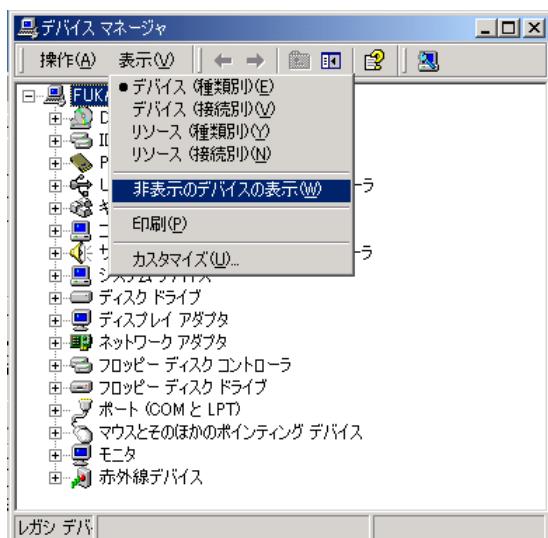


7 [はい]をクリックする
ドライバの削除が終わったら
[閉じる]をクリックして、[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログを終了します。

8 [マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択する
[システムのプロパティ]ダイアログが表示されます。



9 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする



10 [表示]メニューの[非表示のデバイスの表示]を選択し、[プリンタ]に削除したXLプリンタが表示された場合はアンインストールする

アンインストールするプリンタを選択し、右クリックで表示されたメニューで[削除]を選択します。

処理が終わったら[デバイスマネージャ]および[システムのプロパティ]ダイアログを終了します。



プリンタが表示されない場合は、アンインストールの必要はありません。

11 Windows 2000を再起動する

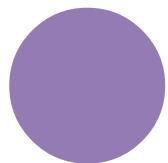
古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000を再起動します。新しいドライバはWindows再起動後にインストールしてください。



プリンタをプリンタケーブルで接続しているとき、再起動後にPlug & PlayによってXLドライバディスクを挿入するようにメッセージが表示される場合があります。このときは、[キャンセル]をクリックしてください。

第13章

添付ソフトウェア(CD-ROM) について



この章では、プリンタに添付されているCD-ROMに収められているソフトウェアについて説明します。

Printianavi インストーラ	216
Printianavi の機能概要	218
Printia XL ドライバ	218
ネットワークソフトウェア	219
ソフトウェアマニュアルについて	220
Acrobat Reader のインストール	220
ソフトウェアマニュアルの使い方	221
Acrobat Reader の便利な機能	222

Printianavi インストーラ

Windows 95/98/Me/2000/NT4.0 が動作するパソコンで「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、Printianavi インストーラが自動的に起動し、次の画面が表示されます。



メニュー

マウスカーソルをあわせた項目が黄色く光り、左下に説明が表示されます。操作を行うには項目をクリックします。

終了

Printianavi インストーラを終了します。



Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある Setup.exe をダブルクリックしてください。

メニューの各項目からは、次の操作が行えます。

項目	操作内容
はじめにお読みください	CD-ROMのソフトウェアについて留意事項を表示します。
ネットワークソフトウェア	Printianavi ネットワークポートモニタ、Printianavi マネージャ、Printianavi IP アドレス設定ユーティリティをインストールします。
	<p> 「Printianavi の機能概要」 (218 ページ) 「ネットワークソフトウェア」 (219 ページ)</p>
プリンタドライバ	Printia XL ドライバをインストールします。
	<p> 「プリンタドライバのインストール」(96 ページ)</p>
かんたんバーコード Lite	かんたんバーコード Lite をインストールします。
	<p> 添付 CD-ROM の「Barcode」フォルダに収められた「Readme.txt」および「Manual.pdf」(PDF 形式)</p>
Adobe® Acrobat® Reader	ソフトウェアマニュアルなどの PDF 形式のファイルを表示するための Acrobat Reader をインストールします。
	<p> 「ソフトウェアマニュアルについて」(220 ページ)</p>
ソフトウェアマニュアル	ソフトウェアマニュアル (PDF 形式) を表示します。
	<p> 「ソフトウェアマニュアルについて」(220 ページ)</p>

Printianavi の機能概要

Printianavi は、Windows 95/98/Me/2000/NT4.0 の Printia XL ドライバに対応した双方向プリンティングシステムです。

また、ネットワークソフトウェアをあわせてインストールすることにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタを管理することができます。

ここでは、Printia XL ドライバおよびネットワークソフトウェアの Printianavi 機能の概要を説明します。



Printia XL ドライバ

機能	概要
ステータス表示	印刷前のプリンタの状態や、印刷中の状態をパソコンから確認することができます。
印刷中止操作	印刷を途中で中止することができます。
印刷自動再開	紙詰まりなどのエラー解除後に、エラーが発生したページから自動的に印刷を再開します。 (再開不可能なエラーの場合は、印刷を打ち切れます。)
印刷ログの採取	印刷結果をログに記録します。 (参照や詳細設定は、同時にインストールされるログ管理ツールから行えます。)
オプション情報の自動設定	プリンタメモリや両面ユニットなど、プリンタに装着されているオプションの情報を取得し、プリンタドライバに自動で設定します。
高速転送	プリンタの状態や空きメモリを確認しながら、効率的にデータを転送します。



Printia XL ドライバがもつ Printianavi 機能についての詳細は、プリンタドライバのヘルプまたは添付 CD-ROM のソフトウェアマニュアル「第1章 Printianavi の設定」を参照してください。

▼ ネットワークソフトウェア

■ Printianavi ネットワークポートモニタ

機 能	概 要
LAN 直結印刷	Printia XL ドライバの持つ Printianavi 機能をサポートしたまま LAN ケーブルで接続したプリンタに直接印刷することができるようになります。 LAN (TCP/IP) 環境およびインターネット接続 (IPP) での印刷をサポートしています。
ポートの管理	Printianavi ネットワークポートモニタのポートの設定や追加 / 削除を専用ツールから行なうことができます。



Printianavi ネットワークポートモニタについての詳細は、添付 CD-ROM のソフトウェアマニュアル「第2章 Printianavi ネットワークポートモニタ」を参照してください。

■ Printianavi マネージャ

ローカルプリンタやネットワークプリンタ、サーバの共有プリンタの情報参照や環境設定などの複数のプリンタ管理を、パソコン上から一括して行えるようにします。

機 能	概 要
ステータス表示	プリンタの状態を参照することができます。
プリンタのネットワーク設定	プリンタのネットワーク設定を行うことができます (管理者モードのみ)。
メンテナンス情報の管理	トナーの交換や定着器のメンテナンスが必要になった (管理者モードのみ) ときに、警告メッセージを表示したり、管理者宛に E-Mail の送信を自動で行なうことができます。 また、メンテナンス情報のログの記録や参照を行うこともできます。



Printianavi マネージャについての詳細は、添付 CD-ROM のソフトウェアマニュアル「第3章 Printianavi マネージャ」を参照してください。

■ Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ

プリンタに IP アドレスを仮設定します。

設定方法については、「第4章 ネットワークプリンタの設定」の「ネットワークソフトウェアによる設定」(42 ページ) を参照してください。

運

用

編

13

ソフトウェアマニュアルについて

ソフトウェアマニュアルは、CD-ROMに収められているソフトウェアに関する使用方法や注意事項を記載した PDF 形式のマニュアルです。本書と併せてご活用ください。



Acrobat Reader のインストール

ソフトウェアマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンに Acrobat Reader (4.05J またはそれ以降) があらかじめインストールされている必要があります。

添付の CD-ROM から次の手順で Acrobat Reader 4.05J をインストールすることができます。

- 1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
Printianavi インストーラが自動的に起動します。
- 2 [Adobe® Acrobat® Reader] をクリックし、インストールする

Acrobat Reader 4.05J インストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。



- Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の「Acrobat」フォルダにある「Ar405cjpn.exe」を エクスプローラから実行し、インストールを行ってください。
- Acrobat Reader は PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Acrobat Reader 4.05J は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版の Acrobat Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
アドビシステムズ社 URL : <http://www.adobe.co.jp>

▼ ソフトウェアマニュアルの使い方

ソフトウェアマニュアルは、Acrobat Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

- 1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
Printianavi インストーラが自動的に起動します。

• ガイド Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の直下の Setup.exe (CD-ROM ドライブが D: のときは「D:\Setup.exe」) を実行するか、CD-ROM の「Manual」フォルダにある「Index.pdf」をエクスプローラから実行してください。

- 2 [ソフトウェアマニュアル] をクリックする

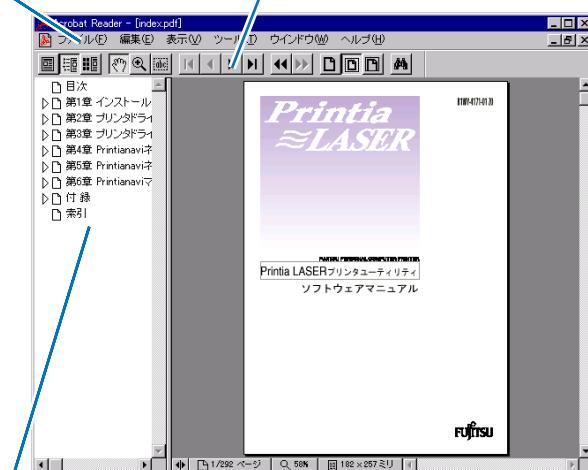
Acrobat Reader が起動し、ソフトウェアマニュアルが表示されます。

メニューバー

プルダウンメニューから印刷や Acrobat Reader のヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー

▶ をクリックすると次のページを表示します。
また、拡大や検索などの操作を行うことができます。



しおり

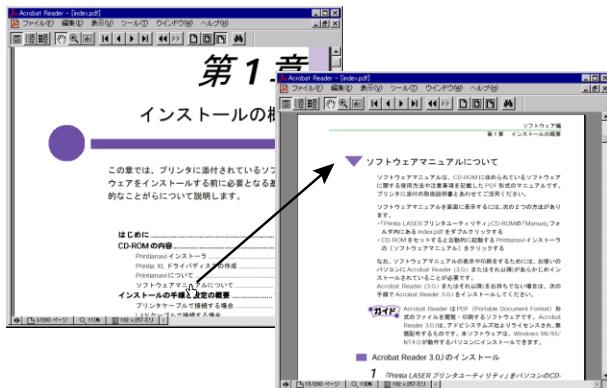
見出しがクリックすると、そのページを表示します。
■ が表示されている場合、そこをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

Acrobat Reader の便利な機能



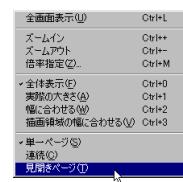
印刷

ソフトウェアマニュアルを印刷する場合は、[ファイル]メニューから[印刷]を選択し、[印刷]ダイアログボックスで印刷部数や印刷する範囲を指定します。



リンク

リンクとは、設定されているページにジャンプする機能です。マウスポンタがマウスカーソルに変わったときにクリックすると、リンク先のページを表示します。



見開き表示

[表示]メニューから[見開きページ]を選択すると、ページを見開きで表示します。



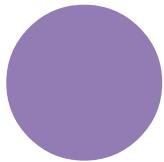
検索

ソフトウェアマニュアル内の文字を検索するには、ツールバーの検索ボタン(oculars icon)をクリックし、[検索]ダイアログボックスで検索文字や条件を指定します。



第14章

こんなときには



この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき	224
紙づまりの取り除きかた	226
故障かなと思ったとき	232
印刷品質が低下したとき	234
メッセージ一覧	239
オペレータパネルのエラーメッセージ	239
エミュレーションモードの使いかた	244
Printia XL ドライバで印刷する	244
エミュレーションモードで印刷する	245
コマンドでエミュレーションモードを切り替える	245
エミュレーションモードを使う上での留意事項	247
ソフトウェアに関するトラブルシューティング	248
セットアップ時のトラブルシューティング	248
運用時のトラブルシューティング	252
ソフトウェアに関する留意事項	262
他の Windows OS から Windows 2000 へ	
アップグレードする場合	262
Windows 2000 環境で使用時の留意事項	263
旧バージョン・レベルとの混在運用について	265

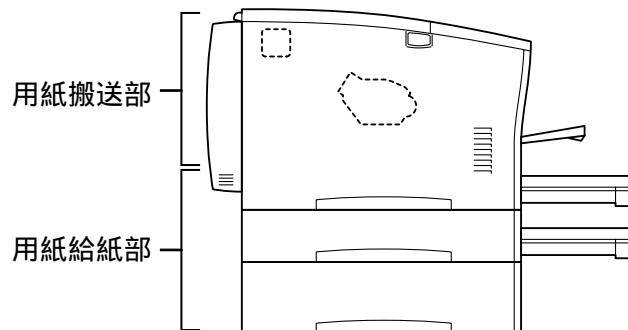
紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミツ マリ』『カミヲ トリノゾ イテクタ サイ』と表示されます。このとき、すべてのスイッチが無効になります。

次の要領でつまた用紙を取り除いてください。

つまた用紙を全て取り除き上部カバーを閉じると、オンライン状態になり、紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

【紙づまりの発生箇所】



お願い

- ・つまた用紙を取り除いて上部カバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまた用紙を完全に取り除いてください。
- ・紙づまりが発生したら、必ず一度、上部カバーを開閉してください。
- ・用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。

⚠ 注意

けが つまつた用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。

- ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
- ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災 つまつた用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。

なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないで、ハードウェア修理相談センター（299 ページ参照）にご連絡ください。

紙づまりの主な原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

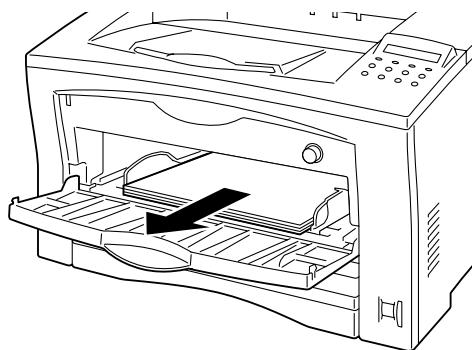
- ・プリンタを水平に設置する
- ・適切な用紙を使用する
- ・給紙カセットや給紙トレイに用紙を正しくセットする
- ・カールしていない用紙を使用する
- ・給紙カセットを奥に突きあたるまで押し込む

▼ 紙づまりの取り除きかた

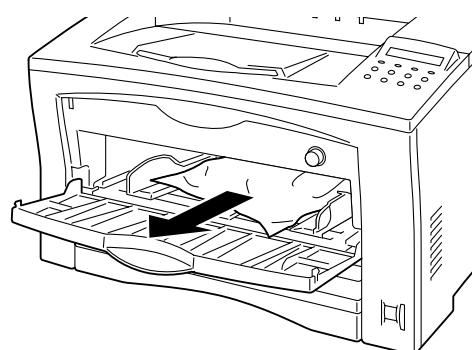
つまつた用紙の取り除きかたを、給紙部と用紙搬送部それぞれについて説明します。

■ 給紙部でつまつた用紙の取り除きかた

給紙部でつまつた用紙は、次の手順に従って取り除いてください。



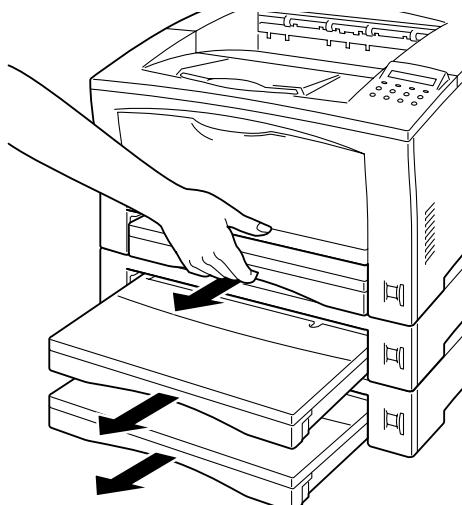
1 給紙トレイにセットされている用紙を取り出す
給紙トレイから給紙していた場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、手順3に進んでください。



2 給紙トレイの奥を点検する
給紙トレイの奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、つまつた用紙があった場合は、取り除きます。

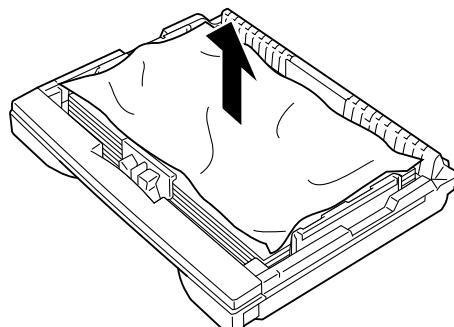
3 給紙カセットをプリンタから抜く

給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、給紙カセットをプリンタから抜きます。オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセットを抜きます。



4 シワになっている用紙がある場合は取り除く

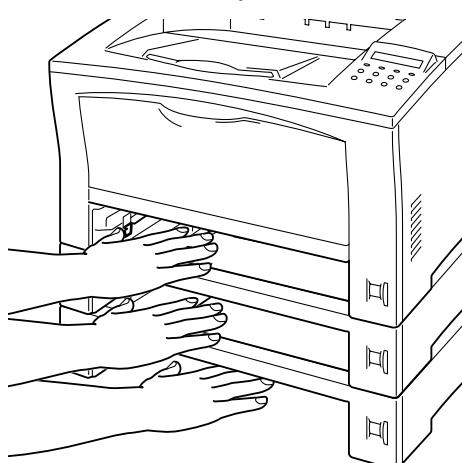
給紙カセット内にシワになっている用紙がある場合は、取り除きます。



5 給紙カセット差し込み口の奥を点検する

給紙カセット差し込み口の奥を点検し、つまった用紙がある場合は取り除きます。

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセット差し込み口の奥を点検します。



▶お願い

プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。

6 給紙トレイ、給紙カセットに用紙をセットする

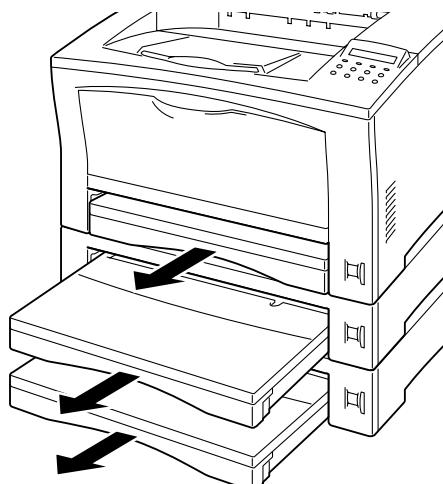
 参照 「用紙のセット」(123ページ)を参照



給紙トレイ内の紙づまりの場合も、上部カバーを一度開閉してください。上部カバーを開閉すると、エラーメッセージが消えます。

■ 装置内部でつまつた用紙の取り除きかた

用紙搬送部でつまつた用紙は、次の手順に従って取り除いてください。

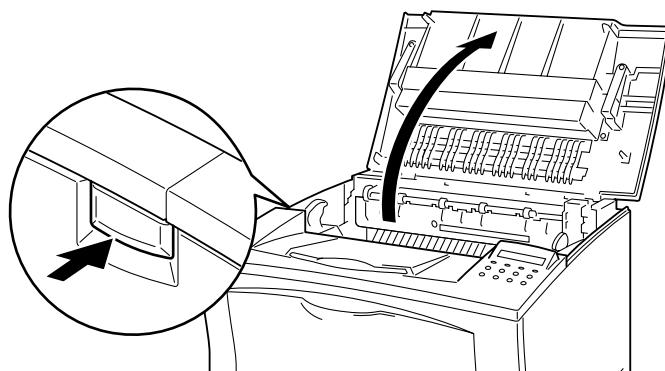


1 給紙カセットをプリンタから抜く

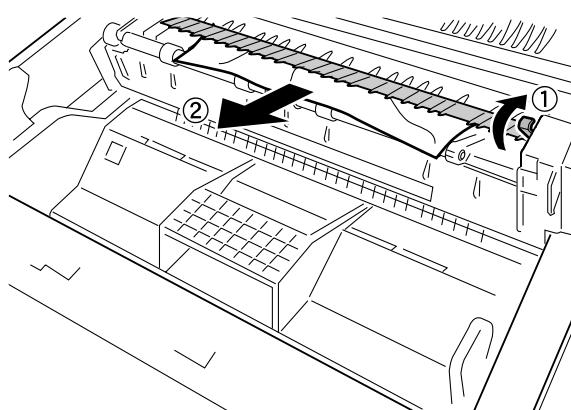
給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。

給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、給紙カセットをプリンタから抜きます。

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセットを抜きます。



2 リリースボタンを押して上部カバーを開く



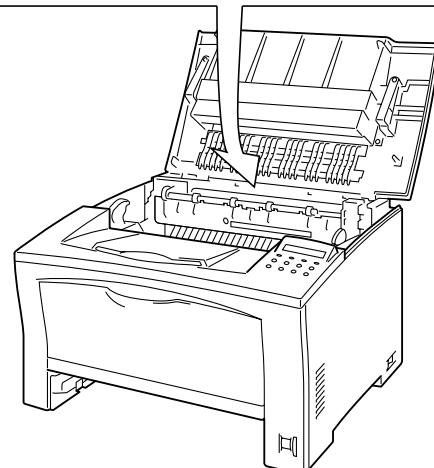
3 定着器内を確認する

定着器のつまみ（緑色）を上に持ち上げ(①)、つまみた用紙があれば取り除きます(②)。

△注意

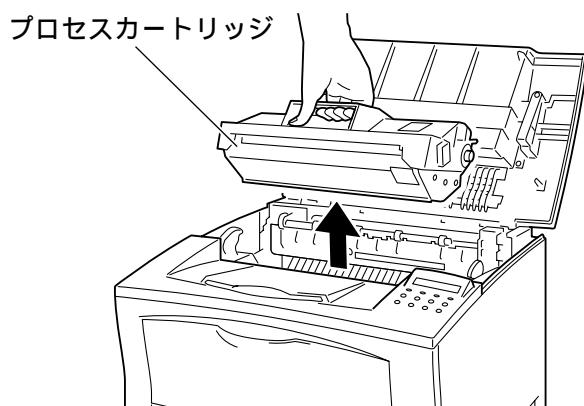
やけど プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル



お願い

プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。

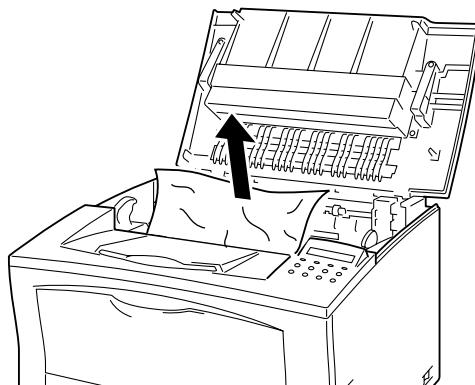


4 プロセスカートリッジを取り外す

参照 「プロセスカートリッジの交換」(153ページ)参照

▶ お願い

トナーで床を汚さないように、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

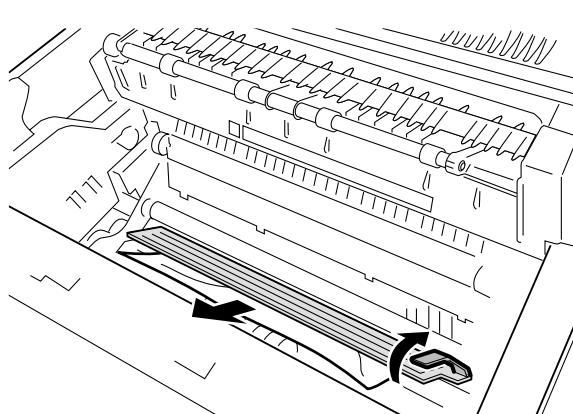


5 プロセスカートリッジを抜き出した奥を点検する

プロセスカートリッジを抜き出した奥を点検し、つまっている用紙が見えるときには、破らないように矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。

⚠ 警告

誤 飲 用紙上の文字は定着していないので、触るとトナーが手に付きます。用紙を取り除くとき、手や服がトナーで汚れないよう注意してください。
トナーが付いてしまったときは、すぐに水で洗ってください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



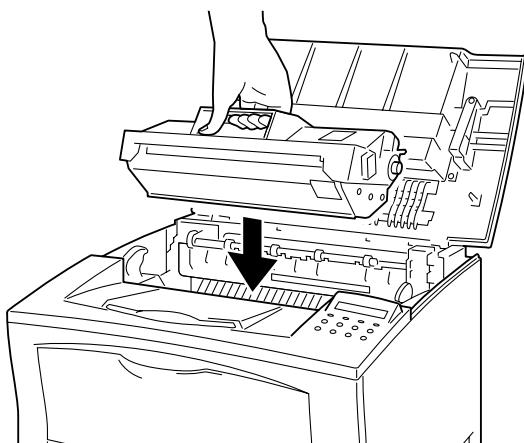
6 用紙搬送部の用紙を取り除く

用紙搬送部のカバーを開け()、つまっている用紙があったら取り除きます()。

7 プロセスカートリッジをプリンタ内部に戻す

プロセスカートリッジをプリンタ内部に確実にセットし、上部カバーを閉じてしっかりとロックします。

 [「プロセスカートリッジの取り付け」\(13ページ\) 参照](#)



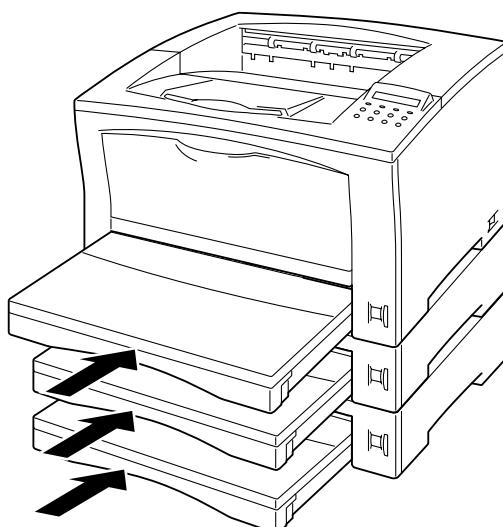
▶ お願い

- ・上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。
- ・次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すれば、汚れはつかなくなります。

8 給紙カセットをプリンタに押し込む

給紙カセットの両端を両手で持ち、プリンタに差し込みます。給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかりと押し込まれていることを確認してください。

給紙トレイの用紙を元にもどします。



故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがあります。

そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードの抜け ・停電 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（左側）されていることを確認してください。
電源を投入してもすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセントに問題あり ・電圧が違う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 <p> 「安全上のご注意」(11ページ) 「電源コードの接続」(15ページ) 「電源を入れる」(15ページ)</p>
印刷しない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜けている ・オンライン状態でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 <p> 「パソコンとのローカル接続」(28ページ) 「電源を入れる」(15ページ) 「オンライン状態とオフライン状態を切り替える」(171ページ)</p>
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを確実に押していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチのまん中をしっかりと押してください。 <p> 「オペレータパネルの操作」(167ページ)</p>
異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 <p> 「給紙カセットに用紙をセットする」(18ページ) 「用紙のセット」(123ページ) 「紙づまりになったとき」(224ページ)</p>
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 <p> 「安全上のご注意」(11ページ) 「用紙について」(117ページ)</p>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は1枚ずつセットして印刷してください。 ・用紙はつぎ足さないでください。二重送りの原因となります。
		 参照「給紙カセットに用紙をセットする」(18ページ) 「用紙のセット」(123ページ)
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置をとってください。 ・用紙のセット方向を確認してください。 ・A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。 ・A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。
		 参照「安全上のご注意」((ii)ページ) 「用紙について」(117ページ) 「紙づまりになったとき」(224ページ)
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切斷した ・紙づまりが発生している	・電源を切斷(一側)して、数秒経過後に投入(一側)してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。
		 参照「電源を入れる」(15ページ) 「紙づまりになったとき」(224ページ)
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをセットアップモードにして、テスト印刷をしてください。
		 参照「セットアップの操作」(175ページ) 「プリンタの清掃」(158ページ)
エラーメッセージが表示され、印刷されない		それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。
		 参照「オペレータパネルのエラーメッセージ」(239ページ)

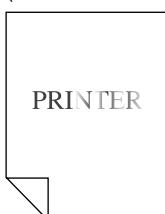
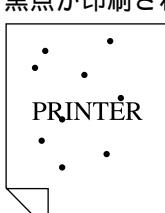
印刷品質が低下したとき

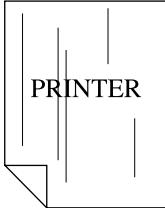
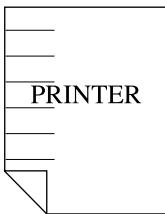
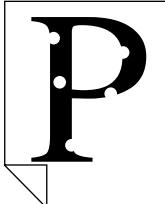
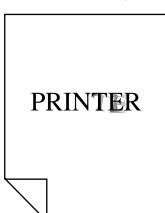
印刷品質が低下したときの処置について説明します。

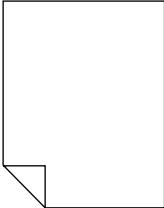
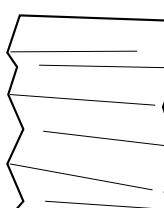
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、ハードウェア修理相談センター（299ページ参照）にご連絡ください。

⚠ 注意

やけど プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい (かれる、不鮮明)	印刷濃度の設定が適正でない。	印刷濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをセットアップモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。  「セットアップの操作」(175ページ)
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。  「シールドガラスの清掃」(160ページ)
用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	 「給紙カセットに用紙をセットする」(18ページ) 「用紙のセット」(123ページ)
プロセスカートリッジ内にトナーがない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	 「プロセスカートリッジの交換」(153ページ)
プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	 「プロセスカートリッジの交換」(153ページ)
	黒点が印刷される。 使用的している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。  「用紙について」(117ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。  「プロセスカートリッジの交換」(153ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
黒線が印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参考 「プロセスカートリッジの交換」 (153 ページ)
		
等間隔に汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参考 「セットアップの操作」 (175 ページ)
		
黒く塗りつぶされた部分に白点がある	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参考 「プロセスカートリッジの交換」 (153 ページ)
		
指でこするとトナーがかれる	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参考 「用紙について」(117 ページ)
		
用紙全体が黒く印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参考 「プロセスカートリッジの交換」 (153 ページ)
		
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	ハードウェア修理相談センター(299 ページ参照)にご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
	何も印刷されない トナーシールが完全に引 き抜かれていらない。 一度に複数枚の用紙が搬 送されている。	プロセスカートリッジの トナーシールを引き抜きます。 トナーシール「 プロセスカートリッジの取り付け 」 (13 ページ) 用紙をいったん取り出し、よくさばいてか ら再度セットしてください。 「 給紙カセットに用紙をセットす る 」(18 ページ) 「 用紙のセット 」(123 ページ)
	プロセスカートリッジに トナーが残っていない。 プロセスカートリッジが 劣化、または損傷してい る。	新しいプロセスカートリッジに交換してく ださい。 「 プロセスカートリッジの交換 」 (153 ページ)
	プリンタ内の高圧電源な どの故障が考えられる。 白抜けが起こる シールドガラスが汚れて いる。	新しいプロセスカートリッジに交換してく ださい。 「 プロセスカートリッジの交換 」 (153 ページ)
	用紙が湿気を含んでいる。 使用している用紙が適切 でない。 トナーシールの切れはし が、プロセスカートリッ ジ内に残っている。	ハードウェア修理相談センター (299 ペー ジ参照) にご連絡ください。 シールドガラスを清掃してください。 「 シールドガラスの清掃 」 (160 ページ)
	用紙が湿気を含んでいる。 使用している用紙が適切でな い。	新しい用紙に交換してください。 「 給紙カセットに用紙をセットす る 」(18 ページ) 「 用紙のセット 」(123 ページ)
	用紙にシワがつく 用紙のセットが適切でな い。	適切な用紙をセットしてください。 「 用紙について 」(117 ページ)
	用紙が湿気を含んでいる。 使用している用紙が適切 でない。	新しいプロセスカートリッジに交換してく ださい。 「 プロセスカートリッジの交換 」 (153 ページ)
		用紙を正しくセットしてください。 「 給紙カセットに用紙をセットす る 」(18 ページ) 「 用紙のセット 」(123 ページ)
		新しい用紙に交換してください。 「 給紙カセットに用紙をセットす る 」(18 ページ) 「 用紙のセット 」(123 ページ)
		適切な用紙をセットしてください。 「 用紙について 」(117 ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいる。新しい用紙に交換してください。	 「給紙カセットに用紙をセットする」(18 ページ) 「用紙のセット」(123 ページ)
縦長に白抜けする	<p>PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER</p> <p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。</p> <p>シールドガラスが汚れている。</p>	<p>使用している用紙が適切でない。</p> <p>参考 「用紙について」(117 ページ)</p> <p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。</p> <p>参考 「プロセスカートリッジの交換」(153 ページ)</p> <p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。</p> <p>参考 「シールドガラスの清掃」(160 ページ)</p>
不要なトナーがつく	<p>PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER</p> <p>印刷濃度の設定が適正でない。</p> <p>使用している用紙が適切でない。</p> <p>プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。</p>	<p>参考 「プロセスカートリッジの交換」(153 ページ)</p> <p>参考 「セットアップの操作」(175 ページ)</p> <p>適切な用紙をセットしてください。</p> <p>参考 「用紙について」(117 ページ)</p> <p>新しいプロセスカートリッジに交換してください。</p> <p>参考 「プロセスカートリッジの交換」(153 ページ)</p>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
太い文字に影がある 出る	印刷濃度の設定が適正で ない。	印刷濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをセットアップモードにして、環境設定の印刷濃度調整で設定してください。
		 参照 「セットアップの操作」(175 ページ)  参照 「プロセスカートリッジの交換」 (153 ページ)

メッセージ一覧

▼ オペレータパネルのエラーメッセージ

プリンタでエラーが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

次の表に従って処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ヨウシ ナシ ……ヲ イレテ クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がないと表示されます。 給紙カセット×(1、2または3)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると、オンライン表示に切り替わり、印刷を開始します。「用紙のセット」(123ページ)	 「給紙カセットに用紙をセットする」(18ページ)
ヨウシ ナシ カセット× ……ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がないと表示されます。 給紙カセット×(1、2または3)に、表示されたサイズの用紙をセットすると、オンライン表示に切り替わり、印刷を開始します。	 「給紙カセットに用紙をセットする」(18ページ)
ヨウシ ナシ キュウシトレイ ……ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	 「用紙のセット」(123ページ)
カセット ナシ カセット ヲ イレテ クダサイ	セットされていない給紙カセットがあると表示されます。すべての給紙カセットをセットしてください。	「給紙カセットに用紙をセットする」(18ページ)
カミツマリ xxxx xxxx カミヲ トリノゾイテ クダサイ	紙づまりが発生すると表示されます。 上部カバー、給紙カセット、両面ユニットの中を確認してください。 また、プリンタ内で紙づまりが発生した場合、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外して、プリンタの内部を確認してください。	 「紙づまりになったとき」(224ページ)
×はエラー箇所です。次の7種類が表示されます。		
エラー箇所	確認箇所	
カセット1	カセット1、上部カバー内部	
カセット2	カセット2、上部カバー内部	
カセット3	カセット3、上部カバー内部	
キュウシトレイ	給紙トレイ、上部カバー内部	
プリンタナップ	上部カバー、プリンタ内部、排紙部	
ハイシトレイ	上部カバー内部、排紙部	
リョウメン	プリンタ内部、両面ユニット 排紙部	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
カバー オープン	カバーを開けると表示されます。作業が終わった	
カバー ヲ トジテ クダサイ	らカバーを閉じてください。	
ヨウシサイズ フイッチ …ヲ イレテ クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、カセット、 給紙トレイの用紙サイズまたは用紙サイズスイ ッチの設定と、印刷データの用紙サイズが異な っていると表示されます。給紙カセット×(1、2 (18ページ) または3)、または給紙トレイに、表示されたサ イズの用紙をセットし、正しい用紙サイズを設定 (123ページ) すると印刷を開始します。	 「給紙カセットに 用紙をセットする」
サイズ フイッチ カセット× …ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセット×(1、2ま たは3)にセットされている用紙サイズまたは 用紙サイズスイッチの設定と、印刷データの用紙 サイズが異なっていると表示されます。表示され たサイズの用紙をセットし、正しい用紙サイズを 設定すると、印刷を開始します。	 「給紙カセットに 用紙をセットする」
サイズ フイッチ キュウシトレイ …ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイにセットされ ている用紙サイズまたは用紙サイズスイッチの設 定と、印刷データの用紙サイズが異なっていると 表示されます。表示されたサイズの用紙をセット し、正しい用紙サイズを設定すると、印刷を開始 します。	 「用紙のセット」 (123ページ)
サイズ カクニン ×××× …ヲ イレテ クダサイ	印刷を開始したときに指定した用紙サイズと實際 に給紙、印刷された用紙サイズが異なっていると 表示されます。表示された正しいサイズの用紙を セットすると印刷を再開します。 XXXXX には給紙を行った給紙カセット×(1、2ま たは3) または給紙トレイが表示されます。	
サイズ フイッチ キュウシトレイ A5イジョウ セット	設定の印刷時に A5 より小さい用紙がセットされて います。A5 以上の大きさの用紙をセットしてくだ さい。	
カートリッジ ナシ EPカートリッジ カクニン	プロセスカートリッジが正しくセットされていな い、または、使用できないプロセスカートリッジ がセットされています。プロセスカートリッジを 確認し、セットし直してください。	 「プロセスカー トリッジの交換」 (153ページ) 「プロセスカー トリッジの取扱 いと保管」 (157ページ)

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ユニット カクニン	両面ユニットが正しくセットされていない、ま	 参照
リョウメン ユニット	たは使用できない両面ユニットがセットされて います。両面ユニットを確認し、セットし直して ください。	「両面ユニット の取り付けかた」 (140 ページ)
トウロク メモリ オーバー- ソッコウ カクニン OK?	ESC/Page コマンド受信中に、外字、オーバレイ、 マクロなどを登録するメモリが足りなくなると 表示されます。 セットアップモードで、『EG モード セッテ イ』の『メモリオーバー解除』が『スル』になっ ているときは、何かスイッチを押すか、3秒経 過すると処理が続行されます。『シナイ』になっ ているときは、何かスイッチを押すまで処理が 続行されません。	
メモリ フリク ブタソイ インサツ	プリンタ RAM モジュールを取り付けずに部単位 印刷を設定して印刷を行った場合に表示されま す。 セットアップモードで、「環境設定」の「メモ リ不足解除」が「スル」になっているときは、 何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理 が続行されます。「シナイ」になっているとき は、何かスイッチを押すまで処理が続行され ません。 ただし、Printianavi を使用している場合 「スル」の動作となります。 メモリ不足エラー発生後は、部単位印刷を解 除して印刷を再開します。ただし、プリント サーバが Windows 2000/NT4.0 で Printianavi を使用している場合、エラーメッセージ発生 後に部単位印刷を再開します。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
メモリ オーバー ブタンイ インサツ	<p>64MB プリンタ RAM モジュールを取り付けているとき、部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。</p> <p>セットアップモードで、「環境設定」の「メモリ不足解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。</p> <p>ただし、Printianavi を使用している場合「スル」の動作となります。</p> <p>メモリオーバーエラー発生後は、部単位印刷を解除して印刷を再開します。ただし、プリントサーバが Windows 2000/NT4.0 で Printianavi を使用している場合、エラーメッセージ発生後に部単位印刷を再開します。</p>	
アンダーラン エラー ドライバ セッティ カクニン	<p>プリンタドライバでアンダーランエラーが発生した場合に表示されます。</p> <p>メモリを増設するか、ドライバの解像度を下げてください。</p> <p>メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。</p> <p>アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します。</p>	
カイゾウド シテイムコウ ドライバ セッティ カクニン	<p>プリンタが印刷できない解像度をプリンタドライバに指定したときに印刷を中止して表示されます。プリンタドライバの解像度を設定し直してください。</p>	
メモリ フソク カタメン インサツ ゾッコウ	<p>両面印刷を指定して印刷を行う場合、プリンタ RAM モジュールを取り付けずに、600dpi 両面印刷で A3、B4、Legal の用紙を選択する（プロトクトモードに設定しているとき）と表示されます。</p> <p>セットアップモードで「環境設定」の「メモリ不足解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。</p> <p>ただし、Printianavi を使用している場合、「スル」の動作となります。</p>	 参照 「両面印刷」のガイド (209 ページ)

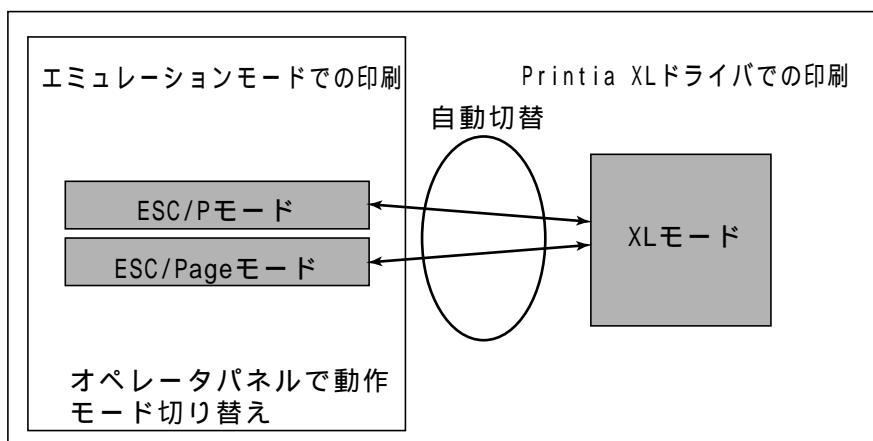
表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
コントローラ イジョウ 2	ROM および RAM の異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、再び投入してください。	
RAM1 エラー		
コントローラ イジョウ 3	それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター (299 ページ参照) へご連絡ください。	
RAM2 エラー		
コントローラ イジョウ 4	『コントローラ イジョウ 16』発生時は、電源を再投入するとプリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻します。	
CG-ROM1 エラー		
コントローラ イジョウ 5	設定値を変更している場合は再度設定してください。	
CG-ROM2 エラー		
コントローラ イジョウ 6	『システムエラー』発生時には、下段に表記されている数字を控え、ハードウェア修理相談センター (299 ページ参照) へご連絡ください。	
MAC アドレスエラー		
コントローラ イジョウ 15		
Flash-ROM エラー		
コントローラ イジョウ 16		
トウロク ショキカ シマス		
コントローラ イジョウ 21		
LSI エラー		
コントローラ イジョウ 22		
EEPROM エラー		
コントローラ イジョウ 23		
ROM1 チェックサムエラー		
コントローラ イジョウ 24		
ROM2 チェックサムエラー		
システムエラー		
aabbcccddeeeeeeee		
エンジン イジョウ 1	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。	
FUSER イジョウ	いったん電源を切断し、再び投入してください。	
エンジン イジョウ 2	それでもエラーメッセージが出る場合は、その内容をハードウェア修理相談センター (299 ページ参照) へご連絡ください。	
ROS モータ コショウ		
エンジン イジョウ 4		
ファン アラーム		
エンジン イジョウ 5		
メモリ イジョウ X		
エンジン イジョウ 6		
ツウシン エラー XXXY		
エンジン イジョウ 7		
タイムアウト エラー		

エミュレーションモードの使いかた

ここでは、エミュレーションモードで印刷する方法について説明します。

▼ Printia XL ドライバで印刷する

Windows対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、Printia XL ドライバ(FUJITSU XL-5340)を選択します。プリンタの設定は、Windows のダイアログボックスの設定内容に従います。Windowsからの印刷が終了すると、自動的に電源投入時またはオペレータパネルで選択した元の動作モードに戻り、エミュレーションモードでの印刷が可能になります。



コマンドで動作モードを切り替えた後に、Printia XL ドライバで印刷すると、切り替える前の動作モードに戻ります。

▼ エミュレーションモードで印刷する

本プリンタは、富士通FMVシリーズや各社AT互換機および日本電気PC-9800シリーズのパソコンと接続して、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

- ・ESC/P モード : セイコーエプソン 24ドットマトリクスプリンタ VP-1000 相当
- ・ESC/Page モード : セイコーエプソン ページプリンタ LP-8000S 相当

動作モード(エミュレーションモード)は、通常、アプリケーションソフトが対応しているモードに合わせて、プリンタのオペレータパネルで切り替えます。

 参考 オペレータパネルで切り替える方法については、「セットアップの操作」(175ページ) 参照

▼ コマンドでエミュレーションモードを切り替える

ここでは、プリンタ制御コード(コマンド)で動作モードを切り替える方法について説明します。使用するアプリケーションに合わせて、動作モードを自動的に切り替えることができますので、サーバプリンタとして使用する場合などに便利です。IntranetWareやNetWare、Windows NTなどのネットワークOSを使用して、印刷ジョブの前後にプリンタ制御コードを付加する方法については、各ネットワークOSのマニュアルをお読みください。

■ エミュレーションモードを切り替える

エミュレーションモードを切り替えるには、次のコマンドを発行します。（ $\times \times_{16}$ は、16進数表記での値です。）

【形式】

ESC + / + イ + @ + DEL + ESC + DEL + NULL + NULL + SOH + Pa
 $1B_{16}$ $2F_{16}$ $B2_{16}$ 40_{16} $7F_{16}$ $1B_{16}$ $7F_{16}$ 00_{16} 00_{16} 01_{16} $\times \times_{16}$

【解説】

- Paは1バイトの選択パラメータで、切り替えるエミュレーションモードを指定します。各エミュレーションごとのPaの値は次のとおりです。

ESC/P : Pa = 09_{16}
 ESC/Page : Pa = 06_{16}

また、印刷ジョブ終了後に、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻す場合には、次のPaを使用します。

デフォルトモード : Pa = 05_{16}

- パラメータエラーの場合、コマンドを無視します。
- エミュレーションモードを切り替えるとき、エミュレーションの動作状態は初期化されます。
- 設定されたエミュレーションモードは、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されます。

 [「液晶ディスプレイの表示内容」（169ページ）参照](#)

- コマンドでエミュレーションモードを切り替えた後に、Printia XL ドライバでの印刷を行ったり、オペレータパネルでプリンタをリセットすると、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻ります。

 [「印刷の中止（プリンタのリセット）」（186ページ）参照](#)

■ 切り替えコマンドの使いかた

複数のエミュレーションの印刷やPrintia XL ドライバの印刷を行う場合、各印刷ジョブの前後でエミュレーションモードを切り替えます。デフォルトモードで印刷を行うアプリケーションソフトの印刷では、エミュレーションモードの切り替えコマンドは必要ありません。



切り替えコマンドは、本プリンタ以外へは発行しないでください。

▼ エミュレーションモードを使う上での留意事項

エミュレーションモードは、本プリンタに、次のプリンタと同等の動作をさせるものです。

- ・ESC/P モード : セイコーエプソン 24 ドットマトリクスプリンタ VP-1000 相当
- ・ESC/Page モード : セイコーエプソン ページプリンタ LP-8000S 相当

ただし、まったく同じ動作をするわけではなく、多少の違いがあります。

次に、各エミュレーションモードを使う場合の留意事項について説明します。

■ セイコーエプソン VP-1000 との違い

ESC/P エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製の VP-1000 と、次の点で違います。

- ・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
 - ・用紙方向が縦の場合と横の場合で、印刷可能領域が異なります。
-  [参考](#) 印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、「用紙関係」(271 ページ)参照

■ セイコーエプソン LP-8000S との違い

ESC/Page エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製の LP-8000S とは、次の点で違います。

- ・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
- ・Windows の LP-8000S プリンタドライバでの 80% 縮小は、75% 縮小で印刷します。
- ・登録、または記憶を行うコマンドは、メモリ容量の違いから、「登録メモリオーバー」エラーになることがあります。

ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて、現象と対処方法を説明します。

▼ セットアップ時のトラブルシューティング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

■ ポートの選択画面に「Printianavi Network Port」が表示されない

《現象》

プリンタをTCP/IPのLAN環境に直接接続して使用したいが、プリンタドライバのインストール中に選択するポートの一覧に、「Printianavi Network Port」が表示されない。

《対処》

Printianaviネットワークポートモニタがインストールされているか確認し、それぞれの操作を行ってください。

Printianaviネットワークポートモニタがインストールされているか確認する〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔ネットワークソフトウェア〕〔セットアップ〕の順に選択します。セットアップ画面にて「変更」を選択して〔次へ〕をクリックし、「Printianaviネットワークポートモニタ」にチェックがついているか確認してください。

・「Printianaviネットワークポートモニタ」がチェックされていないときは、変更画面で「Printianaviネットワークポートモニタ」をチェックし、インストールとポートの作成を行います。

 参考 インストール方法については、「ネットワークソフトウェアのインストール」(58ページ)参照

・「Printianaviネットワークポートモニタ」が表示されたとき
仮のポート(LPT1など)でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティからポートを追加します。

 参考 ポートの追加方法については、「プリンタの接続方法を変更するとき(印刷先ポートの追加と変更)」(84ページ)参照

■ 「Printianavi Network Port」を複数作成したい

《現象》

1台目のプリンタはPrintianavi ネットワークソフトウェアのインストール時に作成したポートを使用した。2台目以降のプリンタのポートを作成したい。

《対処》

仮のポート(LPT1など)でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティから「Printianavi Network Port」を追加します。

また、「Printianavi ネットワークポート管理」を使用することでポートの追加を行うことができます。



ポートの追加方法については、「プリンタの接続方法を変更するとき(印刷先ポートの追加と変更)」(84 ページ) 参照

■ プリンタドライバのインストール中に警告画面が表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告画面が表示されることがあります。ここでは、注意が必要な3つの現象（メッセージ）について説明します。

《現象1》

「WindowsのCD-ROMを挿入してください」というメッセージが表示された。

《対処》

製造元とモデルの選択画面で〔ディスク使用〕をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとすると表示される画面です。

インストールをキャンセルして、再度、プリンタ添付のCD-ROMのドライバをインストールし直すことをお勧めします。

「第6章 プリンタドライバのインストール」(95ページ)参照

このままWindowsのCD-ROMをセットしてインストールを続行すると、OS添付のドライバがインストールされます。

OS添付のドライバは、最低限の印刷は可能ですがPrintianavi機能およびさまざまな便利な印刷機能がお使いになれません。

▶お願い

OS添付のドライバをインストールしたときは、ドライバを削除してからインストールし直してください。

「新しいドライバに置き換えるとき(プリンタドライバの削除)」(212ページ)参照

《現象2》

〔バージョンの競合〕というメッセージが表示された。

《対処》

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示される画面です。

〔はい〕をクリックして、現在のファイルをそのまま使うようにしてください。

《現象3》

「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

《対処》

クライアントのOS(Windows)用のプリンタドライバが、サーバ側に追加(または代替)インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示される画面です。

クライアントのOSにより、次の操作をしてください。

クライアントがWindows 95/98/Me/NT4.0のとき

- 1 添付のCD-ROMをクライアントにセットして、[OK]をクリックします。
- 2 プリンタの製造元とモデルを選択する画面では[ディスク使用]をクリックし、CD-ROMにあるプリンタドライバのフォルダ名を指定してインストールを行ってください。

クライアントがWindows 2000のとき

[キャンセル]をクリックして、ネットワークインストールを中止します。ポート変更による方法でインストールし直してください。

 [「第7章 プリンタ共有の設定」の「クライアント側の設定」の「ポート変更による方法」\(109ページ\) 参照](#)

●ガイド

サーバがWindows 2000/NT4.0でWindows 95/98/Me/NT4.0のクライアントが複数台あるときは、追加(または代替)ドライバをインストールしておくと便利です。

 [「第7章 プリンタ共有の設定」の「サーバ側の設定」Windows 95/98/Meのとき\(102ページ\) Windows 2000のとき\(105ページ\) Windows NT4.0のとき\(111ページ\) 参照](#)

▼ 運用時のトラブルシューティング

プリンタを運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

■ 印刷できない

《現象1》

テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷できない。

《対処1》

プリンタの状態およびケーブル接続を確認します。

次の4点を確認してください。

- ・プリンタの電源が入っていますか。
- ・プリンタケーブル、またはLANケーブルが正しく接続されていますか。
- ・プリンタがエラー状態になってしまいませんか。

プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、オンライン状態に戻してください。

- ・プリンタ切替器を使用していませんか。

プリンタとの通信が異常となったり、プリンタ故障の原因となったりする恐れがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

《対処2》

プリンタをLANケーブルで接続している場合は、LANの設定を確認します。

設定の一覧を印刷し、次の点を確認してください。



設定の一覧の印刷方法は、「ネットワークプリンタの準備」(34ページ) 参照

Printianavi ネットワークポートモニタを使用、またはLPR印刷のとき

次の3点を確認してください。

- ・TCP/IP設定は「有効」になっていますか。

「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

- ・TCP/IP 状態コードは「0」(正常) になっていますか。
「0」以外のときは、それぞれ次の操作を行ってください。
 - 「1」のとき IPアドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
 - 「2」のとき DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。再度、LAN 設定の一覧を印刷してください。
 - 「3」以上のとき ... DHCP による TCP/IP 構成情報の取得で異常が発生しています。
DHCP サーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルの操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイを設定し直してください。
- IPアドレス設定ユーティリティを使って設定したIPアドレスは、プリンタの電源を切ると無効になります。
- IPアドレス設定ユーティリティでIPアドレスを設定した場合は、プリンタの電源を切る前に必ず、DHCP自動取得を「無効」に変更してください。
- ・IPアドレスは正しく設定されていますか。



IPアドレスおよびTCP/IP設定の方法については、「IPアドレスの設定方法」(36 ページ) 参照

《対処3》

プリンタドライバの設定を確認します。

サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、サーバ側の設定も同様に確認します。

プリンタドライバの設定画面を開き、次の点を確認してください。

- ・印刷先ポートに接続されていないポートが指定されていないか
- ・別の場所に設置されたプリンタが指定されていないか



「第12章 プリンタドライバの設定」(189 ページ) 参照

お使いのOSによって、印刷先ポートを確認する画面が異なります。

Windows 95/98/Me のとき ... [プリンタのプロパティ] の [詳細] ダイアログ

Windows 2000/NT4.0 のとき ... [プリンタのプロパティ] の [ポート] ダイアログ

プリンタをLANケーブルで接続している場合は、次の点も確認してください。

・「Printianavi Network Port」で接続のとき

印刷した設定の一覧と、IPアドレス、IPPの設定およびポート番号の設定が一致しているか、確認してください。

それぞれ次のダイアログで確認できます。

IPアドレス（注）...[ポートの設定]

ポート番号 [オプション]

ポート番号がプリンタのポート番号1と同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。

また、接続モードがIPPの場合は、次の設定も確認してください。

プリンタのURL [ポートの設定]

設定の一覧と同じか確認してください。値が空白になっている場合は、「プリンタのIPアドレス / ipp」と設定してください。

プロキシ設定 [プロキシ設定]

プロキシサーバの設定についてはネットワーク管理者に問い合わせてください。

注：ホスト名を指定している場合は、そのホスト名が使用するIPアドレスで確認してください。

・「LPR Port」で接続のとき

次の2点を確認してください。

- [ポート]ダイアログの[ポートの構成]をクリックし、IPアドレスが同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。

- [ポート]ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずし、双方向通信を無効にしてください。

《対処4》

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

1 [スタート]から[設定][プリンタ]の順に選択します。

2 [プリンタ]フォルダから該当するプリンタをダブルクリックします。

3 表示される画面のタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認します。

停止状態のときは、[プリンタ]メニューおよび[ドキュメント]メニューの「一時停止」のチェックをはずします。

《対処5》

双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ(XL-2000W、XJシリーズなど)がインストールされていないか、確認してください。

双方向通信をサポートするプリンタの印刷先を同じプリンタポート(LPT1:)に指定したまま使用すると、印刷が行えない場合があります。

実際に接続していないプリンタの印刷先ポートは、「FILE:」に変更してください。

《対処6》

双方向通信機能をサポートしないプリンタポートを使用していないか確認してください。また、Windows 95/98/Meでプリンタポート(LPT1:)から印刷しているときは、ポートのドライバに問題はないか確認してください。

次の手順で確認します。

1 [プリンタのプロパティ]で[詳細]ダイアログを表示します。

2 [スプールの設定]をクリックして「このプリンタで双方向印刷をサポートする」と「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」のそれぞれの設定でテスト印刷を行います。

「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」でのみ印刷できる場合は、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていないか、ポートドライバに問題があることが考えられます。

ECPプリンタポートが設定されているときは、次の手順でプリンタポートを変更してください。

・Windows 95のとき

1 [スタート]から[設定][コントロールパネル]の順に選択し、[システム]をダブルクリックします。

2 [デバイスマネージャ]をクリックし、「ポート(COM&LPT)」の「プリンタポート(LPT1)」をダブルクリックします。

3 [ドライバ][ドライバの更新]の順にクリックします。「一覧からドライバを選ぶ」を選択し、[次へ]をクリックします。

4 「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「スタンダードポート」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」をダブルクリックして、画面の指示に従って操作します。

Windows 95でプリンタポートを変更しても問題が解決しない場合は、Windows 95の修正モジュール等を適用し、プリンタポートのドライバファイル「LPT.VXD」を更新してください。

・Windows 98 のとき

- 1 [スタート]から[設定][コントロールパネル]の順に選択し、[システム]をダブルクリックします。
- 2 [デバイス マネージャ]をクリックし、「ポート(COM/LPT)」の[プリンタ ポート(LPT1)]をダブルクリックします。
- 3 [ドライバ][ドライバの更新]の順にクリックします。
ウィザードの最初の画面では[次へ]をクリックします。
- 4 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して[次へ]をクリックします。
- 5 「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「(標準ポート)」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して[次へ]をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

・Windows Me のとき

- 1 [スタート]から[設定][コントロールパネル]の順に選択し、[システム]をダブルクリックします。
- 2 [デバイス マネージャ]をクリックし、「ポート(COMとLPT)」の[プリンタ ポート(LPT1)]をダブルクリックします。
- 3 [ドライバ][ドライバの更新]の順にクリックします。
ウィザードの最初の画面で「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、[次へ]をクリックします。
- 4 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して[次へ]をクリックします。
- 5 「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「(標準ポート)」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して、[次へ]をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

《対処7》

IPP印刷時に双方向通信のサポートが有効になっているか確認してください。

プロキシサーバを経由したIPP印刷では、プロキシサーバの種類によっては、片方向通信での印刷が正常に行えない場合があります。双方向通信機能を有効にして印刷を行ってください。

双方向通信機能を有効にしても印刷できない場合は、プロキシサーバの設定が正しいか確認してください。

《現象2》

特定のデータの印刷時にメモリ不足エラー等が発生する。

《対処》

プリンタドライバの〔印刷オプション〕ダイアログの設定を確認してください。

次の2つの設定にチェックがついている場合は、チェックをはずして印刷してください。

- ・パソコンのメモリを節約して印刷する。
- ・EMFでスプールする。

上記の2つの設定を有効にすると、プリンタドライバの動作に必要なメモリ量を少なくすることができますが、アプリケーションによっては必要となるメモリ量が増える場合があります。

Printianaviのメッセージが表示されない

《現象》

印刷は行えるが、印刷を行ったパソコンにPrintianaviのメッセージが表示されない。

《対処》

〔プリンタのプロパティ〕を開き、次の点を確認してください。

 参照 「第12章 プリンタドライバの設定」(189ページ) 参照

- ・Printianaviに対応していないプリンタドライバを使用していませんか。

OS添付のプリンタドライバやエミュレーションモード(ESC/PやESC/Page)で印刷している場合は、Printianavi機能は使用できません。

また、古い機種用のPrintia XLドライバでは、新しいプリンタやPrintianavi機能に対応していないことがあります。

添付のCD-ROMに収められたプリンタドライバを使用してください。

- ・LPR Port印刷ではありませんか。

Windows 95/98/Meは〔詳細〕ダイアログ、Windows 2000/NT4.0は〔ポート〕ダイアログで印刷先のポートがLPR Portの場合は、Printianavi機能は使用できません。

- ・Printianaviを使用する設定になっていますか。

〔装置オプション〕ダイアログの「Printianaviを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックしてください。

- ・Printianavi のメッセージを表示する設定になっていますか。
〔Printianavi〕ダイアログの「印刷中のステータス表示」「印刷の終了を通知する」の設定を確認してください。
 参照 詳細は、プリンタドライバのヘルプまたは添付CD-ROMのソフトウェアマニュアル「第1章 Printianavi の設定」参照
- ・ステータスとメッセージの通知先の設定を別のパソコンに指定していませんか。
〔Printianavi〕ダイアログの「オプション」の「ステータスの表示先」に、「コンピュータを指定」で指定したパソコンにメッセージが表示されている場合は、「このコンピュータ」に変更してください。
- ・双方向通信機能をサポートする設定になっていますか。
Windows 95/98/Meのとき [詳細] ダイアログの〔スプールの設定〕をクリックします。「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択します。
Windows 2000/NT4.0のとき ... [ポート] ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックします。
- ・ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポートに変更していませんか。
サーバ共有プリンタに印刷するためにネットワークインストールしたプリンタドライバの印刷先ポートをローカルポートに変更すると、双方向通信機能が動作しないため、Printianavi機能が使用できなくなります。
印刷先をローカルポートに変更するときは、新たにローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールし直してください。
- ・Windows 2000/NT4.0 で区切りページを指定していませんか。
本プリンタではWindows 2000/NT4.0の区切りページファイル (*.sep) の印刷をサポートしていません。また、Printianavi機能が正常に動作しなくなりますので、お使いにならないでください。
- サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、次の点を確認してください。
 - ・サーバのOSがWindows 95/98/Me/2000/NT4.0以外ではありませんか。PrintianaviはWindows 95/98/Me/2000/NT4.0対応です。また、クライアントがPrintianavi対応でも、Printianaviに対応していないサーバの共有プリンタに印刷の際は、Printianavi機能はお使いになれませんのでご了承ください。

- ・Windows NT4.0 のサーバから Windows 2000 のクライアントにプリンタドライバをネットワークインストールしていませんか。

この場合〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレーアウトされ、Printianavi機能が正常に動作しません。

プリンタドライバを削除し、インストールし直してください。

 「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）」（212ページ）参照

 「第7章 プリンタ共有の設定」の「クライアント側の設定」の「ポート変更による方法」（109ページ）参照

■ プリンタの状態の表示や反映が行えない

《現象》

プリンタドライバの設定画面やPrintianaviマネージャから「プリンタ状態表示」が行えない。また、「プリンタ状態を設定値に反映する」で情報の取得に失敗してしまう。

《対処》

印刷中の状態表示や印刷完了通知などPrintianaviのメッセージ通知も正常に行われない場合は、「Printianaviのメッセージが表示されない」（257ページ）を参照してください。

「プリンタ状態表示」および「プリンタ状態を設定値に反映する」でのみ問題が発生する場合は、次の点を確認してください。

- ・プリンタのモデルが異なるプリンタドライバを使用していませんか。プリンタドライバはプリンタモデルにあったものを使用してください。

- ・プリンタドライバを更新せずにPrintianaviネットワークポートモニタのみ新しいものをインストールていませんか（Windows 2000）

 「旧バージョン・レベルとの混在運用について」（265ページ）および「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）」（212ページ）参照

■ 印刷結果がプリンタドライバの設定と違う

《現象》

アプリケーションから印刷を行ったが、印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と違っている。

《対処》

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。

このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

このような場合は、〔プリンタのプロパティ〕（Windows 95/98/Me）や〔印刷設定〕（Windows 2000）〔ドキュメントの既定値〕（Windows NT4.0）で設定を変更しても反映されません。

印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。



「第12章 プリンタドライバの設定」（189ページ）参照

■ Printia LASER Internet Service が正しく動作しない、またはエラー表示される

Printia LASER Internet Service が起動時または起動中に、次のような状態になってしまします。

《現象1》

Printia LASER Internet Service の画面が表示されない、または画面の一部が表示されない。

《対処》

次の点を確認してください。

- ・プリンタに電源が入っていますか。
- ・LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
- ・Web ブラウザに入力した URL は正しいですか。

Printia LASER Internet Service を表示するときの URL は「`http://`」 + 「プリンタの IP アドレス」または「`http://`」 + 「ホスト名 + ドメイン名」を指定します。

プリンタの URL に指定した IPP プリンタ名（「/」以降）は指定しないでください。

また、設定の一覧を印刷し、次の点も確認してください。

- ・プリンタにIPアドレスが正しく設定されていますか。
- URLに「ホスト名+ドメイン名」を指定した場合はDNSサーバの設定も正しいか確認してください。
- ・TCP/IP設定は「有効」になっていますか。
- 「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

《現象2》

設定が反映されない、または〔設定〕ボタンが表示されない。

《対処》

次の点を確認してください。

- ・サポート外のWebブラウザを使用していませんか
Netscape 4.0以上またはInternet Explorer 4.0以上の製品版ブラウザをお使いください。
- ・WebブラウザがJavaScriptの使用を禁止する設定になっていますか
- ・〔設定〕ボタンをクリックする前に他の情報(ページ)を表示していませんか

設定は各情報(ページ)ごとに行ってください。また、設定中に他の情報(ページ)に切り替えると切り替え前の設定値は反映されませんのでご注意ください。

《現象3》

設定中にエラーが表示された、または設定後の表示が「プリンタリセット中...」のままになる。

《対処》

エラーメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容に従って対処してください。

設定後の表示が「プリンタリセット中...」のままの場合は、プリンタリセット中にプリンタの電源が切断されるなどで通信が行えなくなつたことが考えられます。

プリンタの電源やネットワーク接続を確認後、一度Webブラウザを終了し、キャッシュをクリアしてから再度表示しなおしてください。

ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本プリンタ添付のソフトウェアをご使用になる際の留意事項について説明します。

▼ 他の Windows OS から Windows 2000 へアップグレードする場合

Windows 95/98/Me や、Windows NT4.0 などから Windows 2000 へアップグレードする場合、XL プリンタドライバおよびXL プリンタ関連ソフトウェア(ネットワークポートモニタなど)をあらかじめ削除(アンインストール)してください。Windows 2000 へアップグレード後、再インストールしてください。

削除(アンインストール)を行わずに Windows 2000 にアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処について、以下で説明しますので参照してください。

▶ プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、Windows 2000 添付のドライバに置き換わることがあります。

この状態では、Printia XL ドライバが提供している機能が使用できません。

〔プリンタ〕フォルダ、〔サーバのプロパティ〕の〔ドライバ〕リスト、〔デバイスマネージャ〕(表示された場合のみ)から XL プリンタを削除し、パソコンの再起動後、再度インストールを行ってください。



「新しいドライバに置き換えるとき(プリンタドライバの削除)」(212 ページ) 参照

▶ Printianavi ネットワークポートモニタ

ネットワークポートモニタがインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、Printianavi のポート(Printianavi Network Port)が新規に作成できなくなります。

また、ネットワークポートモニタの上書きインストールもできませんので、アンインストールを行ってから再度最新版のネットワークポートモニタをインストールしてください。



Windows 2000 環境で使用時の留意事項

■ インストール、アンインストール時の注意事項

Windows 2000 環境で「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROMに納められている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールする際は、管理者権限でログオンしてください。

一般ユーザでログオンした状態では、インストール先のフォルダ等へのアクセス権限がないため、正しくインストールまたはアンインストールできない場合があります。

一般ユーザでインストールまたはアンインストールを行って正常に動作しなくなった場合は、管理者権限でログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

■ ネットワーク経由でのドライバインストールについて

クライアント／サーバ運用で、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows NT4.0を使用した場合、サーバ(Windows NT4.0)のプリンタをネットワーク経由でインストールすると、[ポート]タブの「双向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi機能が正常に機能しません。

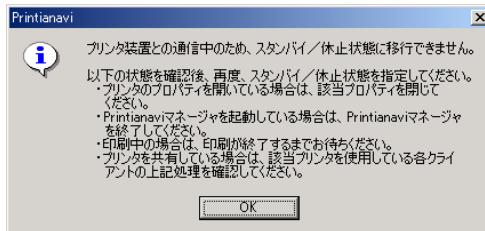
また、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows 95/98/Meを使用した場合、ネットワークインストールを行っても途中で失敗します。上記の環境では、ネットワーク経由でインストールせず、直接クライアントにローカルポートを選択してプリンタドライバをインストール後、印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更してください。

■ Windows 2000 クラスタ環境について

Windows 2000 クラスタ環境での動作は保証していません。

■ ACPI の動作について

本プリンタとパソコンが通信中の場合は、パソコンがACPIによるスタンバイ／休止状態に移行できないため、次のメッセージが表示されます。



パソコンをスタンバイ／休止状態に移行させる場合は、以下の内容を確認し、通信を行っていない状態になってから、再度スタンバイ／休止状態の設定を行ってください。

プリンタを他のパソコン（クライアント）と共有している場合は、使用しているパソコン（クライアント）側からも通信を行わないようにしてください。

- ・印刷中のとき
印刷が終了するまでお待ちください。
- ・プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を開いているとき
プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を閉じてください。
- ・Printianaviマネージャを起動しているとき
Printianaviマネージャを終了してください。

なお、サーバがスタンバイ／休止状態のとき、クライアントからサーバの共有プリンタの状態を表示または取得しようとすると、エラー表示になったり、正しい状態が表示されなくなります。このときは、次の操作を行ってください。

- ・プリンタドライバの設定画面の〔プリンタ状態表示〕または〔プリンタ状態を設定値に反映する〕でエラーになったとき
エラー表示の画面を閉じ、サーバが通常状態に復帰した後に再度操作してください。
- ・Printianaviマネージャの状態表示やネットワークの設定でエラーになったとき
サーバが通常状態に復帰した後に、〔最新の情報に更新〕ボタンをクリックして表示を更新してください。
ネットワークの設定を行う場合は、再度設定してください。

▼ 旧バージョン・レベルとの混在運用について

XL-5310/5510/5710/5810/6010、XL-5320/5330/5720/5730/6100/6700 およびXL-5330/5340/5730を混在して運用する場合、ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョン・レベルを確認のうえ、最新版 CD-ROM に添付のバージョン以降に更新してください。

■ とくに注意が必要な組み合わせ

とくに注意が必要な組み合せについて説明します。

▷ Printianavi ネットワークポートモニタとプリンタドライバ

Printianavi ネットワークポートモニタ V5.1L20 の持つ IPP 印刷機能は、XL-5330/5340/5730 のプリンタとの組み合わせとなります。

▷ Printianavi マネージャと対応プリンタ

各プリンタに対応するPrintianaviマネージャのバージョンを次の表に示します。

プリンタ	対応バージョン
XL-5340	V5.1L20 以降
XL-5730/5330	V5.1L10 以降
XL-6100	V3.1L31 以降
XL-6700	V3.1L21 以降
XL-5720/5320	V3.1L20 以降
XL-6010	V3.1L11 以降
XL-5710/5310	V3.1L10 以降

Printianavi マネージャが、お使いのプリンタに対応していないバージョンの場合、プリンター一覧に表示されず、状態表示や管理は行えません。

■ 更新時の注意事項

各ソフトウェアを更新する際の注意事項について説明します。

▶ Printianavi ネットワークポートモニタ

Printianavi ネットワークポートモニタの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。ただし、次の点に注意してください。

- Printianavi Network Port を印刷先に設定しているプリンタがある場合は、印刷先を一時的に別のポートに変更してください。
- Windows 起動後、一度も印刷を行っていない状態でインストールを行ってください。

 「ネットワークソフトウェアのインストール」(58 ページ)
参照

 詳細については、添付の CD-ROM のソフトウェアマニュアル
「第2章 Printianavi ネットワークポートモニタ」参照

▶ Printianavi マネージャ

Printianavi マネージャの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。

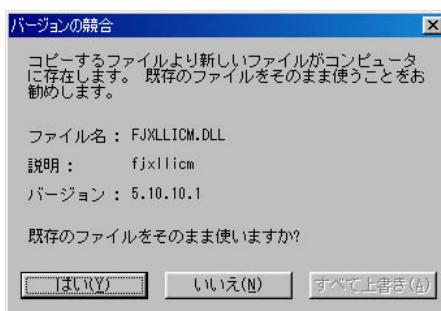
- Printianavi マネージャが起動されている場合は、終了させてからインストールを行ってください。

 「ネットワークソフトウェアのインストール」(58 ページ) 参照

 詳細については、添付 CD-ROM のソフトウェアマニュアル「第3章 Printianavi マネージャ」参照

■ 旧バージョンのプリンタドライバ・インストール時の注意事項

XL-5340 のプリンタドライバがインストールされている環境に、旧バージョンのプリンタドライバをインストールすると、「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示され、既存のファイルをそのまま使用するかどうかの選択を求められます。この場合、「はい」を選択してください。



付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様	268
基本仕様	268
インターフェース仕様	270
用紙関係	271
セットアップ項目の補足	273
コマンド（機能コード）一覧	278
ESC/P モードコマンド一覧表	278
ESC/Page モードコマンド一覧表	280
キャラクタコード一覧	283
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	283
ESC/Page モードキャラクタコード一覧表	284
JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	288
JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	291
JIS 漢字コードについてのご注意	294
ネットワーク用語の解説	295
プリンタドライバの入手方法	298
アフターサービスについて	299
修理装置の返却準備 ~お客様へ~	300

プリンタの仕様



基本仕様

以下に、プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度	連続コピー最大 17 ページ / 分 (A4 サイズ横送り)
メモリ	16MB (オプション増設時 80MB)
エンジン解像度	600dpi
スマージング処理	スーパー FEIT(Fujitsu Enhanced Image Technology)
用紙サイズ	・給紙カセット : A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター ・給紙トレイ : A3 ~ A5、官製はがき、リーガル、レター
給紙方式 ¹	・給紙カセットによる自動給紙(収容枚数 250 枚、拡張給紙ユニット使用時最大 1,250 枚) ・給紙トレイによる自動給紙(収容枚数 200 枚(はがき 75 枚))
排紙方法 ¹	フェースダウンスタッカ(スタッカ枚数 250 枚)
使用環境条件	温度 10 ~ 32 、湿度 15 % ~ 85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz
消費電力	動作時 850 W 以下、節電時 ⁴ 16 W (5 分以降は約 10W)
騒音	待機時 29dB(A)、動作時 52dB(A) (フルオプション 54dB(A))
外形寸法	幅 459mm、奥行き 430mm、高さ 310mm (カセット縮小時) 幅 459mm、奥行き 608mm、高さ 310mm (カセット延長時)
質量	約 17.4kg (消耗品、オプションを除く)
インターフェース	IEEE P1284 双方向パラレルポート 100Base-TX/10Base-T LAN ポート
プリンタシーケンス ²	XL プリンタドライバ、ESC/P、ESC/Page
文字・書体	明朝体 22 ドット / 28 ドット / 32 ドット / 40 ドット文字 明朝体 / ゴシック体アウトライン文字
耐用期間 ³	5 年(8 時間 / 日)または 30 万ページ印刷(A4 サイズ横送り)

¹ : 収容枚数は 64g/m² にて換算

² : データ処理解像度

- ・XL プリンタドライバ : 600dpi (FEIT : 1200dpi 相当)
- ・ESC/P : 180dpi (FEIT : 600dpi 相当)
- ・ESC/Page : 300dpi (FEIT : 600dpi 相当)

- ・3 : ・耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
・累積使用時間は、24時間運用の場合も同一です。
・A4より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が30万ページより短くなります。
・耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、ハードウェア修理相談センター(299ページ参照)にご連絡ください。なお、交換は有償です。

寿命部品	交換目安
定着器	10万ページ
フィードローラ	10万枚印刷
リタードパッド	10万枚印刷
＊片面印刷時	1枚 = 1ページ
＊両面印刷時	1枚 = 2ページ

- ・4 : 節電モードに入ってから5分間は16W、5分以降は約10Wとなります。

▼ インタフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、IEEE P1284の仕様に準拠した双方向パラレルインターフェースを採用しています。

■ インタフェース仕様とコネクタピン配列

・インターフェースコネクタ

プリンタ側：36極コネクタ(メス) アンフェノール 57-40360相当品

ケーブル側：36極コネクタ(オス) アンフェノール 57-30360相当品

・ケーブル

最長 1.5 m以下のケーブルを使用してください。

(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)

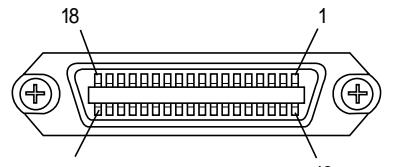
・信号レベル

LOW : 0.0 V ~ + 0.4 V HIGH : + 2.4 V ~ + 5.0 V

・データ転送方式

8ビットパラレル

・コネクタピン配列



インターフェースコネクタ(36ピン)

ピン番号	信号名称	発信元	ピン番号	信号名称	発信元
1	* Strobe	パソコン	19	-RET	-
2	Data 1	パソコン	20	-RET	-
3	Data 2	パソコン	21	-RET	-
4	Data 3	パソコン	22	-RET	-
5	Data 4	パソコン	23	-RET	-
6	Data 5	パソコン	24	-RET	-
7	Data 6	パソコン	25	-RET	-
8	Data 7	パソコン	26	-RET	-
9	Data 8	パソコン	27	-RET	-
10	* Ack	プリンタ	28	-RET	-
11	Busy	プリンタ	29	-RET	-
12	PError	プリンタ	30	-RET	-
13	Select	プリンタ	31	* Init	パソコン
14	* AutoFd	パソコン	32	* Fault	プリンタ
15	-	-	33	-RET	-
16	SG	-	34	-	-
17	FG	-	35	-	-
18	+5VSignal	プリンタ	36	* SelectIn	パソコン

注)“*”は、負論理信号であることを示します。

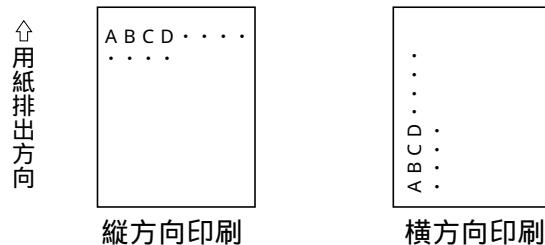
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

▼ 用紙関係

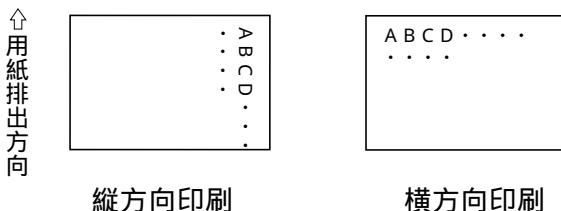
本プリンタは、給紙カセットと給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

■ 印刷方向

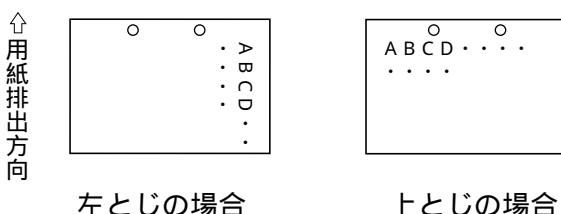
- ・A3、B4、リーガルサイズの用紙の場合



- ・A4、A5、B5、レター、はがきサイズの用紙の場合



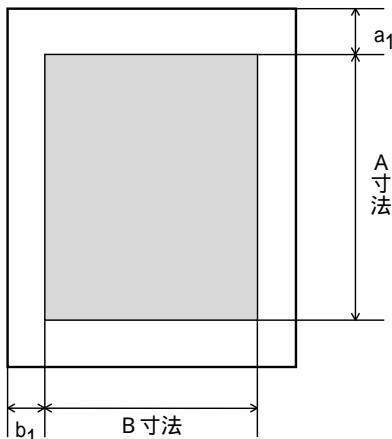
とじ穴のあるA4サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。



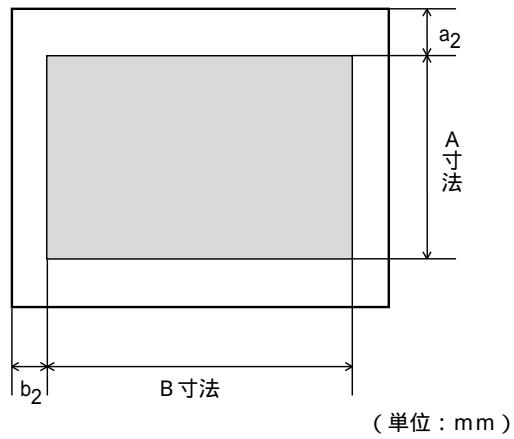
■ 印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

[印刷方向：縦]



[印刷方向：横]



(単位 : mm)

▶ Printia XL ドライバおよび ESC/Page モード使用時

$a_1=a_2=5mm$ 、 $b_1=b_2=5mm$

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

▶ ESC/P モード使用時

$a_1=a_2=8.5mm$ または $22mm$ (はがき:10mm)、 $b_1=b_2=5mm$

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	8.5mm 時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
	22mm 時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
横方向	B寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	8.5mm 時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
	22mm 時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B寸法	410	345	287	247	200	345	269	138

セットアップ項目の補足

ここでは、セットアップモードで値を設定するときに、とくに留意していただきたい内容について説明します。

設定の印刷

プリンタおよびLANポートの現在の設定内容を印刷します。印刷は現在指定している方法で行います。A4サイズの用紙を基準とし、A4より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、はがき、およびA5サイズより小さい不定形用紙は印刷できません。印刷した場合は、「サイズフィッヂ A5 イジョウセッヂ」と表示されますので、他のサイズに変更して再度印刷してください。

用紙がない場合は「ヨウシ ナシ」と表示されますので、用紙を補給してください。

印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。

LAN設定で「TCP/IP」を「無効」にしたとき、LAN設定内容は印刷されません。

次に「設定の印刷」の印刷例を示します。

エミュレーション設定		E S C / P モード設定	
カレントエミュレーション設定		文字コード	
= E S C / P モード		= カタカナ	
印刷設定		給紙位置	
印刷方向	= 縦	= 8 . 5 mm	
給紙口	= カセット1	右マージン	
縮小印刷	= 100 %	= 用紙幅	
給紙トレイサイズ	= A4	A N K 文字	
不定形サイズ		= ローマン	
縦方向	= 420 mm	漢字書体	
横方向	= 297 mm	= 明朝体	
コピー枚数		C R コード	
両面印刷	= 0 1 枚	= C R のみ	
どじしろ方向	= 解除	縦余白設定	
縦上端余白		= 8 . 5 mm	
縦左端余白		= 5 . 0 mm	
横余白設定		横上端余白	
縦上端余白		= 8 . 5 mm	
縦左端余白		= 5 . 0 mm	
印字位置調整 (縦印字位置)		= 0 . 0 mm	
(横印字位置)		= 0 . 0 mm	

■ パラレルポート設定

プリンタケーブル経由でデータを受信する場合に、接続するパラレルポートのインターフェースタイミングを設定するときは、次の点に注意してください。

▶ ACK タイミング

ACK 信号のパルス幅を設定します。

ACKのパルス幅は、双方向モードとの組み合わせにより次のとおりになります。

双方向			
ACK	モード	設定	解除
タイミング			
高速		1 μ s	2.5 μ s
標準		2.5 μ s	5 μ s

▶ ビジーディレイ

ACK 信号と BUSY 信号の位置関係を設定します。接続するパソコンの仕様に合わせて設定します。

ビジーディレイは、双方向モードと ACK タイミングとの組み合わせにより次のとおりになります。

双方向			
ACK	モード	設定	解除
タイミング			
高速		A - B 固定	A - B 固定
標準		A - B 固定	設定値



双方向モードを「解除」する設定にすると、Printianavi の双方向機能、および Windows 95/98/Me の Plug & Play 機能が使えなくなります。

■ TCP/IP 設定

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびポート番号 1、2 を設定します。

IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの各項目は、DHCP により自動的に取得するように設定されているため、表示されません。

IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイをプリンタから設定する場合は、「DHCP 自動取得」を「解除」してください。

TCP/IPの設定を行ってもTCP/IPが正常に動作しない場合があります。このようなときは、メニュー印刷の「設定の印刷」を行い、「TCP/IP動作状態」(下記の表)および「LANステータス」(276ページ)を確認してください。

TCP/IP動作状態コードは、次のとあります。

コード	内容と処置
0	TCP/IPは正常に動作しています。
1	IPアドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。 設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCPによりTCP/IP構成情報を取得中です。
3	DHCPによるTCP/IP構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LANケーブルが正しく接続されているか、またはDHCPサーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCPによるTCP/IP構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCPによるTCP/IP構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LANケーブルが正しく接続されているか、またはDHCPサーバの電源が投入されているか確認してください。
6	DHCPにより取得したIPアドレスが他のホストで使用されています。 いったん、電源を切断し、再び投入してください。
9	ゲートウェイの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。

DHCPクライアントの予約について

DHCPによりTCP/IP構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じIPアドレスを取得できるようにDHCPサーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタのMACアドレスについては、電源投入後、オペレータパネルに表示されるファームロード中(下段)のメッセージを参照(17ページ)、または設定の一覧を印刷してください(34ページ)。



「プロトコル」の「TCP/IP」を「無効」にした場合、「TCP/IP設定」は表示されません。

LANステータスは、次のとおりです。

設定項目	機能
a . b b b b . c c c c . d d	LANの接続状態を2進数の各コードで示します。
a : リンク・ステータス	
	0 = 無効 / 1 = 有効
bbbb: プリンタデータ転送能力	
	10Base-T 半二重 (0 = 無効 / 1 = 有効)
	10Base-T 全二重 (0 = 無効 / 1 = 有効)
	100Base-TX半二重 (0 = 無効 / 1 = 有効)
	100Base-TX全二重 (0 = 無効 / 1 = 有効)
cccc: リンクパ-トナデータ転送能力	
	10Base-T 半二重 (0 = 無効 / 1 = 有効)
	10Base-T 全二重 (0 = 無効 / 1 = 有効)
	100Base-TX半二重 (0 = 無効 / 1 = 有効)
	100Base-TX全二重 (0 = 無効 / 1 = 有効)
dd: データ転送速度	
	データレート (0=10Mbps/1=100Mbps)
	全二重 / 半二重 (0 = 半二重 / 1 = 全二重)
a: リンクステータスが0 = 無効の場合、	
	「- -」と表示

■ 繰じしろモード（綰じしろ位置）

両面印刷のときの、綰じしろ方向と綰じしろモードの関係は、次のとおりです。

（表綰じしろ量：a、裏綰じしろ量：b）

画面 印刷	綰じ しろ モード	綰じしろ位置			
		印刷方向 縦		印刷方向 横	
		表	裏	表	裏
長辺 綰じ	左／上 綰じ				
	右／下 綰じ				
短辺 綰じ	左／上 綰じ				
	右／下 綰じ				

コマンド（機能コード）一覧

以下に使用できるコマンドの一覧を示します。

表中の Pa、P₁、P₂、…、P_n は、パラメータを表します。

表中の D₁、D₂、…、D_n は、データを表します。

表中の sp は、スペース記号を示します。

▼ ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

▶ 書式設定・実行

機能名称	コマンド名	コード名
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC+ C +Pa
	インチ単位ページ長設定	ESC+ C +NUL+Pa
	ミシン目スキップ設定	ESC+ N +Pa
	ミシン目スキップ解除	ESC+ O
	右マージン設定	ESC+ Q +Pa
改行量設定	左マージン設定	ESC+ L +Pa
	1/8 インチ改行量指定	ESC+ 0
	1/6 インチ改行量指定	ESC+ 2
	n/180 インチ改行量指定	ESC+ 3 +Pa
タブ設定	n/60 インチ改行量指定	ESC+ A +Pa
	垂直タブ位置設定	ESC+ B +P ₁ +P ₂ ...
		Pn+NUL
	水平タブ位置設定	ESC+ D +P ₁ +P ₂ ...
印字・紙送り		Pn+NUL
	VFU チャネル選択	ESC+ / +Pa
	VFU タブ位置設定	ESC+ b +Pa+P ₁ ...
		Pn+NUL
印字位置設定	印字復帰	CR
	改行	LF
	改ページ	FF
	n/180インチ順方向紙送り	ESC+ J +Pa
	n/180インチ逆方向紙送り	ESC+ j +Pa

▶ テキスト処理～ANK 文字

機能名称	コマンド名	コード名
文字セット	12CPI 指定	ESC+M
	10CPI 指定	ESC+ P
	15CPI 指定	ESC+ g
	プロポーショナル指定／解除	ESC+ p +Pa
	国際文字選択	ESC+ R +Pa
	スーパー／サブスクリプト指定	ESC+ S +Pa
	スーパー／サブスクリプト解除	ESC+ T
	文字品位選択	ESC+ x +Pa
	書体選択	ESC+ k +Pa
	文字コード表選択	ESC+ t +Pa
文字定義	ダウンロード文字セット指定／解除	ESC+ % +Pa
	ダウンロード文字定義	ESC+ &
		+NUL+P ₁ +P ₂ +
		{Pa ₁ +Pb ₁ +Pc ₁ +D ₁ ~
文字セットコピー		Dn} x n
	文字セットコピー	ESC+ :
文字ピッチ調整		+NUL+P ₁ +P ₂
	文字間スペース量設定	ESC+ sp +Pa
位置揃え選択	位置揃え選択	ESC+ a +Pa
	装飾	縮小指定
装飾	縮小指定	SI
	縮小解除	ESC+ SI
	絶縁指定／解除	DC2
	アンダーライン指定／解除	ESC+ +Pa
縦倍拡大指定／解除	縦倍拡大指定／解除	ESC+ w +Pa

▶ テキスト処理～共通

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	自動解除付き倍幅拡大指定	ESC+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	倍幅拡大指定 / 解除	ESC+ W +Pa
	強調指定	ESC+ E
	強調解除	ESC+ F
	二重印字指定	ESC+ G
	二重印字解除	ESC+ H
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS+DC4
	一括指定	ESC+ ! +Pa
	イタリック指定	ESC+ 4
	イタリック解除	ESC+ 5
	文字スタイル選択	ESC+ q +Pa

▶ テキスト処理～漢字

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	縦書き指定	FS+ J
	横書き指定	FS+ K
	半角縦書き 2 文字指定	FS+ D
	4 倍角指定 / 解除	FS+ W +Pa
	漢字アンダーライン指定 / 解除	FS+ _ +Pa
	漢字一括指定	FS+ ! +Pa
文字セット	漢字モード指定	FS+ &
	漢字モード解除	FS+ .
	半角文字指定	FS+SI
	半角文字解除	FS+DC2
	1 / 4 角文字指定	FS+ r +Pa
	漢字書体選択	FS+ k +Pa
文字定義	外字定義	FS+ 2 +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ D ₂
文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS+ S +P ₁ +P ₂
	半角文字スペース量設定	FS+ T +P ₁ +P ₂
	半角文字スペース量補正	FS+ U
	半角文字スペース量補正解除	FS+ V

▶ イメージ処理

コマンド名	コード名
8 ドット単密度ピットイメージ	ESC+ K +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ D _n
8 ドット倍密度ピットイメージ	ESC+ L +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ D _n
8 ドット倍速倍密度ピットイメージ	ESC+ Y +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ D _n
8 ドット4倍密度ピットイメージ	ESC+ Z +P ₁ +P ₂ +D ₁ ~ D _n
ピットイメージ選択	ESC+ * +Pa+P ₁ P ₂ +D ₁ ~ D _n
ピットイメージ変換	ESC+ ? +P ₁ +P ₂

▶ 補助機能

機能名称	コマンド名	コード名
初期化	初期化	ESC+ @
データ入力制御	データ抹消	CAN
C S F 制御	カットシートフィーダ制御	ESC+EM+Pa

▶ エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	ESC+Z+NUL+NUL
エミュレーション切替え	ESC+/+イ+@ +DEL+ESC+ DEL+NUL+ NUL+SOH+Pa



ESC/Page モードコマンド一覧表

ESC/Page モードコマンドは、下表のとおりです。

▷ 環境設定

コマンド名	コード名
最小単位設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + m + u + E
ドットパターン解像度選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + d + r + E
スクリーンモード指定 / 解除	GS + Pa + s + t + E
スクリーンパターン選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + s + p + E
スクリーンパターン登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + s + p + { + E
スクリーンパターン登録数設定	GS + Pa + i + s + E
上書きモード指定 / 解除	GS + Pa + o + w + E
ハードリセット	GS + r + h + E
パラメータリセット	GS + r + p + E
用紙方向選択	GS + Pa + p + o + E
論理原点設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + l + o + E
用紙サイズ設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + p + s + E
給紙装置選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + i + u + E
クリップ領域設定	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + c + a + E
クリップモード指定 / 解除	GS + Pa + c + m + E
トップマージン設定	GS + Pa + t + m + E
トップマージン設定 (行単位)	GS + Pa + t + m + l + E
ボトムマージン設定	GS + Pa + b + m + E
ボトムマージン設定 (行単位)	GS + Pa + b + m + l + E
レフトマージン設定	GS + Pa + l + m + E
レフトマージン設定(桁単位)	GS + Pa + l + m + c + E
ライトマージン設定	GS + Pa + r + m + E
ライトマージン設定 (桁単位)	GS + Pa + r + m + c + E

▷ 印字位置設定

コマンド名	コード名
復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
後退	BS
水平方向現在位置絶対指定	GS + Pa + X
水平方向現在位置絶対指定 (桁単位)	GS + Pa + x + P
垂直方向現在位置絶対指定	GS + Pa + Y
垂直方向現在位置絶対指定 (行単位)	GS + Pa + y + P
水平方向現在位置相対指定	GS + Pa + H
水平方向現在位置相対指定 (桁単位)	GS + Pa + h + P
垂直方向現在位置相対指定	GS + Pa + V
垂直方向現在位置相対指定 (行単位)	GS + Pa + v + P
プッシュ・ポップスタック数指定	GS + Pa + s + s + P
現在位置プッシュ・ポップ	GS + Pa + p + p + P
現在位置記憶数指定	GS + Pa + i + p + P
現在位置記憶	GS + Pa + m + P
現在位置呼び出し	GS + P ₁ + ; + P ₂ + c + P
現在位置記憶 (番号自動変更)	GS + Pa + a + m + P
現在位置呼び出し (番号自動変更)	GS + P ₁ + ; + P ₂ + a + c + P
改行量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + l + p + P
自動復帰改行選択	GS + Pa + a + l + f + P
自動改ページ選択	GS + Pa + a + f + f + P
CR/LF/FF 動作選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + c + l + f + P
現在位置移動モード選択	GS + Pa + p + m + P
印字ピッチ設定	GS + P1 + ; + P2 + p + P
文字オフセット量設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + c + o + P
ピットイメージオフセット量設定	GS + Pa + b + o + P
ピットイメージ描画後	GS + Pa + a + b + P
現在位置選択	

▶ フォント

コマンド名	コード名
シンボルセット選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + s + s + F
文字スペーシング選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + s + p + F
文字幅設定 (CPI)	GS + Pa + w + c + F
文字幅設定 (最小単位)	GS + Pa + w + m + F
文字高さ設定 (ポイント)	GS + Pa + h + p + F
文字高さ設定 (最小単位)	GS + Pa + h + m + F
書体選択	GS + Pa + t + f + F
文字スタイル選択	GS + Pa + s + t + F
文字線幅選択	GS + Pa + w + e + F
文字回転設定	GS + Pa + r + o + F
文字傾き設定	GS + Pa + s + l + F
フォント属性記憶 / 呼び出し	GS + P ₁ + ; + P ₂ + m + c + F
ダウンロードフォント選択	GS + Pa + d + c + F
ダウンロードフォント削除	GS + Pa + d + d + c + F
シンボルセット登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + d + s + s + { + F
シンボルセット削除	GS + Pa + d + s + s + F
フォントコピー	GS + P ₁ + ; + P ₂ + f + c + { + F
ヘッダー登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + d + h + { + F
1 文字登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + s + c + { + F
文字幅テーブル登録	GS + P ₁ + ; + P ₂ + c + w + { + F
フォント属性記憶数設定	GS + Pa + i + a + F
フォント登録数設定	GS + Pa + l + i + a + F
シンボルセット登録数設定	GS + Pa + i + s + s + F

▶ イメージ描画

コマンド名	コード名
網掛け描画	GS + P ₁ + ; + P ₂ + b + g + l
罫線描画	GS + P ₁ + ; + P ₂ + r + u + l
罫線 / アンダーライン	GS + P ₁ + ; + P ₂ + r + p + l
パターン選択	
罫線 / アンダーライン	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄
パターン登録	+ r + p + { + l
罫線 / アンダーライン	GS + Pa + i + r + l
パターン登録数設定	
ビットイメージ描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + b + i + { + l
ビットイメージ登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₅ + b + d + { + l
登録ビットイメージ描画	GS + Pa + d + b + l
ビットイメージ登録数設定	GS + Pa + i + b + l
ビットイメージデータ	GS + Pa + b + c + l
圧縮形式選択	
ラスターイメージ描画開始	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₄ + b + r + l
ラスターイメージ描画終了	GS + e + r + l
ラスターイメージ描画	GS + Pa + r + { + l
圧縮なし	GS + Pa + u + { + l
ラスターイメージ描画	
エンプティ	GS + Pa + e + l
ラスターイメージ描画	

▶ 文字印字

コマンド名	コード名
アンダーライン指定 / 解除	GS + Pa + u + l + C
アンダーライン水平方向	GS + P ₁ + ; + P ₂ + u + h + C
オフセット量設定	
アンダーライン垂直方向	GS + P ₁ + ; + P ₂ + u + v + C
オフセット量設定	
バックグラウンド指定 / 解除	GS + Pa + b + g + C
バックグラウンド水平方向	GS + P ₁ + ; + P ₂ + b + h + C
オフセット量設定	
バックグラウンド垂直方向	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + b + v + C
オフセット量設定	
コントロールコード	GS + Pa + c + p + { + C
キャラクタ印字	
縦書きモード指定 / 解除	GS + Pa + v + p + C
組文字指定	GS + Pa + c + c + C

▶ 図形描画

コマンド名	コード名
線描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + Pn + I + G
多角形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + Pn + p + G
スプライン曲線描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + Pn + s + G
Bezier 曲線描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + Pn + b + G
B スプライン曲線描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + Pn + b + s + G
矩形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₅ + r + G
円描画	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + c + G
円弧描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₅ + a + G
扇形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₆ + f + G
橍円描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₅ + e + G
橍円弧描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₇ + e + a + G
橍円扇形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₈ + e + f + G
ベクタ指定円弧描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₇ + a + v + G
ベクタ指定扇形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₈ + f + v + G
ベクタ指定橍円弧描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₉ + e + a + v + G
ベクタ指定橍円扇形描画	GS + P ₁ + ; + ... + ; + P ₁₀ + e + f + v + G
線種選択	GS + P ₁ + ; + P ₂ + I + p + G
線種登録	GS + P ₁ + ; + ... + ; + Pn + d + I + G
線種登録数設定	GS + Pa + i + l + G
線幅設定	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + I + w + G
図形描画モード選択	GS + Pa + d + m + G
图形座標モード選択	GS + Pa + s + a + r + G

▶ マクロ

コマンド名	コード名
マクロ登録開始	GS + Pa + b + m + M
マクロ登録終了	GS + e + m + M
マクロ実行	GS + P ₁ + ; + P ₂ + s + m + M
フォームオーバーレイ指定 / 解除	GS + P ₁ + ; + P ₂ + ; + P ₃ + a + m + M
マクロ登録数設定	GS + Pa + i + m + M

▶ その他

コマンド名	コード名
コピー枚数設定	GS + Pa + c + o + O

▶ エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	GS + Pa + p + m + E
エミュレーション切替え	ESC + / + I + @ + DEL + ESC + DEL + NUL + NUL + SOH + Pa

キャラクタコード一覧

各エミュレーションモードでのキャラクタコード(ANKコード)の一覧を以下にまとめます。なお、キャラクタコードはすべて16進形式です。

▼ ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとあります。

カタカナコード

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	'	p	—	—	—	タ	ミ	—	×		
1		!	1	A	Q	a	q	—	—	。	ア	チ	ム	ニ	円	
2	DC2	"	2	B	R	b	r	—	—	「	イ	ツ	メ	エ	年	
3	#	3	C	S	c	s	—	—	」	ウ	デ	モ	コ	月		
4	DC4	\$	4	D	T	d	t	—	—	、	エ	ト	ヤ	■	日	
5		%	5	E	U	e	u	■	■	。	オ	ナ	ユ	■	時	
6		&	6	F	V	f	v	■	■	ヲ	カ	ニ	ヨ	■	分	
7		'	7	G	W	g	w	■	■	ア	キ	ヌ	ラ	■	秒	
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	—	—	イ	ク	ネ	リ	◆	〒
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	—	—	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF	*	:	J	Z	j	z	—	—	エ	コ	ハ	レ	◆	区	
B	VT	ESC	+	K	l	k	l	—	—	オ	サ	ヒ	ロ	◆	町	
C	FF	FS	.	<	L	¥	l	+	—	ヤ	シ	フ	ツ	●	村	
D	CR	—	=	M	l	m	l	—	—	ュ	ス	ヘ	ン	○	人	
E	SO	.	>	N	^	n	~	■	■	ヨ	セ	ホ	・	/	■	
F	SI	/	?	O	—	o		—	—	ソ	マ	—	—	—	—	SP

拡張グラフィックコード

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	'	p	—	—	—	é	á	í	í	á	é
1	!	1	A	Q	a	q	—	—	。	ア	チ	ム	ニ	円	■	±
2	DC2	"	2	B	R	b	r	—	—	「	イ	ツ	メ	エ	年	≥
3	#	3	C	S	c	s	—	—	」	ウ	デ	モ	コ	月	≤	
4	DC4	\$	4	D	T	d	t	—	—	、	エ	ト	ヤ	■	日	†
5	\$	%	5	E	U	e	u	■	■	。	オ	ナ	ユ	■	時	†
6	&	6	F	V	f	v	■	■	—	ヲ	カ	ニ	ヨ	■	分	÷
7	'	7	G	W	g	w	■	■	—	ア	キ	ヌ	ラ	■	秒	≈
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	—	—	イ	ク	ネ	リ	◆	Φ
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	—	—	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF	*	:	J	Z	j	z	—	—	エ	コ	ハ	レ	◆	区	·
B	VT	ESC	+	K	l	k	l	—	—	オ	サ	ヒ	ロ	◆	町	√
C	FF	FS	.	<	L	¥	l	+	—	ヤ	シ	フ	ツ	●	村	∞
D	CR	—	=	M	l	m	l	—	—	ュ	ス	ヘ	ン	○	人	◊
E	SO	.	>	N	^	n	~	■	■	ヨ	セ	ホ	・	/	■	■
F	SI	/	?	O	—	o		—	—	ソ	マ	—	—	—	—	SP

国際文字コード

コード 16進 国	23	24	40	58	50	50	56	60	78	70	70	7E
アメリカ	#	\$	@	—	＼	—	—	—	—	—	—	—
フランス	#	\$	à	—	¤	§	—	—	é	ù	è	—
ドイツ	#	\$	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
イギリス	£	\$	@	—	＼	—	—	—	—	—	—	—
デンマーク I	#	\$	@	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
オランダ	#	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
イタリア	#	\$	@	—	＼	—	—	—	—	—	—	—
スペイン I	Pt	\$	@	i	ñ	ñ	—	—	—	—	—	—
日本	#	\$	@	—	¥	—	—	—	—	—	—	—
ノルウェー	#	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
デンマーク II	#	\$	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
スペイン II	#	\$	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
デンマーク III	#	\$	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤

国際文字コード

コード 16進 国	23	24	40	58	50	50	56	60	78	70	70	7E
アメリカ	#	\$	@	—	＼	—	—	—	—	—	—	—
フランス	#	\$	à	—	¤	§	—	—	é	ù	è	—
ドイツ	#	\$	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
イギリス	£	\$	@	—	＼	—	—	—	—	—	—	—
デンマーク I	#	\$	@	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
オランダ	#	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
イタリア	#	\$	@	—	＼	—	—	—	—	—	—	—
スペイン I	Pt	\$	@	i	ñ	ñ	—	—	—	—	—	—
日本	#	\$	@	—	¥	—	—	—	—	—	—	—
ノルウェー	#	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
デンマーク II	#	\$	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
スペイン II	#	\$	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤
デンマーク III	#	\$	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤	¤



ESC/Page モードキャラクタコード一覧表

ESC/Page モードのキャラクタコードは以下のとあります。

グラフィックセット

上位 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	"		0	@	P	'	p	ç	é	á	—	—	—	—	—	—
1	'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	—	—	—	—	—	—
2	™	"	2	B	R	b	r	é	æ	ó	—	—	—	—	—	—
3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú		—	—	—	—	—	—
4	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	—	—	—	—	—	—	—
5	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	ñ	—	—	—	—	—	—
6	¶	&	6	F	V	f	v	â	ú	á	=	—	—	—	—	—
7	®	'	7	G	W	g	w	ç	ù	ó	—	—	—	—	—	—
8	®	(8	H	X	h	x	é	ÿ	ö	—	—	—	—	—	—
9)	9	I	Y	i	y	ë	ö	—	—	—	—	—	—	—	—
A	¢	*	:	J	Z	j	z	ë	ü	—	—	—	—	—	—	—
B	+	:	K	l	k	l	k	é	ö	—	—	—	—	—	—	—
C	°	,	<	L	\	l	\	î	£	ä	—	—	—	—	—	—
D	=		=	M]	m]	í	¥	i	—	—	—	—	—	—
E	=	,	>	N	^	n	~	À	Pt	«	—	—	—	—	—	—
F	†	/	?	O	—	o		Á	‡	»	—	—	—	—	—	—

キャラクタセット

上位 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	"		0	@	P	'	p	ç	é	á	°	ij	α			
1	'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	»	ce	ß			
2	™	"	2	B	R	b	r	é	æ	ó	ß	'	Γ			
3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	ø	?	π				
4	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	—	—	—	—	—	—	—
5	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	ñ	..	—	—	—	—	—
6	¶	&	6	F	V	f	v	â	ú	á	=	—	—	—	—	—
7	®	'	7	G	W	g	w	ç	ù	ó	—	—	—	—	—	—
8	®	(8	H	X	h	x	é	ÿ	ö	—	—	—	—	—	—
9)	9	I	Y	i	y	ë	ö	—	—	—	—	—	—	—	—
A	¢	*	:	J	Z	j	z	ë	ü	—	—	—	—	—	—	—
B	+	:	K	l	k	l	k	é	ö	—	—	—	—	—	—	—
C	°	,	<	L	\	l	\	î	£	ä	—	—	—	—	—	—
D	=		=	M]	m]	í	¥	i	—	—	—	—	—	—
E	=	,	>	N	^	n	~	À	Pt	«	—	—	—	—	—	—
F	†	/	?	O	—	o		Á	‡	»	—	—	—	—	—	—

国際文字コード

コード [国]	23	24	40	58	5C	5D	5E	60	78	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	—	—	—	—	—	{	¡	—	—
フランス	#	\$	a	—	—	—	—	—	é	ù	—	—
ドイツ	#	\$	s	—	—	—	—	—	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	\$	@	—	—	—	—	—	—	—	—	—
デンマーク	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スウェーデン	#	¤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
イタリア	#	\$	@	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スペインI	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スペインII	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本	#	\$	@	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ノルウェー	#	¤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
デンマークII	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スペインII	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
デンマークIII	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

国際文字コード

コード [国]	23	24	40	58	5C	5D	5E	60	78	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フランス	#	\$	a	—	—	—	—	—	é	ù	—	—
ドイツ	#	\$	s	—	—	—	—	—	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	\$	@	—	—	—	—	—	—	—	—	—
デンマークI	#	\$	—	—	—	—	—	—	æ	ø	å	—
スウェーデン	#	¤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
イタリア	#	\$	@	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スペインI	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スペインII	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本	#	\$	@	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ノルウェー	#	¤	—	—	—	—	—	—	æ	ø	å	—
デンマークII	#	\$	—	—	—	—	—	—	æ	ø	å	—
スペインII	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
デンマークIII	#	\$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

Nordic(コードページ 865)

上 下 位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
0	▶	►	◀	▼	0	@	P	·	p	Ç	É	â	...	„	„	α	≡
1	⊕	◀	!	!	1	Λ	Q	a	q	ü	æ	í	...	+	=	ß	≡
2	●	↑	*	*	2	B	R	b	r	é	Å	ó	...	+	+	Γ	≡
3	♥	!!	#	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	—	†	‡	π	≤
4	◆	!	\$	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	+	—	—	Σ	Γ
5	♣	§	%	%	5	E	U	e	u	å	ò	Ñ	+	+	+	σ]
6	♠	—	&	&	6	F	V	f	v	å	û	a	—	—	—	μ	÷
7	●	‡	·	·	7	G	W	g	w	ç	ù	ø	—	—	—	τ	≈
8	▣	‘	‘	‘	8	H	X	h	x	ê	ÿ	é	—	—	—	Φ	°
9	○	›))	9	I	Y	i	y	ë	ö	—	—	—	—	θ	•
A	■	→	*	*	J	Z	j	z	è	Ü	—	—	—	—	—	Ω	·
B	♂	<	!	!	K	L	k	:	Y	ø	þ	Þ	■	■	■	δ	√
C	♀	—	,	,	<	L	＼	l	!	î	ł	å	—	—	—	∞	n
D	♪	→	—	=	M	J	m	!	i	Ø	i	—	—	—	—	ϕ	r
E	♪	▲	·	>	N	·	n	~	Å	Pt	◀	—	+	—	—	—	■
F	♪	▼	?	?	O	—	o	□	Å	‡	¤	—	—	—	—	—	□

Portuguese(コードページ 860)

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶	◀	▶	@	P	·	p	Ç	É	â	;	└	─	α	≡	
1	⊗	◀	!	1	A	Q	a	q	ü	À	í	;	—	ß	≡	
2	●	↑	“	2	B	R	b	r	é	È	ó	≡	+	Γ	≡	
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	—	—	π	≡	
4	◆	!	\$	4	D	T	d	t	ã	ð	ñ	—	—	Σ	Γ	
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	ñ	≡	+	σ]	
6	♠	—	&	6	F	V	f	v	À	Ù	a	≡	—	μ	÷	
7	●	‡	·	7	G	W	g	w	ç	û	ø	—	—	τ	≈	
8	□	^	˜	8	H	X	h	x	ê	í	è	—	—	Φ	°	
9	○	◦)	9	I	Y	i	y	É	Ò	ò	—	—	θ	·	
A	■	→	*	:	J	Z	j	z	é	Ù	—	—	—	Ω	·	
B	♂	◀	!	:	K	l	k	:	I	¢	‡	—	■	δ	√	
C	♀	—	,	<	L	＼	l	:	Ó	£	‡	—	■	∞	n	
D	♪	→	=	=	M	】	m	}	í	Ù	í	—	■	φ	r	
E	¤	▲	>	N	^	n	~	À	PI	◀	—	+	■	≡	■	
F	¤	▼	/	?	O	—	o	□	À	Ó	»	—	■	○	□	

Multilingual(コードページ 850)

上 下 位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶	◀	@	P	‘	p	ç	é	â	l	ö	ö	—	—	—	—
1	◎	◀	!	A	Q	a	q	ü	æ	í	—	—	—	—	—	—
2	●	↑	~	2	B	R	b	r	é	æ	ó	—	—	—	—	—
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	â	ó	ú		—	—	—	—
4	♦	¶	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ		—	—	—	—
5	♣	§	§	5	E	U	e	u	â	ò	ñ	À	+	ı	ö	§
6	♠	—	&	6	F	V	f	v	à	ú	ä	A	ä	í	u	÷
7	●	↑	↑	7	G	W	g	w	ç	ù	ö	A	á	í	p	·
8	▣	↑	↑	8	H	X	h	x	é	ÿ	ë	ç	—	ý	p	·
9	○	↓	↓	9	I	Y	i	y	ë	ö	ø	—	—	—	—	—
Λ	■	→	*	:	J	Z	j	z	è	ü	—		—	—	—	—
B	♂	←	+	:	K	[k	!	í	ø	ł	—	—	—	—	—
C	♀	—	.	<	L	\	l	:	í	ł	ł	—	=	—	—	—
D	♪	→	—	=	M]	m)	i	ø	i	—	—	—	—	—
E	¤	▲	▲	>	N	~	n	~	À	x	«	ÿ	=	I	—	—
F	¤	▼	▼	?	O	—	o	—	Ä	ƒ	»	—	—	—	—	—

Canadian-French (コードページ 863)

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	▶	◀	0	@	P	‘	p	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
1	◎	◀	!	1	A	Q	a	q	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
2	●	‡	^	2	B	R	b	r	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
4	◆	¶	\$	4	D	T	d	t	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
6	♠	—	&	6	F	V	f	v	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
7	●	!	‘	7	G	W	g	w	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
8	▣	↑	(8	H	X	h	x	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
A	▣	→	*	:	J	Z	j	z	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
B	♂	←	+	;	K	—	k	—	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
C	♀	—	.	<	L	＼	l	＼	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
D	♪	↔	—	=	M]	m)	=	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
E	♪	▲	>	N	^	n	~	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ
F	※	▼	?	O	—	o	□	s	ꝝ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ	ꝑ

ECMA 94-1

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0	@	P	'	p			°	À	Ð	à	ô			
1	!	1	A	Q	a	q			í	À	Ñ	á	ñ			
2	'	2	B	R	b	r			é	À	Ó	â	ò			
3	#	3	C	S	c	s			ë	À	Ó	ä	ö			
4	\$	4	D	T	d	t			¤	À	Ó	ä	ö			
5	°	5	E	U	e	u			¥	µ	À	Ó	ä	ö		
6	&	6	F	V	f	v			‡	Æ	Ø	æ	ø			
7	'	7	G	W	g	w			§	•	¤	×	¤	÷		
8	(8	H	X	h	x			„	•	Ø	ø	ø			
9)	9	I	Y	i	y			ø	•	È	Ù	é	ù		
A	*	:	J	Z	j	z			a	o	È	Ù	é	ù		
B	+	:	K	〔	k	〕			⟨	⟩	È	Ù	ë	ø		
C	,	<	L	＼	l				í	I	U	í	ü			
D	-	=	M	〕	m	〕			-	í	Ý	í	ý			
E	,	>	N	^	n	~			ø	‡	Í	p	í	p		
F	/	?	O	—	o				—	ë	Ý	B	í	ý		

US English(コードページ 437)

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		▶		0	@	P	'	p	ç	é	á	ú	ñ	æ	ô	ô
1	◎	◀	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	ú	ñ	þ	þ	þ
2	●	▲	”	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	í	ñ	þ	þ	þ
3	♥	!:	#	3	C	S	c	s	â	ð	ú	í	ñ	þ	þ	þ
4	♦	¶	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	í	ñ	þ	þ	þ
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	â	ð	ñ	í	ñ	þ	þ	þ
6	♠	—	&	6	F	V	f	v	â	ð	ñ	í	ñ	þ	þ	þ
7	●	‡	'	7	G	W	g	w	ã	ø	ø	ø	ø	ø	ø	ø
8	■	^	(8	H	X	h	x	ê	ÿ	ë	í	ñ	ø	ø	ø
9	○	√)	9	I	Y	i	y	ë	ó	í	ñ	í	ø	ø	ø
A	■	→	*	:	J	Z	j	z	è	ú	í	ñ	í	ø	ø	ø
B	♂	<	!	;	K	l	k	l	í	é	í	ñ	í	ø	ø	ø
C	♀	—	,	<	L	＼	l	＼	í	é	í	ñ	í	ø	ø	ø
D	♪	↔	—	=	M	〕	m	〕	í	Ý	í	ý	í	ø	ø	ø
E	♪	▲	.	>	N	^	n	~	À	Pt	«	»	ñ	í	ø	ø
F	¤	▼	/	?	O	—	o	□	À	ƒ	»	»	ñ	í	ø	ø

カタカナ グラフィックセット

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0	@	P	'	p	—	—	—	—	タ	ミ	—	×		
1	!	1	A	Q	a	q	—	—	—	—	ア	チ	ム	—	円	
2	'	2	B	R	b	r	—	—	—	—	イ	ツ	メ	—	年	
3	#	3	C	S	c	s	—	—	—	—	ウ	テ	モ	—	月	
4	\$	4	D	T	d	t	—	—	—	—	エ	ト	ヤ	—	日	
5	%	5	E	U	e	u	—	—	—	—	オ	ナ	ュ	—	時	
6	&	6	F	V	f	v	■	■	■	■	カ	ニ	ョ	—	分	
7	·	7	G	W	g	w	■	■	■	■	キ	ヌ	ラ	—	秒	
8	(8	H	X	h	x	—	—	—	—	イ	ク	ネ	—	—	
9)	9	I	Y	i	y	—	—	—	—	ケ	ノ	ル	—	市	
A	*	:	J	Z	j	z	—	—	—	—	エ	コ	ハ	レ	◆	区
B	+	:	K	〔	k	〕	—	—	—	—	オ	サ	ヒ	ロ	◆	町
C	,	<	L	¥	l	!	■	■	■	■	ヤ	シ	フ	ワ	●	村
D	,	—	M	〕	m	!	■	■	■	■	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	,	>	N	^	n	~	■	■	■	■	ョ	セ	ホ	—	／	+
F	/	?	O	—	o	+	—	—	—	—	ソ	マ	—	＼		

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	'	p	—	—	—	—	た	み	—	×	
1	!	1	A	Q	a	q	—	—	—	—	あ	ち	む	—	円	
2	'	2	B	R	b	r	—	—	—	—	い	つ	め	—	年	
3	#	3	C	S	c	s	—	—	—	—	う	て	も	—	月	
4	\$	4	D	T	d	t	—	—	—	—	え	と	や	—	日	
5	%	5	E	U	e	u	—	—	—	—	お	な	ゆ	—	時	
6	&	6	F	V	f	v	■	■	■	■	を	か	に	—	分	
7	·	7	G	W	g	w	■	■	■	■	あ	き	ぬ	—	秒	
8	(8	H	X	h	x	—	—	—	—	い	く	ね	—	—	
9)	9	I	Y	i	y	—	—	—	—	う	け	の	る	◆	市
A	*	:	J	Z	j	z	—	—	—	—	こ	は	れ	◆	区	
B	+	:	K	〔	k	〕	—	—	—	—	お	さ	ひ	る	◆	町
C	,	<	L	¥	l	!	■	■	■	■	や	し	ふ	わ	●	村
D	,	—	M	〕	m	!	■	■	■	■	ゅ	す	へ	ん	○	人
E	,	>	N	^	n	~	■	■	■	■	ょ	せ	ほ	—	／	+
F	/	?	O	—	o	+	—	—	—	—	そ	ま	—	＼		

カタカナセット

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0	@	P	'	p				一	タ	ミ				
1		!	1	A	Q	a	q		。	ア	チ	ム				
2		~	2	B	R	b	r		「	イ	ツ	メ				
3		#	3	C	S	c	s		」	ウ	テ	モ				
4		\$	4	D	T	d	t		、	エ	ト	ヤ				
5		%	5	E	U	e	u		・	オ	ナ	ユ				
6		&	6	F	V	f	v		ヲ	カ	ニ	ヨ				
7		'	7	G	W	g	w		ア	キ	ヌ	ラ				
8		(8	H	X	h	x		イ	ク	ネ	リ				
9)	9	I	Y	i	y		ウ	ケ	ノ	ル				
A		*	:	J	Z	j	z		エ	コ	ハ	レ				
B		+	:	K	〔	k	〕		オ	サ	ヒ	ロ				
C		,	<	L	¥	l	¥		ヤ	シ	フ	ワ				
D		-	=	M]	m]		ュ	ス	ヘ	ン				
E		.	>	N	^	n	~		ョ	セ	ホ	°				
F		/	?	O	—	o			ヲ	ソ	マ	”				

ひらがなセット

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0	@	P	'	p				一	た	み				
1		!	1	A	Q	a	q		。	あ	ち	む				
2		~	2	B	R	b	r		い	い	つ	め				
3		#	3	C	S	c	s		」	う	て	も				
4		\$	4	D	T	d	t		、	え	と	や				
5		%	5	E	U	e	u		・	お	な	ゆ				
6		&	6	F	V	f	v		を	か	に	よ				
7		'	7	G	W	g	w		あ	き	ぬ	ら				
8		(8	H	X	h	x		い	く	ね	り				
9)	9	I	Y	i	y		う	け	の	る				
A		*	:	J	Z	j	z		え	こ	は	れ				
B		+	:	K	〔	k	〕		お	さ	ひ	ろ				
C		,	<	L	¥	l	¥		や	し	ぶ	わ				
D		-	=	M]	m]		ほ	す	へ	ん				
E		.	>	N	^	n	~		よ	せ	ほ	。				
F		/	?	O	—	o			つ	そ	ほ	ま	”			

JIS -90 第一水准漢字一覽表

点	\$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E											
区		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94											
20	0	÷	=	<	>	≤	≥	∞	♂	♀	。	‘	’	℃	¥	\$	¢	£	%	#	*	@	s	☆	★	○	●	◎	◇														
21	1	▽	≡	△	◀	◀◀	▶	△△	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…														
22	2	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	¶															
23	3	む	め	も	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	ゐ	ゑ	を	ん	ゑ	を	ん	ゑ	ゑ	ゑ	ゑ	ゑ														
24	4	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ																			
25	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
26	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	
27	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47		
28	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47			
29	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47				
30	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47					
31	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47						
32	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47							
33	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47								
34	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47									
35	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47										
36	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47											
37	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47												
38	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47													
39	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47														
40	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47															
41	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47																
42	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47																	
43	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47																		
44	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47																			
45	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47																				
46	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47																					
47	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47																						

JIS -90 第二水准漢字一覽表

点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
区\$	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
50:48	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
51:49	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
52:50	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
53:51	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
54:52	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
55:53	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
56:54	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
57:55	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
58:56	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
59:57	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
5A:58	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
5B:59	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
5C:60	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
5D:61	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
5E:62	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
5F:63	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
60:64	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
61:65	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
62:66	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
63:67	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
64:68	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
65:69	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
66:70	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
67:71	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
68:72	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
69:73	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
6A:74	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
6B:75	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
6C:76	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
6D:77	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
6E:78	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
6F:79	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
70:80	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
71:81	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
72:82	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
73:83	𠂔凭吽嚦𡞵六𠂔恠憲捫昊恮搘瑟
74:84	
75:85	
76:86	
77:87	
78:88	
79:89	
7A:90	
7B:91	
7C:92	
7D:93	
7E:94	

J I S漢字コードについてのご注意

JIS C6234-1983 の字体との違い

このプリンタが印刷する漢字は、JIS X0208-1983（情報交換用漢字字符号系：旧JIS C6226-1983）に準拠していますが、JIS X9052-1983（ドットプリンタ用24ドット字形：旧JIS C6234-1983）は採用していません。したがって、パソコン本体の表示画面の文字および記号などと必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS X9052-1983 の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

JIS コード (区点)	カシタ	JIS	JIS コード (区点)	カシタ	JIS	JIS コード (区点)	カシタ	JIS
3022(1602)	啞	啞	3979(2589)	鼈	鼈	4578(3788)	禱	禱
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榦	榦	4642(3834)	瀆	瀆
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	瀞	瀞
3135(1721)	鬱	鬱	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	櫛	櫛
3139(1725)	廐	廐	3B2C(2712)	鑄	鑄	4729(3909)	禰	禰
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	囊	囊
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屢	482E(4014)	潑	潑
316B(1775)	焰	焰	3D2B(2911)	繡	繡	4830(4016)	醜	醜
322A(1810)	鷗	鷗	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頰	頰
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蒋	4B70(4380)	鱈	鱈
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醬	4C4D(4445)	麵	麵
337A(1990)	嚙	嚙	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餅	餅
3442(2034)	潤	潤	4066(3270)	蟬	蟬	4D32(4518)	獸	獸
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	嶒	嶒	4D69(4573)	萊	萊
3622(2202)	俠	俠	4169(3373)	瘦	瘦	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驛	驛	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	軀	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蠟
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屏	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簾	簾	5960(5764)	捩	捩
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	摶	摶	5A39(5825)	攢	攢
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	緝	緝
3834(2420)	齶	齶	4536(3722)	墳	墳			
396D(2577)	麌	麌	453F(3731)	顛	顛			

ネットワーク用語の解説

■ BPP (Business Printer Protocol)

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル(TCP/IP を使用)です。

プリンタとの双方向通信によりPrintianaviのエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているので、LPR印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

■ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IP アドレスの自動割り付けシステムです。クライアントが TCP/IP 通信を行うときに、必要に応じてサーバから IP アドレスをもらい、通信終了後にはサーバに IP アドレスを戻します。IP アドレス設定ユーティリティは DHCP を利用してプリンタへの IP アドレス割り当てを実現しています。

■ HTTP (HyperText Transfer Protocol)

インターネット上の WWW サーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。 HTML (HyperText Markup Language) 文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。

IETF (Internet Engineering Task Force) によって RFC として規格化されています。XL シリーズの IPP 対応機種では、HTTP/1.1 をサポートしています。

■ IPP (Internet Printing Protocol)

RFC として規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコル HTTP (HyperText Transfer Protocol) を使用しており、LAN を超えた環境でもアクセスできることが特徴です。XL シリーズでサポートしている IPP は、標準の IPP を拡張することで Printianavi を使用した双方向通信が可能となっています。

■ LPR (Line Printer Remote)

TCP/IP 標準の印刷制御プロトコルです。Windows 2000/NT では、UNIX 用印刷サービスまたは TCP/IP 印刷サービスとして標準添付されています。

ただし、双方向通信はサポートしていないため、LPR 印刷では Printianavi 機能は使用できません。

■ MIB

SNMP では、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータを MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) といいます。

本プリンタは MIB-2 および PrinterMIB をサポートしています。プリンタに添付されている CD-ROM には PrinterMIB に対応した ASN.1 形式の「XLprtmbi.my」が「MIB」ディレクトリに収録されています。これを SNMP 管理マネージャソフトにインストールして使用してください。

■ RFC (Request For Comments)

インターネットの研究開発機関 IETF (Internet Engineering Task Force) がとりまとめている文書群を指します。一般的には TCP/IP の規格書として知られています。

■ SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器が SNMP をサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP 管理マネージャソフトから、SNMP メッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

・SNMP メッセージ

SNMPによるエージェントの管理は以下の5種類のメッセージを使って行われます。

メッセージ種別	説明	メッセージの送信方向	
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ	エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ	エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント	マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント	マネージャ

なお、本プリンタでは SetRequest はサポートしていません。

■ プロキシサーバ (Proxy Server)

インターネットとの接続時にセキュリティを確保するために設置されるサーバであり、ネットワーク内のコンピュータの代理で外部へのアクセスを行う機能を持ちます。

ファイアウォールによって外部から守られたネットワーク環境においては、ネットワーク内部から外部へのアクセスを行えないという問題があります。この問題を解決するために、プロキシサーバは、外部へのアクセス要求を受け付け、その作業を代理に行います。この処理によって、内部から外部へのアクセスが行えるようになると共に、ネットワーク内部のセキュリティを確保することが可能となっています。

また、セキュリティ機能以外にもプロキシサーバの中には、WWWアクセス時のHTMLデータをキャッシュする機能をサポートするものもあり、同じWWWサーバへアクセスがあった場合はキャッシュしているデータを返すことで、WWWアクセスを高速に行います。

プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FMWORLD.NET」からダウンロードすることができます。FMWORLD.NETではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示したURLよりプリンタドライバをダウンロードしてください。

FMWORLD.NET URL: <http://www.fmworld.net/>

ガイド

- ・FMWORLD.NETをご利用になる際は、Webブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・添付のCD-ROMには、製品出荷時の最新版ドライバが収められおり、FMWORLD.NETからダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

アフターサービスについて

- ・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より 6 ヶ月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後 6 年です。ご了承ください。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられることがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・故障の際は下記までご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』

フリーダイヤル : 0120-422-297

受付時間 : 平日 9:00 ~ 17:00

(土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く)

- ・装置を返却される場合は、次ページの手順に従って準備をお願いします。

▼ 修理装置の返却準備 ~お客様へ~

お手数ですが、修理装置の返却にあたっては、輸送時のトラブル防止のため、以下の手順で準備いただきますようお願い申し上げます。

1 設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、ネットワークプリンタとして設定するために必要な情報を印刷します。

オンライン状態

「オンライン」スイッチ押下



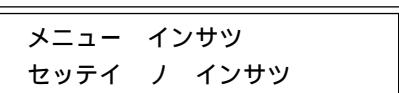
「メニュー / 設定」スイッチ押下



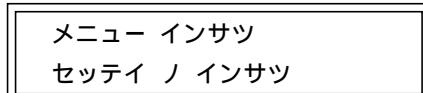
「メニュー / 設定」スイッチ押下



印刷終了



「 」スイッチ押下



設定の一覧は、取り外したネジ、クリップ等の接続部品とともに袋に入れ、返却装置に添付してください。



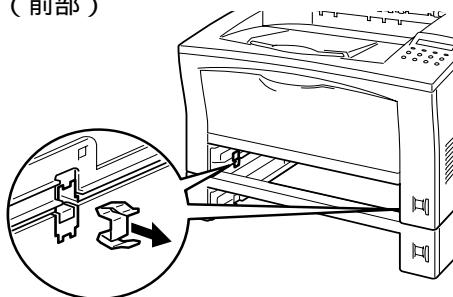
注意

- け が ・必ずお二人で行ってください。
- ・装置の電源スイッチを切り、ケーブル類（電源コード、プリンタケーブル）を外してから行ってください。

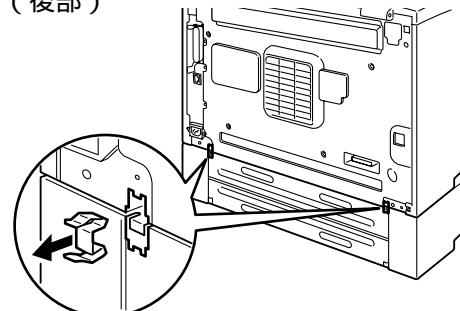
すべての給紙カセットを取り外し、給紙トレイと排紙トレイを閉じます。

下記に示す4ヶ所の固定クリップを外します。

(前部)



(後部)



プリンタを2人でまっすぐに持ち上げます。

索引

A

ACK タイミング	274
ACPI の動作について	264
Acrobat Reader の便利な機能	222
のインストール	220

B

BPP	295
-----------	-----

C

CD-ROM の内容	5
------------------	---

D

DHCP	295
によるアドレス自動取得	37

E

ESC/Page モード 印刷可能領域	272
コマンド一覧表	280
キャラクタコード一覧表	284
ESC/P モード 印刷可能領域	272
コマンド一覧表	278
キャラクタコード一覧表	283

I

IPP	54, 295
IP アドレスの設定方法	36

J

JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	288
JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	291

L

LAN ケーブルコネクタ	6
ケーブルの接続	30
に接続するときの注意事項	31
パソコンと LAN の両方に接続するとき の留意事項	32
LPR	296
LPR 印刷の設定	88

M

MIB	296
-----------	-----

N

NetWare5 のとき	92
--------------------	----

O

O H P フィルム	119
------------------	-----

P

Printia XL ドライバ	218
印刷可能領域	272
で印刷する	244
Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ	219
インストーラ	216
ネットワークポートモニタ	219
の機能概要	218
マネージャ	219

R

RFC	296
-----------	-----

S

SNMP	296
------------	-----

T	
TCP/IP 設定	274
W	
Windows 2000	
ダイアログ一覧	195
プリンタの共有設定	105
プリンタの接続方法を変更するとき	86
Windows 95/98/Me	
ダイアログ一覧	195
プリンタの共有設定	102
プリンタの接続方法を変更するとき	84
Windows NT4.0	
ダイアログ一覧	195
プリンタの共有設定	111
プリンタの接続方法を変更するとき	86
ア	
新しいドライバに置き換えるとき	212
アフターサービスについて	299
イ	
一覧	
キャラクタコード一覧	283
印刷	
可能領域	272
品質が低下したとき	234
メニュー印刷	273
Printia XL ドライバで印刷する	244
エミュレーションモードで印刷する	245
拡大 / 縮小印刷	202
複数部数 / 部単位印刷	204
複数ページ割り付け印刷	204
便利な印刷機能	202
未印刷データの強制印刷	187
両面印刷	209
エ	
印刷先ポートの追加と変更	84
Windows 2000/NT4.0 のとき	86
Windows 98/95 のとき	84
印刷の中止	186
印刷方向	271
インストールの手順と設定の概要	26
インターフェース仕様	270
エ	
液晶ディスプレイ	168, 169
エミュレーションモード	
の使いかた	244
を使う上での留意事項	247
を切り替える	245
エラー	
オペレータパネルのエラーメッセージ	239
オ	
オプション	
について	131
オプション品	132
オフライン状態	
で有効なスイッチ	172
オンライン状態とオフライン状態	171
オペレータパネル	6, 7, 168
を操作する	171
オペレータパネルによる設定	39
オンライン状態	169
で有効なスイッチ	173
オンライン状態とオフライン状態	171
力	
拡大 / 縮小印刷	202
拡張給紙ユニット	132
を取り付ける	146
を取り外す	149
紙づまり	
になったとき	224
の主な原因	225
の取り除きかた	226

緩衝具の取り外し	12	シ	
官製はがき	119		
キ			
キャラクタコード一覧	283	仕様	
キャラクタコード一覧表		基本仕様	268
ESC/Page モード		上部カバー	7
キャラクタコード一覧表	284	ス	
ESC/P モード		スイッチ	
キャラクタコード一覧表	283	オンラインスイッチ	168
給紙カセット	4, 6	排出スイッチ	168
(A4・500枚)に用紙をセットする	126	リセットスイッチ	168
給紙カセット用紙サイズスイッチ	6	寸法	
給紙トレイ	6, 7	プリンタの寸法	11
給紙トレイ用紙サイズスイッチ	7	セ	
給紙方法	118	清掃	
共有	101	紙送りローラの清掃	159
ケ		シールドガラスの清掃	160
ケーブル		プリンタ外部の清掃	158
LAN ケーブルコネクタ	6	プリンタ内部の清掃	159
LAN ケーブルの接続	30	設置	
プリンタケーブルコネクタ	6	上のお願い	10
プリンタケーブルについて	135	手順	12
コ		設定の一覧を印刷する	23, 34
故障かなと思ったとき	232	セットアップ	
コネクタピン配列	270	項目の補足	270
コマンド一覧	278	の項目一覧	178
コマンド一覧表		接続	
ESC/Page モード	280	LAN ケーブルの接続	30
ESC/P モード	278	LAN に接続するときの注意事項	31
コマンドエミュレーションモードを		電源コードの接続	15
切り替える	245	パソコンと LAN の両方に	
コンポーネントの追加、削除	72	接続したときの留意事項	32
サ		パソコンとのローカル接続	28
サイドカバー	6	プリンタの接続方法を変更する	84
サプライ用品	152	ソ	
ソフトウェアに関する留意事項	262		
ソフトウェアマニュアル			
について	220		
ソフトウェアマニュアルの使い方	221		
	303		

タ

- 第一水準漢字一覧表 288
 第二水準漢字一覧表 291

ツ

- 通風口 6

テ

電源

- コードの接続 15
 スイッチ 6
 スイッチをオンにする 16
 ランプ 168
 を入れる 15
 を切る 24
 電源コード 4
 電源コードコネクタ 6

ト

- 動作の確認 23
 繼じしろモード 277
 トラブルシューティング
 　ソフトウェアに関する
 　　トラブルシューティング 248

ネ

- ネットワークインストール 108
 ネットワークソフトウェア 219
 　　のインストール 58
 ネットワークソフトウェアによる設定 42
 ネットワーク用語の解説 295

ハ

- 排紙トレイ 6
 排紙トレイのセット 129
 排紙部 6
 パソコンと LAN の両方に
 　接続したときの留意事項 32

ヒ

- ビジーディレイ 274

フ

- 複数部数 / 部単位印刷 208
 複数部数印刷 204
 複数ページ割り付け印刷 204
 普通紙 118

プリンタ

- の清掃 158
 　　を移動するとき 162
 　　を長時間使用しないとき 161
 プリンタ LAN アダプタ 134
 プリンタ RAM モジュール 133
 　　を取り付ける 137
 　　を取り外す 139

プリンタケーブル

- コネクタ 6
 　　について 135

プリンタドライバ

- の削除 212
 　　の入手方法 298

プリンタドライバのインストール 96

プリンタドライバの削除 212

プリンタの URL 設定 (IPP のみ) 54

プリンタの共有設定

- Windows 95/98/Me のとき 102
 　　Windows NT4.0 のとき 111
 　　Windows 2000 のとき 105

プリンタのプロパティの表示 193

- プロセスカートリッジ 4, 7
 　　の回収サービス 156
 　　の交換 153
 　　の取り付け 13

ホ

ポート	
LAN ポートの作成	77
IPP ポートの追加	80
印刷先ポートの追加と変更	84
印刷先ポートの追加と変更 (Windows 2000/NT4.0のとき)	86
印刷先ポートの追加と変更 (Windows 95/98/Meのとき)	84
ポート 1 設定	274
ポートの追加	76

メ

メッセージ一覧	239
メニュー印刷	273

ヨ

用紙	
関係	271
のサイズ	118
のセット	123
の保管上のご注意	122
給紙カセット(A4・500枚)に用紙を セットする	126
使用できない用紙	120
使用できる用紙	118

ラ

ラベル紙	119
ランプ	
オンラインランプ	168
データランプ	168
メッセージランプ	168
リンクランプ	168

リ

リセット	
プリンタのリセット	186
両面印刷	209
両面ユニット	132
の取り付けかた	140
を取り付ける	140
を取り外す	143

ページプリンタ XL-5340

取扱説明書

B5WY-1231-01-00

発行日 2001年6月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願ひいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。